平成２７年度
設楽ダム周辺地質解析業務

【図面集・写真集編】

平成 29 年 3 月

日本工営株式会社

１．横坑展開図

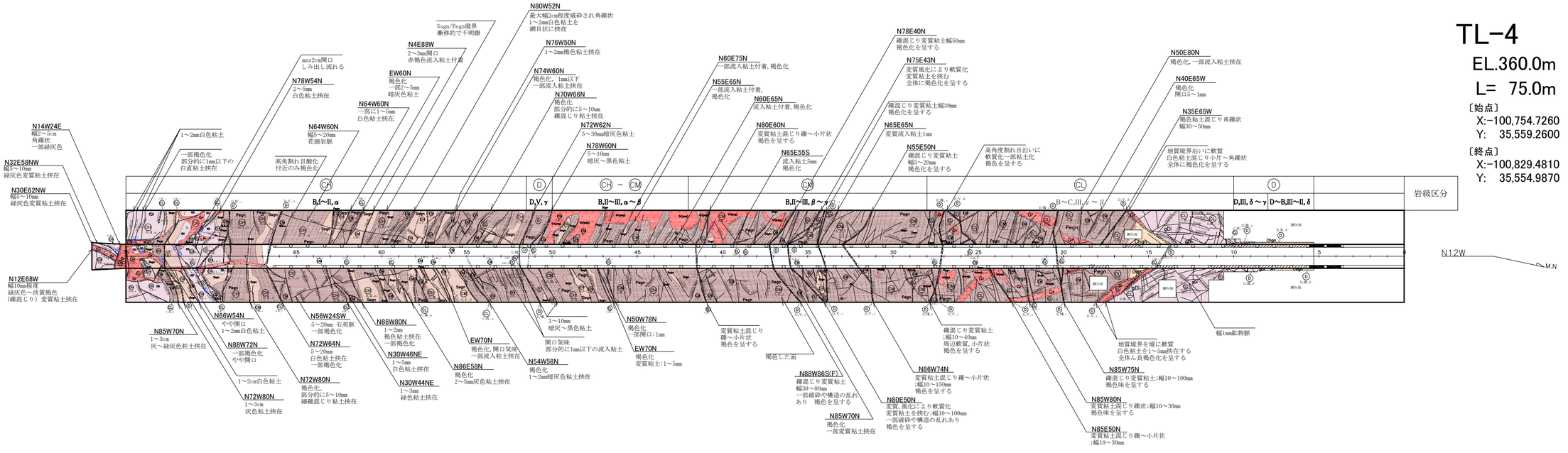
TL-4

EL.360.0m

L= 75.0m

〔始点〕
X:−100,754.7260
Y: 35,559.2600

〔終点〕
X:−100,829.4810
Y: 35,554.9870



75.0m	細粒閃緑岩	70.0m	砂質片麻岩	54.0m	51.5m	泥質片麻岩	42.0m	泥質片麻岩	28.0m	泥質片麻岩	17.0m	等粒状閃緑岩	10.0m	8.0m	珪質片麻岩	5.3m	坑口 3.5m	0.0m
	堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着は ほとんど見れれない。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。 泥質片麻岩、砂質片麻岩、花崗岩、細粒閃緑岩が混在する。 湧水がわずかに認められる。		堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化や割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。 泥質片麻岩が混在する。		堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ～ＣＭ級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 硬岩主体のＣＭ級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 ゆるみの影響が残るＣＬ級ゾーン。 一部に花崗岩が分布する。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響によるＣＬ級ゾーン。 一部に花崗岩や珪質片麻岩が分布する。		強風化により軟質な岩盤(マサ化)が見られる。強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。		岩片は硬質。強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン（土砂混じり積み石状）。	掘削除去範囲。全面鋼製矢板。	掘削除去範囲。坑口周辺には珪質片麻岩が露岩する。

凡　例

〔地質区分〕

〔第四紀被覆層〕
- Rd　現河床堆積物
- Tl　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg　礫岩

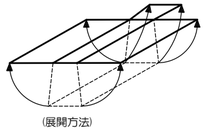
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- (D) D級
- (CL) CL級
- (CM) CM級
- (CH) CH級(硬さB)
- (CH) CH級(硬さA)
- (B) B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr：断裂(幅)
- (F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
- (MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
- (SP) せん断面
- (Tj) 引張性割れ目
- (Op) 開口性割れ目
- (GS) 片麻状構造
- (IP) 貫入面
- (J) 割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-4横坑展開図（地質）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	82
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

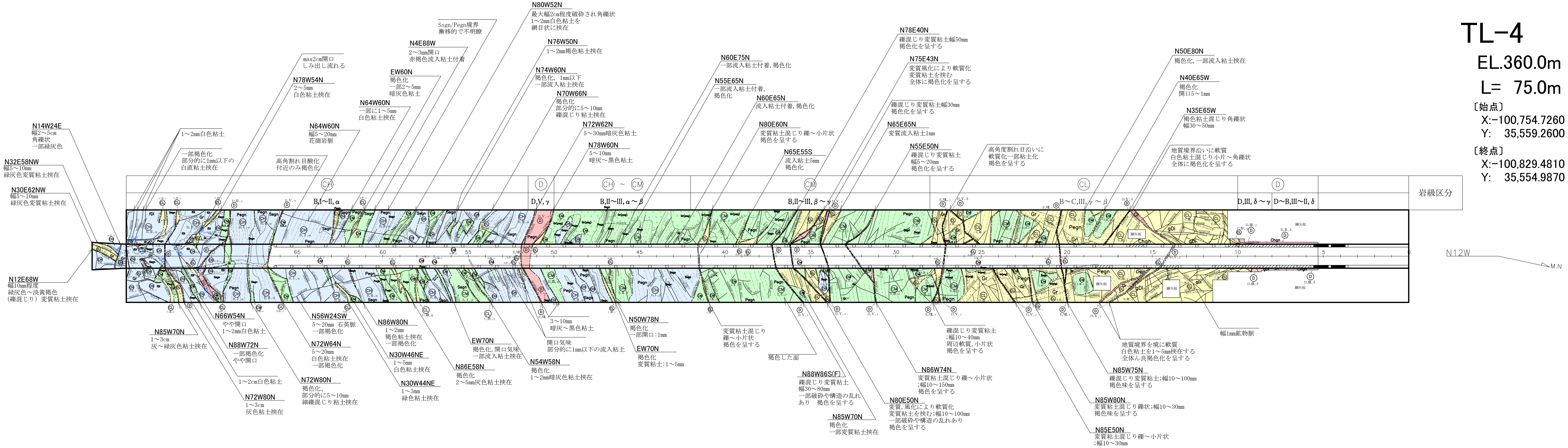
TL-4

EL.360.0m

L=　75.0m

〔始点〕
X:−100,754.7260
Y:　35,559.2600

〔終点〕
X:−100,829.4810
Y:　35,554.9870



75.0m〜70.0m 細粒閃緑岩	70.0m〜54.0m 砂質片麻岩	54.0m〜51.5m	51.5m〜42.0m 泥質片麻岩	42.0m〜28.0m 泥質片麻岩	28.0m〜17.0m 泥質片麻岩	17.0m〜10.0m 等粒状閃緑岩	10.0m〜8.0m	8.0m〜5.3m 珪質片麻岩	5.3m〜3.5m(坑口)	3.5m〜0.0m
堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着はほとんど見れれない。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。 泥質片麻岩、砂質片麻岩、花崗岩、細粒閃緑岩が混在する。 湧水がわずかに認められる。	堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化や割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。 泥質片麻岩が混在する。	堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 硬岩主体のＣＨ〜ＣＭ級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 硬岩主体のＣＭ級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 ゆるみの影響が残るＣＬ級ゾーン。 一部に花崗岩が分布する。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響によるＣＬ級ゾーン。 一部に花崗岩や珪質片麻岩が分布する。	強風化により軟質な岩盤（マサ化）が見られる。 強風化とゆるみの影響によるＤ級ゾーン。	岩片は硬質。 強風化と地表からのゆるみの影響によるＤ級ゾーン（土砂混じり積み石状）。	掘削除去範囲。 全面鋼製矢板。	掘削除去範囲。 坑口周辺には珪質片麻岩が露岩する。

凡　　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

記号	名称
Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

記号	名称
Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

記号	名称
Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

記号	名称
× × ×	ペグマタイト
+ + +	優白質花崗岩
gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

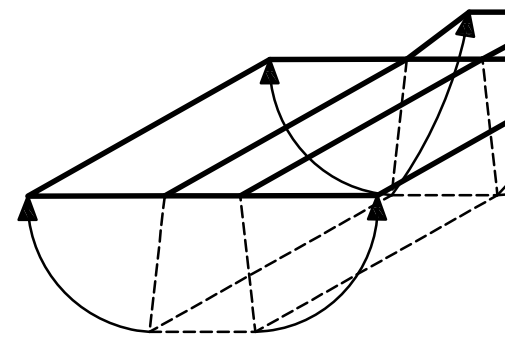
記号	名称
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

＜岩級区分＞

記号	岩級
D	D　級
CL	CL　級
CM	CM　級
CH	CH　級(硬さB)
CH	CH　級(硬さA)
B	B　級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

記号	説明
fr：	断裂(幅)
(F)	断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
(MF)	小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
(SP)	せん断面
(Tj)	引張性割れ目
(Op)	開口性割れ目
(GS)	片麻状構造
(IP)	貫入面
(J)	割れ目(基本的に表示しない)



(展開方法)

S=1/100　0　1　5　10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務
図面名	TL-4横坑展開図（岩級）
年月	平成29年3月
尺度	1/100　図面番号　83
会社名	日本工営株式会社
事務所名	設楽ダム工事事務所

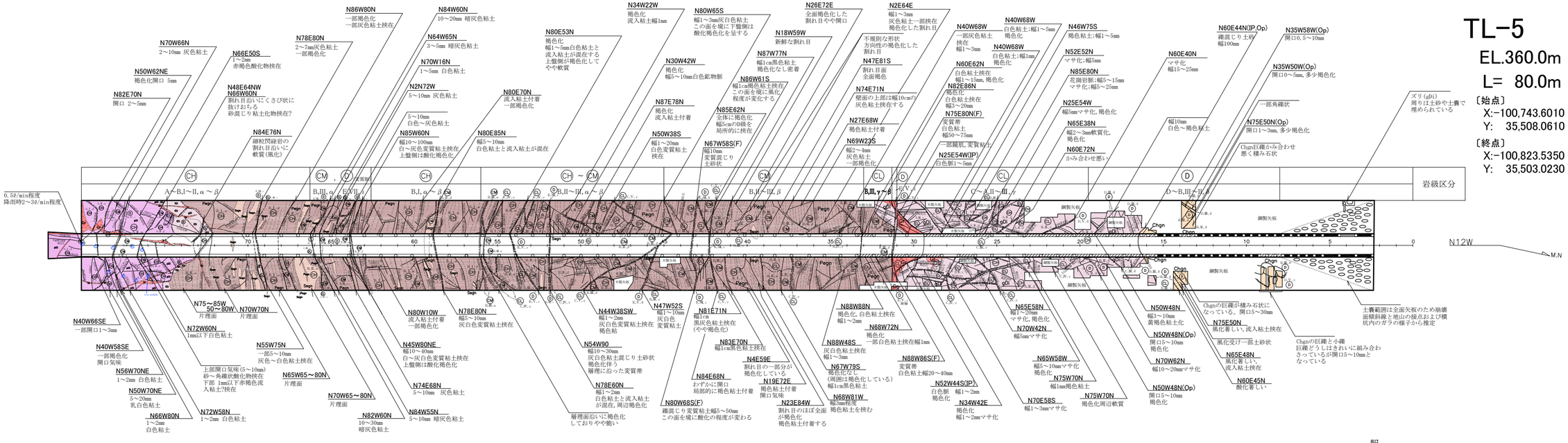
TL-5

EL.360.0m

L= 80.0m

〔始点〕
X:−100,743.6010
Y: 35,508.0610

〔終点〕
X:−100,823.5350
Y: 35,503.0230



等粒状閃緑岩	泥質片麻岩	等粒状閃緑岩	珪質片麻岩
堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。割れ目沿いの酸化による褐色化や硬に割れ目には流入粘土の付着が稀に見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。 一部に細粒閃緑岩、花崗岩が分布する。 湧水が複数箇所で見られ、切羽付近は流れ出る程度。	堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や稀に割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。 所々に砂質片麻岩がアメーバ状に分布する。	堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や稀に割れ目には流入粘土の付着が見られる。 堅岩主体のCH～CM級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 ゆるみの影響が残るCM級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響によるCL級ゾーン。 一部に花崗岩が分布する。	強風化により軟質な岩盤（マサ化）もしくは割れ目沿いのマサ化が見られる。 強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。	岩片は硬質。 強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン（主砂混じり積み石状）。	掘削除去範囲。 全面鋼製矢板。	掘削除去範囲。 珪質片麻岩が露岩する。

凡　例

〈岩級区分〉

D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級(硬さB)
CH	CH	級(硬さA)
B	B	級

〔地質区分〕

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

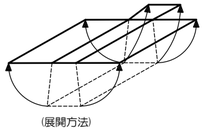
〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

fr: 断裂(幅)
(F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
(MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
(SP) せん断面
(Tj) 引張性割れ目
(Op) 開口性割れ目
(GS) 片麻状構造
(IP) 貫入面
(J) 割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-5横坑展開図（地質）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	84
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

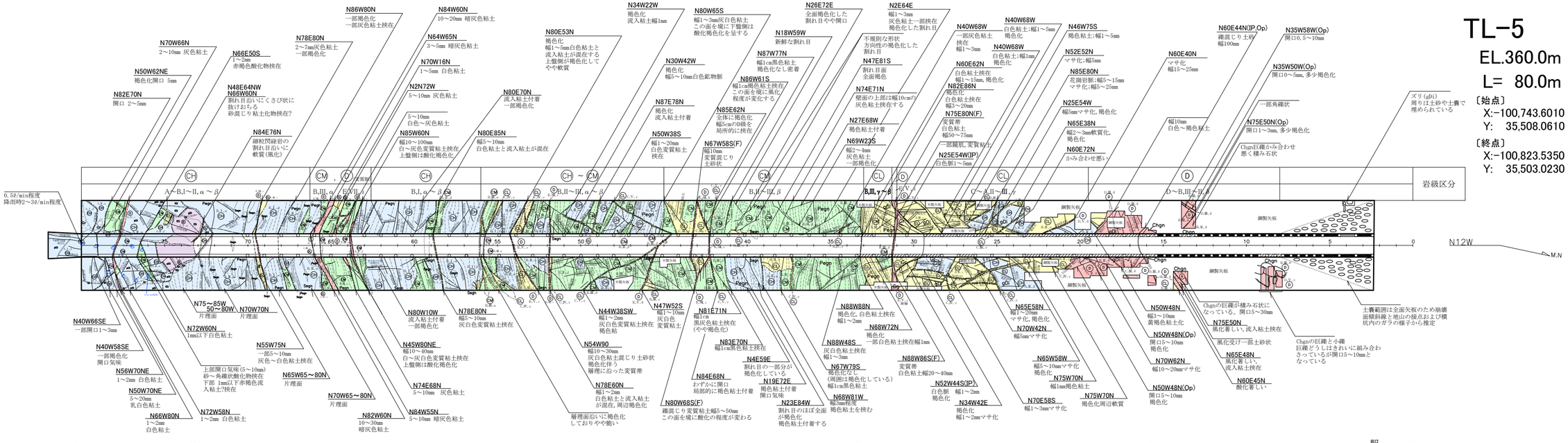
TL-5

EL.360.0m

L= 80.0m

〔始点〕
X:−100,743.6010
Y: 35,508.0610

〔終点〕
X:−100,823.5350
Y: 35,503.0230



堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。割れ目沿いの酸化による褐色化や褐に割れ目には流入粘土の付着が見られる。
堅岩主体のCH級ゾーン。

一部に細粒閃緑岩、花崗岩が分布する。

湧水が複数箇所で見られ、切羽付近は流れ出る程度。

堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や褐に割れ目には流入粘土の付着が見られる。
一部変質による軟質化した箇所が見られる。
堅岩主体のCH級ゾーン。

所々に砂質片麻岩がアメーバ状に分布する。

堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や褐に割れ目には流入粘土の付着が見られる。
堅岩主体のCH～CM級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。
ゆるみの影響が残るCM級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。
ゆるみの影響によるCL級ゾーン。

一部に花崗岩が分布する。

強風化により軟質な岩盤（マサ化）もしくは割れ目沿いのマサ化が見られる。
強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。

岩片は硬質。
強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン（土砂混じり積み石状）。

掘削除去範囲。
全面鋼製矢板。

掘削除去範囲。
珪質片麻岩が露岩する。

凡　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

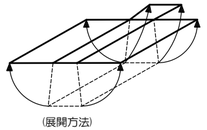
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- D D級
- CL CL級
- CM CM級
- CH CH級(硬さB)
- CH CH級(硬さA)
- B B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr: 断裂(幅)
- (F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
- (MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
- (SP) せん断面
- (Tj) 引張性割れ目
- (Op) 開口性割れ目
- (GS) 片麻状構造
- (IP) 貫入面
- (J) 割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-5横坑展開図（岩級）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	85
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

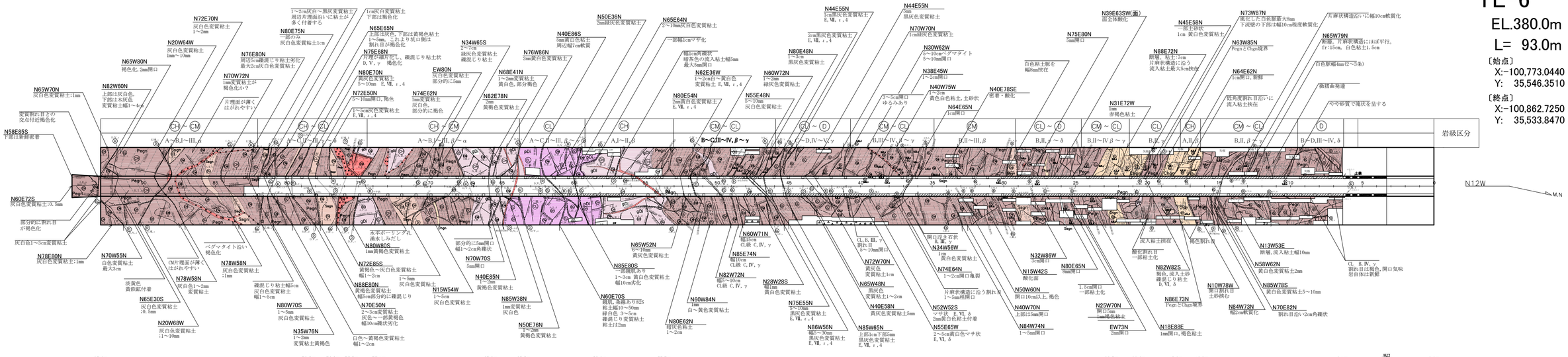
TL-6

EL.380.0m

L= 93.0m

〔始点〕
X:−100,773.0440
Y: 35,546.3510

〔終点〕
X:−100,862.7250
Y: 35,533.8470



堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。部分的に変質により軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。
割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着はほとんど見られない。
堅岩主体のＣＨ～ＣＭ級ゾーン。

一部に砂質片麻岩や花崗岩（ペグマタイト）が分布する。

76～80m付近に浸み出しから水滴程度の湧水が見られる。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所はＣＬ級、他はＣＭ～ＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所はＣＬ級、他はＣＭ～ＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。
堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目が少なくなるが、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き、堅岩主体のＣＭ級ゾーン。

割れ目沿いに流入粘土を挟在し、割れ目の間隔が小さい。
一部Ｄ級岩盤を含むＣＬ級主体ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの風化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。
ゆるみの影響があるＣＬ級とＣＭ級が混在する。

岩片は硬質。
強風化と地表からのゆるみの影響によるＣＬ級主体ゾーン。
片麻状構造にほぼ平行な断層が分布する。

全面鋼製矢板。

凡　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕
- Rd　現河床堆積物
- Tl　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg　礫岩

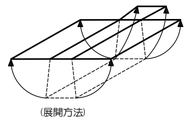
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級(硬さB)
- CH　CH級(硬さA)
- B　B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr：断裂(幅)
- (F)　断層(破砕幅>10cm，粘土>1mm)
- (MF)　小断層(破砕幅<10cm，粘土<1mm)
- (SP)　せん断面
- (Tj)　引張性割れ目
- (Op)　開口性割れ目
- (GS)　片麻状構造
- (IP)　貫入面
- (J)　割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-6横坑展開図（地質）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	86
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

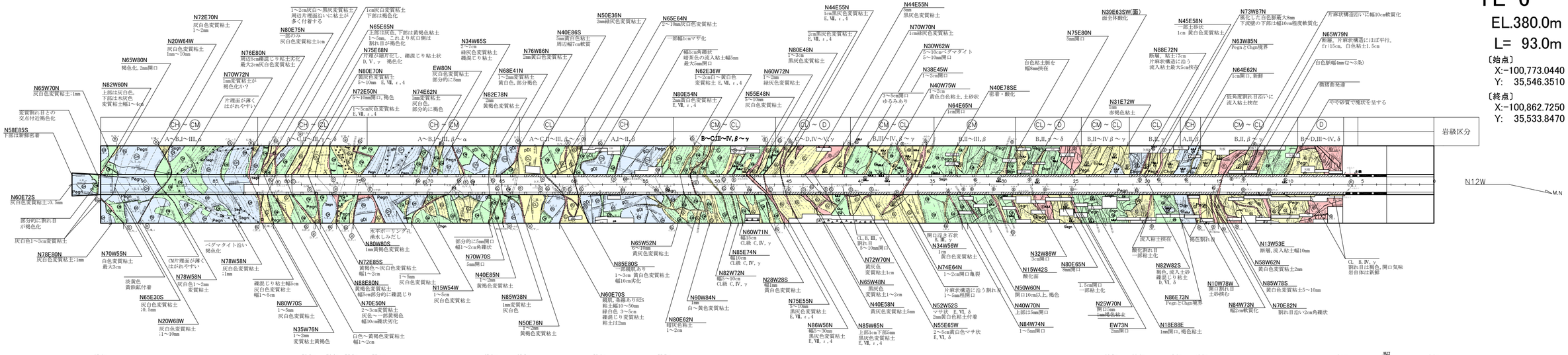
TL-6

EL.380.0m

L= 93.0m

〔始点〕
X:−100,773.0440
Y: 35,546.3510

〔終点〕
X:−100,862.7250
Y: 35,533.8470


岩級区分
N72E70N 灰白色変質粘土 1~2mm
N20W64W 灰白色変質粘土 1mm~10mm
N65W80N 褐色化, 2mm開口
N76E80N 周辺5cm軟質により粘土劣化 最大2cm灰白色変質粘土
N70W72N 1mm変質粘土が褐色化かつ 片理面が薄くはがれやすい
N82W60N 上部は灰白色, 下部は大区色 変質粘土幅1~4cm
N65W70N 灰白色変質粘土:1mm
N58E85S 下部は新鮮密着
N60E72S 灰白色変質粘土:0.5mm
N78E80N 灰白色変質粘土:1mm
N70W55N 白色変質粘土 最大3cm
N65E30S 灰白色変質粘土 :0.5mm
N20W68W 灰白色変質粘土 :1~10mm
N78W58N 灰白色変質粘土 :1mm
N78W58N 灰白色1~2mm 変質粘土
N80W70S 1~5mm 灰白色変質粘土
N35W76N 1~2mm 変質粘土黄褐色
N80E75N 一部のみ 灰白色変質粘土1cm
N65E65N 上部は灰色, 下部は黄褐色粘土 1~5mm, これより坑口側は 割れ目が褐色化
N75E68N 片理が細片化し, 礫混じり粘土状 B, V, γ 褐色化
N80E70N 黄灰色変質粘土 5~10mm E, VII, ε, 4
N72E50N 5~10mm開口, 褐色 1~5cm灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N74E62N 1mm変質粘土 灰白色, 部分的に褐色
N34W65S 2~5cm 緑灰色変質粘土 礫混じり粘土
EW80N 灰白色変質粘土 部分的に5mm
N68E41N 1~2mm変質粘土 黄白色, 部分褐色
N82E78N 2mm 黄褐色変質粘土
N76W86N 2mm黄白色変質粘土
N40E86S 5mm黄白色粘土 周辺幅7cm軟質
N50E36N 2mm緑灰色変質粘土
N65E64N 2~10mm灰白色変質粘土
N62E36W 1~2cm白~黄白色 変質粘土 E, VII, ε, 4
N80E54N 2mm黄白色変質粘土 E, VII, ε, 4
N44E55N 1cm黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N80E48N 1~3cm 黒灰色変質粘土
N60W72N 1~2mm 緑灰色変質粘土
N55E48N 5~10mm 灰白色変質粘土
N44E55N 5mm 黒灰色変質粘土
N70W70N 1cm緑灰色変質粘土
N30W62W 5~10cm~ダマタイト 5~10mm開口
N38E45W 1~2cm開口
N40W75W 1~2cm 黄白色粘土, 土砂状
N64E65N 1cm開口
N40E78SE 密着・酸化
N75E80N 5mm開口
N39E63SW(面) 面全体酸化
N45E58N 一部土砂状 1cm 黄白色変質粘土
N88E72N 断層, 粘土:7cm 片麻状構造に沿う 流入粘土最大5cm挟在
N31E72W 1mm 赤褐色粘土
N73W87N 風化した白色脈最大5mm 下流壁の下部は幅10cm程度軟質化
N63W85N Pegnとの境界
N64E62N 1cm開口, 新鮮
N65W79N 断層, 片麻状構造にほぼ平行。 fr:15cm, 白色粘土1.5cm
白色脈幅4mm(2~3本)
節理面発達
低角度割れ目沿いに 流入粘土挟在
やや砂質で礫状を呈する
N12W
M,N
N70W55N 白色変質粘土 最大3cm
淡黄色 黄鉄鉱付着
N78W58N ペグマタイト沿い 褐色化
CM片理面が薄くはがれやすい
N78W58N 灰白色1~2mm 変質粘土
礫混じり粘土幅5cm 灰白色変質粘土 幅1~5cm
白色~黄褐色変質粘土 幅1~2cm
太平ボーリング孔 湧水しみだし
N80W80S 1mm黄褐色変質粘土
N72E85S 黄褐色~灰白色変質粘土 幅1~2cm
N88E80N 黄褐色変質粘土 幅5cm部分的に礫混じり
N70E50N 2~5cm変質粘土 灰色~一部黄褐色 幅10cm礫状劣化
N15W54W 1~5cm 灰白色変質粘土
部分的に5mm開口 幅1~2cm角礫状
N70W70S 5mm開口
N40E85N 1~2mm 黄褐色変質粘土
N85W38N 1mm変質粘土 灰白色
N50E76N 1~2mm 黄褐色変質粘土
N65W52N 0~1mm 黄灰色変質粘土
N85E80S 一部脱気あり 1~3cm 黄白色変質粘土 幅10cm劣化
N60E70S 脱気, 気泡あり82s 粘土幅10~50mm 緑白色 2~5cm 礫混じり変質粘土 粘土は2mm
N60W84N 1mm 白~黄色変質粘土
N80E62N 暗灰色粘土 1~2cm
N60W71N 幅15cm CL級 C, IV, γ
N85E74N 幅10cm CL級 C, IV, γ
N82W72N 幅5~10cm CL級 C, IV, γ
N28W28S 幅1mm 黄白色変質粘土
N75E55N 5~10mm 黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N40E58N 黄灰色変質粘土5mm
N86W56N 幅5~30mm 黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N85W65N 上部1cm下部5mm 黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
CL, B, III, γ 割れ目 5~10mm開口
N34W56W 1cm 黄白色変質粘土
N74E64N 1~2cm開口亀裂
N7W70N 黄灰色 変質粘土1cm
N65W48N 黒灰色 変質粘土1~2cm
N52W52S 1~2cm 黄白色粘土付着
N55E65W 2~5cm黄白色マサ状 E, VI, δ
開口浮き石状 K-III,
N7W70N 黄灰色 変質粘土1cm
片麻状構造に沿う割れ目 1~5mm程開口
N32W86W 3cm開口
N15W42S 酸化面
N50W60N 開口10cm以上, 褐色
N40W70N 上部は5mm開口
N84W74N 1~5mm開口
N80E65N 5mm開口
1.5cm開口 一部粘土化
N25W70N 開口5mm 1mm褐色粘土
EW73N 2mm開口
流入粘土挟在
風化割れ目 一部粘土化
N82W82S 褐色, 流入土砂 礫混じり粘土 D, VI, δ
N86E73N Pegnとの境界
N18E88E 1mm開口, 褐色粘土
N10W78W 開口割れ目 土砂状γ
N84W73N 幅2cm軟質化
N13W53E 断層, 流入粘土幅10mm
N58W62N 黄白色変質粘土 1~2mm
N85W78S 黄白色変質粘土5~10mm
N70E82N 割れ目沿い2cm角礫状
CL, B, IV, γ 割れ目は褐色, 開口気味 岩目体は新鮮

93.0m	82.0m	78.5m	76.8m	75.3m	73.4m	67.8m	63.5m	58.2m	53.7m	46.1m	40.7m	22.5m	20.6m	18.0m	16.2m	6.4m	3.2m	0.0m
泥質片麻岩		断層片麻岩	変質片麻岩	等粒状閃緑岩		泥質片麻岩		斑状閃緑岩	等粒状閃緑岩	泥質片麻岩		泥質片麻岩		泥質片麻岩		泥質片麻岩		

堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。部分的に変質により軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。
割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着はほとんど見られない。
堅岩主体のＣＨ~ＣＭ級ゾーン。

一部に砂質片麻岩や花崗岩（ペグマタイト）が分布する。

76～80m付近に浸み出しから水滴程度の湧水が見られる。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所はＣＬ級、他はＣＭ~ＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き、堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。
堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体でもあり、割れ目が少なくなるが、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き、堅岩主体のＣＭ級ゾーン。

割れ目沿いに流入粘土を挟在し、割れ目の間隔が小さい。
一部Ｄ級岩盤を含むＣＬ級主体ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの風化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。
ゆるみの影響があるＣＬ級とＣＭ級が混在する。

岩片は硬質。
強風化と地表からのゆるみの影響によるＣＬ級主体ゾーン。
片麻状構造にほぼ平行な断層が分布する。

全面鋼製矢板。

凡　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tl 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

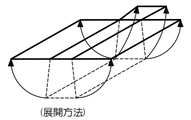
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- D D級
- CL CL級
- CM CM級
- CH CH級(硬さB)
- CH CH級(硬さA)
- B B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr: 断裂(幅)
- (F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
- (MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
- (SP) せん断面
- (Tj) 引張性割れ目
- (Op) 開口性割れ目
- (GS) 片麻状構造
- (IP) 貫入面
- (J) 割れ目(基本的に表示しない)

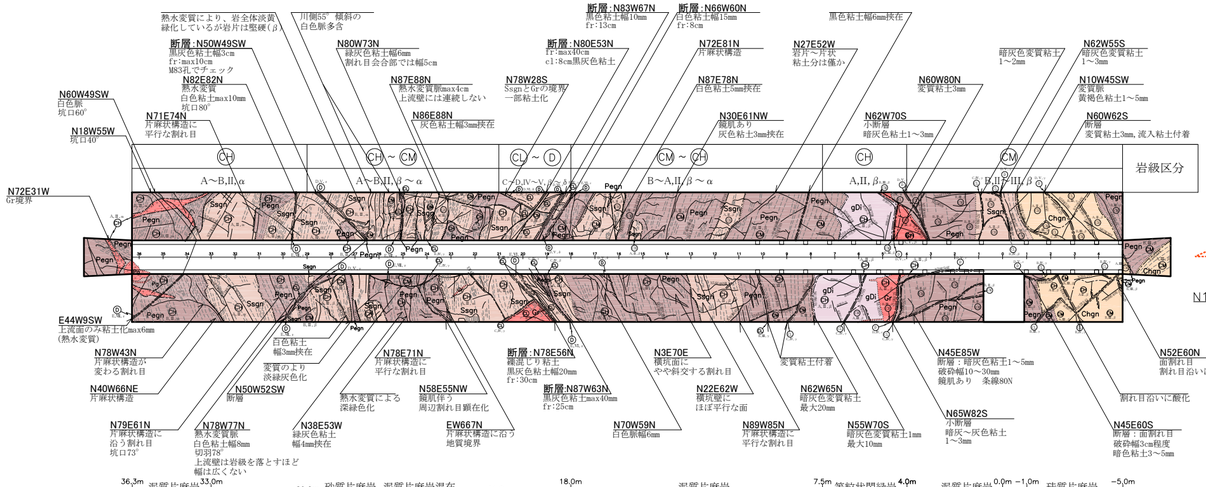

(展開方法)

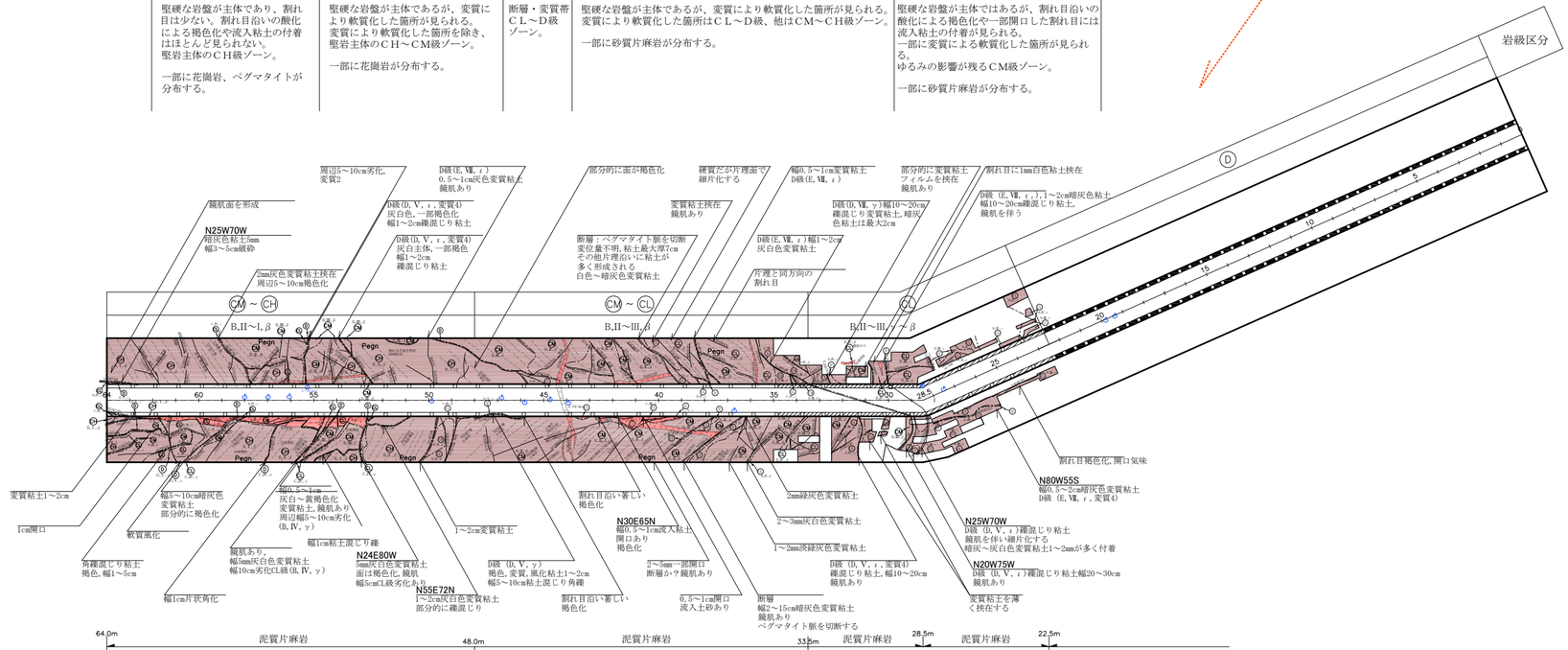
S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-6横坑展開図（岩級）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	87
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

TL-7

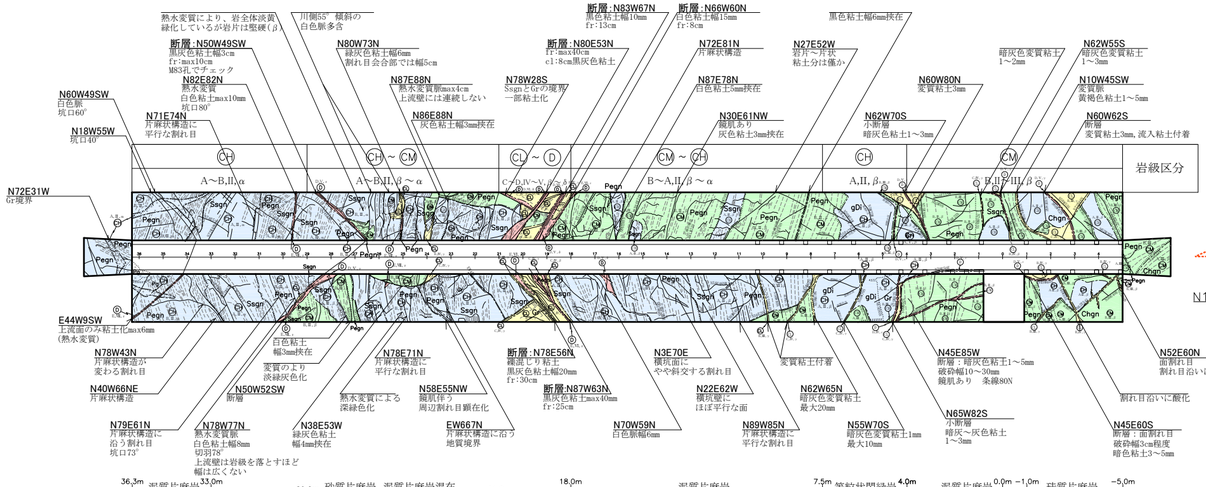
EL.338.0m
L= 105.3m
本坑 41.3m
進入坑 64.0m

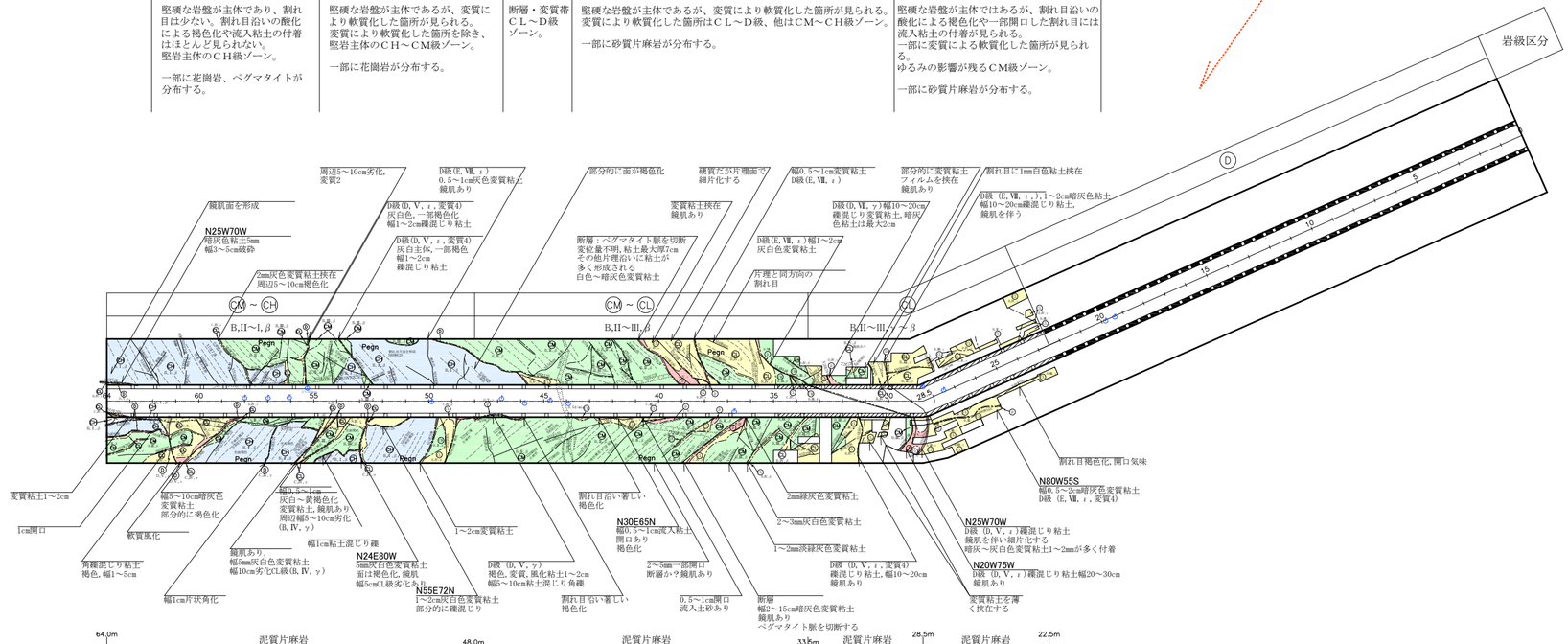


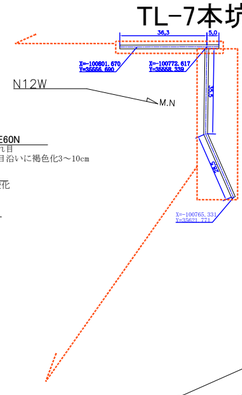

岩級区分
D
CL
CM
CH
B
N25W70W
N80W55S
N30E65N
N24E80W
N55E72N
N20W75W
縞肌面を形成
2mm灰色変質粘土挟在
周辺5～10cm褐色化
変質粘土1～2cm
1cm開口
軟質風化
角礫混じり粘土
褐色, 幅1～5cm
幅1cm片状角化
幅5～10cm暗灰色
変質粘土
部分的に褐色化
幅1cm粘土混じり礫
縞肌あり,
幅5mm灰白色変質粘土
幅10cm劣化CL級(B, Ⅳ, γ)
幅5mmCL級劣化あり
1～2cm変質粘土
割れ目沿い著しい
褐色化
褐色化
2mm緑灰色変質粘土
2～3mm灰白色変質粘土
1～2mm淡緑灰色変質粘土
割れ目褐色化, 開口気味
幅0.5～2cm暗灰色変質粘土
D級 (E, Ⅶ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, ε)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε)
D級 (D, Ⅴ, γ

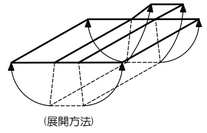
TL-7

EL.338.0m
L= 105.3m
本坑 41.3m
進入坑 64.0m








(展開方法)

凡　　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

	ペグマタイト
	優白質花崗岩
gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

＜岩級区分＞

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級(硬さB)
CH	CH級(硬さA)
B	B級

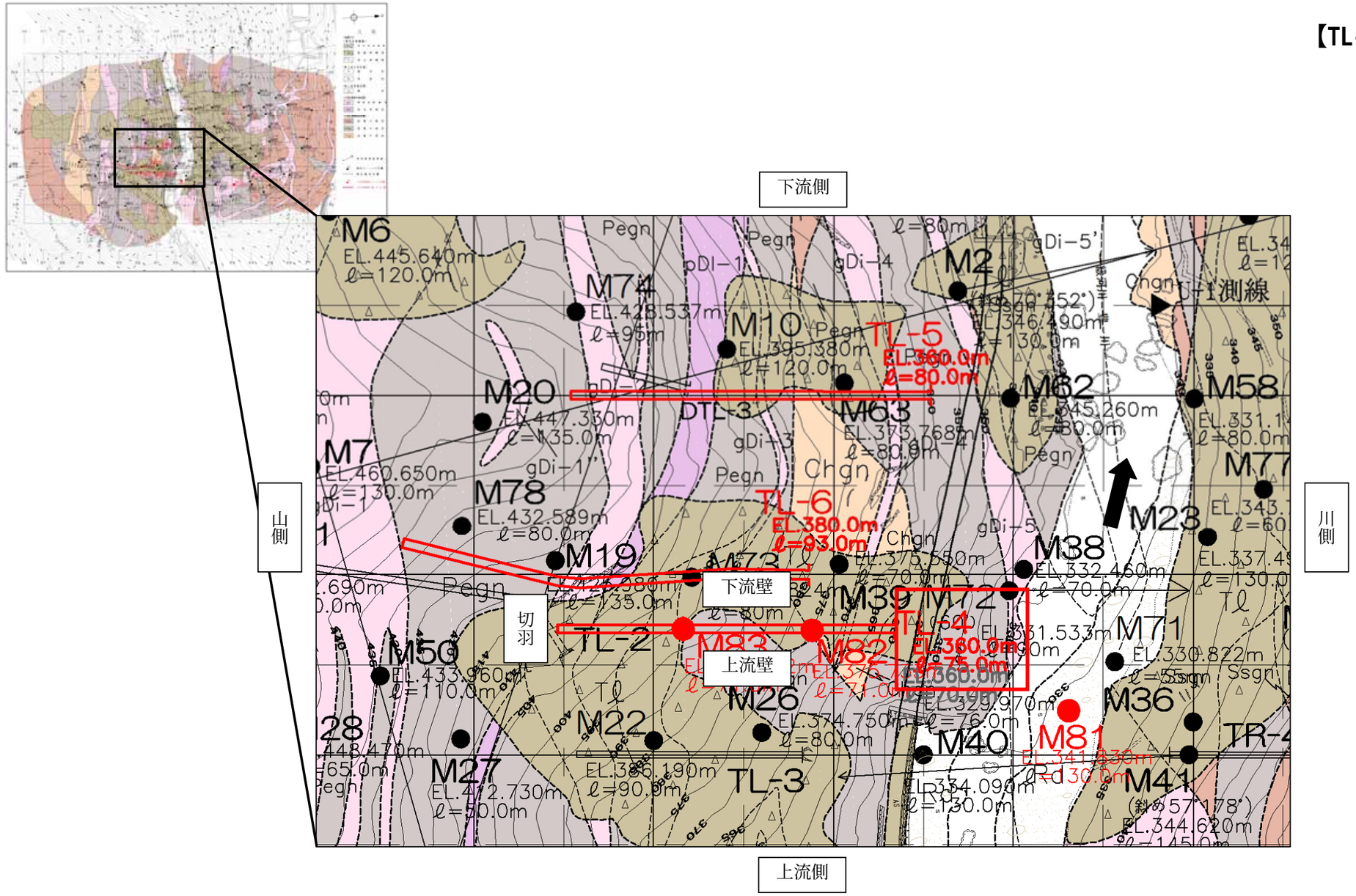
	地質境界	fr:	断裂(幅)
	岩級境界	(F)	断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
	断層	(MF)	小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
	節理	(SP)	せん断面
	片麻状構造	(Tj)	引張性割れ目
	マサ状部	(Op)	開口性割れ目
	矢板(黒塗り部は全面矢板) ☐は鋼製支保,○は木製支保	(GS)	片麻状構造
	湧水箇所	(IP)	貫入面
	片理面の走向・傾斜	(J)	割れ目(基本的に表示しない)
	割れ目の走向・傾斜		

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-7横坑展開図（岩級）		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/100	図面番号	89
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

２．横坑壁連続写真

【TL-4 坑の坑壁連続写真】



TL-4 坑の写真撮影位置図

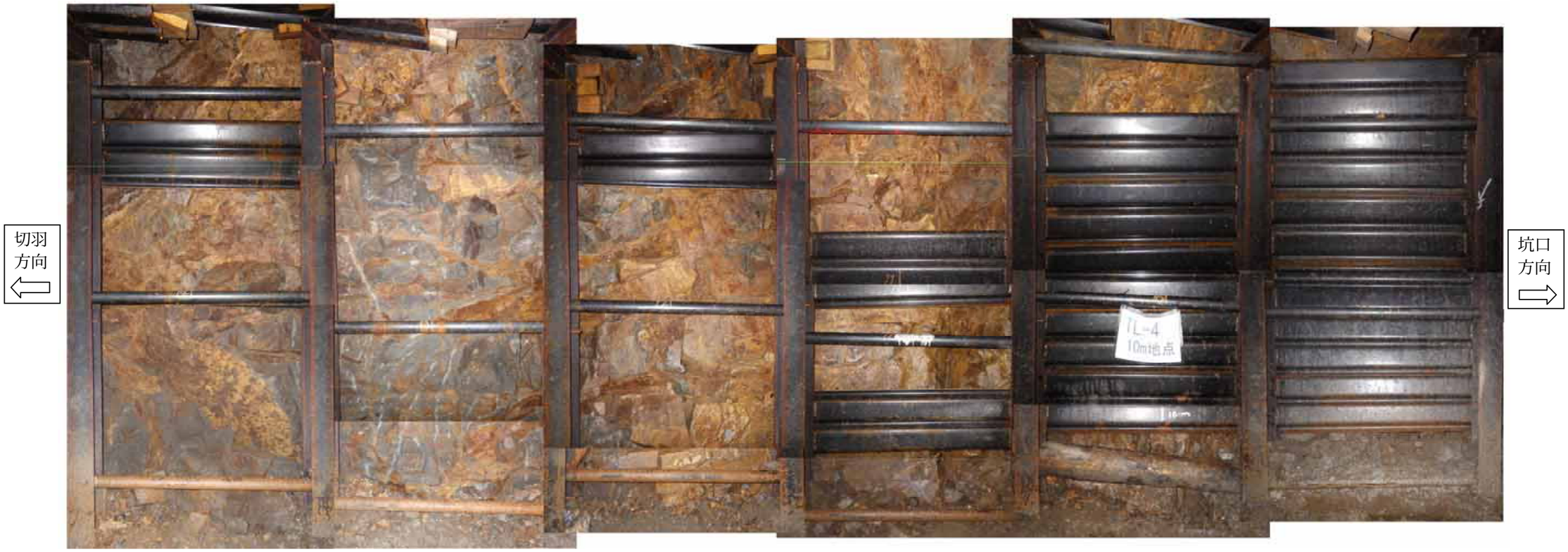
TL-4 下流壁

4-9m



TL-4 下流壁

9-14m



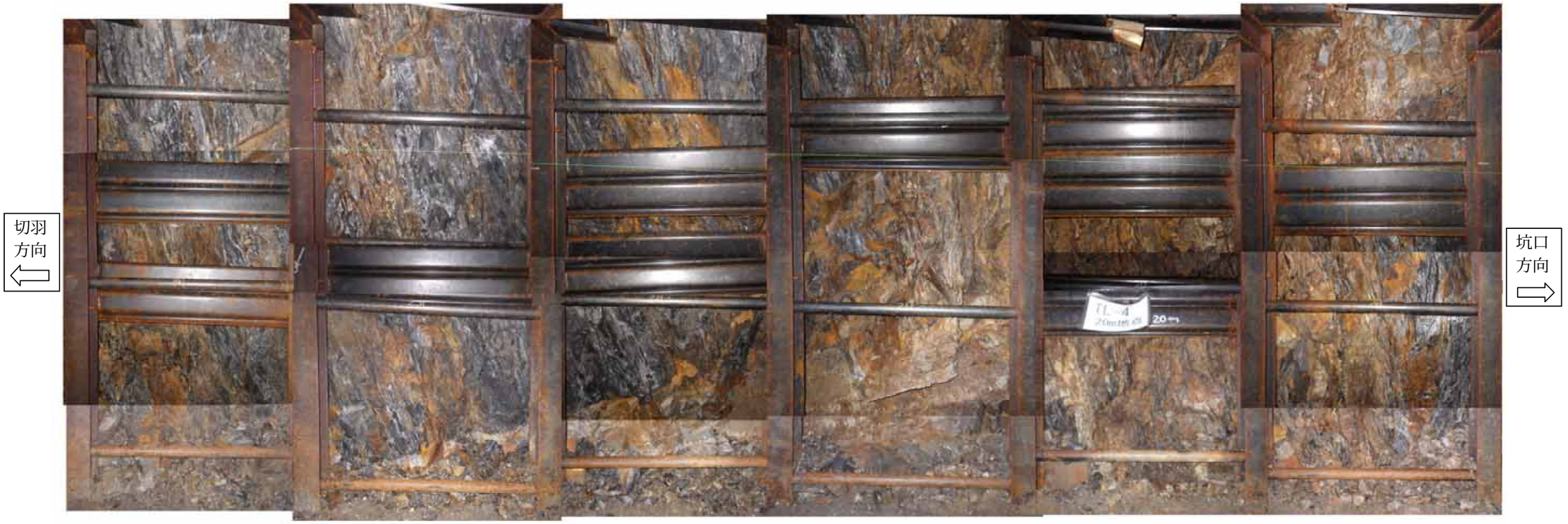
TL-4 下流壁

14-19m



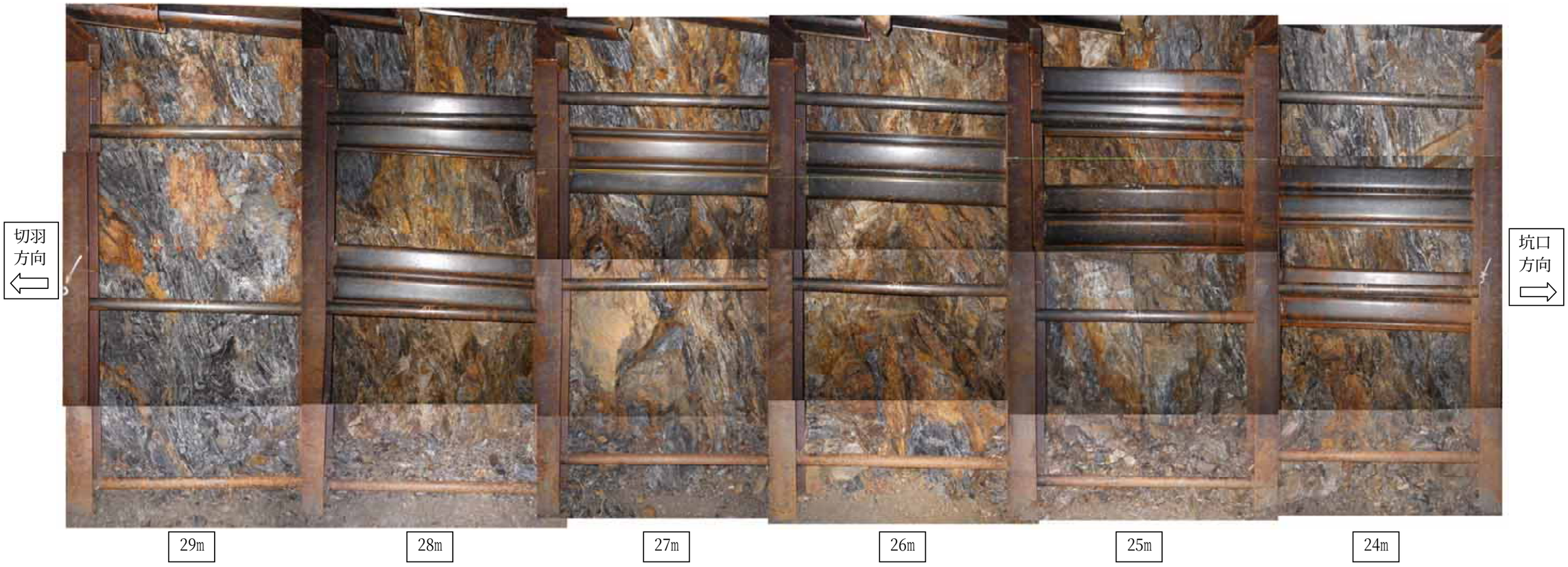
TL-4 下流壁

19-24m



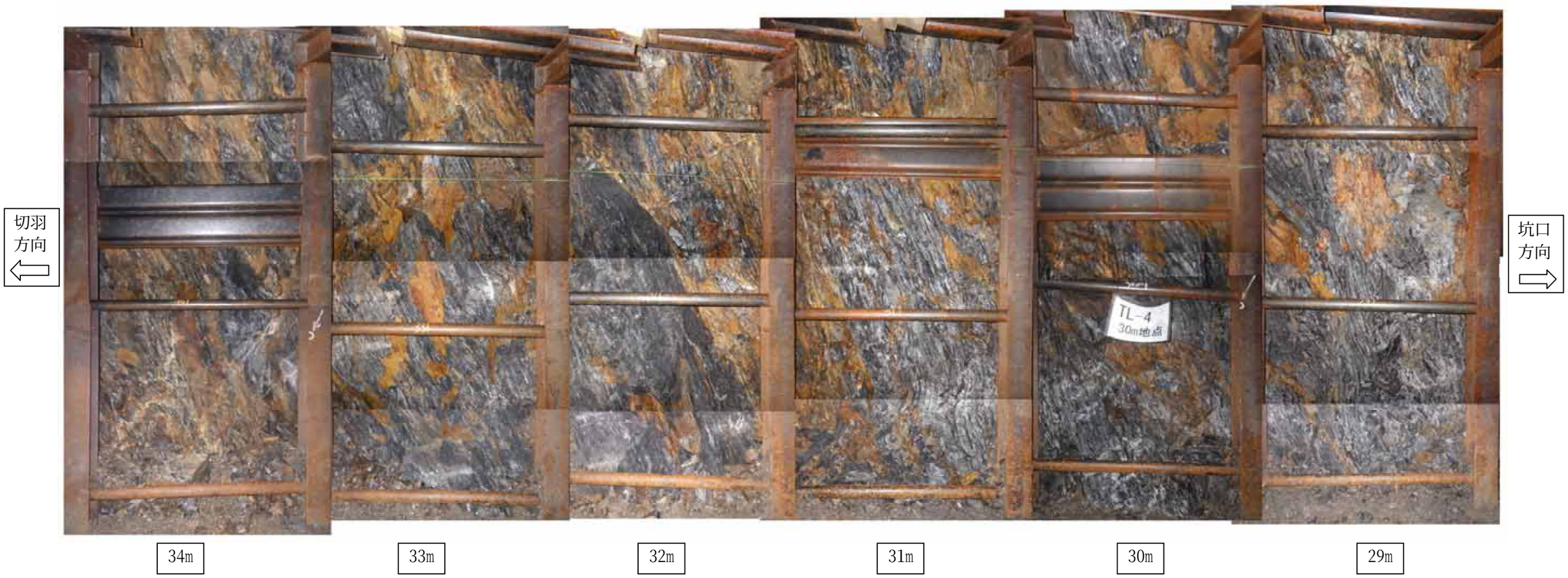
TL-4 下流壁

24-29m



TL-4 下流壁

29-34m



TL-4 下流壁

34-39m



TL-4 下流壁

39-44m



切羽方向

坑口方向

44m　43m　42m　41m　40m　39m

TL-4 下流壁

44-49m



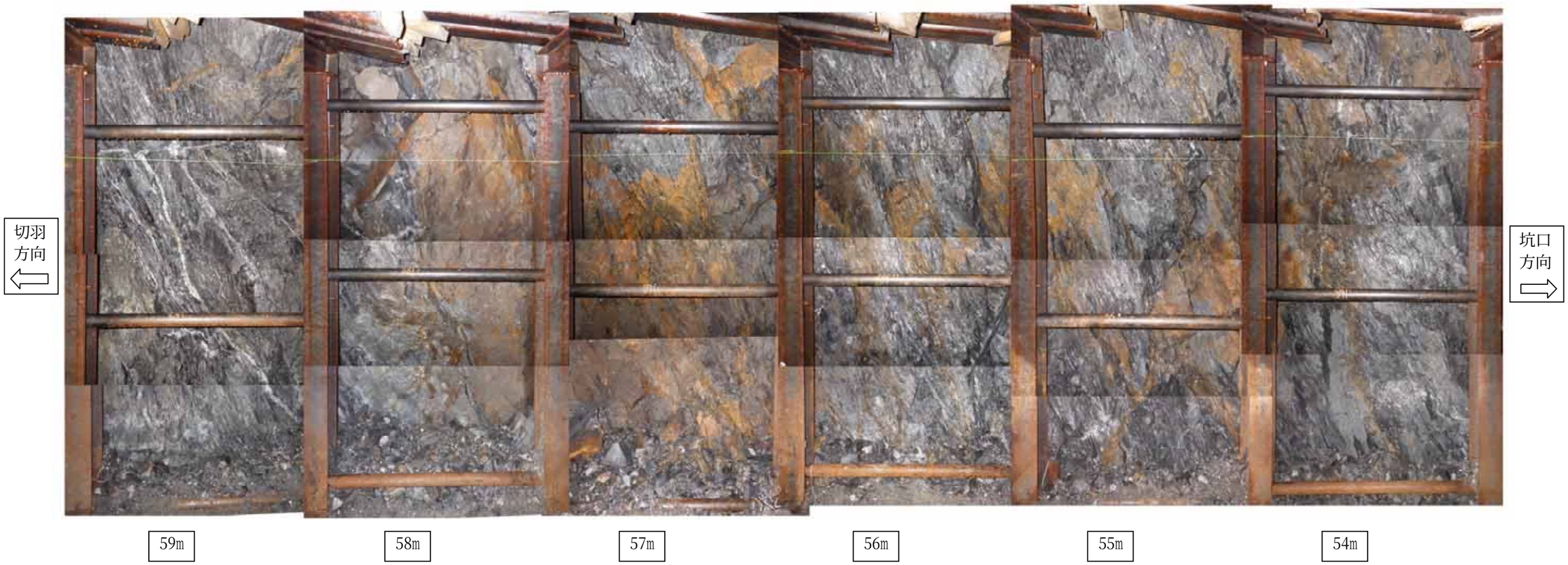
TL-4 下流壁

49-54m



TL-4 下流壁

54-59m



TL-4 下流壁

59-64m



TL-4 下流壁

64-70m



切羽方向 ⇦

坑口方向 ⇨

70m　69m　68m　67m　66m　65m　64m

TL-4 下流壁

70-75m

切羽
方向

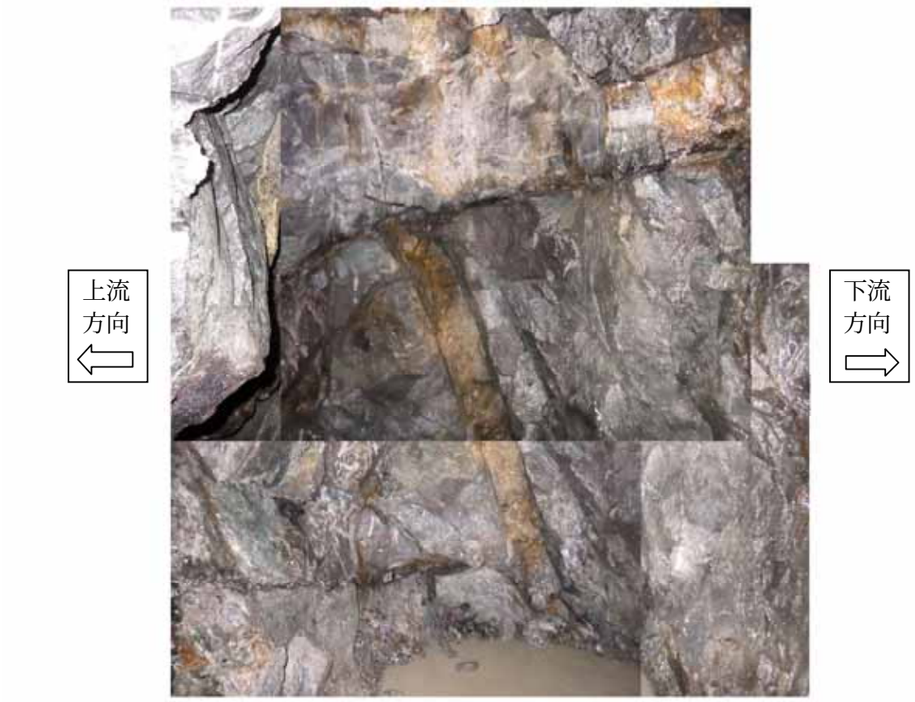


坑口
方向

75m　74m　73m　72m　71m　70m

TL-4 下流壁

75m 切羽



TL-4 上流壁

4-9m



坑口
方向

切羽
方向

4m　5m　6m　7m　8m　9m

TL-4 上流壁

9-14m

坑口
方向
⇦



切羽
方向
⇨

9m　10m　11m　12m　13m　14m

TL-4 上流壁

14-19m



TL-4 上流壁

19-24m

坑口
方向
⇦



切羽
方向
⇨

19m　20m　21m　22m　23m　24m

TL-4 上流壁

24-29m



TL-4 上流壁

29-34m



TL-4 上流壁

34-39m



TL-4 上流壁

39-44m



TL-4 上流壁

44-49m



TL-4 上流壁

49-54m



TL-4 上流壁

54-59m



坑口
方向

切羽
方向

54m　55m　56m　57m　58m　59m

TL-4 上流壁

59-64m



TL-4 上流壁

64-69m



TL-4 上流壁

69-75m

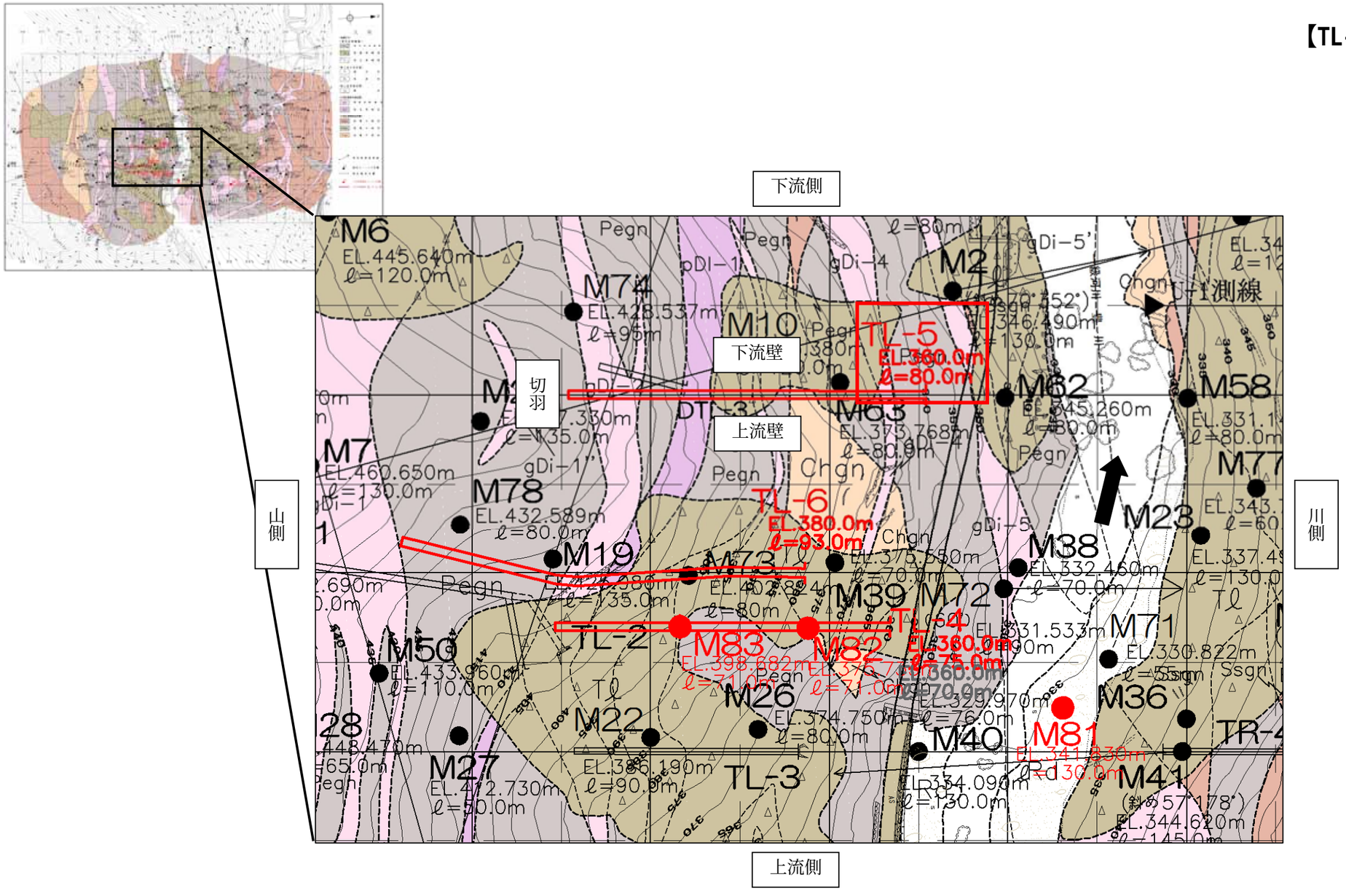


TL-4 上流壁

75m 切羽



【TL-5 坑の坑壁連続写真】



TL-5 坑の写真撮影位置図

TL-5 下流壁

3-8m



TL-5 下流壁

8-13m



TL-5 下流壁

13-17m



TL-5 下流壁

17-22m



22m　21m　20m　19m　18m　17m

TL-5 下流壁

22-27m

切羽
方向
⇦



坑口
方向
⇨

27m　26m　25m　24m　23m　22m

TL-5 下流壁

27-32m



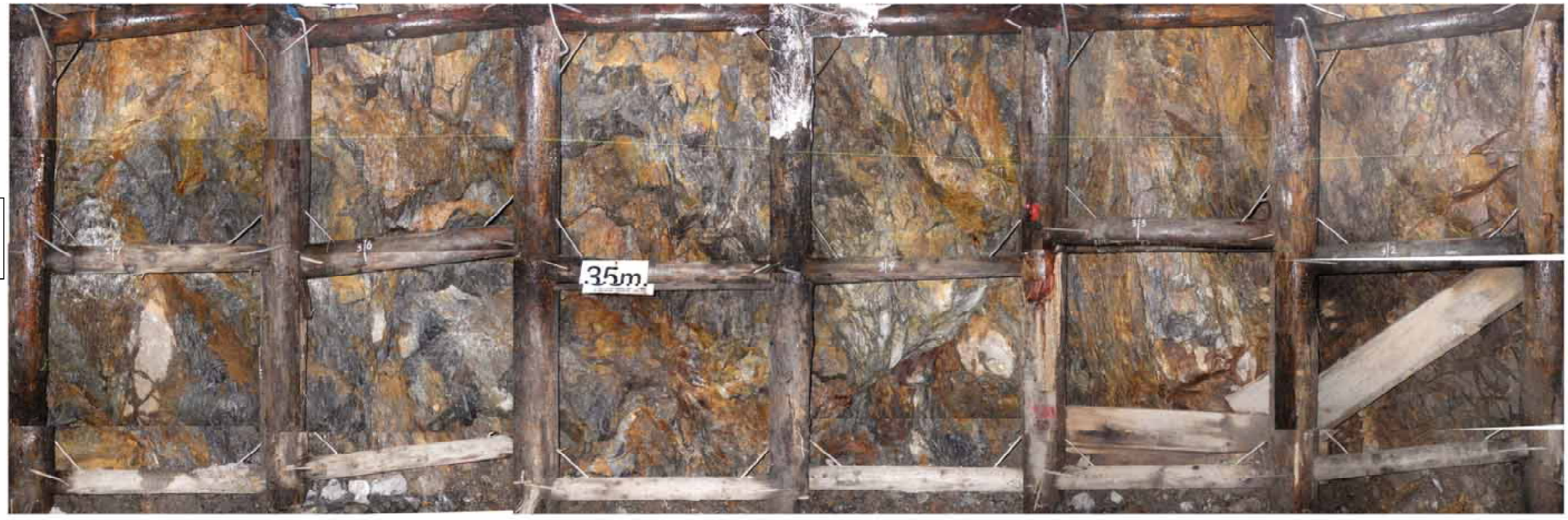
切羽
方向

坑口
方向

32m　31m　30m　29m　28m　27m

TL-5 下流壁

32-37m



37m　36m　35m　34m　33m　32m

TL-5 下流壁

37-42m



TL-5 下流壁

42-47m



TL-5 下流壁

47-52m



TL-5 下流壁

52-56m



TL-5 下流壁

56-61m



TL-5 下流壁

61-66m



TL-5 下流壁

66-71m



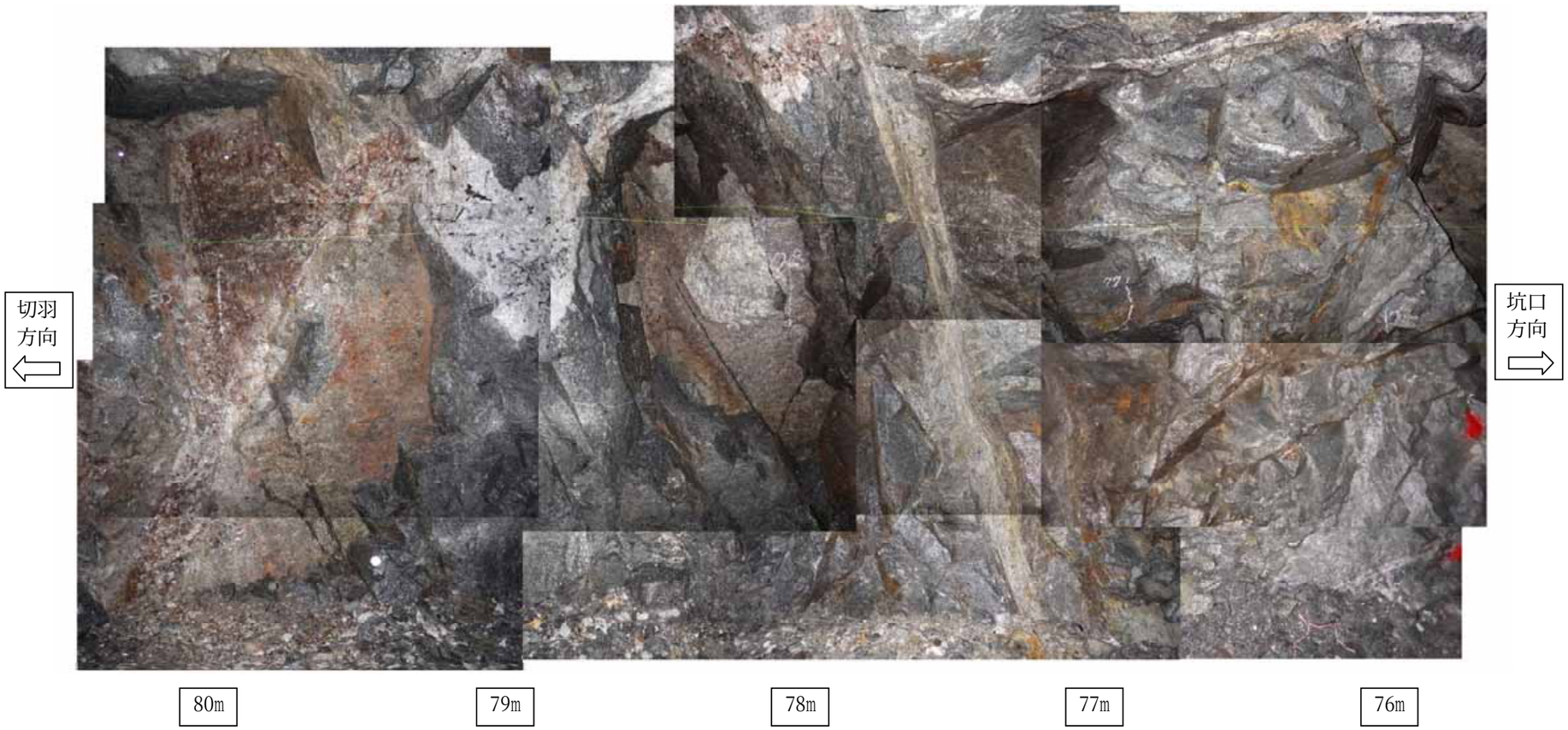
TL-5 下流壁

71-76m



TL-5 下流壁

76-80m



TL-5 下流壁

80m 切羽



TL-5 上流壁

3-8m

坑口
方向
⇦



切羽
方向
⇨

3m　4m　5m　6m　7m　8m

TL-5 上流壁

8-13m



TL-5 上流壁

13-17m

坑口
方向



切羽
方向

13m　14m　15m　16m　17m

TL-5 上流壁

17-22m

坑口
方向



切羽
方向

17m　18m　19m　20m　21m　22m

TL-5 上流壁

22-27m



TL-5 上流壁

27-32m



坑口
方向

切羽
方向

27m　28m　29m　30m　31m　32m

TL-5 上流壁

32-37m



TL-5 上流壁

37-42m



坑口
方向

切羽
方向

37m　38m　39m　40m　41m　42m

TL-5 上流壁

42-47m



TL-5 上流壁

47-52m



TL-5 上流壁

52-57m



TL-5 上流壁

57-62m



TL-5 上流壁

62-67m



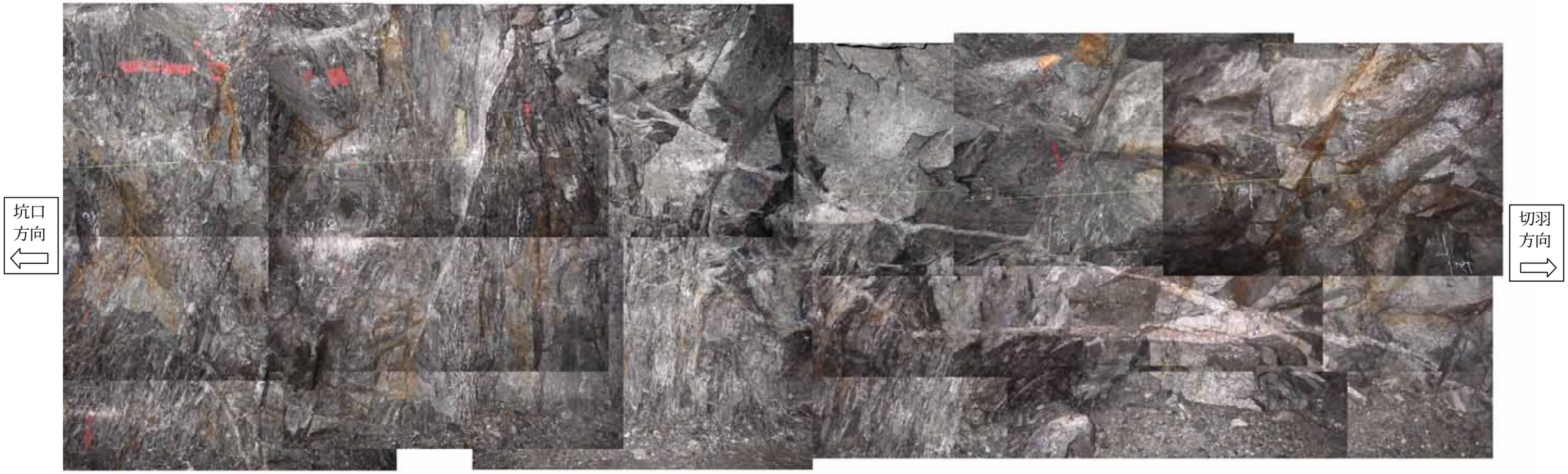
TL-5 上流壁

67-72m



TL-5 上流壁

72-77m



TL-5 上流壁

77-80m

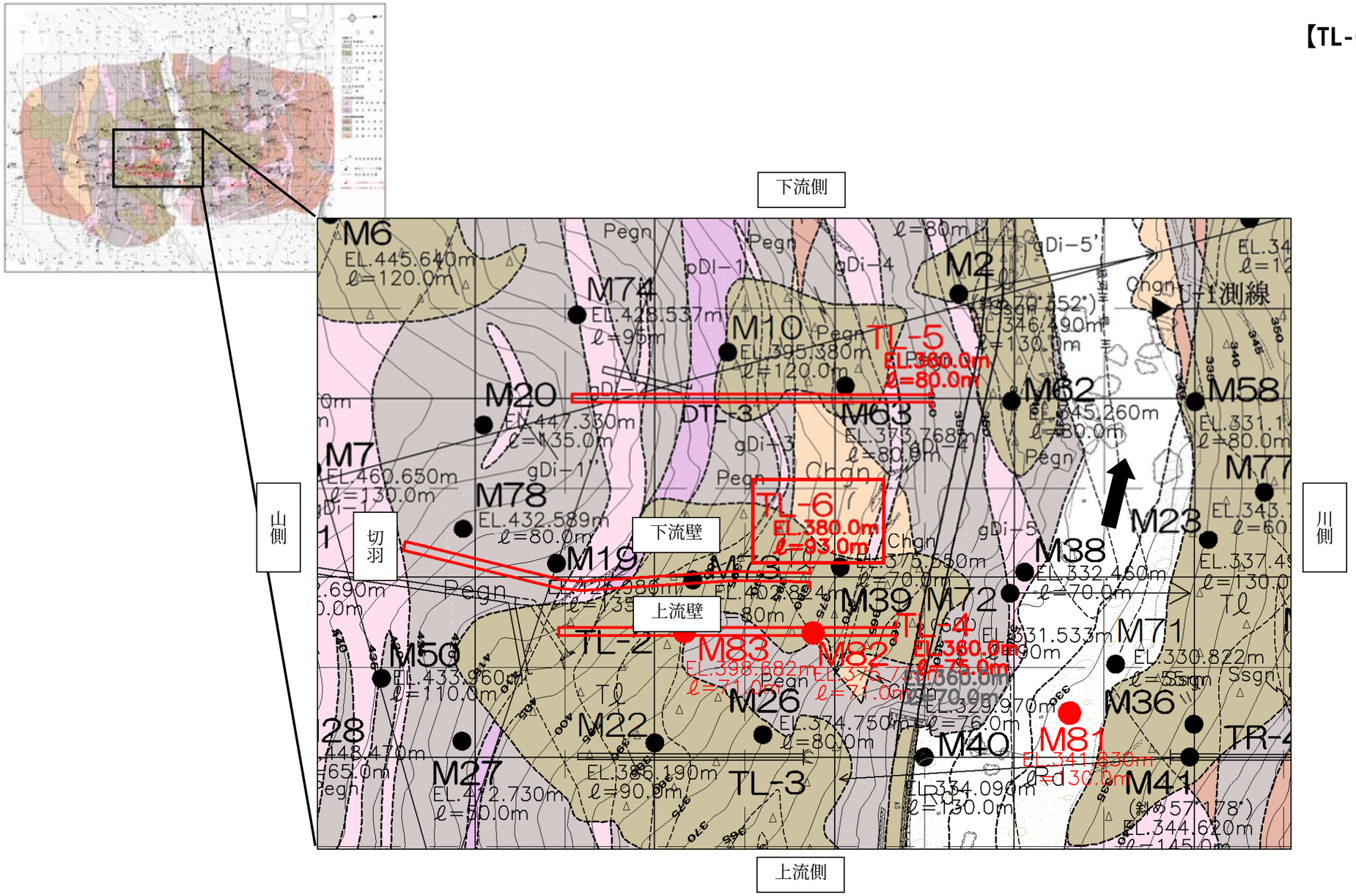


TL-5 上流壁

80m 切羽



【TL-6 坑の坑壁連続写真】

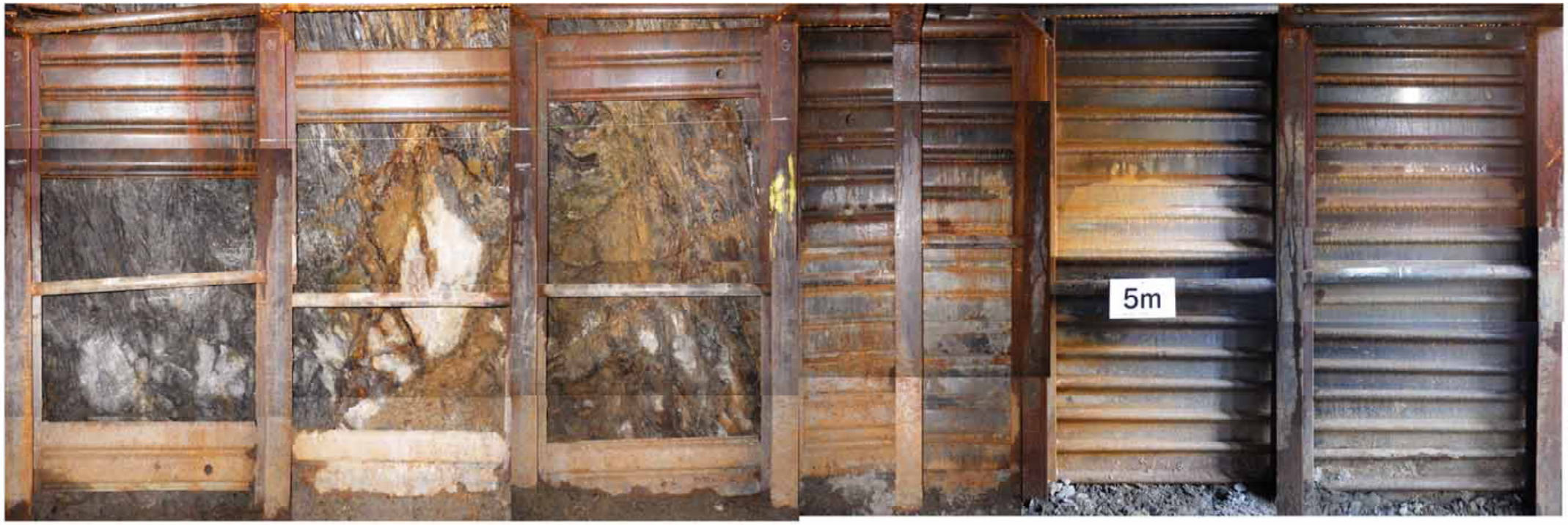


TL-6 坑の写真撮影位置図

TL-6 下流壁

4-9m

切羽
方向
⇦



坑口
方向
⇨

9m　8m　7m　6m　5m　4m

TL-6 下流壁

9-14m

切羽
方向



坑口
方向

14m　13m　12m　11m　10m　9m

TL-6 下流壁

14-19m

切羽
方向



坑口
方向

19m　18m　17m　16m　15m　14m

TL-6 下流壁

19-24m



24m　23m　22m　21m　20m　19m

TL-6 下流壁

24-29m

切羽
方向



坑口
方向

29m　28m　27m　26m　25m　24m

TL-6 下流壁

29-34m

切羽
方向



坑口
方向

34m　33m　32m　31m　30m　29m

TL-6 下流壁

34-39m

切羽
方向



坑口
方向

39m　38m　37m　36m　35m　34m

TL-6 下流壁

39-44m



44m　43m　42m　41m　40m　39m

TL-6 下流壁

44-49m



49m　48m　47m　46m　45m　44m

TL-6 下流壁

49-53m

切羽
方向



坑口
方向

53m　52m　51m　50m　49m

TL-6 下流壁

53-58m



58m　57m　56m　55m　54m　53m

TL-6 下流壁

58-63m

切羽
方向



坑口
方向

63m　62m　61m　60m　59m　58m

TL-6 下流壁

63-68m



TL-6 下流壁

68-73m



TL-6 下流壁

73-78m



切羽
方向

坑口
方向

78m　77m　76m　75m　74m　73m

TL-6 下流壁

78-83m



切羽
方向

坑口
方向

83m　82m　81m　80m　79m　78m

TL-6 下流壁

83-88m



88m　87m　86m　85m　84m　83m

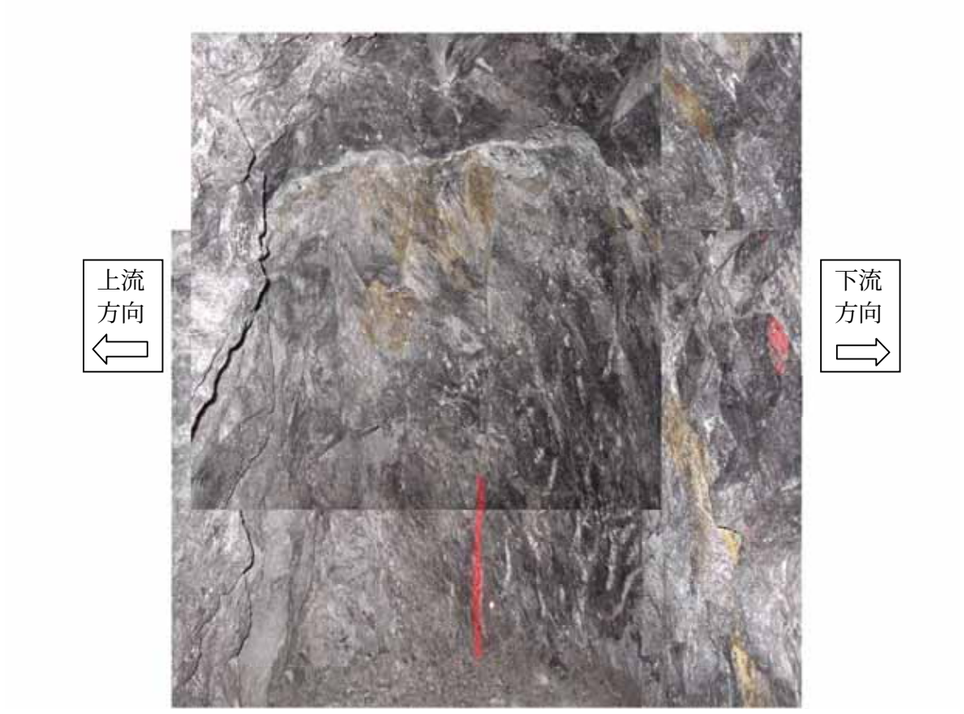
TL-6 下流壁

88-92.7m



TL-6 下流壁

92.7m 切羽



TL-6 上流壁

4-9m



4m　5m　6m　7m　8m　9m

TL-6 上流壁

9-14m



9m　10m　11m　12m　13m　14m

TL-6 上流壁

14-19m



TL-6 上流壁

19-24m



坑口
方向

切羽
方向

19m　20m　21m　22m　23m　24m

TL-6 上流壁

24-29m



坑口
方向

切羽
方向

24m　25m　26m　27m　28m　29m

TL-6 上流壁

29-34m

坑口
方向
⇦



切羽
方向
⇨

29m　30m　31m　32m　33m　34m

TL-6 上流壁

34-39m



TL-6 上流壁

39-44m



TL-6 上流壁

44-49m



TL-6 上流壁

49-53m

坑口
方向
⇦



切羽
方向
⇨

49m　50m　51m　52m　53m

TL-6 上流壁

53-58m

坑口
方向



切羽
方向

53m　54m　55m　56m　57m　58m

TL-6 上流壁

58-63m



TL-6 上流壁

63-68m

坑口
方向



切羽
方向

63m　64m　65m　66m　67m　68m

TL-6 上流壁

68-73m



TL-6 上流壁

73-78m



TL-6 上流壁

78-83m



TL-6 上流壁

83-88m



83m　84m　85m　86m　87m　88m

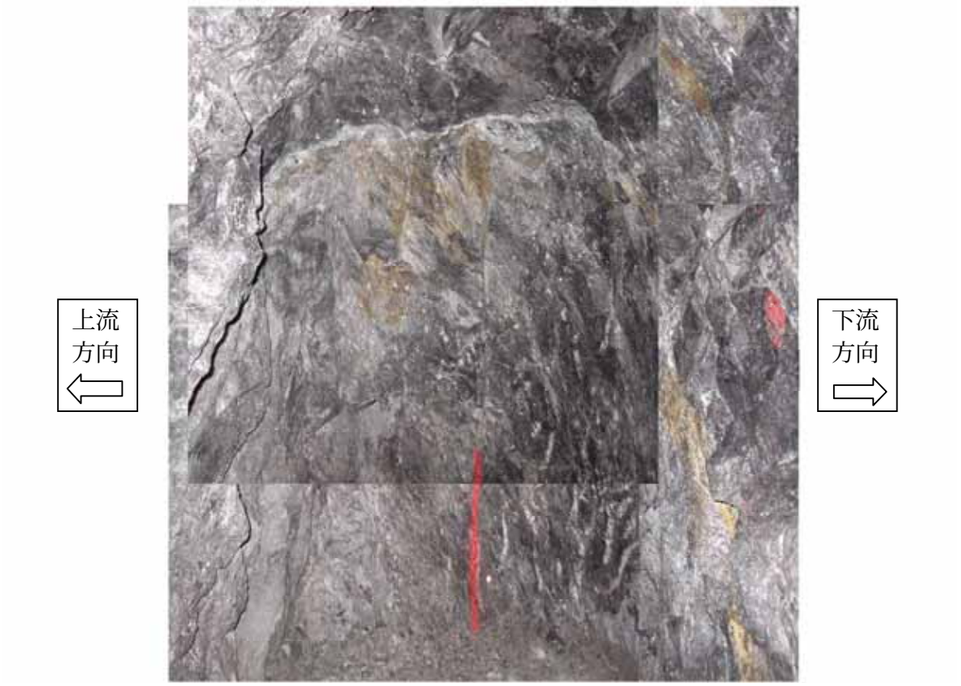
TL-6 上流壁

88-93m

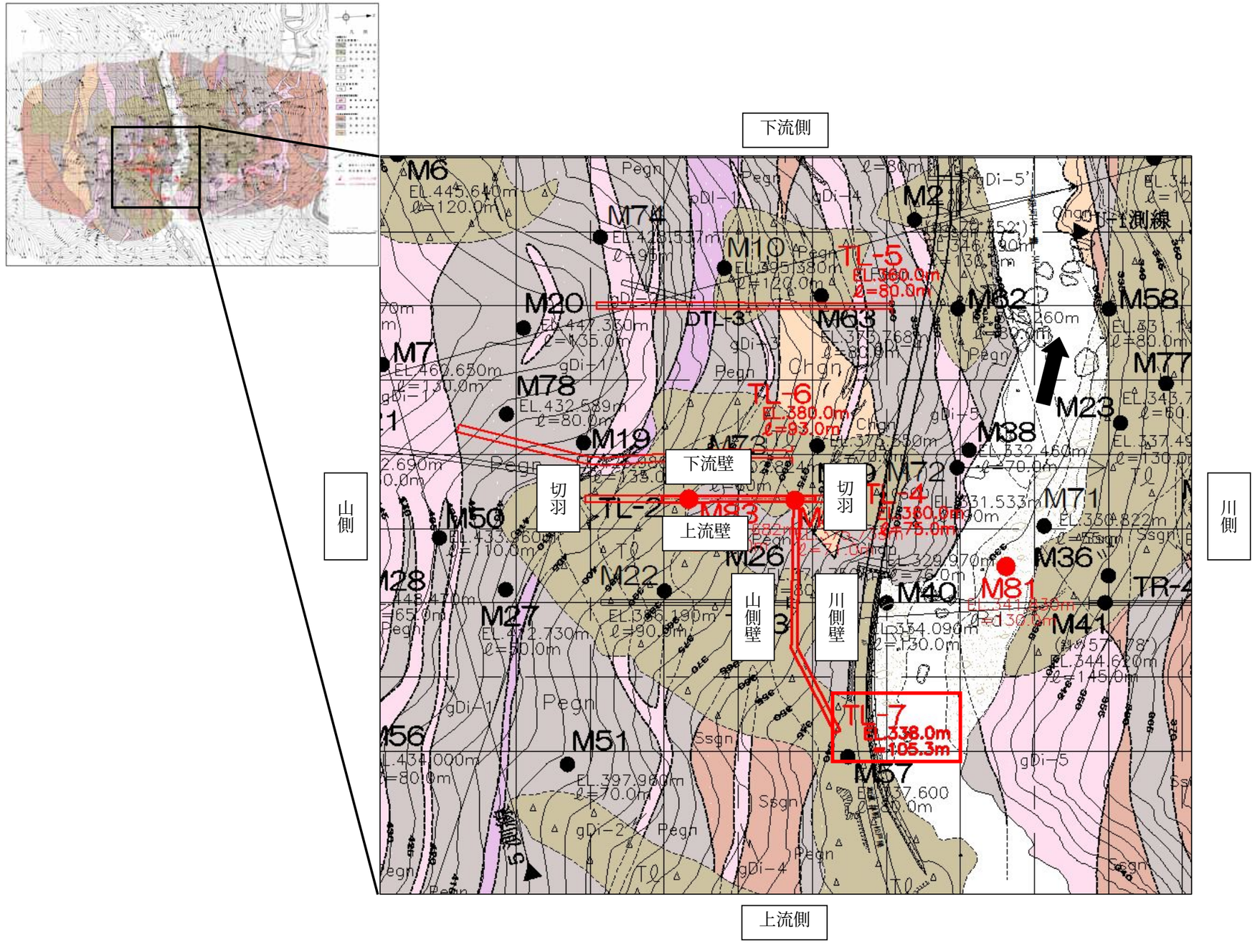


TL-6 上流壁

92.7m 切羽



【TL-7 坑の坑壁連続写真】



TL-7 坑の写真撮影位置図

TL-7 川側壁

0-5m



TL-7 川側壁

5-10m

切羽
方向



坑口
方向

11m　10m　9m　8m　7m　6m　5m

TL-7 川側壁

10-15m



切羽
方向

坑口
方向

16m　15m　14m　13m　12m　11m　10m

TL-7 川側壁

15-20m



TL-7 川側壁

20-25m

切羽
方向



坑口
方向

25m　24m　23m　22m　21m　20m

TL-7 川側壁

25-30m



TL-7 川側壁

30-35m



35m　34m　33m　32m　31m　30m

TL-7 川側壁

35-40m



40m　39m　38m　37m　36m　35m

TL-7 川側壁

40-45m



切羽
方向

坑口
方向

45m　44m　43m　42m　41m　40m

TL-7 川側壁

45-50m

切羽
方向



坑口
方向

50m　49m　48m　47m　46m　45m

TL-7 川側壁

50-55m



TL-7 川側壁

55-60m



60m　59m　58m　57m　56m　55m

TL-7 川側壁

60-63m



TL-7 山側壁

0-5m

坑口
方向



切羽
方向

1m　2m　3m　4m　5m　6m

TL-7 山側壁

5-10m



TL-7 山側壁

10-15m

坑口
方向
⇦



切羽
方向
⇨

10m　11m　12m　13m　14m　15m　16m

TL-7 山側壁

15-20m



坑口
方向

切羽
方向

15m　16m　17m　18m　19m　20m　21m

TL-7 山側壁

20-25m



TL-7 山側壁

25-30m

坑口
方向



切羽
方向

25m　26m　27m　28m　29m　30m

TL-7 山側壁

30-35m

坑口
方向



切羽
方向

30m　31m　32m　33m　34m　35m

TL-7 山側壁

35-40m



TL-7 山側壁

40-45m



40m　41m　42m　43m　44m　45m

TL-7 山側壁

45-50m

坑口
方向



切羽
方向

45m　46m　47m　48m　49m　50m

TL-7 山側壁

50-55m



TL-7 山側壁

55-60m



TL-7 山側壁

60-63m



坑口
方向
⇦

切羽
方向
⇨

60m　61m　62m　63m

TL-7 下流壁

-5-0m



0m　-1m　-2m　-3m　-4m

TL-7 下流壁

0-5m



TL-7 下流壁

5-10m

山側
方向



川側
方向

11m　10m　9m　8m　7m　6m

TL-7 下流壁

10-15m

山側
方向
⇦



川側
方向
⇨

16m　15m　14m　13m　12m　11m

TL-7 下流壁

15-20m



21m　20m　19m　18m　17m　16m

TL-7 下流壁

21-25m



TL-7 下流壁

25-30m



TL-7 下流壁

30-35m



山側
方向

川側
方向

36m

35m

34m

33m

32m

31m

TL-7 下流壁

-5.0m,36.0m 切羽

下流
方向



上流
方向

-5.0m

上流
方向



下流
方向

36.0m

TL-7 上流壁

-5-0m

川側
方向



山側
方向

-1～0m
アクセス坑

-5m

-4m

-3m

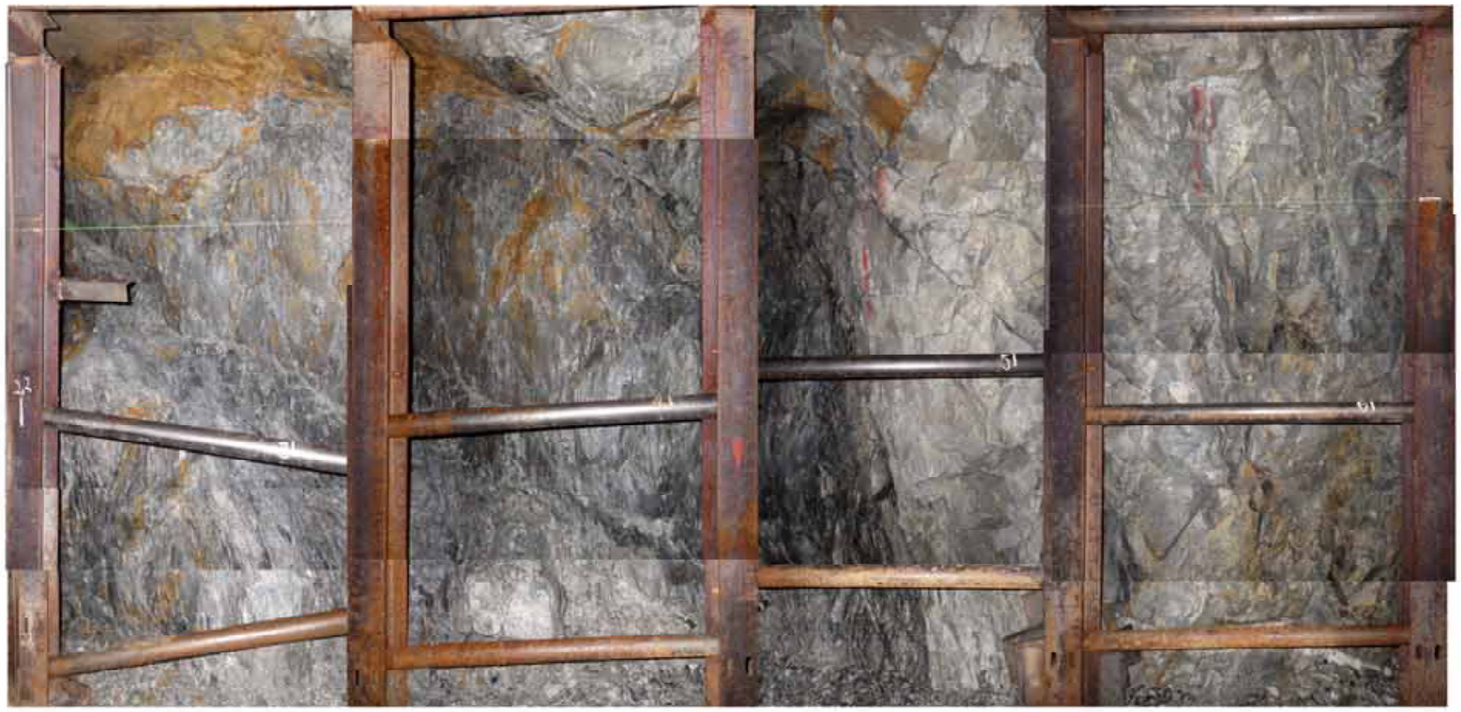
-2m

TL-7 上流壁

0-5m

0～2.2m
アクセス坑

川側
方向



山側
方向

2m　3m　4m　5m　6m

TL-7 上流壁

5-10m



TL-7 上流壁

10-15m



TL-7 上流壁

15-20m



TL-7 上流壁

20-25m



TL-7 上流壁

25-30m



TL-7 上流壁

30-35m



TL-7 上流壁

-5.0m,36.0m 切羽

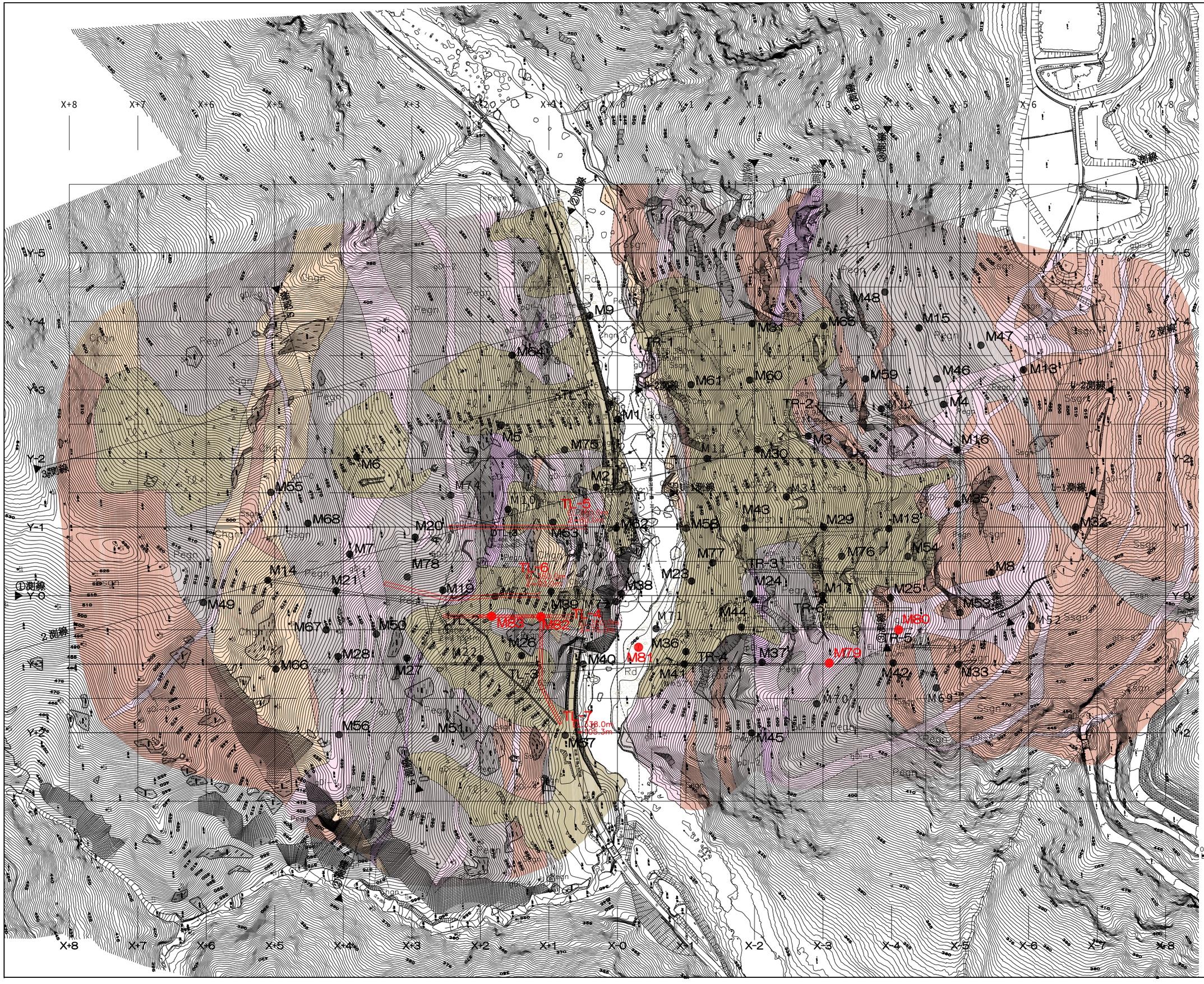


-5.0m

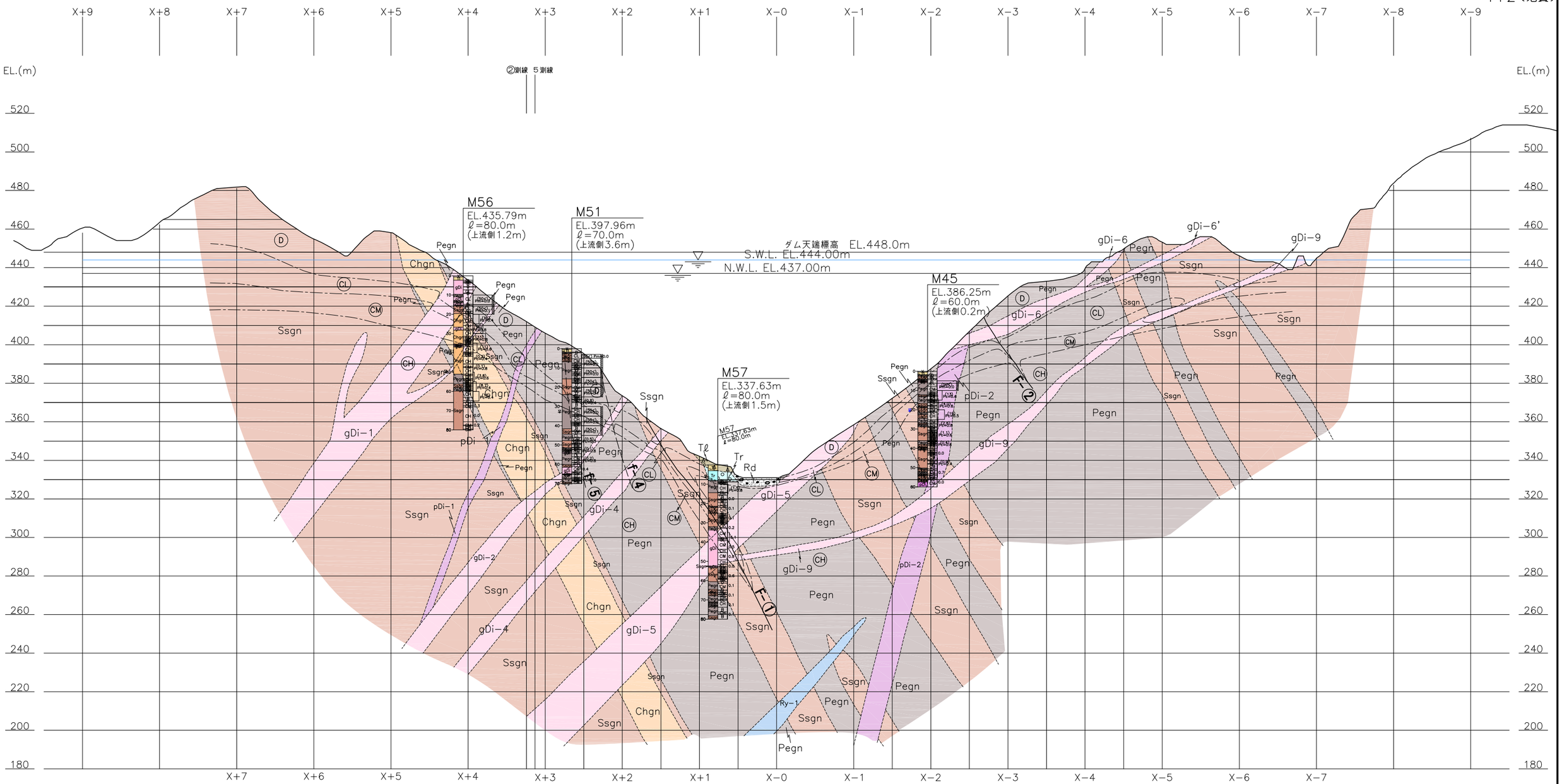


36.0m

３．ダムサイト図面集



業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	ダムサイト地質平面図		
年月	平成29年3月		
尺度	1/1,000	図面番号	1
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

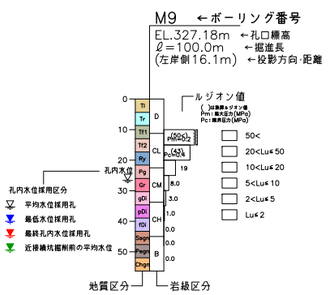
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

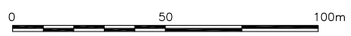
岩級境界

断層（破線部は推定）

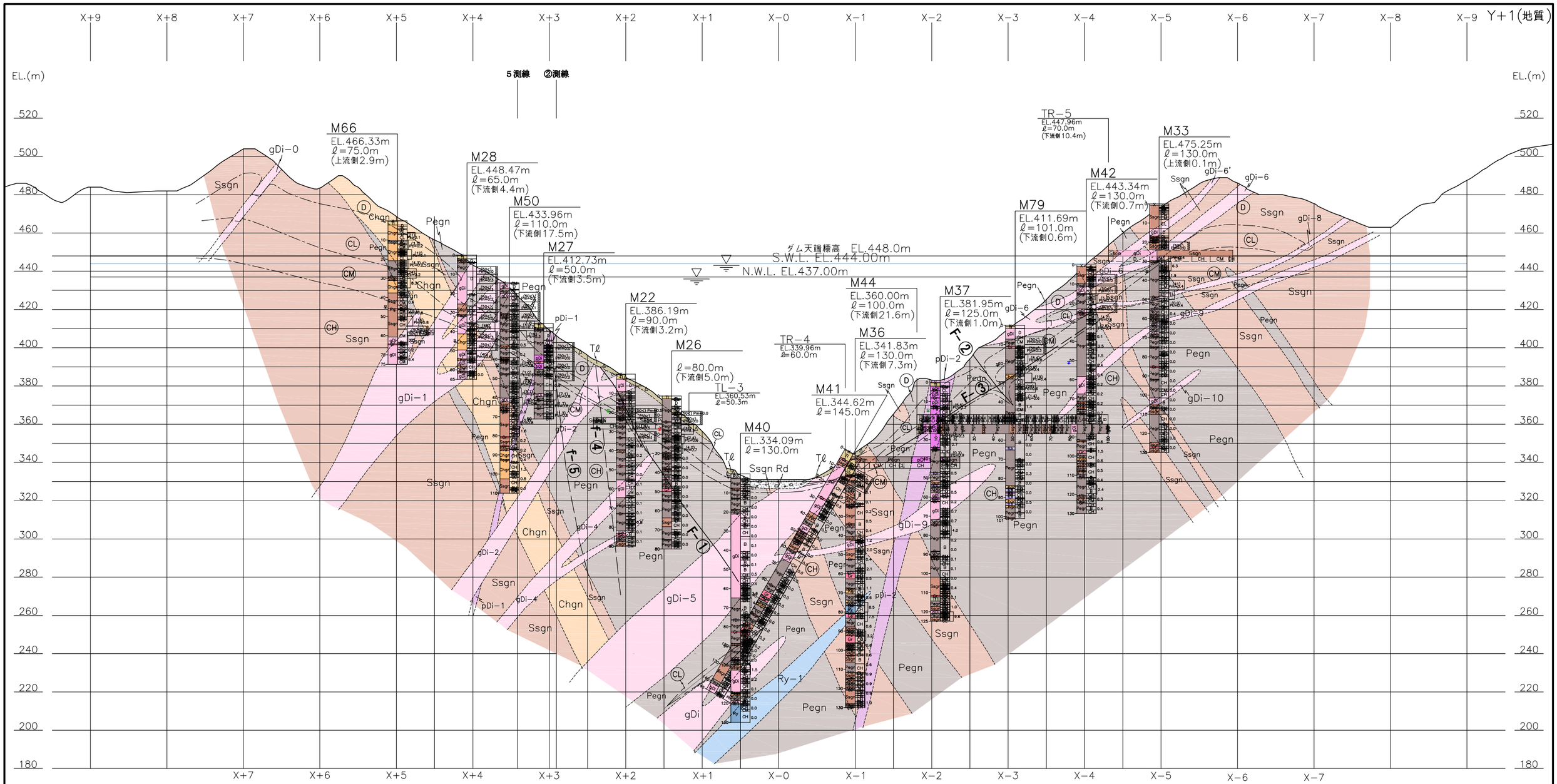
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y＋2　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	2
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

（第三紀火成岩類）

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

（第三紀堆積岩類）

Cg	礫岩	

（白亜紀領家花崗岩類）

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

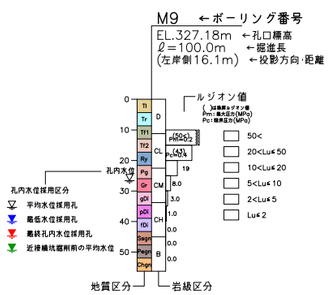
地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級

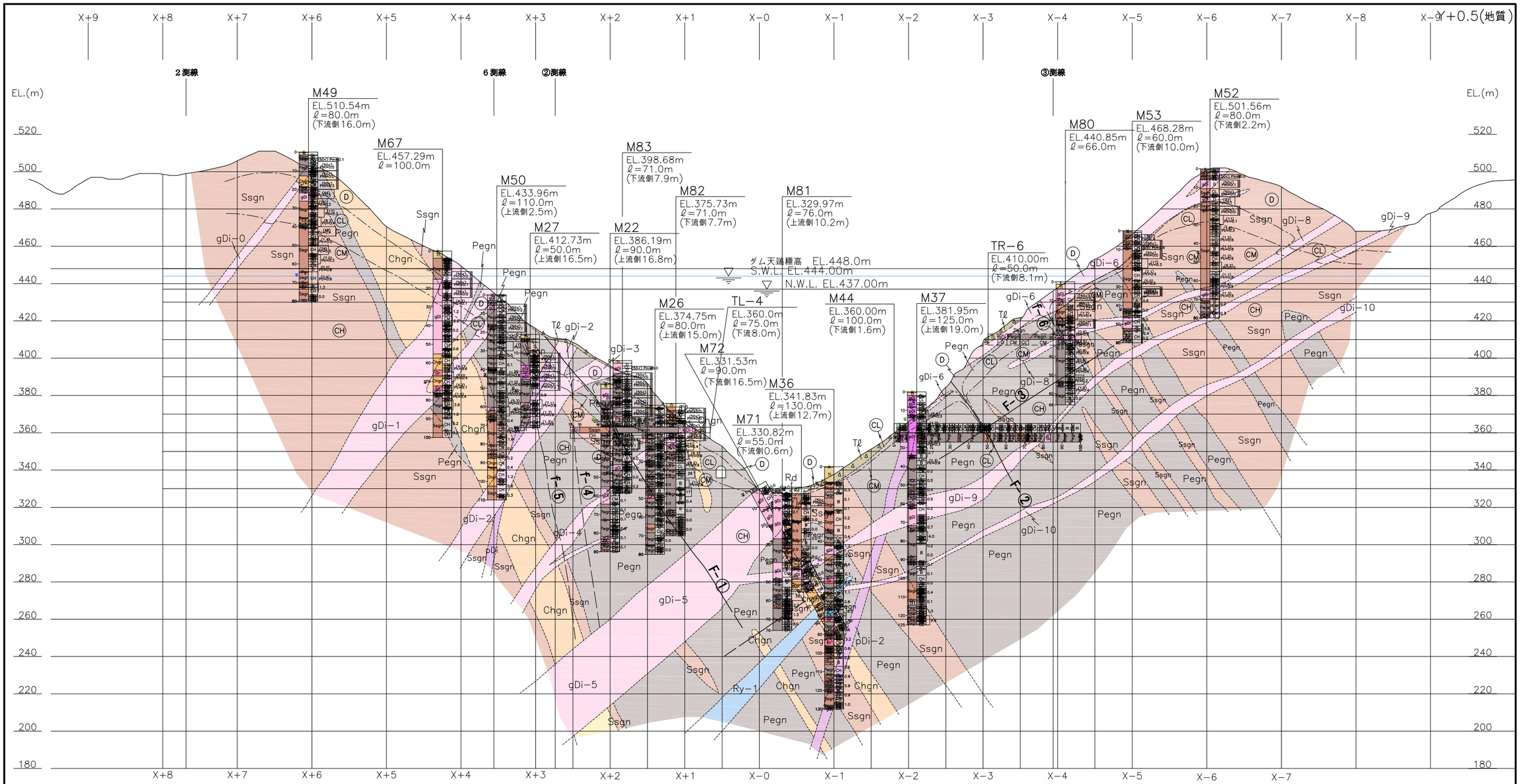


S=1/1,000

0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y＋1　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	3
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y+1(地質)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

地質境界

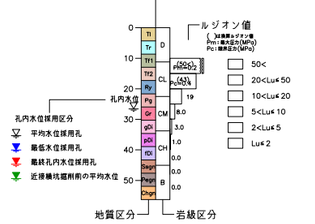
岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

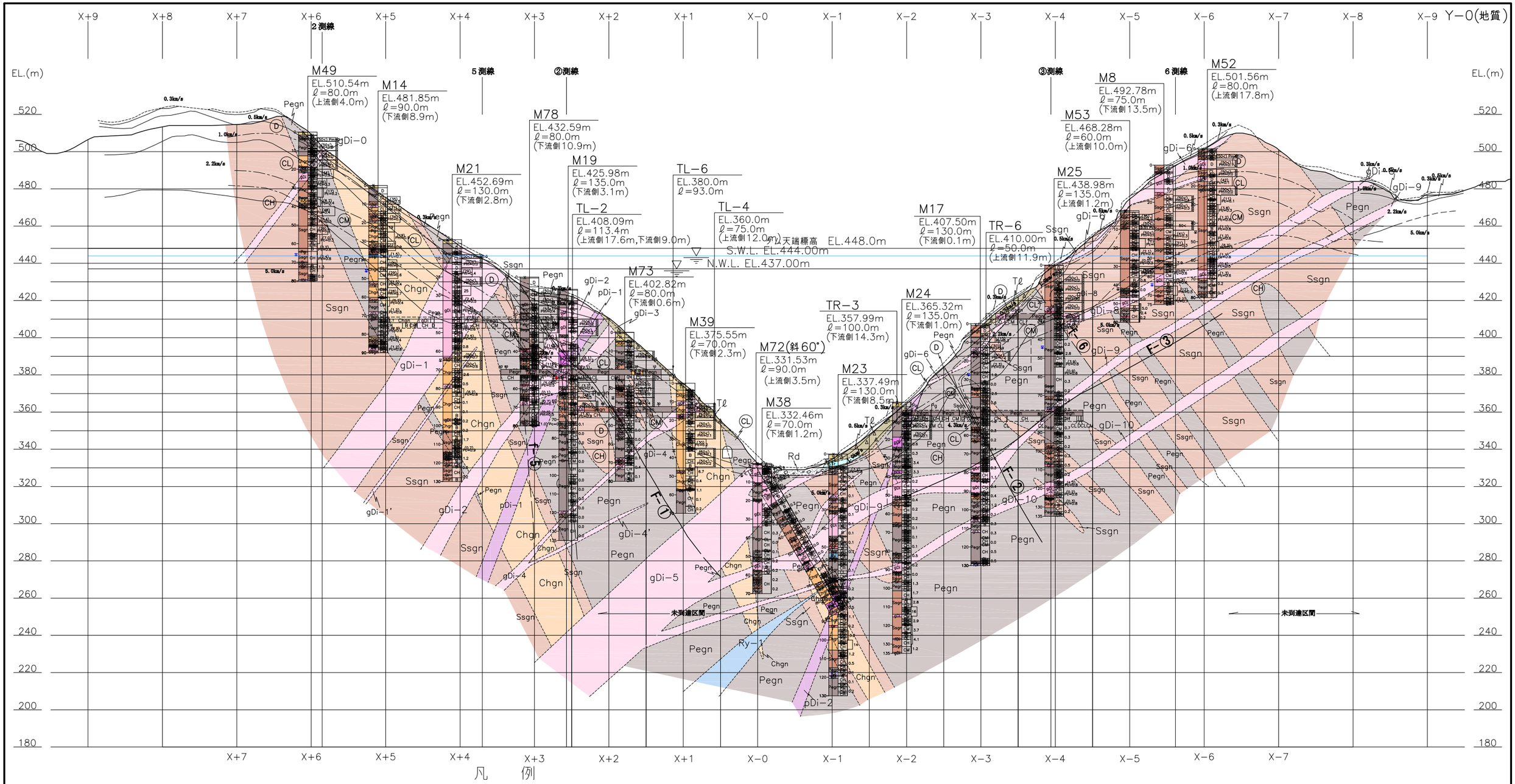
M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影距離



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務
図面名	Y+0.5 地質断面図
年月	平成29年 3月
尺度	1/1,000
図面番号	4
会社名	日本工営株式会社
事務所名	設楽ダム工事事務所

Y+0.5(地質)



〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物
Tl	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

（白亜紀領家花崗岩類）

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

地質境界

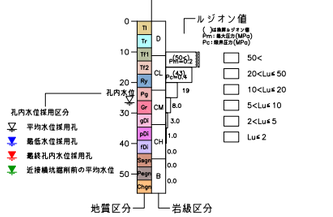
岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

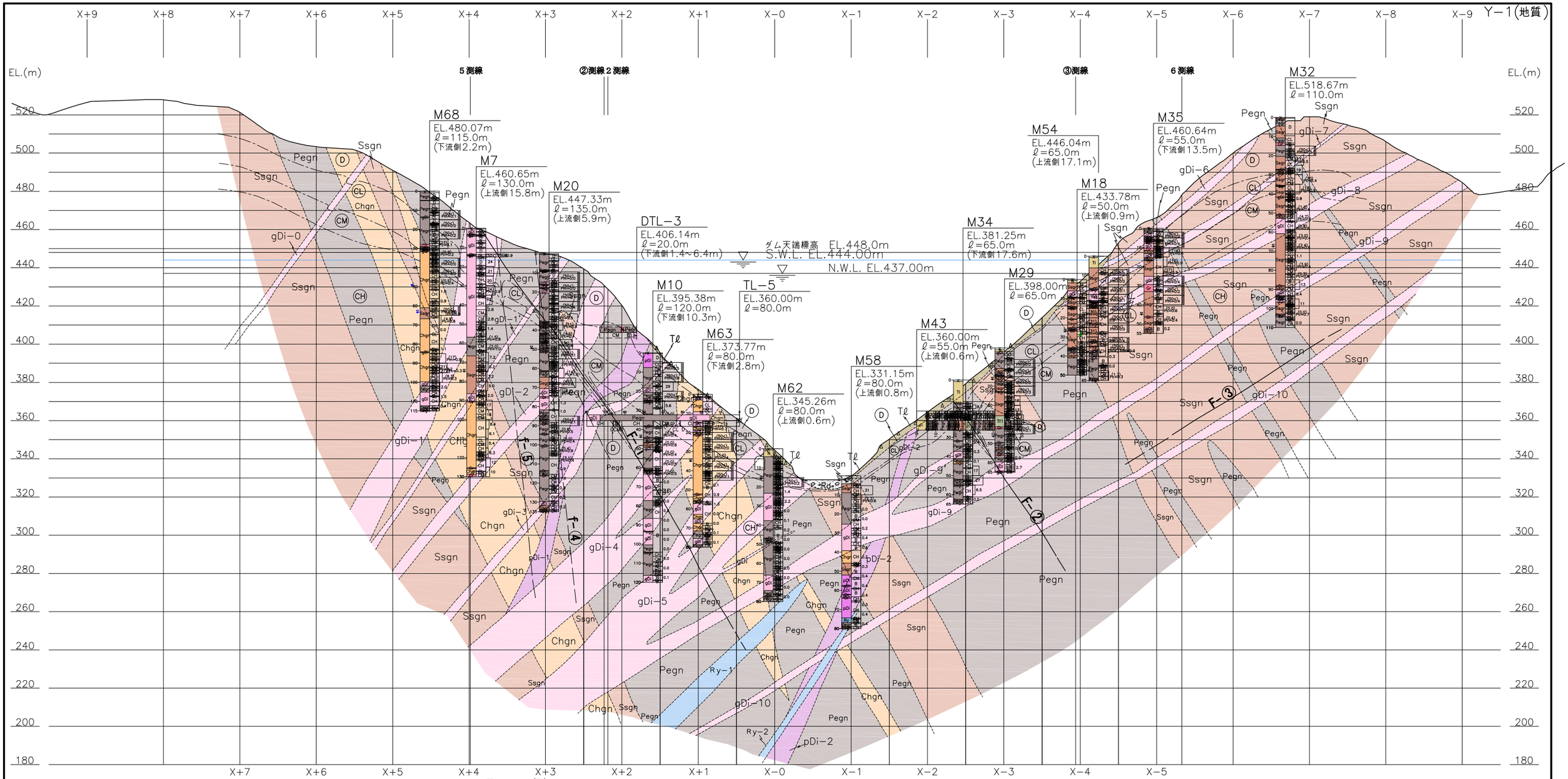
M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影方向・距離



S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−0 地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	5
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y−0(地質)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

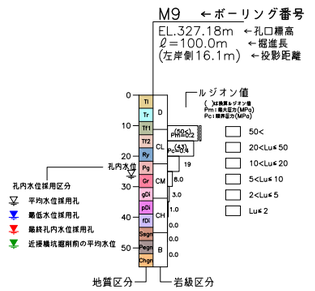
〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

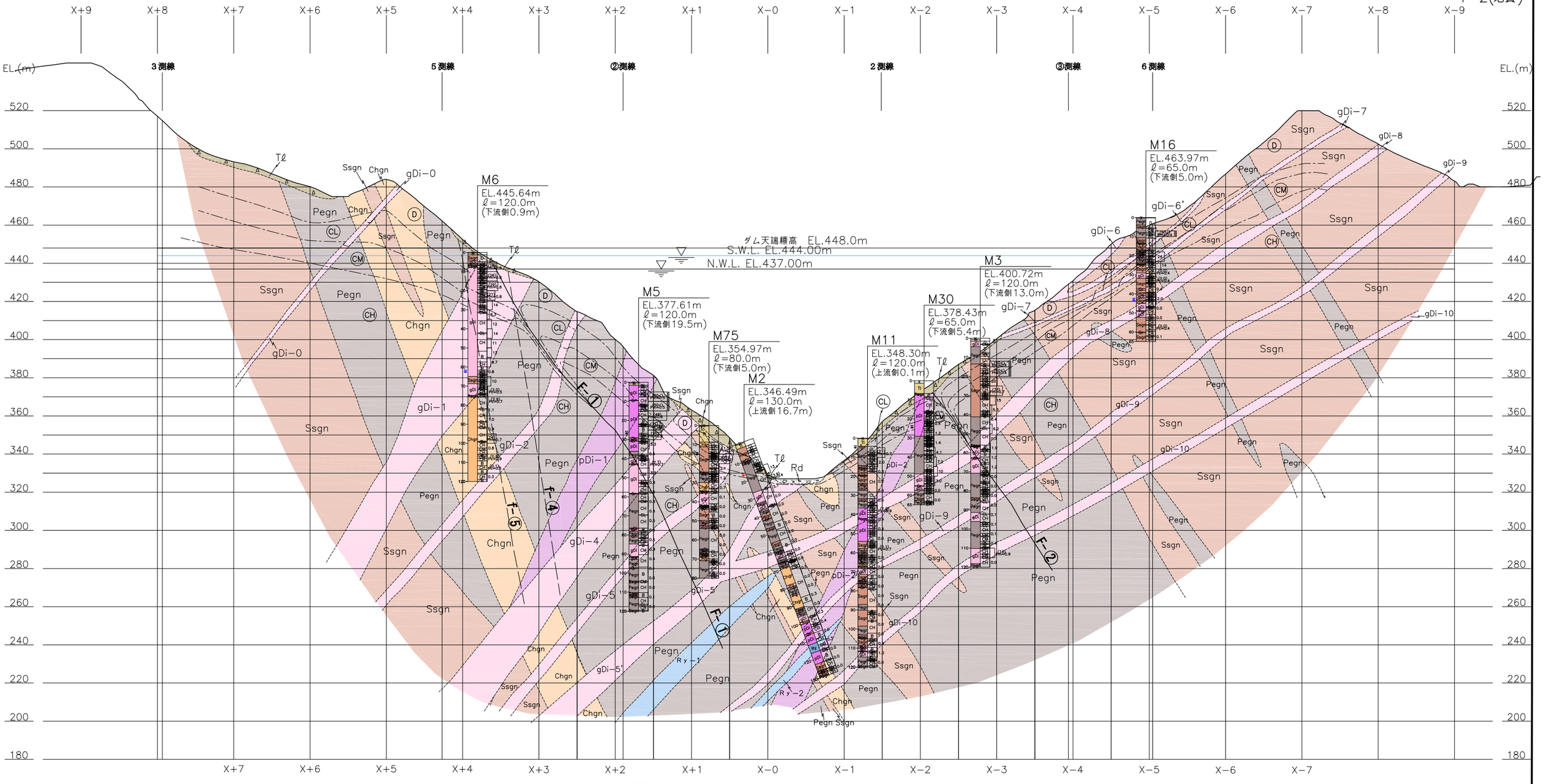
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y－1　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	6
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

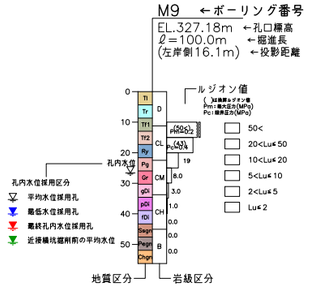
〈岩級区分〉

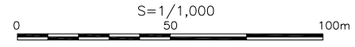
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

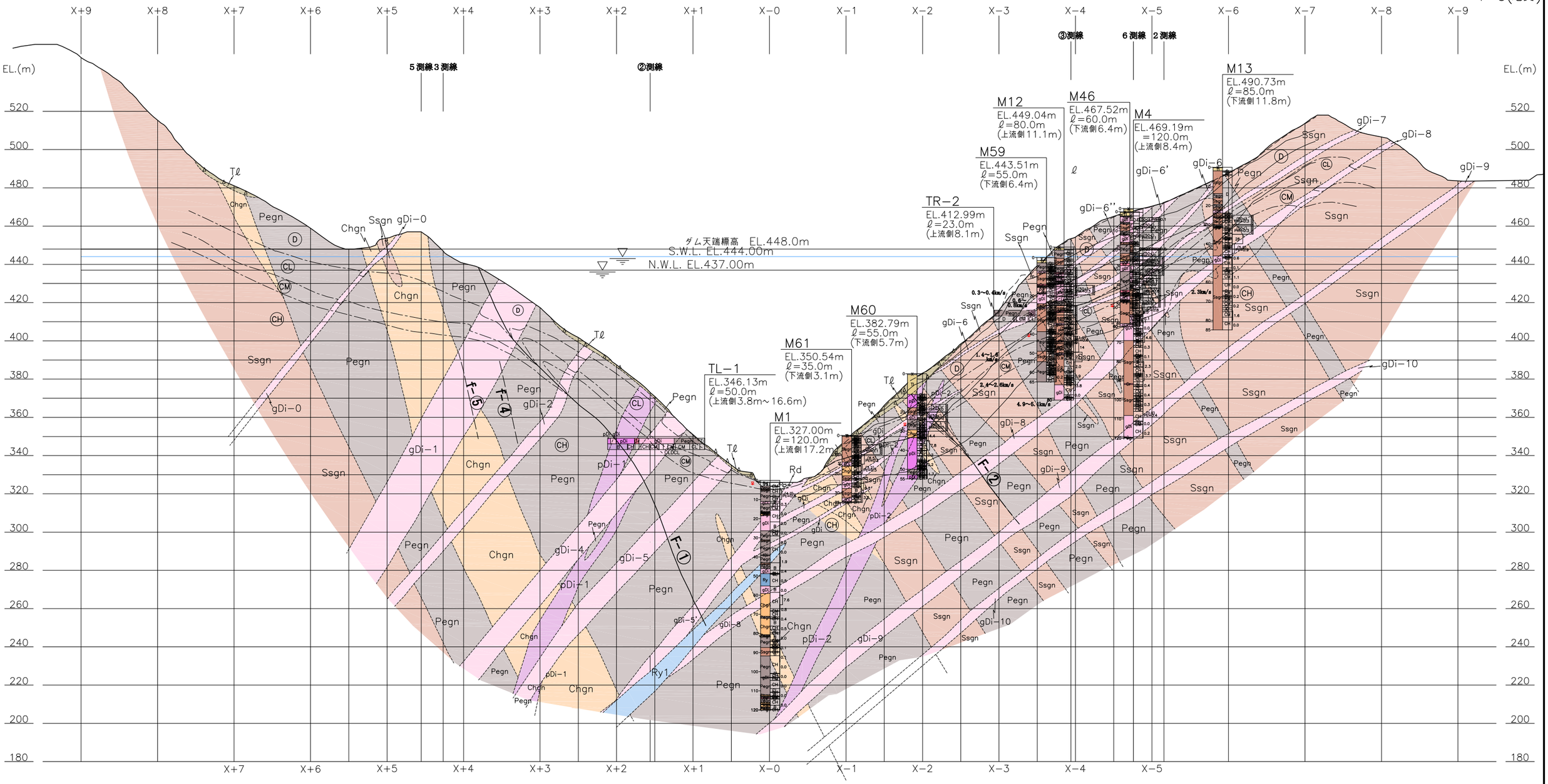
岩級境界

断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−2　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	7
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物		

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩	Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

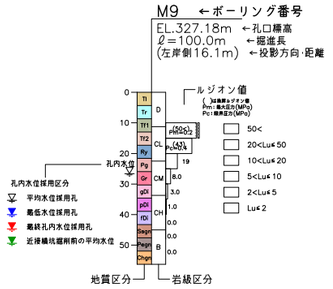
〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

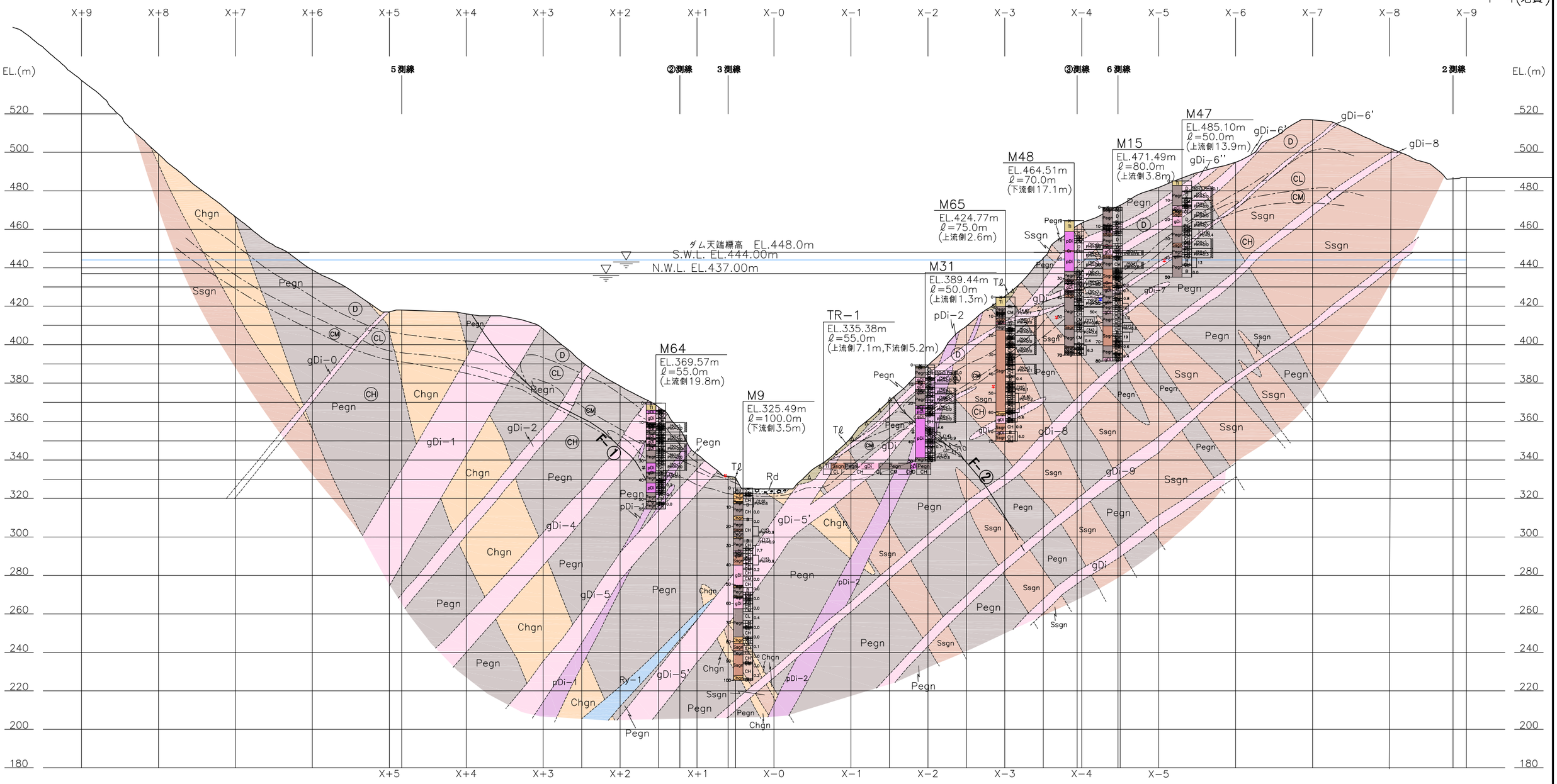
D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−3　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	8
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

（第三紀火成岩類）

- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

（第三紀堆積岩類）

- Cg 礫岩

（白亜紀領家花崗岩類）

- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

（白亜紀領家変成岩類）

- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

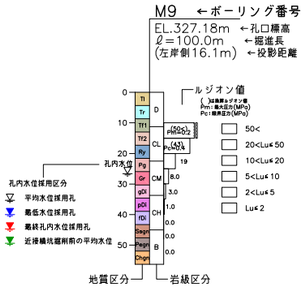
〈岩級区分〉

- (D) D級
- (CL) CL級
- (CM) CM級
- (CH) CH級

地質境界

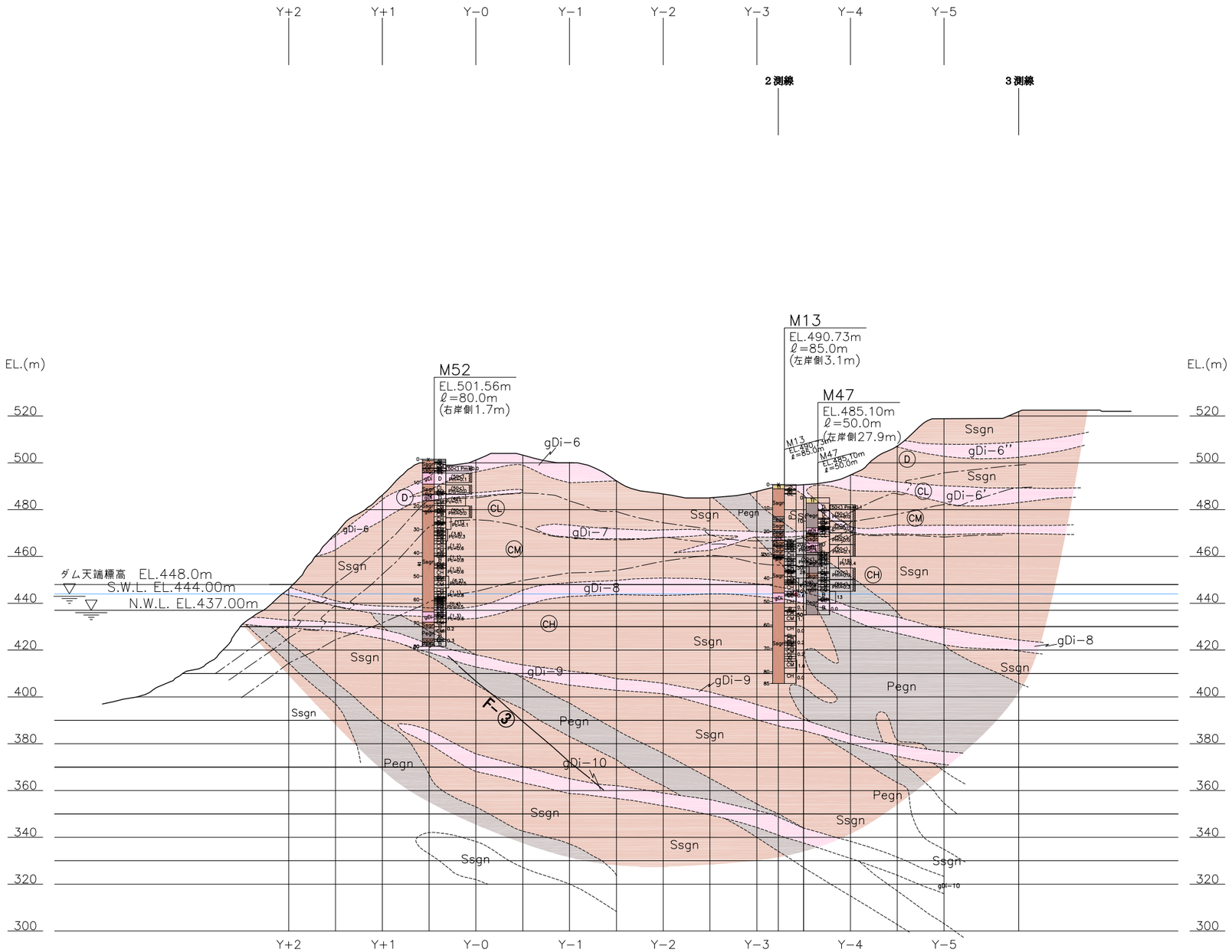
岩級境界

断層（破線部は推定）



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−4　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	9
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

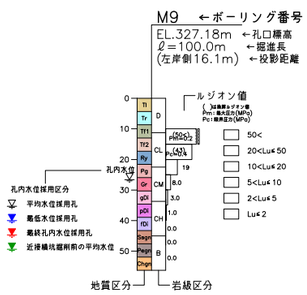
〈岩級区分〉

(D)	D級
(CL)	CL級
(CM)	CM級
(CH)	CH級

地質境界

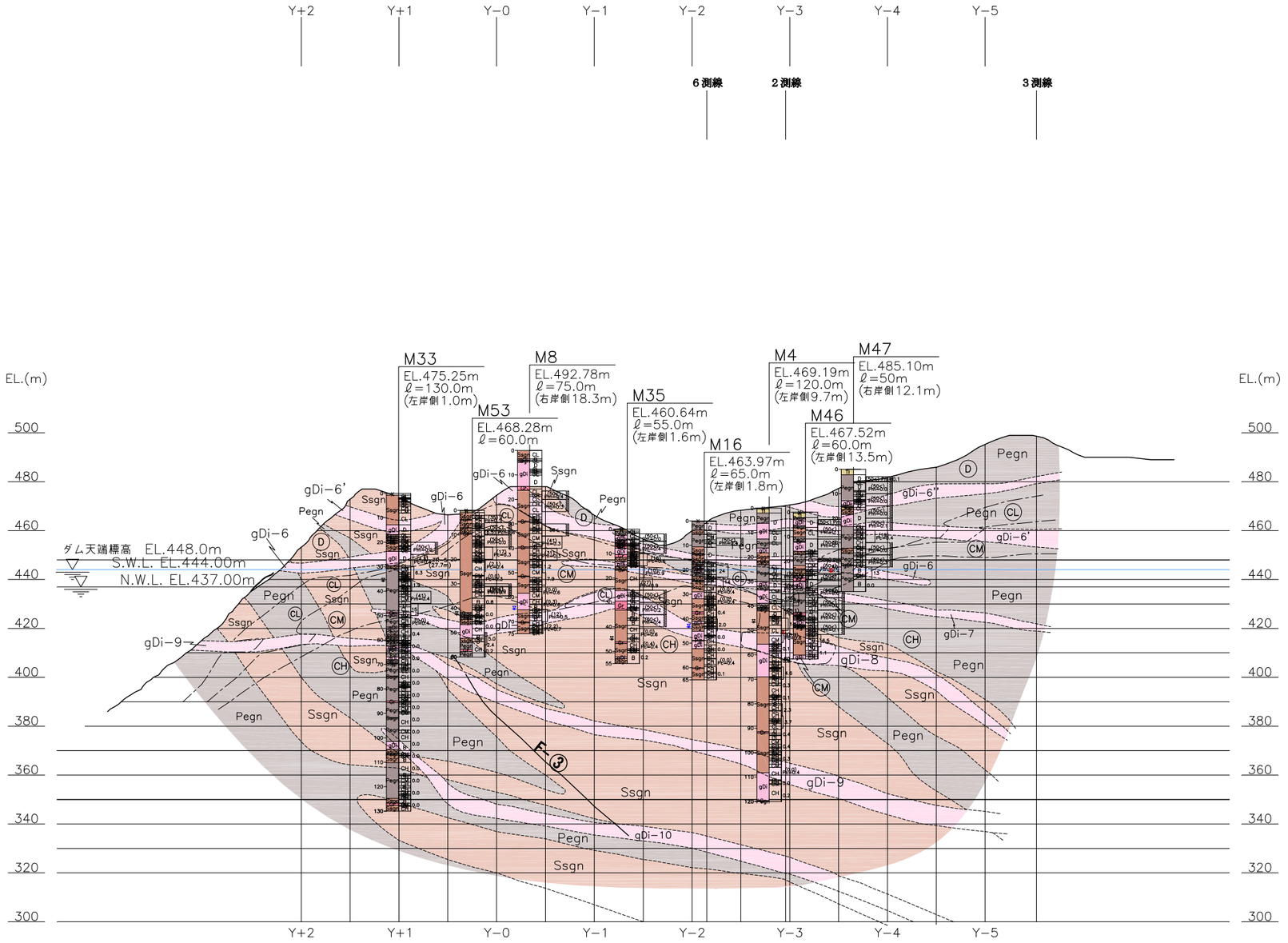
岩級境界

断層（破線部は推定）



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－6　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	10
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

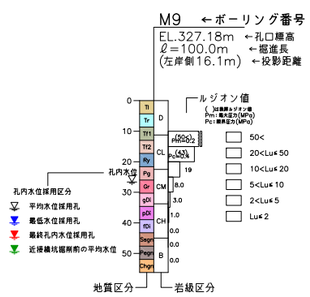
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

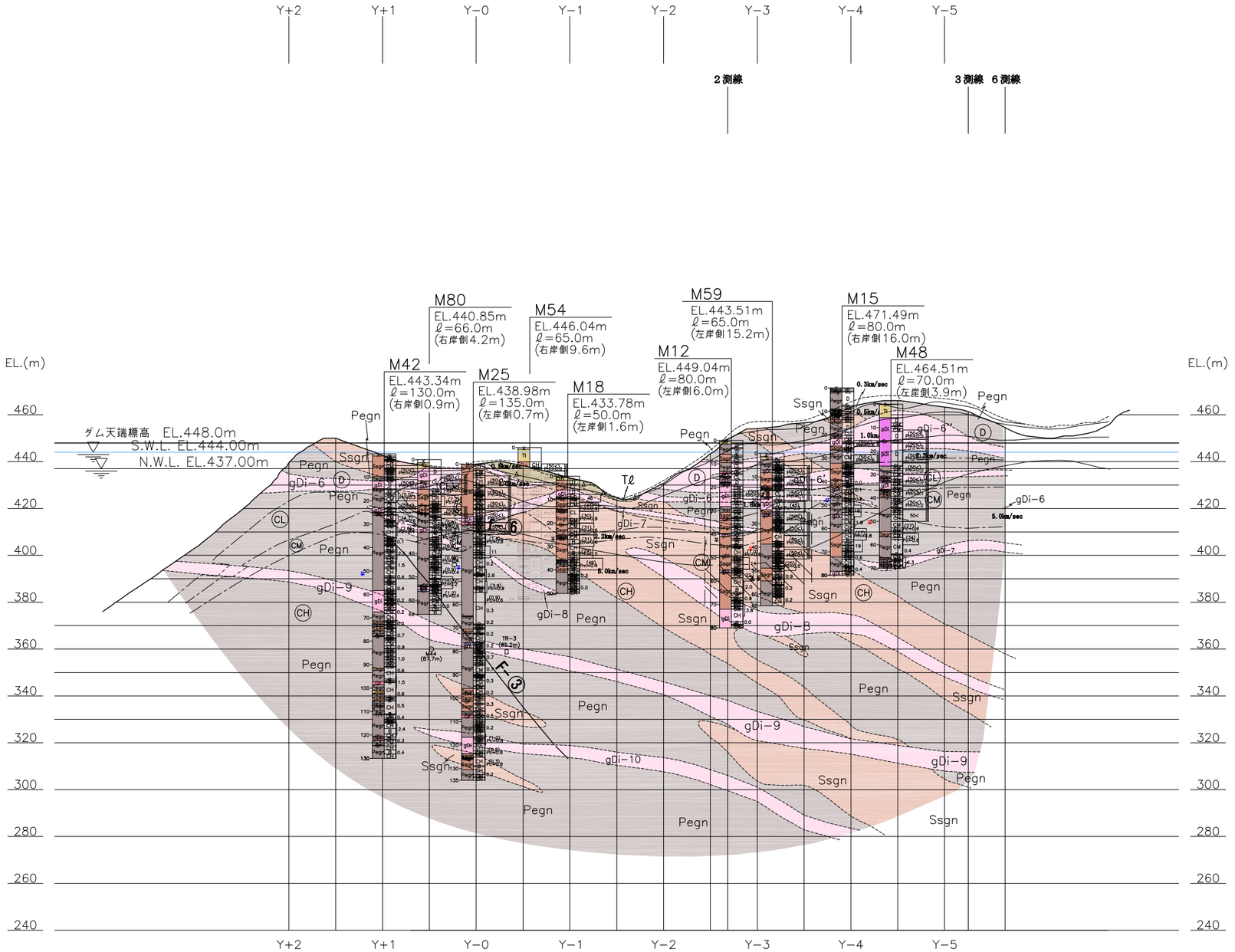
- (D)　D級
- (CL)　CL級
- (CM)　CM級
- (CH)　CH級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－5　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	11
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd — 現河床堆積物
- Tℓ — 崖錐堆積物
- Tr — 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf — 凝灰岩
- Ry — 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg — 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi — 等粒状閃緑岩
- pDi — 斑状閃緑岩

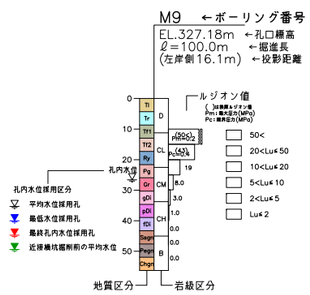
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn — 砂質片麻岩
- Pegn — 泥質片麻岩
- Chgn — 珪質片麻岩

〈岩級区分〉

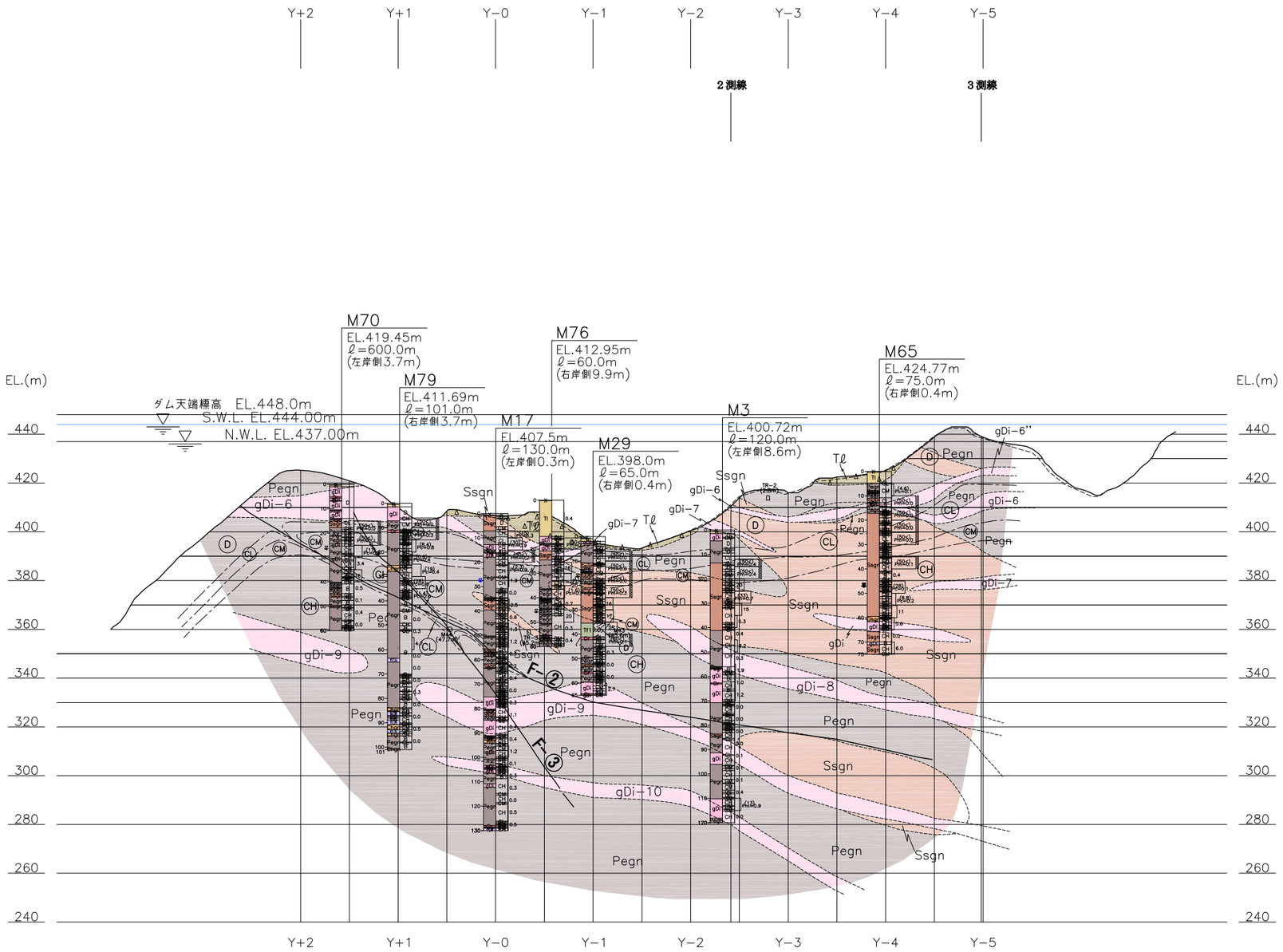
- (D) — D級
- (CL) — CL級
- (CM) — CM級
- (CH) — CH級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層　(破線部は推定)



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－4　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	12
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

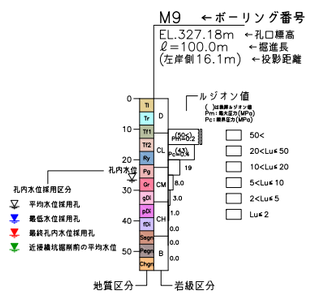
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

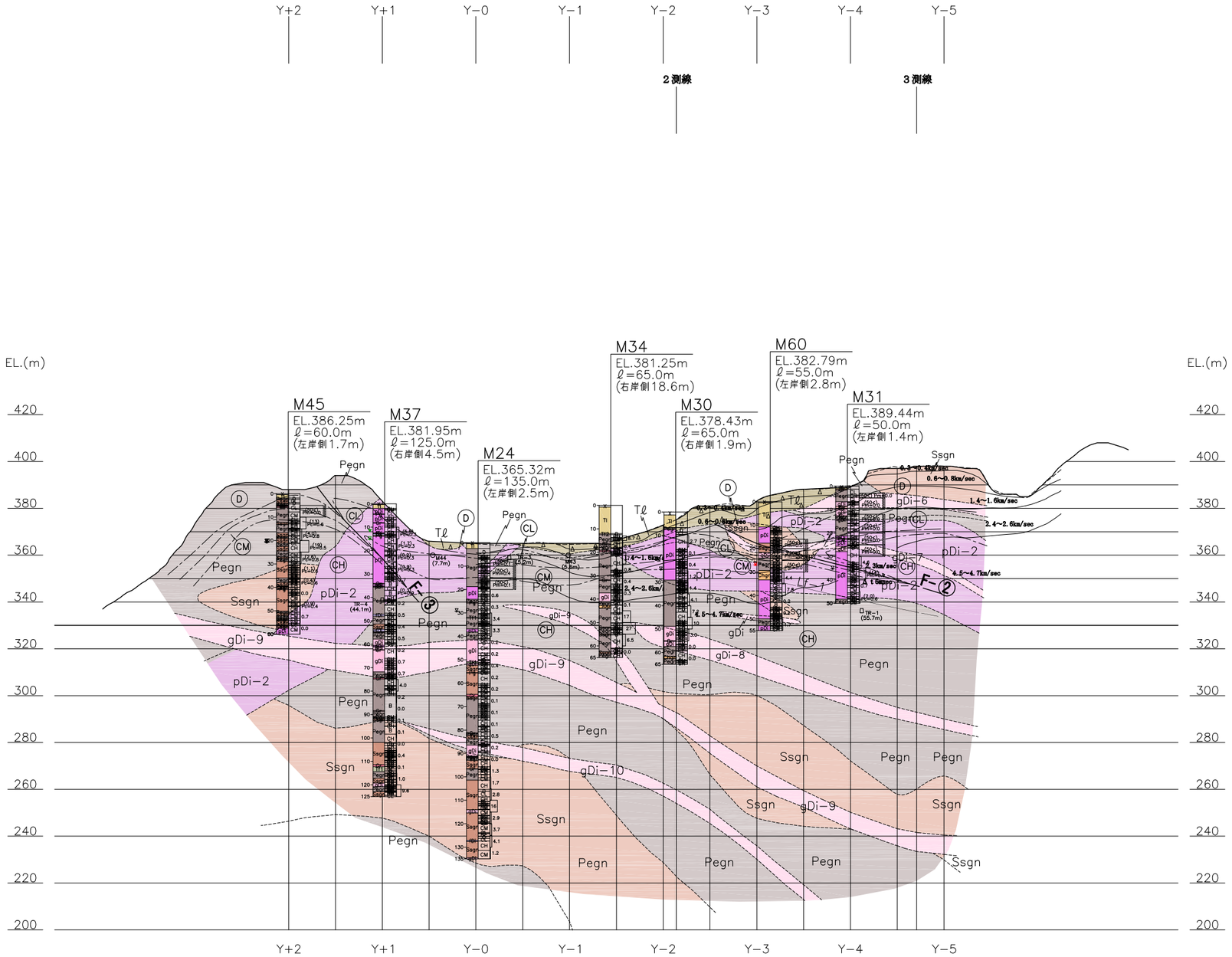
断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－3　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	13
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

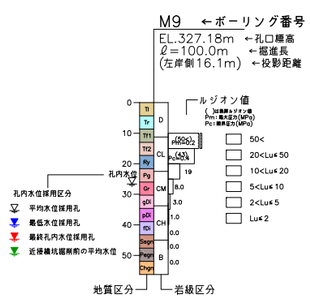
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級

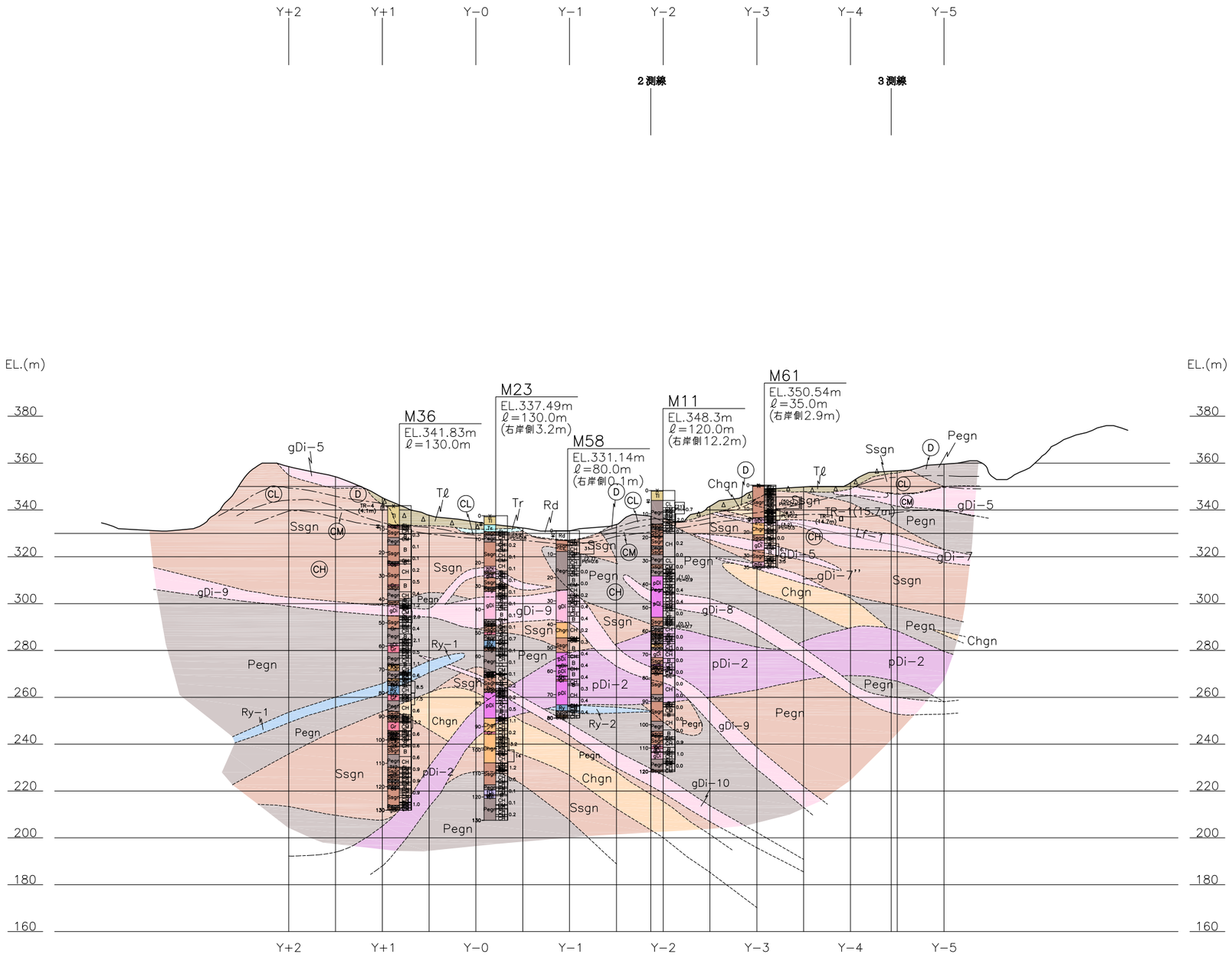
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－2　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	14
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

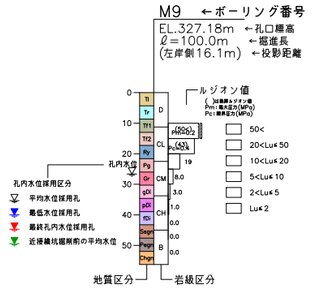
〔白亜紀領家変成岩類〕

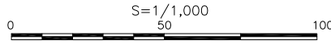
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

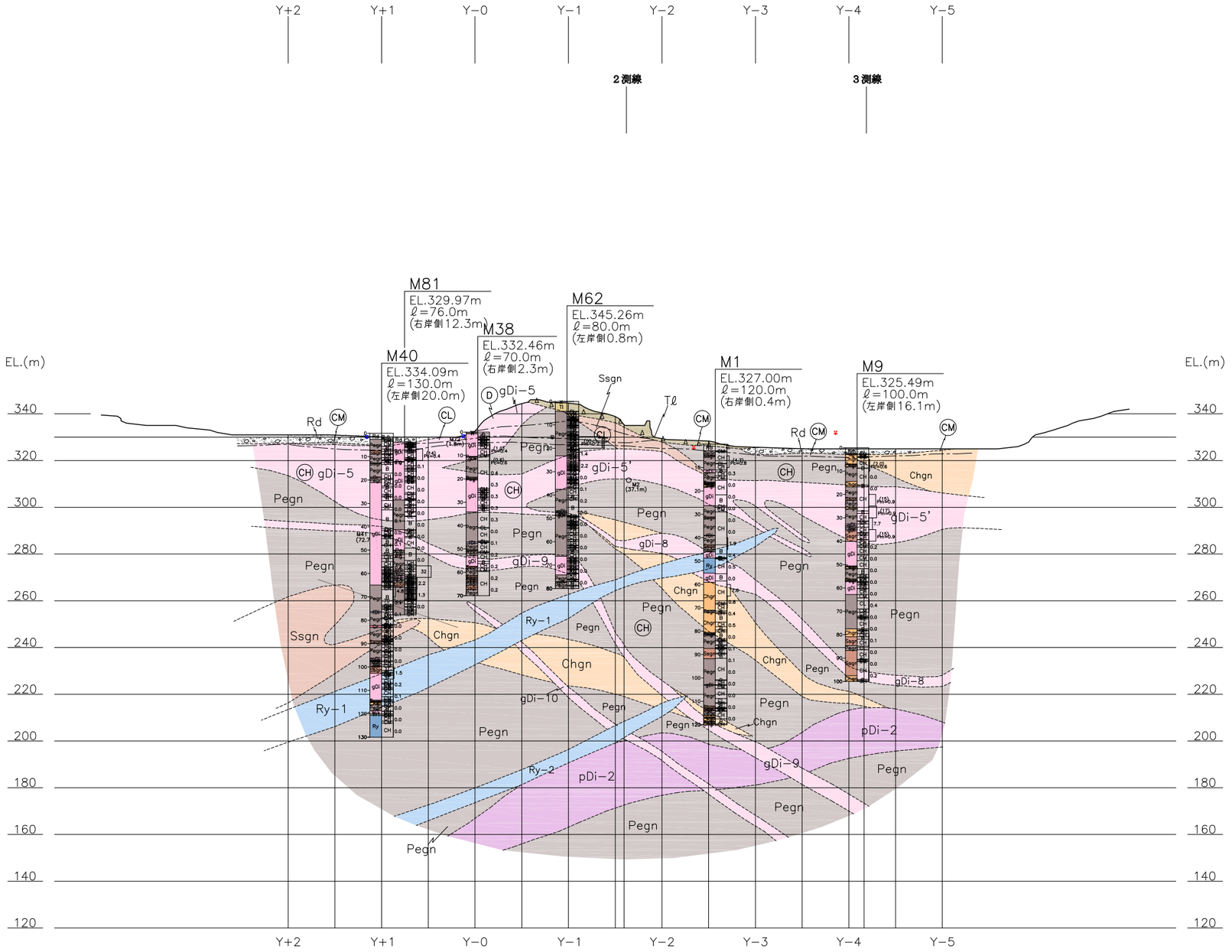
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－1　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	15
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

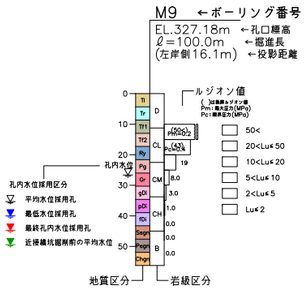
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- (D)　D級
- (CL)　CL級
- (CM)　CM級
- (CH)　CH級

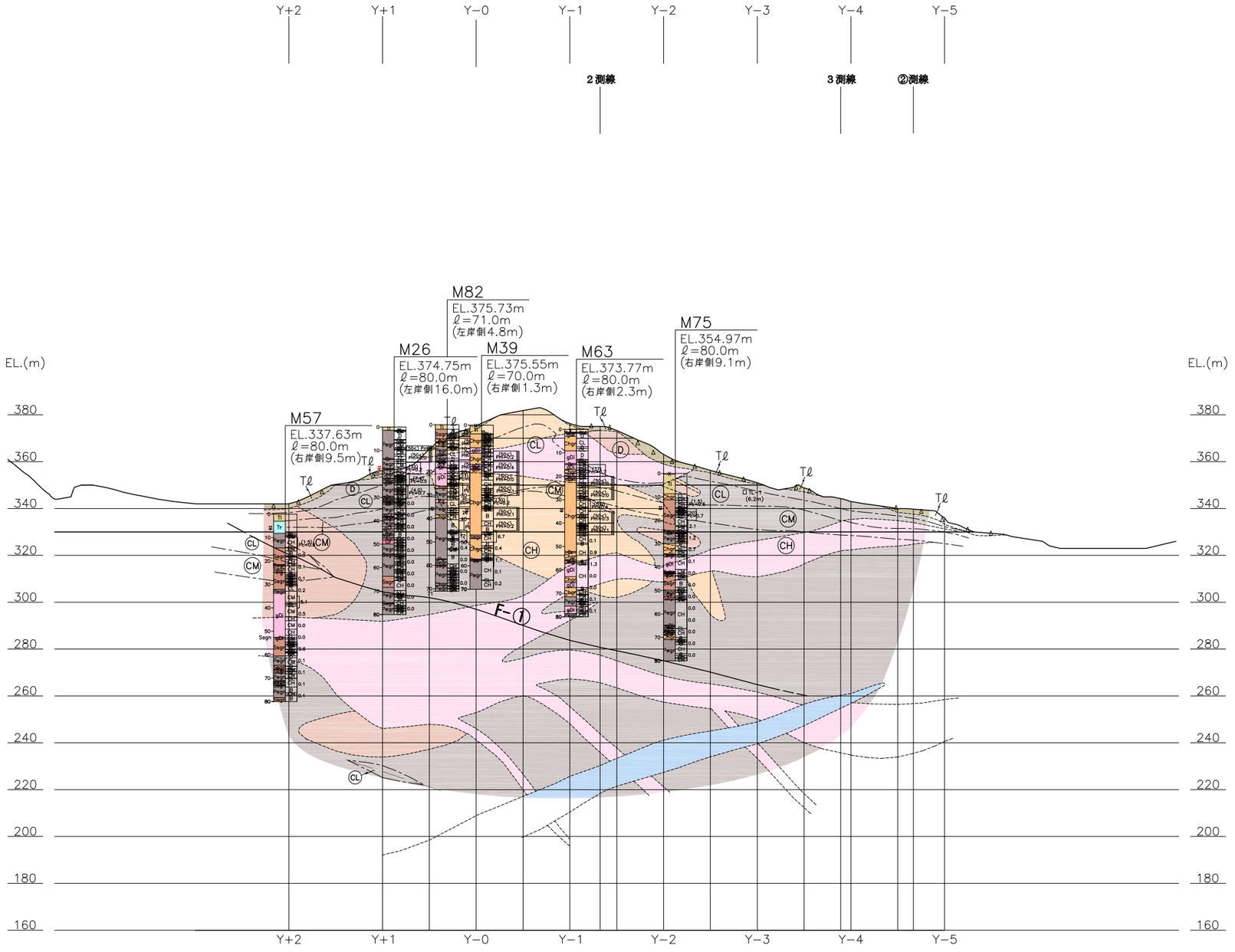
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層　(破線部は推定)



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－0　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	16
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

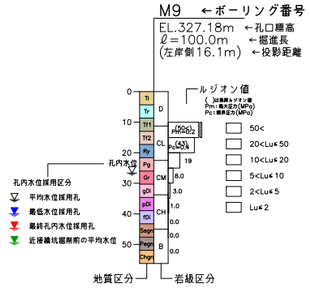
〔白亜紀領家変成岩類〕

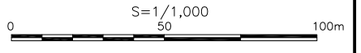
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

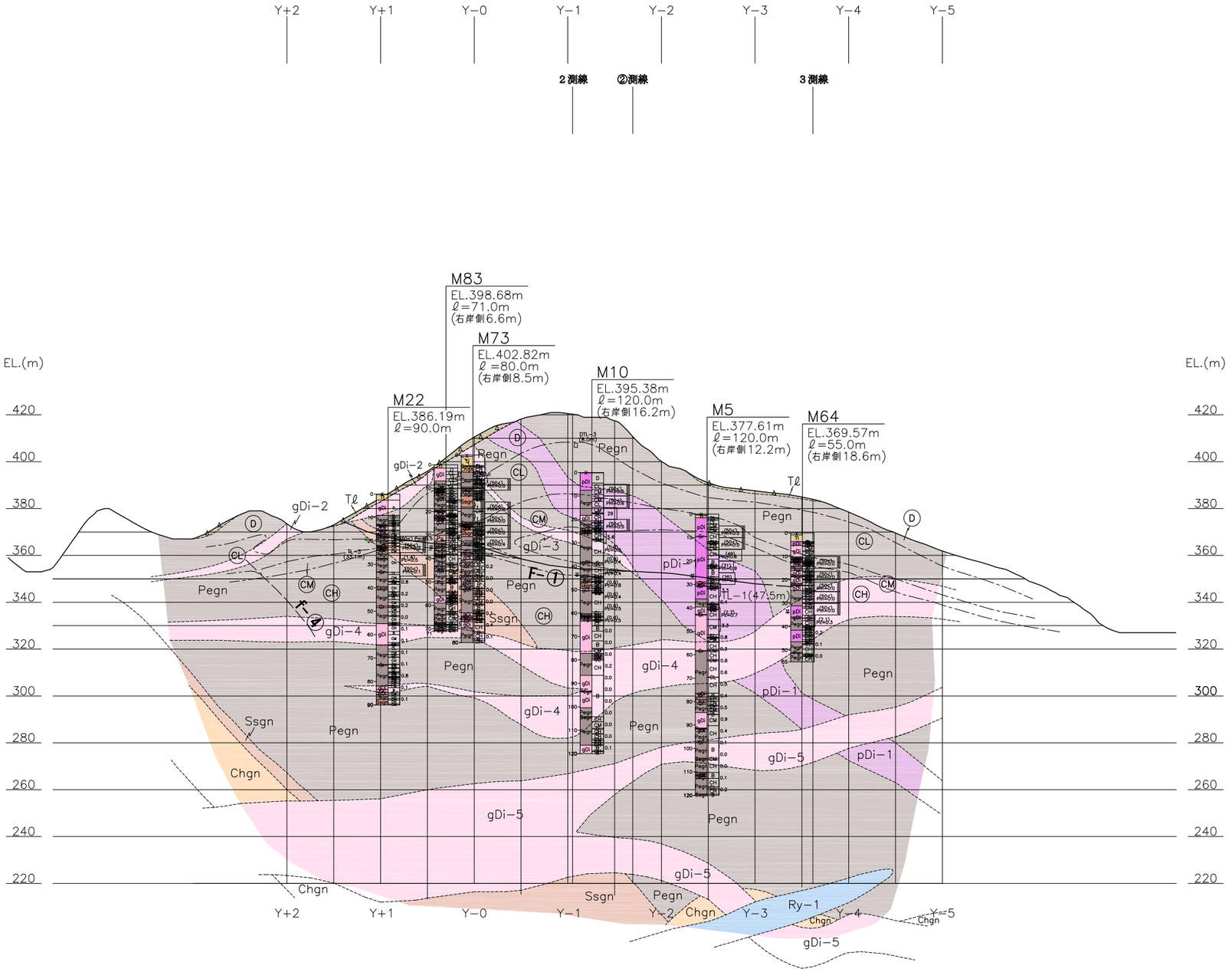
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋1　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	17
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

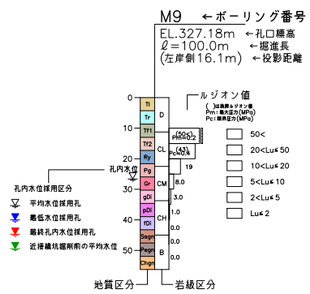
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級

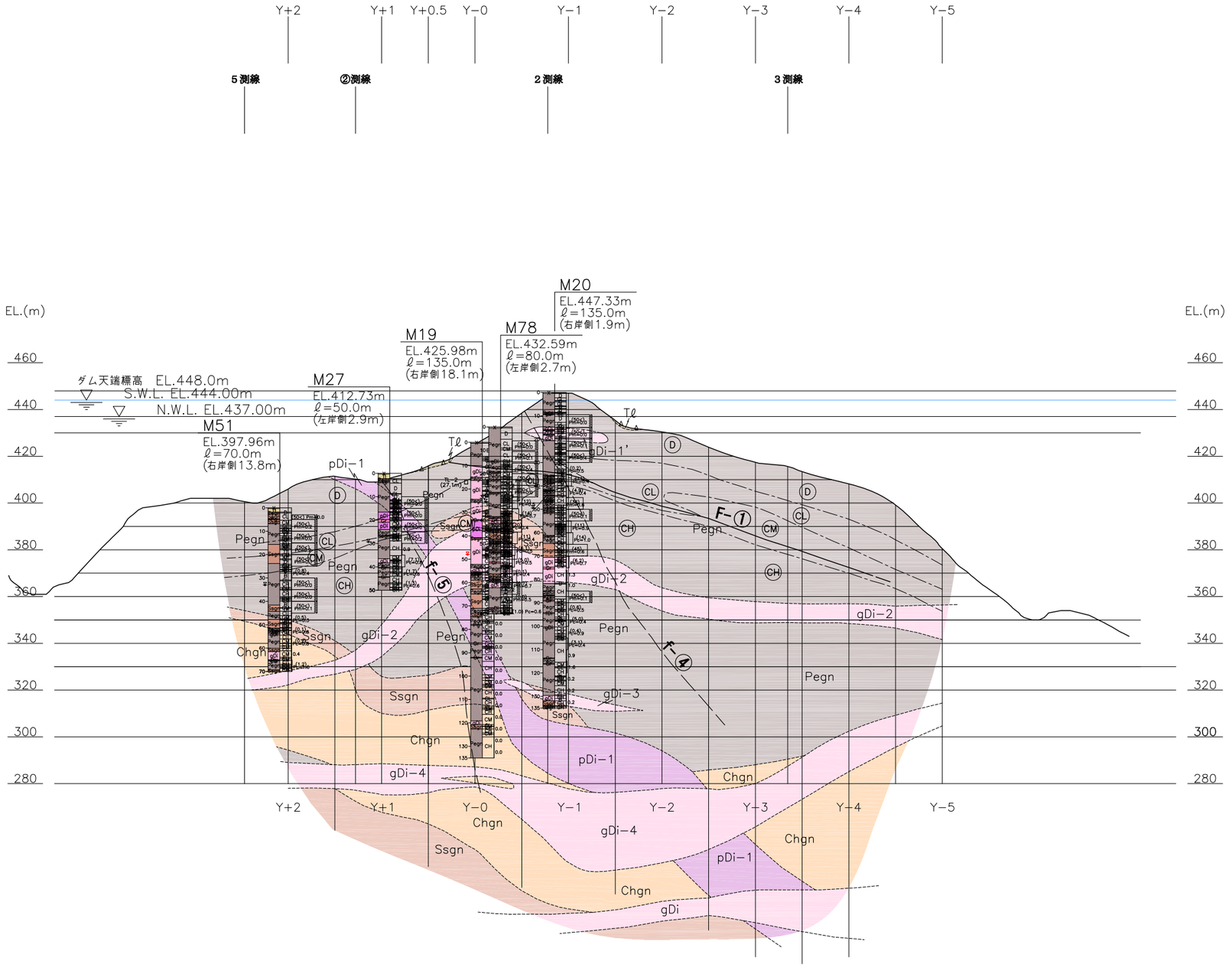
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋2　地質断面図		
年月	平成29年　3月		
尺度	1/1,000	図面番号	18
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

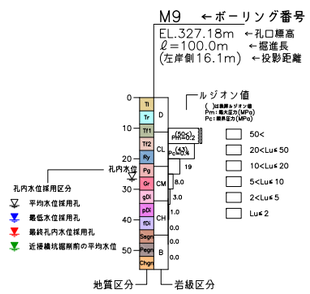
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

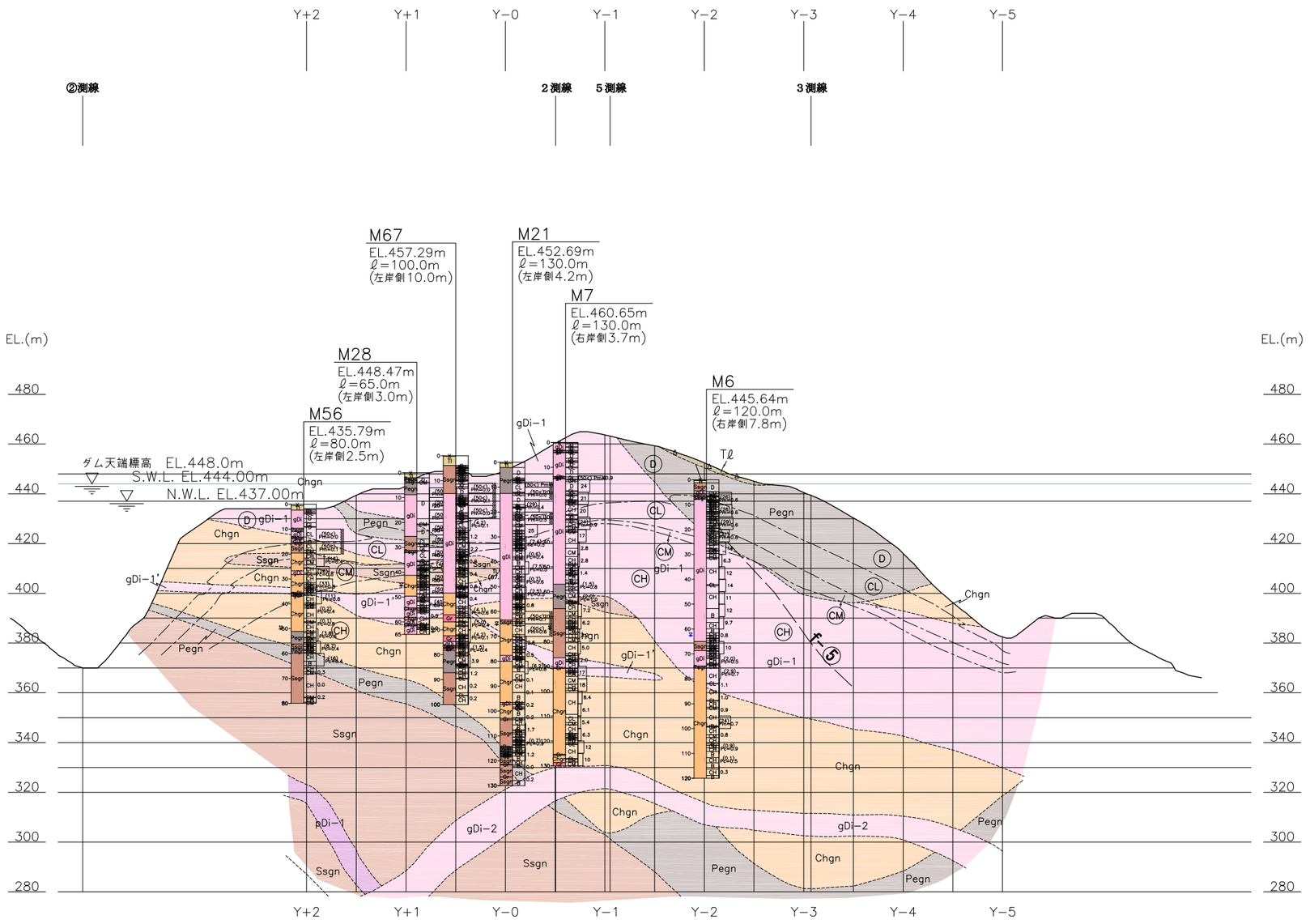
- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層　（破線部は推定）



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋3　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	19
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

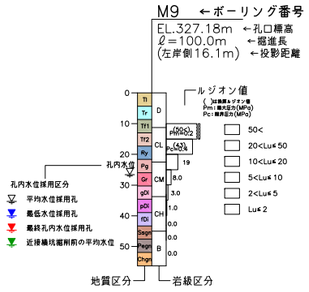
〔白亜紀領家変成岩類〕

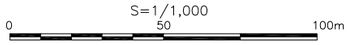
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

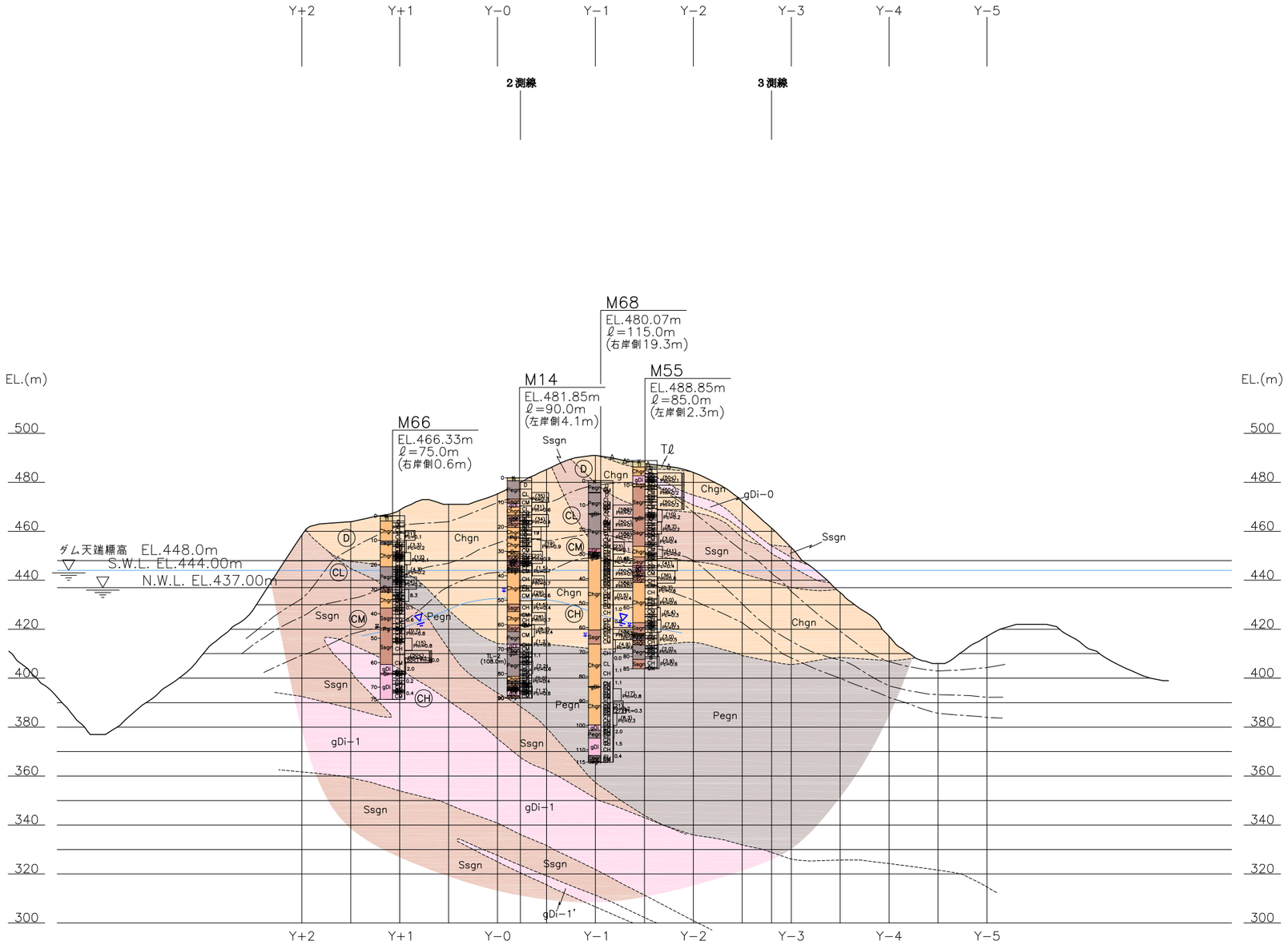
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋4　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	20
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd — 現河床堆積物
- Tℓ — 崖錐堆積物
- Tr — 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf — 凝灰岩
- Ry — 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg — 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi — 等粒状閃緑岩
- pDi — 斑状閃緑岩

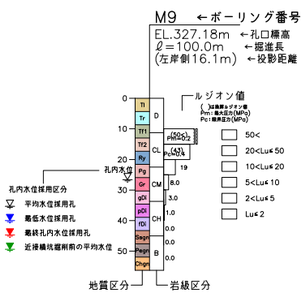
〔白亜紀領家変成岩類〕

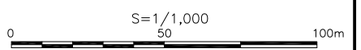
- Ssgn — 砂質片麻岩
- Pegn — 泥質片麻岩
- Chgn — 珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- (D) — D級
- (CL) — CL級
- (CM) — CM級
- (CH) — CH級

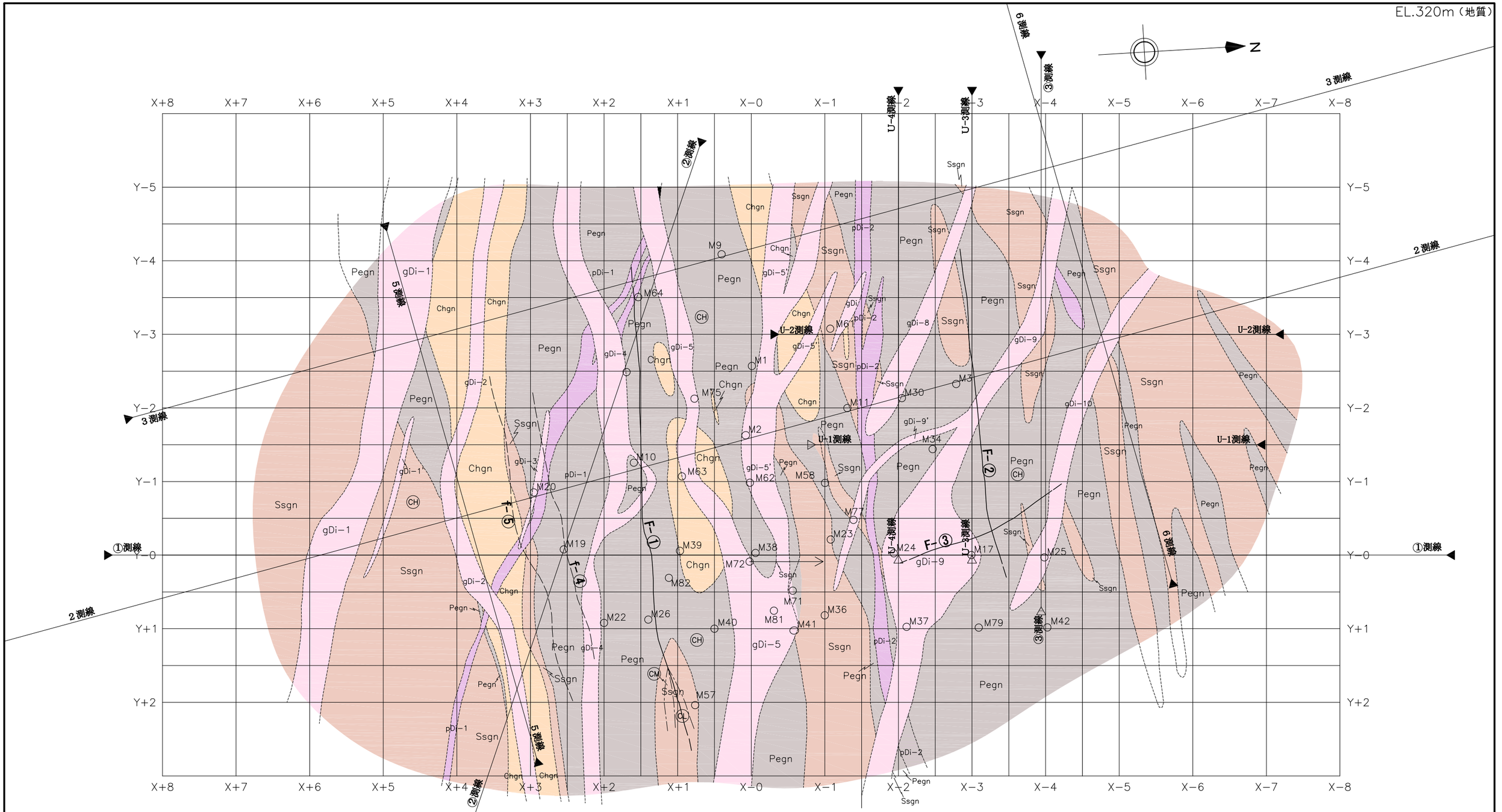
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋5　地質断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	21
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.320m（地質）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tl　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級

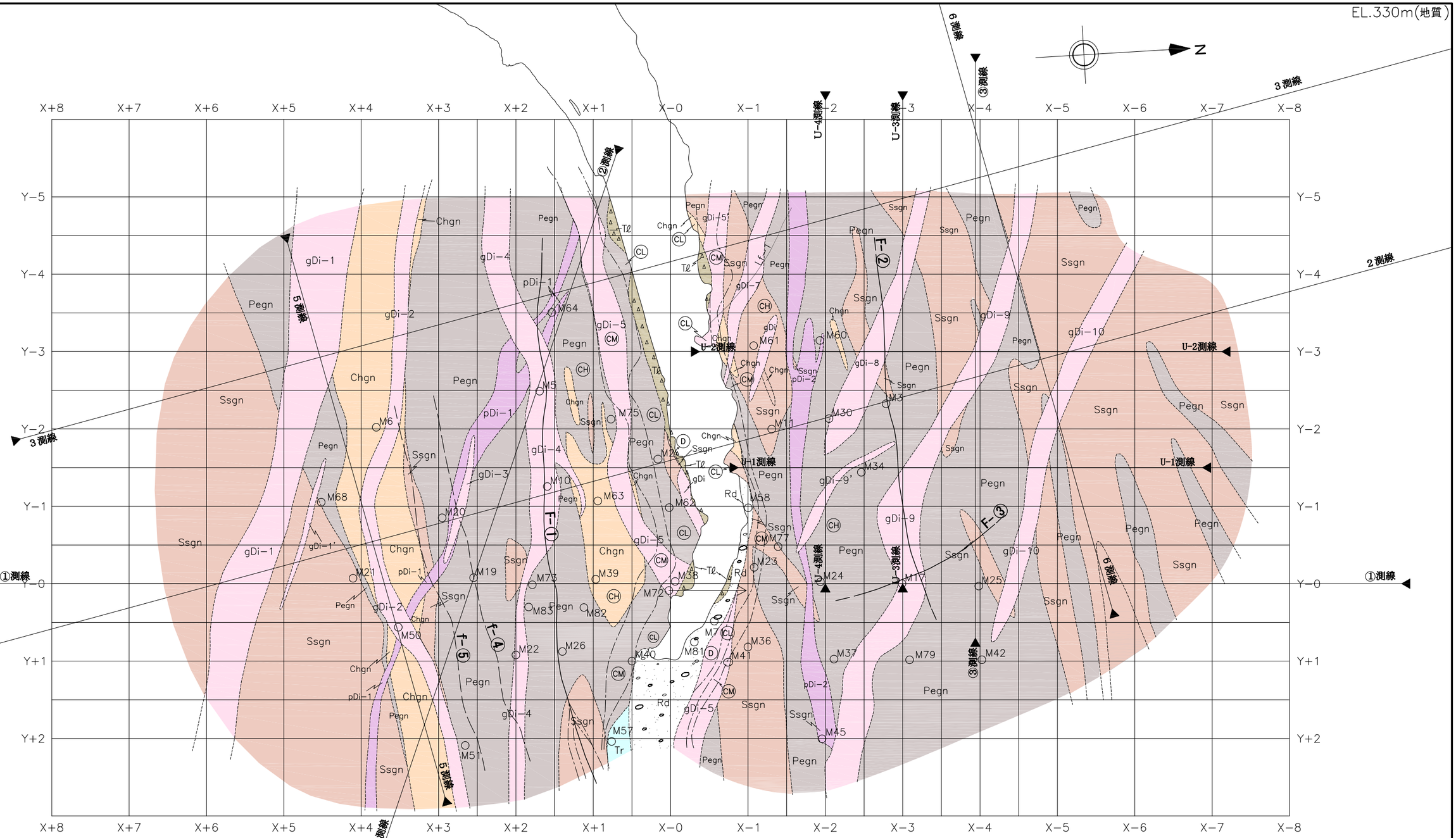
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）
- 弾性波探査測線
- M7　ボーリング調査位置
- 横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.320m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	22
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.320m（地質）

EL.330m(地質)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

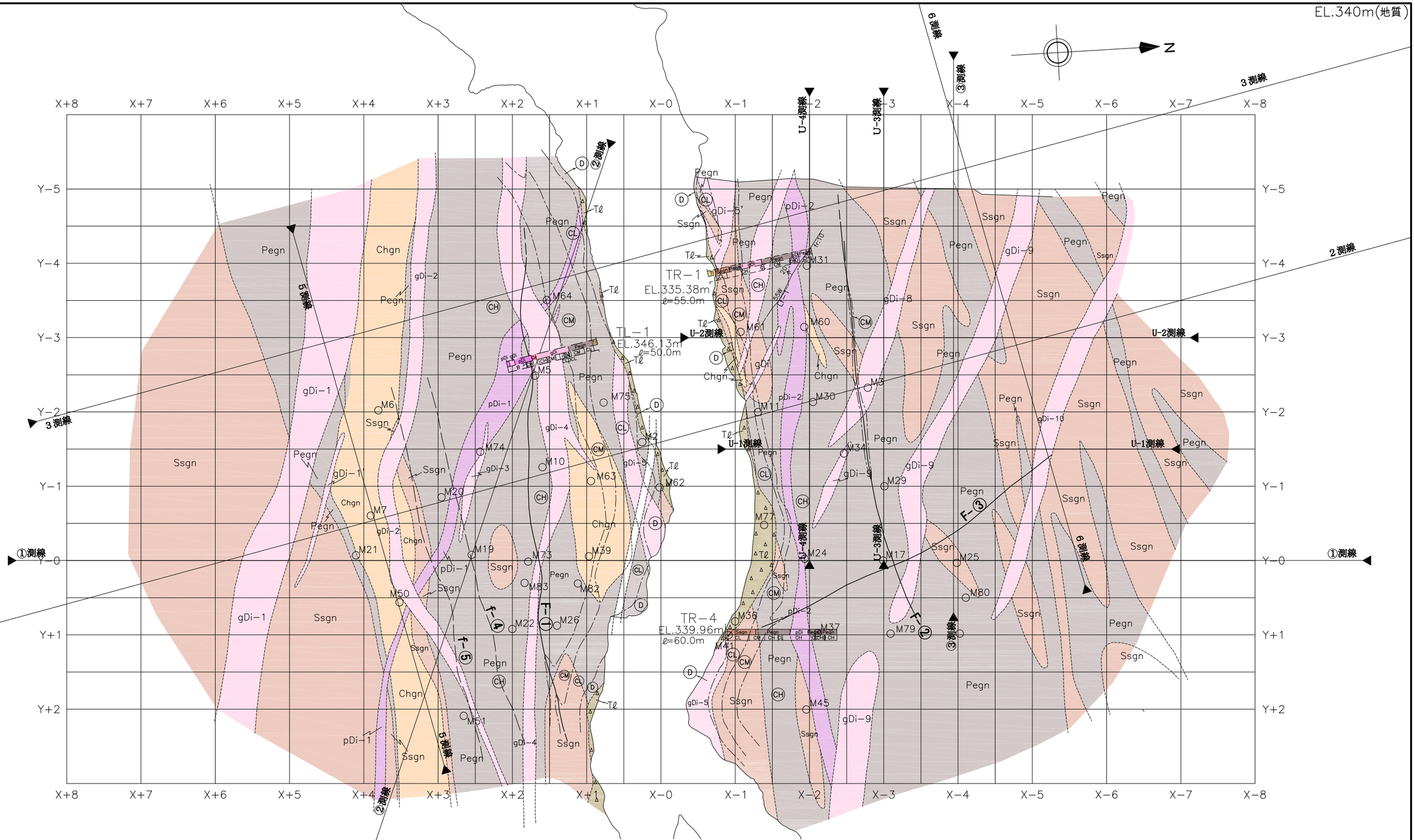
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.330m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	23
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.330m(地質)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩	

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

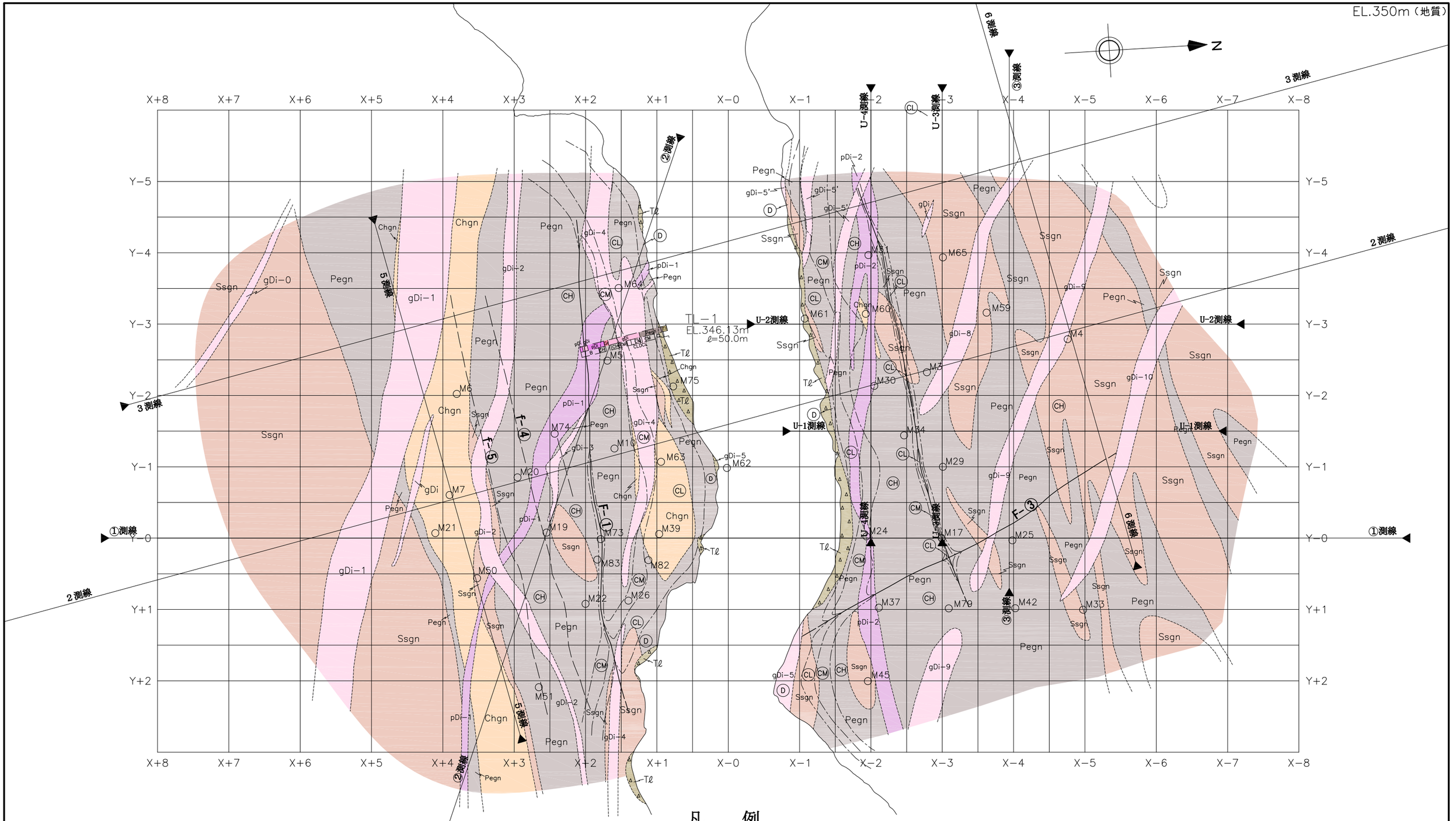
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7　ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.340m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	24
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

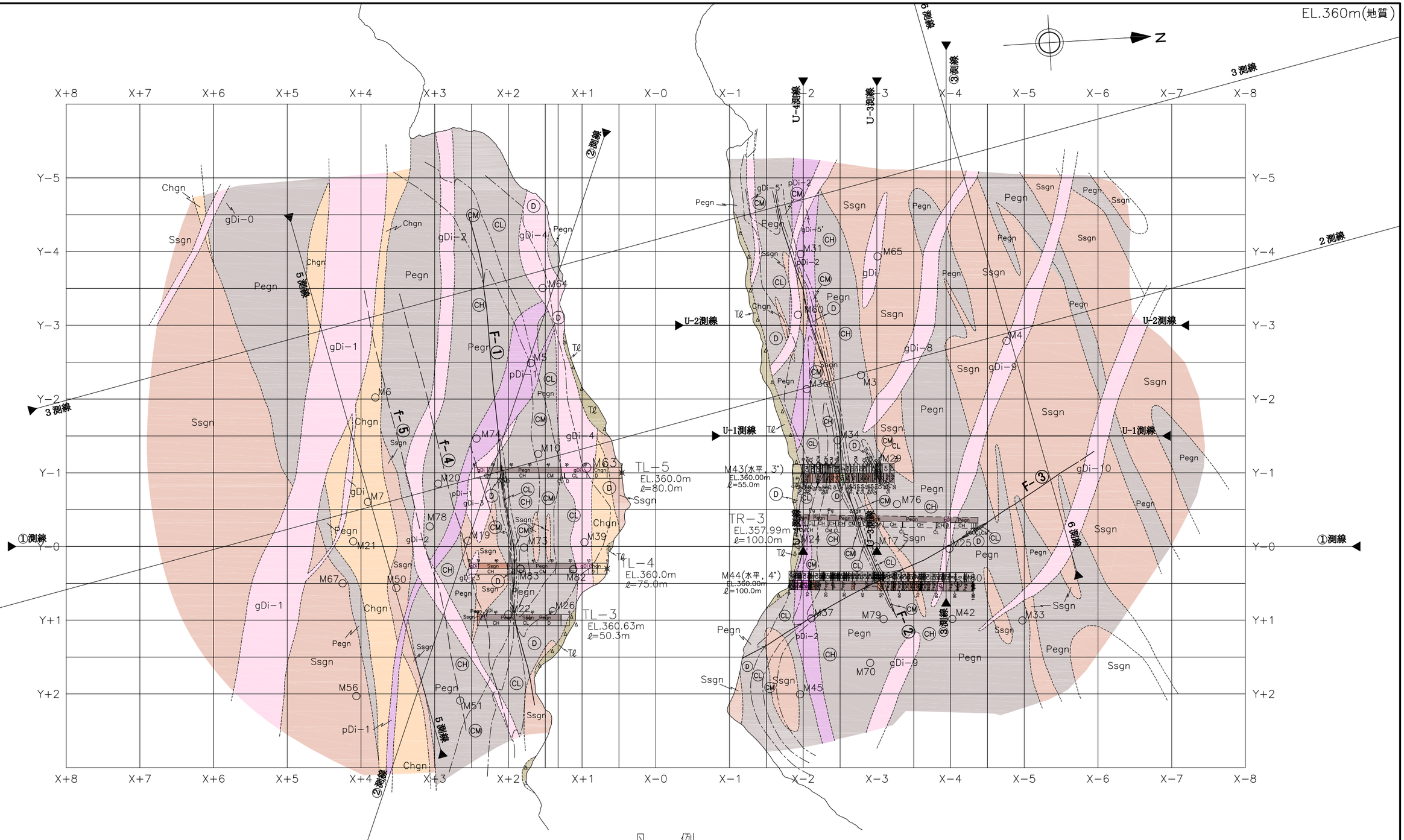
横坑調査位置

S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.350m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	25
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.360m(地質)



凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

（第三紀火成岩類）

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

（第三紀堆積岩類）

Cg	礫岩

（白亜紀領家花崗岩類）

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

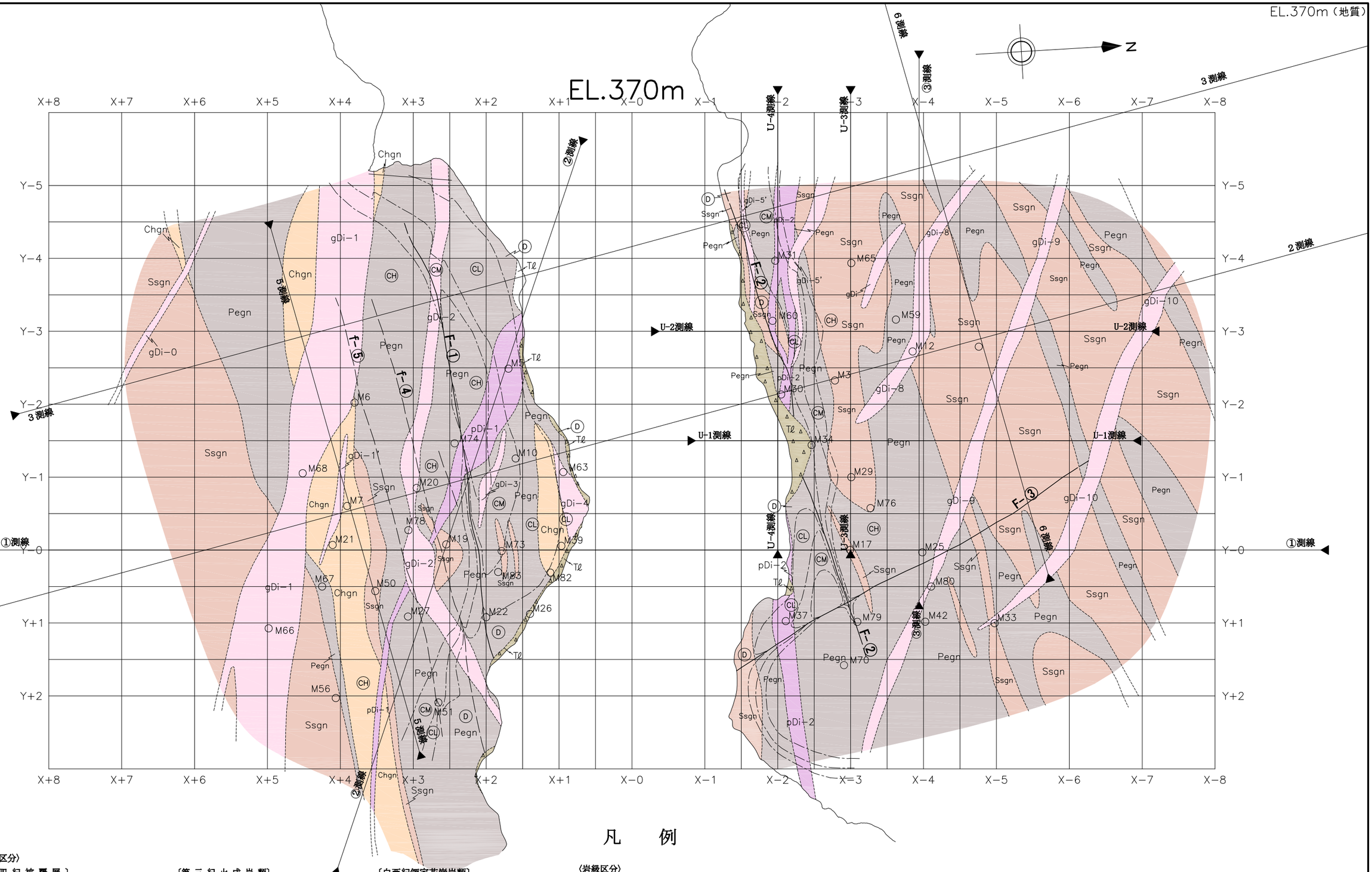
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.360m 地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	26
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.360m(地質)

EL.370m



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕
- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

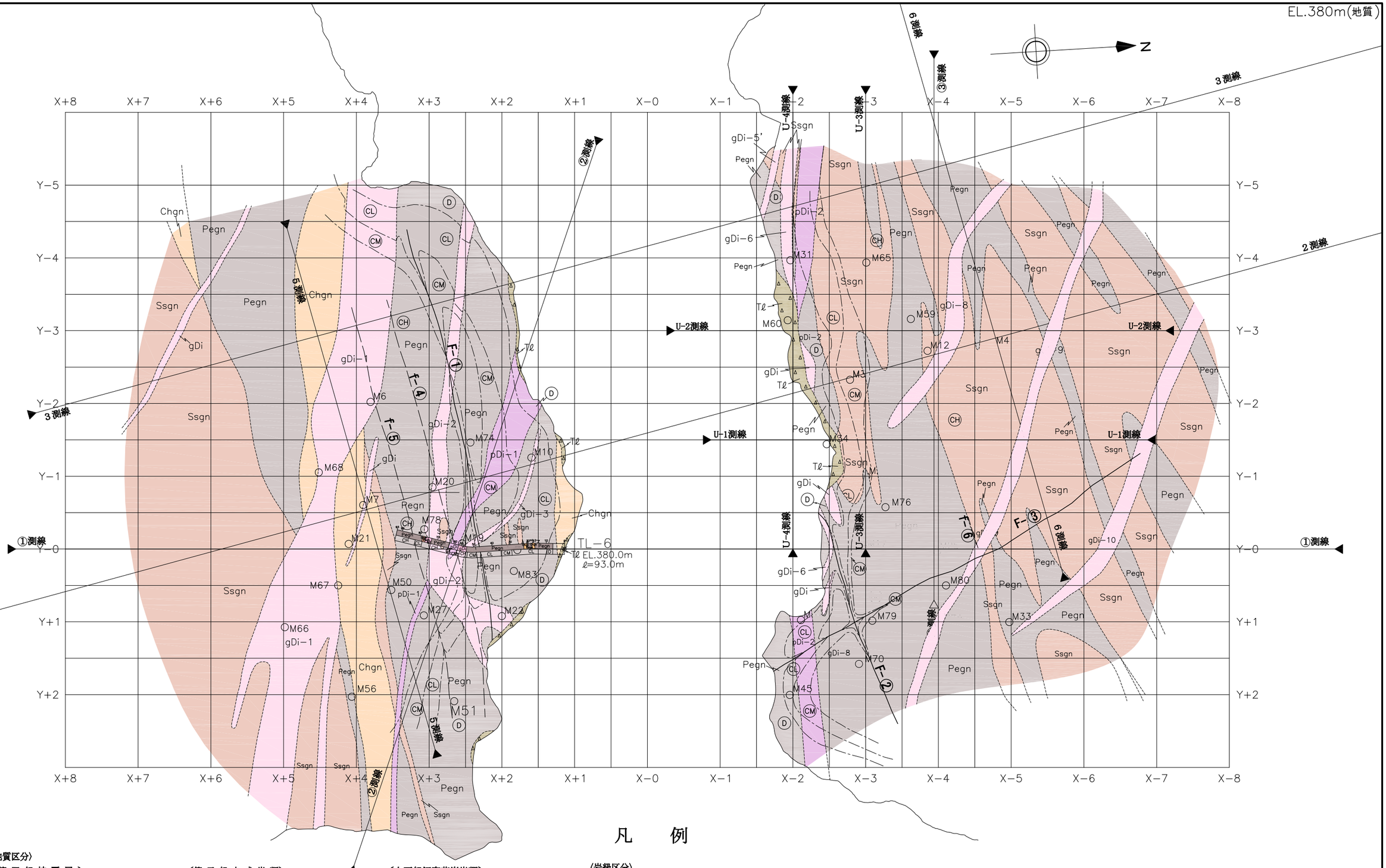
〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉
- (D)　D級
- (CL)　CL級
- (CM)　CM級
- (CH)　CH級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）
- 弾性波探査測線
- M7　ボーリング調査位置
- 横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.370m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	27
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

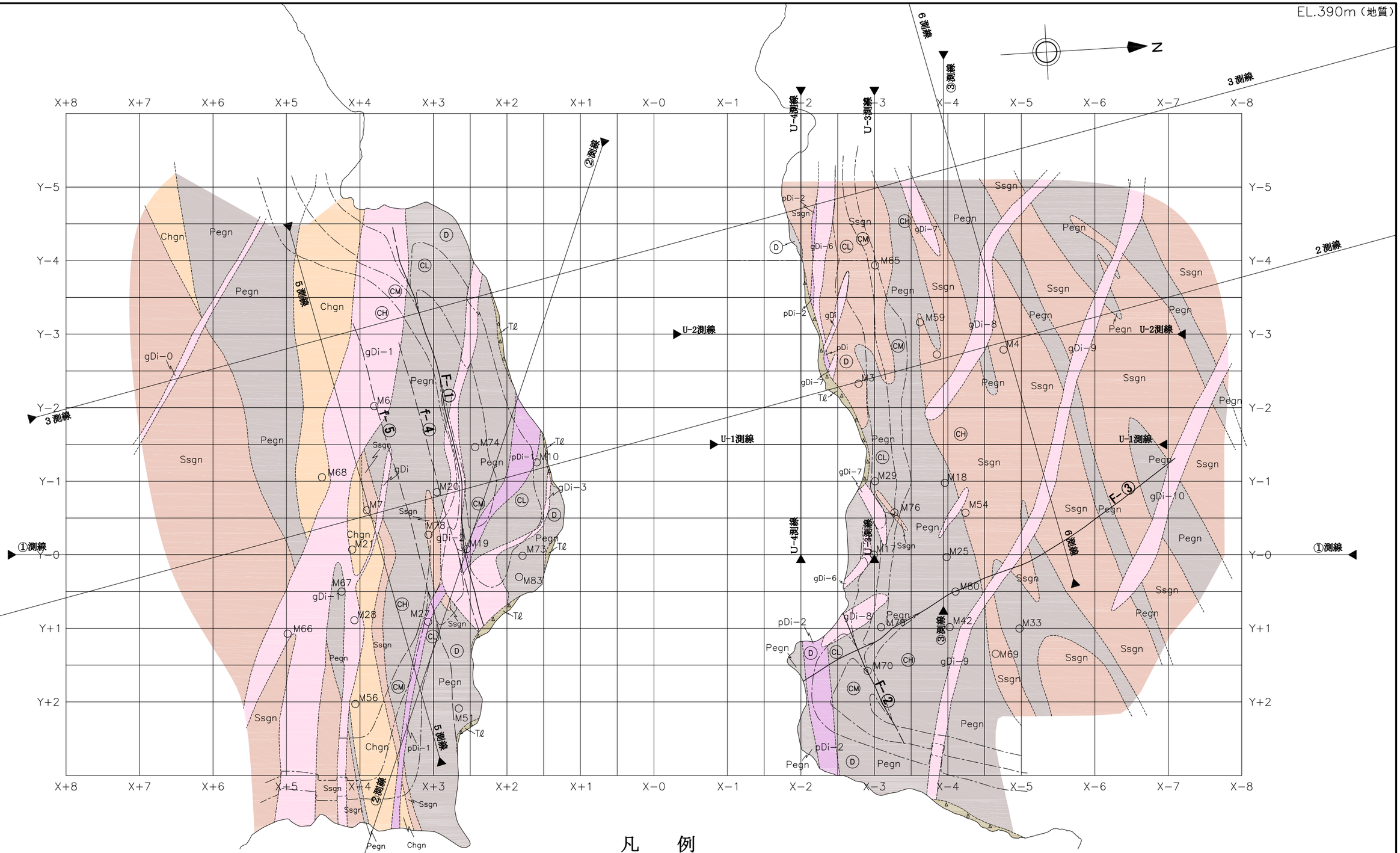
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.380m 地質水平断面図		
年月	平成29年 3 月		
尺度	1/1,000	図面番号	28
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

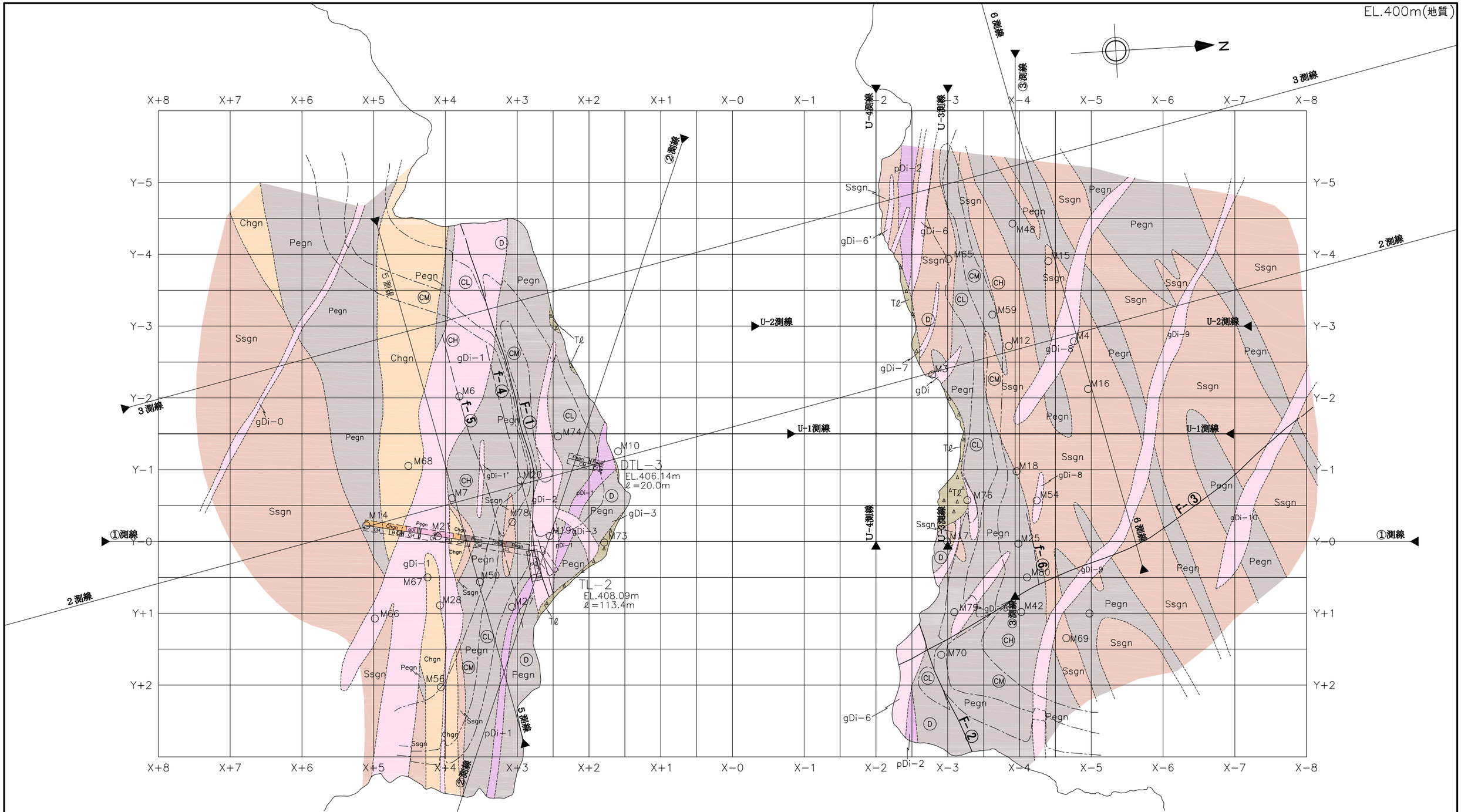
ボーリング調査位置

横坑調査位置

S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.390m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	29
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

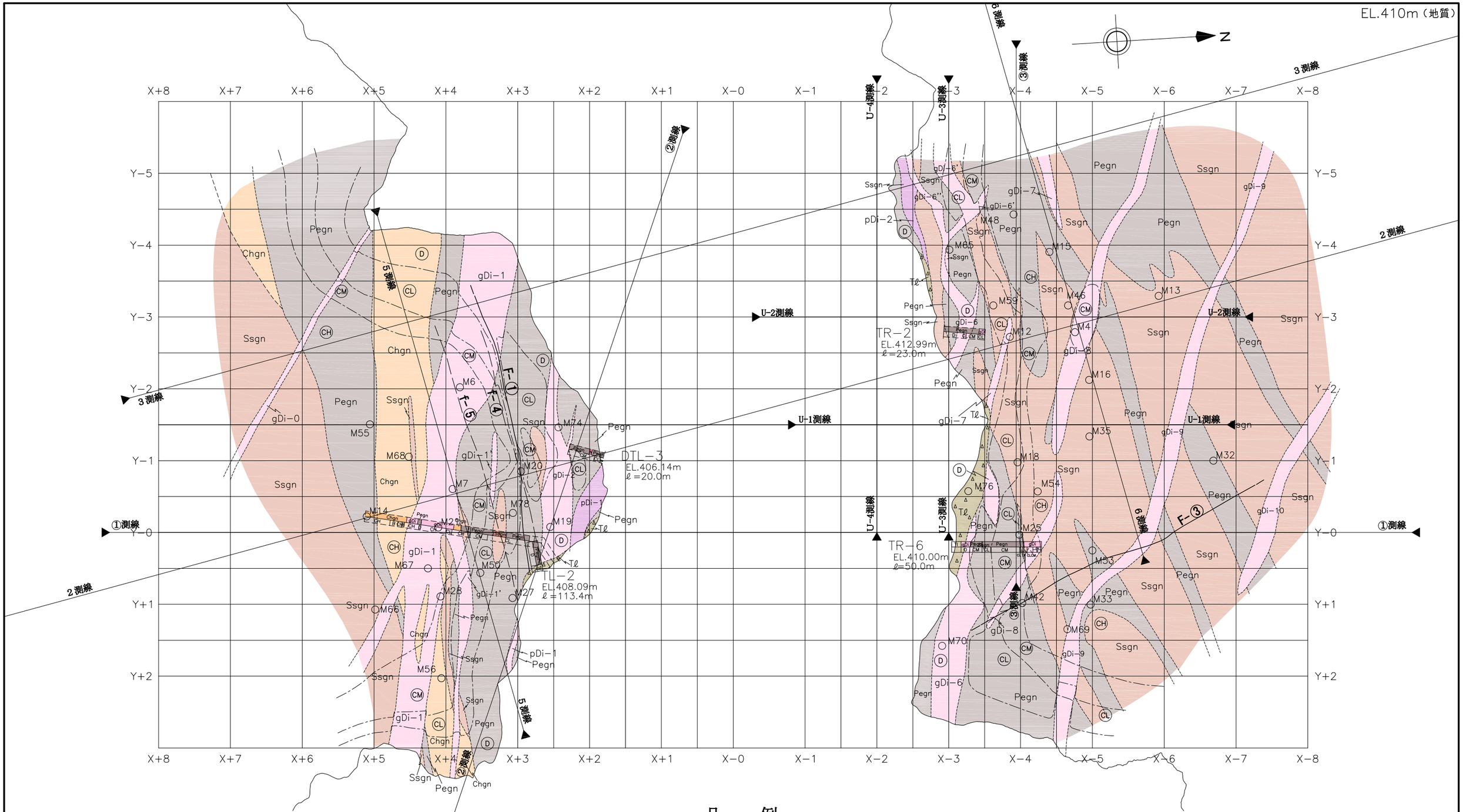
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.400m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	30
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.410m（地質）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕
- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
- g　等粒状閃緑岩
- p　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉
- (D)　D級
- (CL)　CL級
- (CM)　CM級
- (CH)　CH級

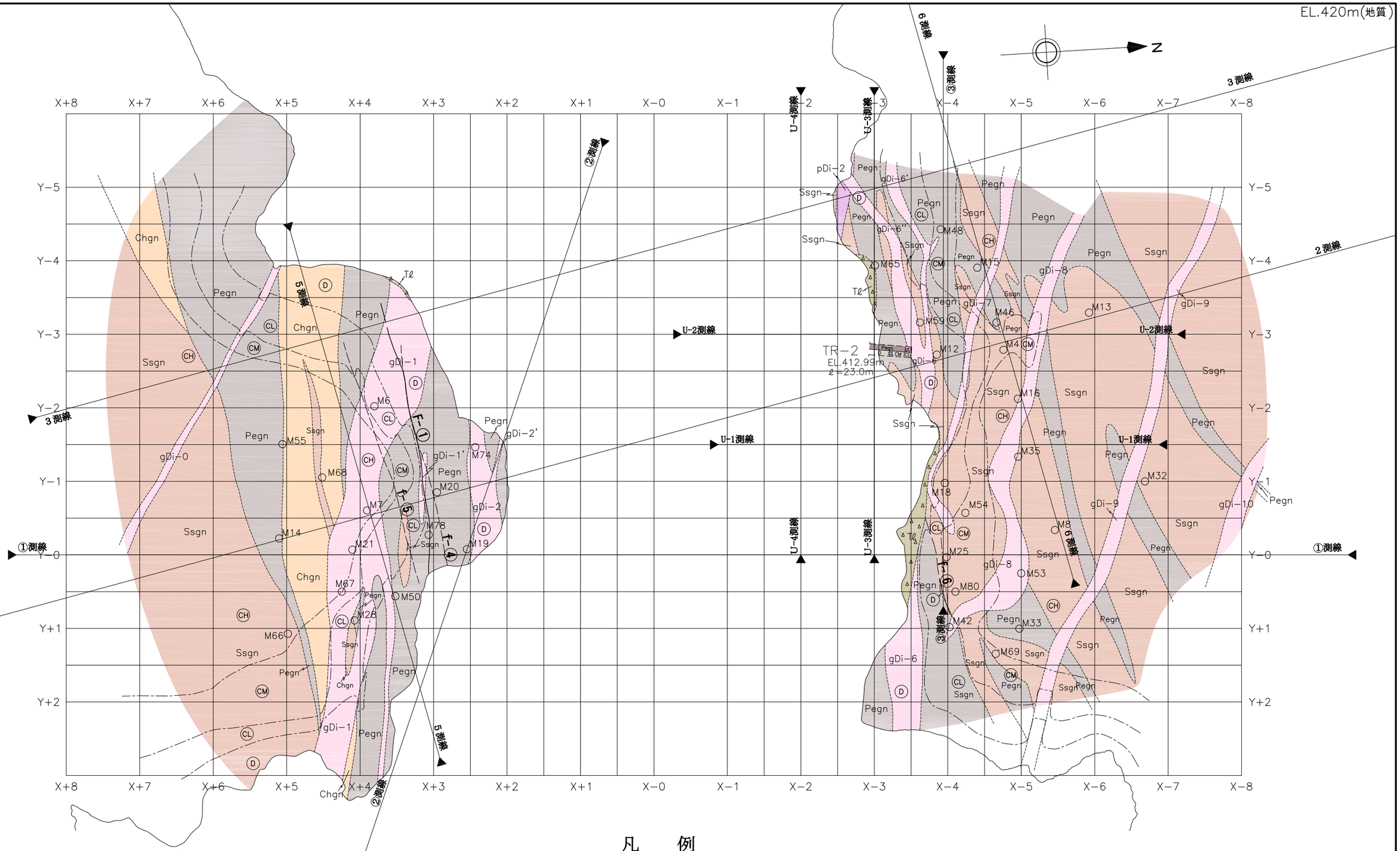
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）
- 弾性波探査測線
- M7　ボーリング調査位置
- 横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.410m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	31
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.410m（地質）

EL.420m(地質)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

横坑調査位置

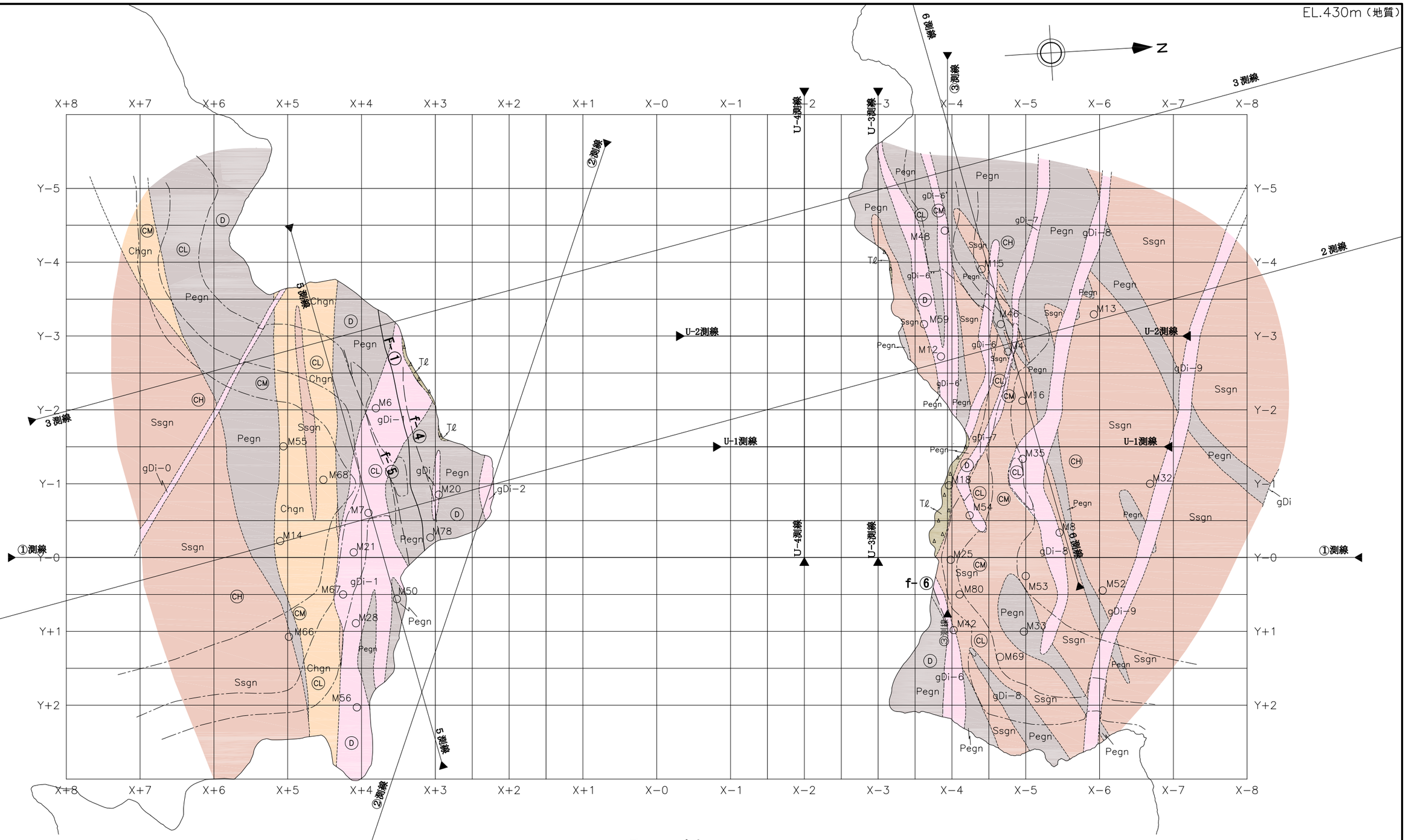
S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.420m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	32
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.420m(地質)

EL.430m（地質）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

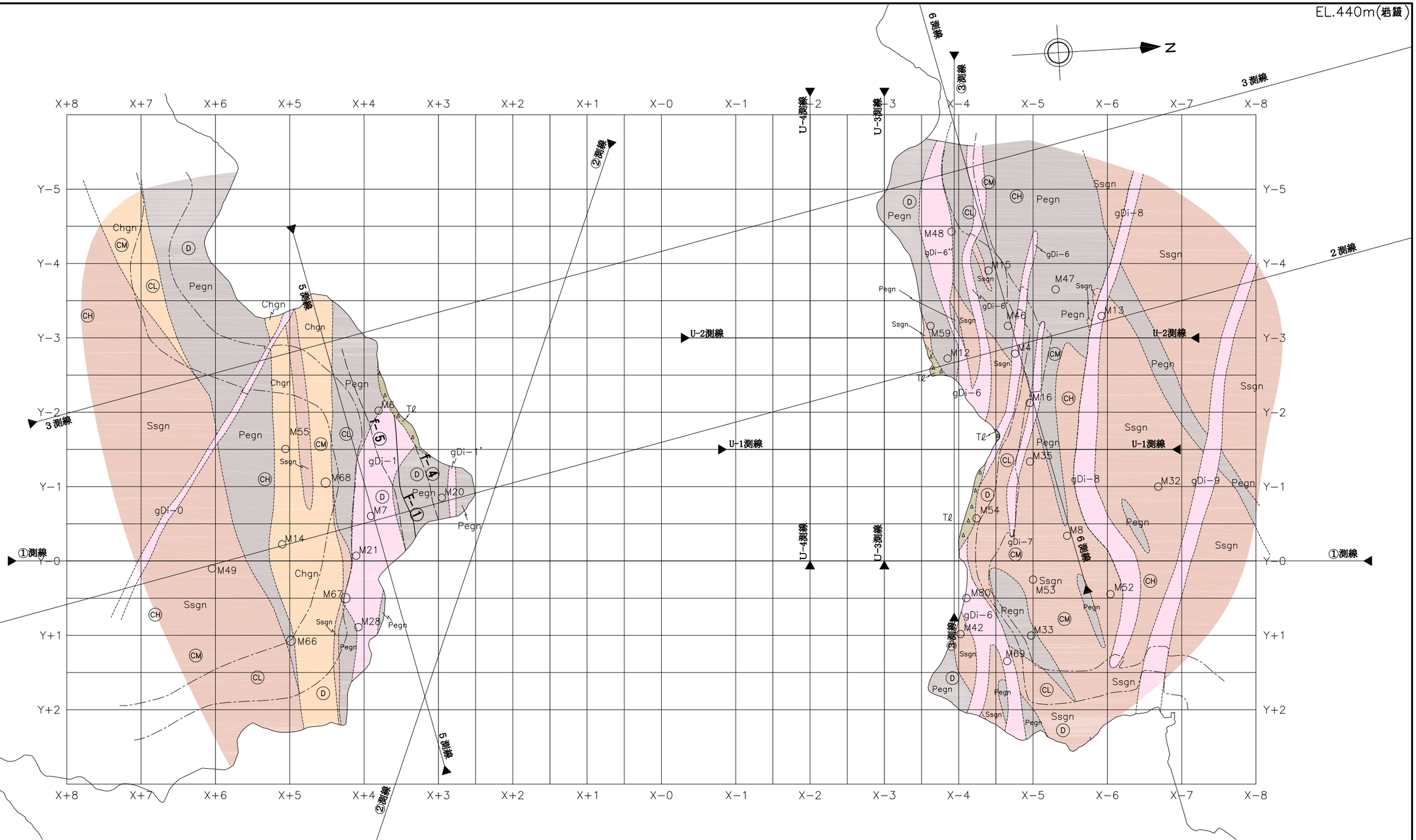
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.430m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	33
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.430m（地質）

EL.440m(岩盤)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

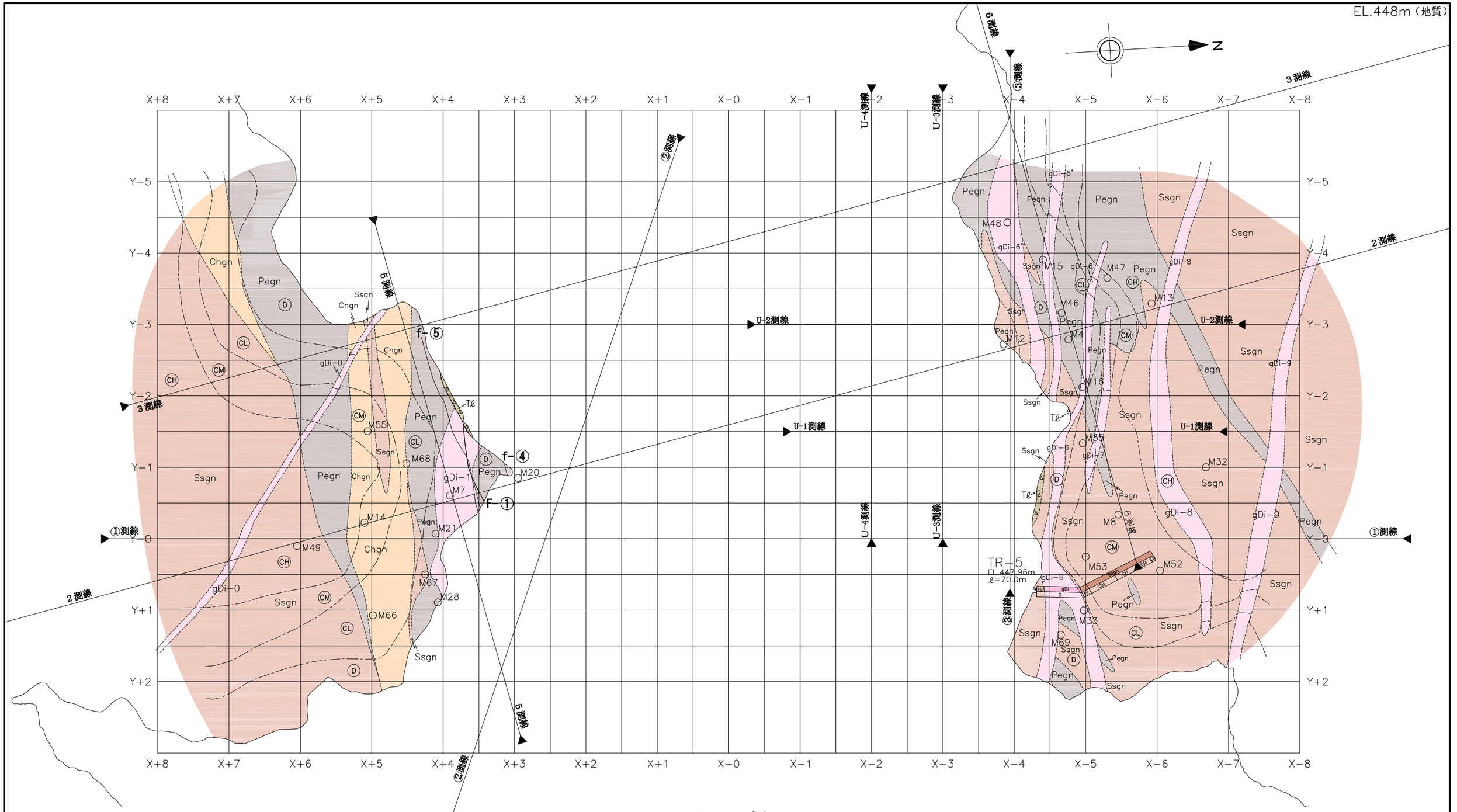
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.440m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	34
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.440m(岩盤)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tℓ　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）
- 弾性波探査測線
- M7　ボーリング調査位置
- 横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.448m　地質水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	35
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

X+9 X+8 X+7 X+6 X+5 X+4 X+3 X+2 X+1 X−0 X−1 X−2 X−3 X−4 X−5 X−6 X−7 X−8 X−9

EL.(m)

②測線 ⑤測線

M56
EL.435.79m
ℓ=80.0m
(上流側1.2m)

M51
EL.397.96m
ℓ=70.0m
(上流側3.6m)

M57
EL.337.63m
ℓ=80.0m
(上流側1.5m)

M45
EL.386.25m
ℓ=60.0m
(上流側0.2m)

ダム天端標高 EL.448.0m
S.W.L. EL.444.00m
N.W.L. EL.437.00m

F-1 F-2 F-3 F-4 F-5

Pegn Chgn Ssgn gDi−1 gDi−2 gDi−4 gDi−5 gDi−6 gDi−6' gDi−9 pDi pDi−1 pDi−2 Ry−1 D CL CM CH Tl Tr Rd

X+7 X+6 X+5 X+4 X+3 X+2 X+1 X−0 X−1 X−2 X−3 X−4 X−5 X−6 X−7

EL.(m)

520 500 480 460 440 420 400 380 360 340 320 300 280 260 240 220 200 180

凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tl 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉
- D D級
- CL CL級
- CM CM級
- CH CH級

M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影方向・距離

ルジオン値
（注）数字はダム軸
Pm：最大圧力(MPa)
Py：降伏圧力(MPa)
- 50<
- 20<Lu≤50
- 10<Lu≤20
- 5<Lu≤10
- 2<Lu≤5
- Lu≤2

孔内水位採用区分
- 平均水位採用孔
- 最低水位採用孔
- 最終孔内水位採用孔
- 近接機坑最新前の平均水位

地質区分 岩級区分

0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y＋2　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	36
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y+1(岩級)

X+9 X+8 X+7 X+6 X+5 X+4 X+3 X+2 X+1 X−0 X−1 X−2 X−3 X−4 X−5 X−6 X−7 X−8 X−9

5測線　②測線

EL.(m) 520 500 480 460 440 420 400 380 360 340 320 300 280 260 240 220 200 180

M66 EL.466.33m ℓ=75.0m (上流側2.9m)
M28 EL.448.47m ℓ=65.0m (下流側4.4m)
M50 EL.433.96m ℓ=110.0m (下流側17.5m)
M27 EL.412.73m ℓ=50.0m (下流側3.5m)
M22 EL.386.19m ℓ=90.0m (下流側3.2m)
M26 ℓ=80.0m (下流側5.0m)
TL−3 EL.360.53m ℓ=50.3m
M40 EL.334.09m ℓ=130.0m
TR−4 EL.339.96m ℓ=60.0m
M41 EL.344.62m ℓ=145.0m
M44 EL.360.00m ℓ=100.0m (下流側21.6m)
M36 EL.341.83m ℓ=130.0m (下流側7.3m)
M37 EL.381.95m ℓ=125.0m (下流側1.0m)
M79 EL.411.69m ℓ=101.0m (下流側0.6m)
TR−5 EL.447.96m ℓ=70.0m (下流側10.4m)
M42 EL.443.34m ℓ=130.0m (下流側0.7m)
M33 EL.475.25m ℓ=130.0m (上流側0.1m)

ダム天端標高 EL.448.0m
S.W.L. EL.444.00m
N.W.L. EL.437.00m

F−1 F−2 F−3 F−4 F−5

Ssgn Chgn Pegn gDi−0 gDi−1 gDi−2 gDi−4 gDi−5 gDi−6 gDi−6' gDi−8 gDi−9 gDi−10 pDi−1 pDi−2 Ssgn Rd Tℓ Ry−1 gDi

D CL CM CH

凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）
- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

（第三紀火成岩類）
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

（第三紀堆積岩類）
- Cg 礫岩

（白亜紀領家花崗岩類）
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

（白亜紀領家変成岩類）
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）

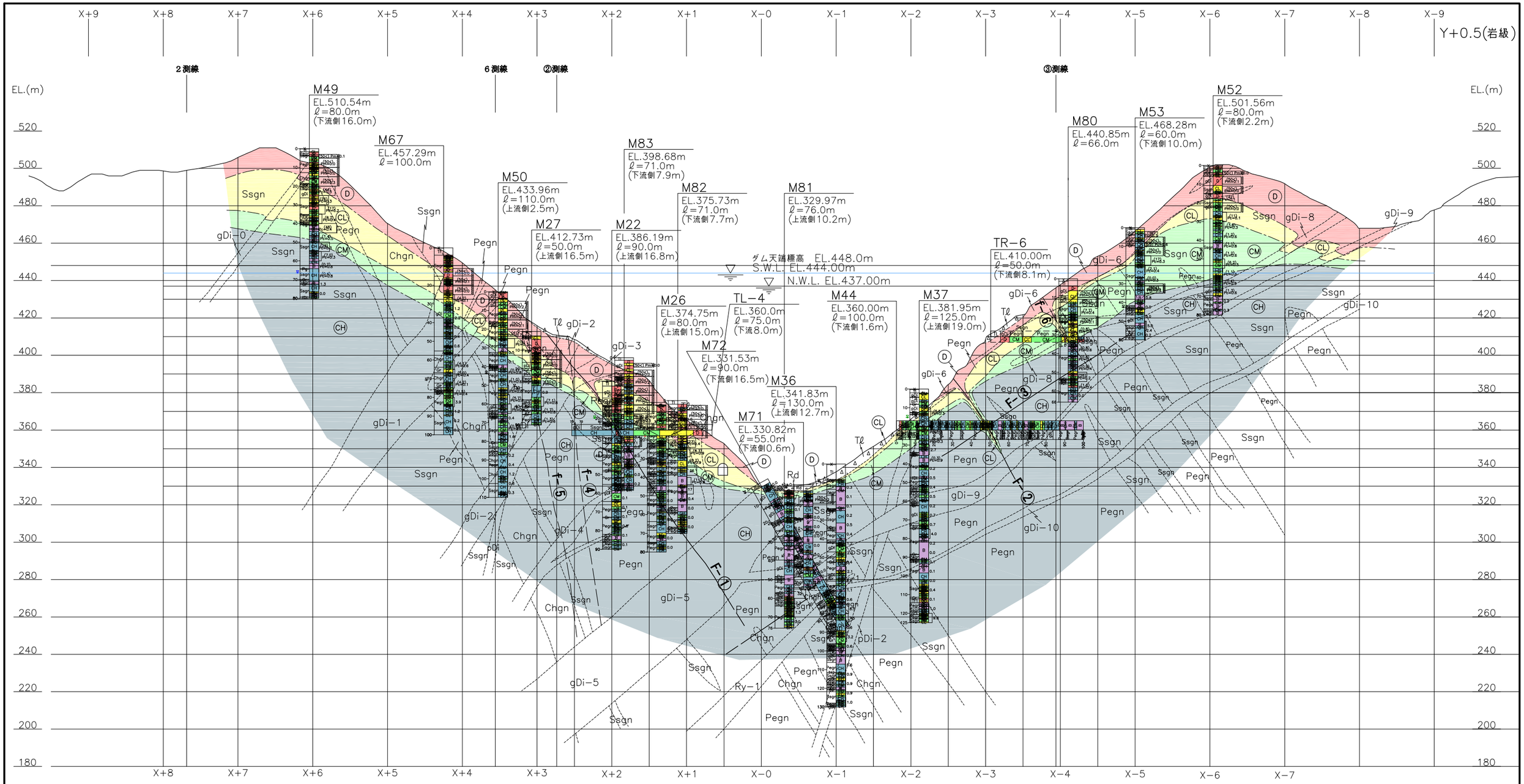
〈岩級区分〉
- D D級
- CL CL級
- CM CM級
- CH CH級

M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影方向・距離

地質区分 岩級区分 ルジオン値 孔内水位 孔内水位採用区分 平均水位採用孔 簡易水位採用孔 最終孔内水位採用孔 近接機坑掘削前の平均水位

S=1/1,000 0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y＋1　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	37
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

地質境界

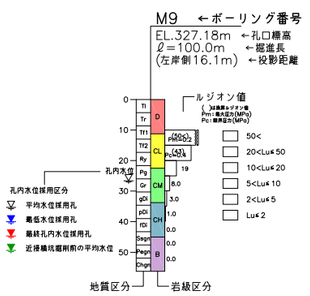
岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

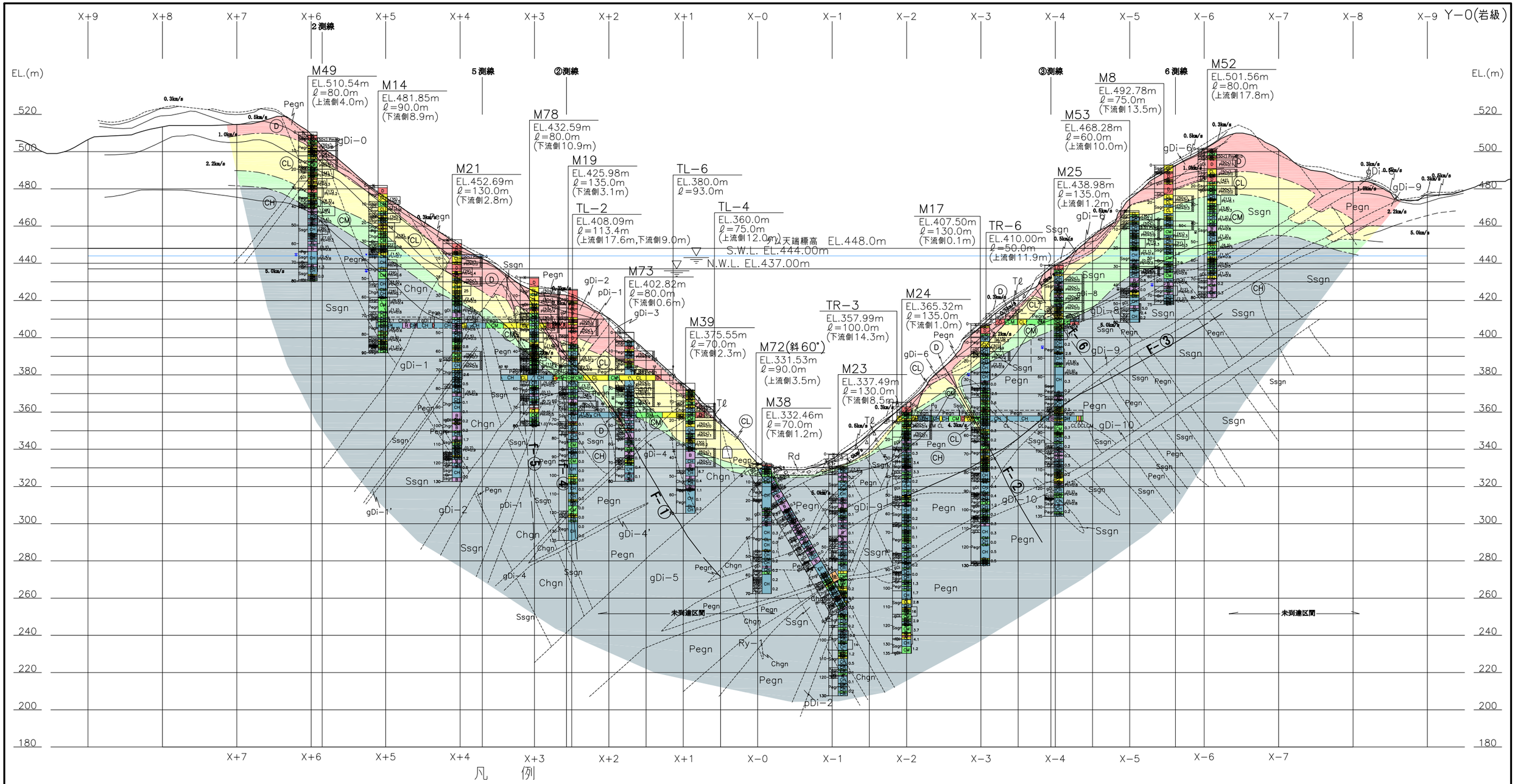
M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影距離



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y+0.5 岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	38
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y+0.5(岩級)



〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物
Tl	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

（第三紀火成岩類）

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

（第三紀堆積岩類）

Cg	礫岩

（白亜紀領家花崗岩類）

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

地質境界

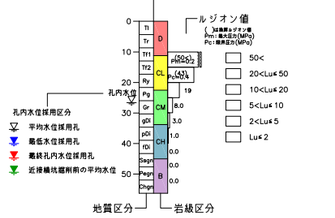
岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

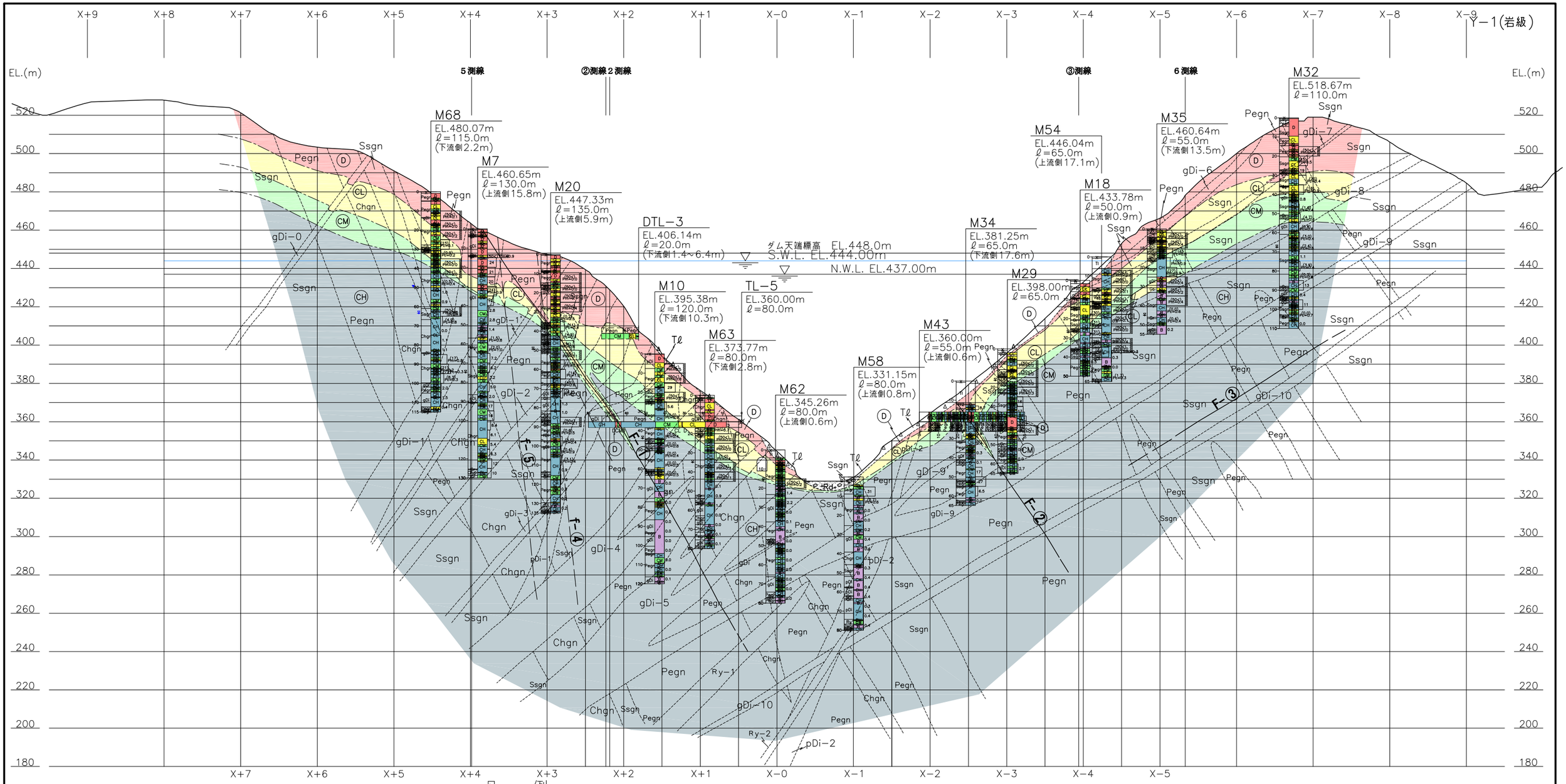
M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影方向・距離



S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−0 岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	39
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y−0(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

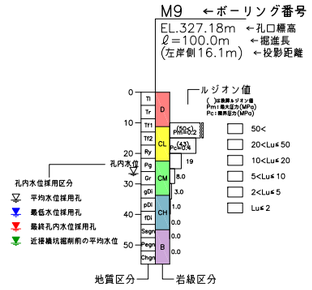
地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級



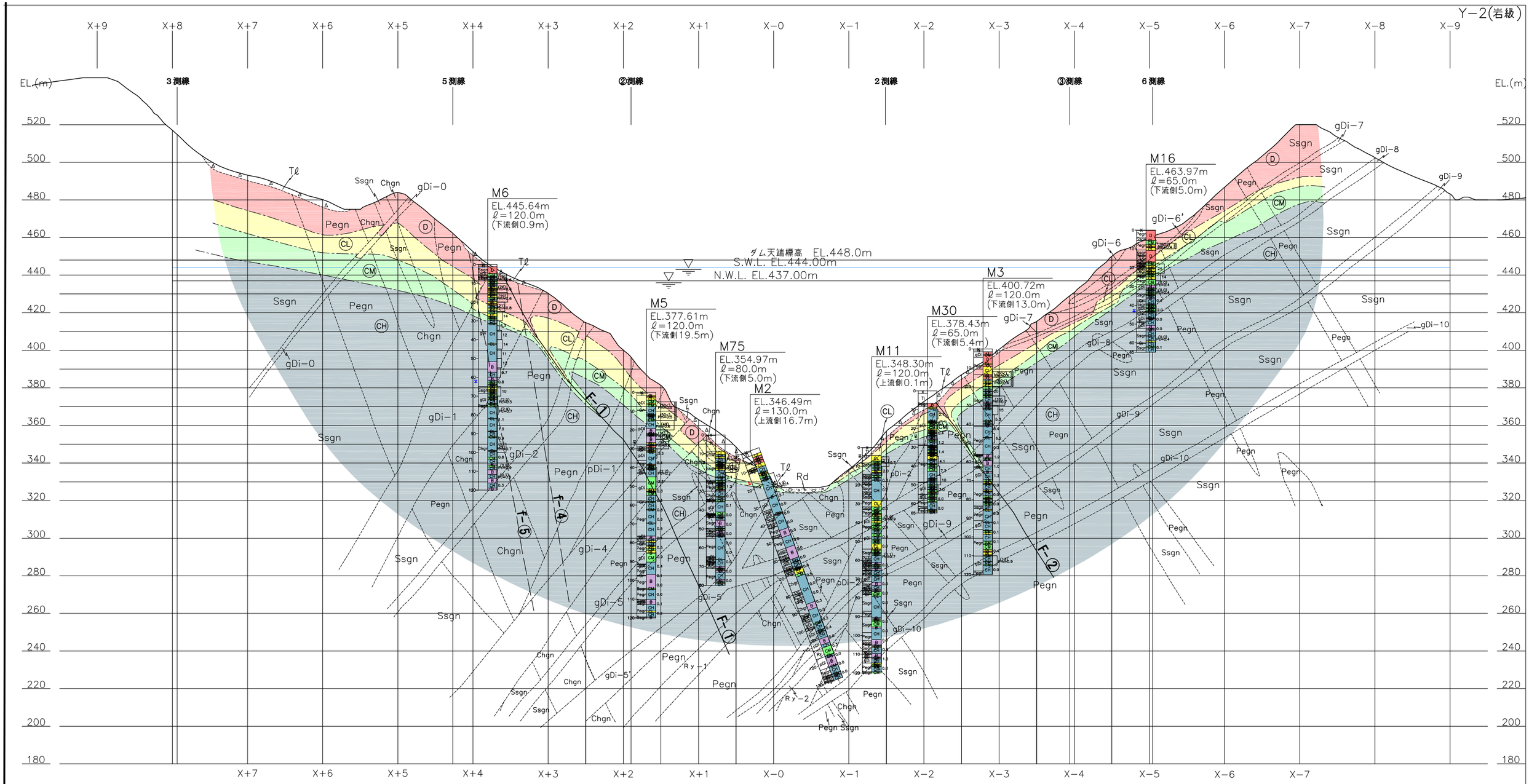
S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−1　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	40
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y−1(岩級)

Y−2(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物	gDi	等粒状閃緑岩
Tℓ	崖錐堆積物	pDi	斑状閃緑岩
Tr	段丘堆積物		

（第三紀火成岩類）

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

（第三紀堆積岩類）

Cg	礫岩

（白亜紀領家花崗岩類）

（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩	Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩		

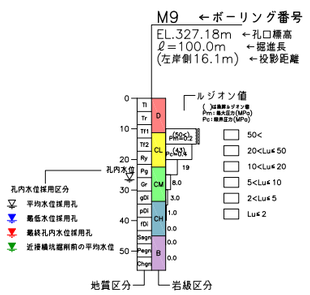
〈岩級区分〉

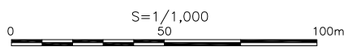
D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級

地質境界

岩級境界

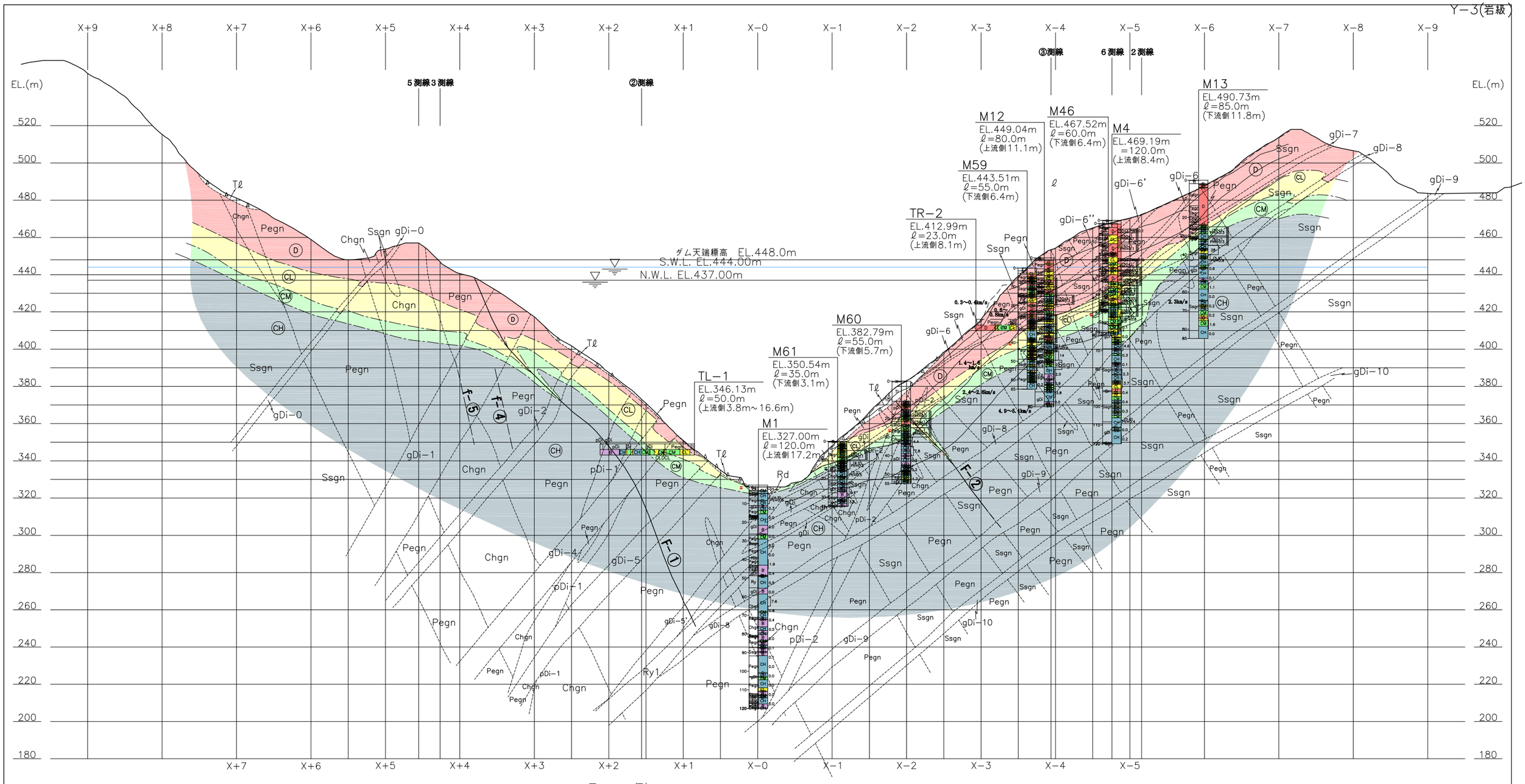
断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−2　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	41
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y−2(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物	gDi	等粒状閃緑岩
Tℓ	崖錐堆積物	pDi	斑状閃緑岩
Tr	段丘堆積物		

（第三紀火成岩類）

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

（第三紀堆積岩類）

Cg	礫岩

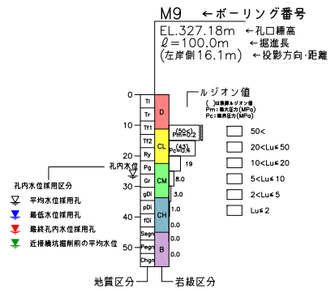
（白亜紀領家花崗岩類）

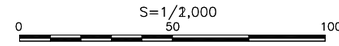
（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩	Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩		

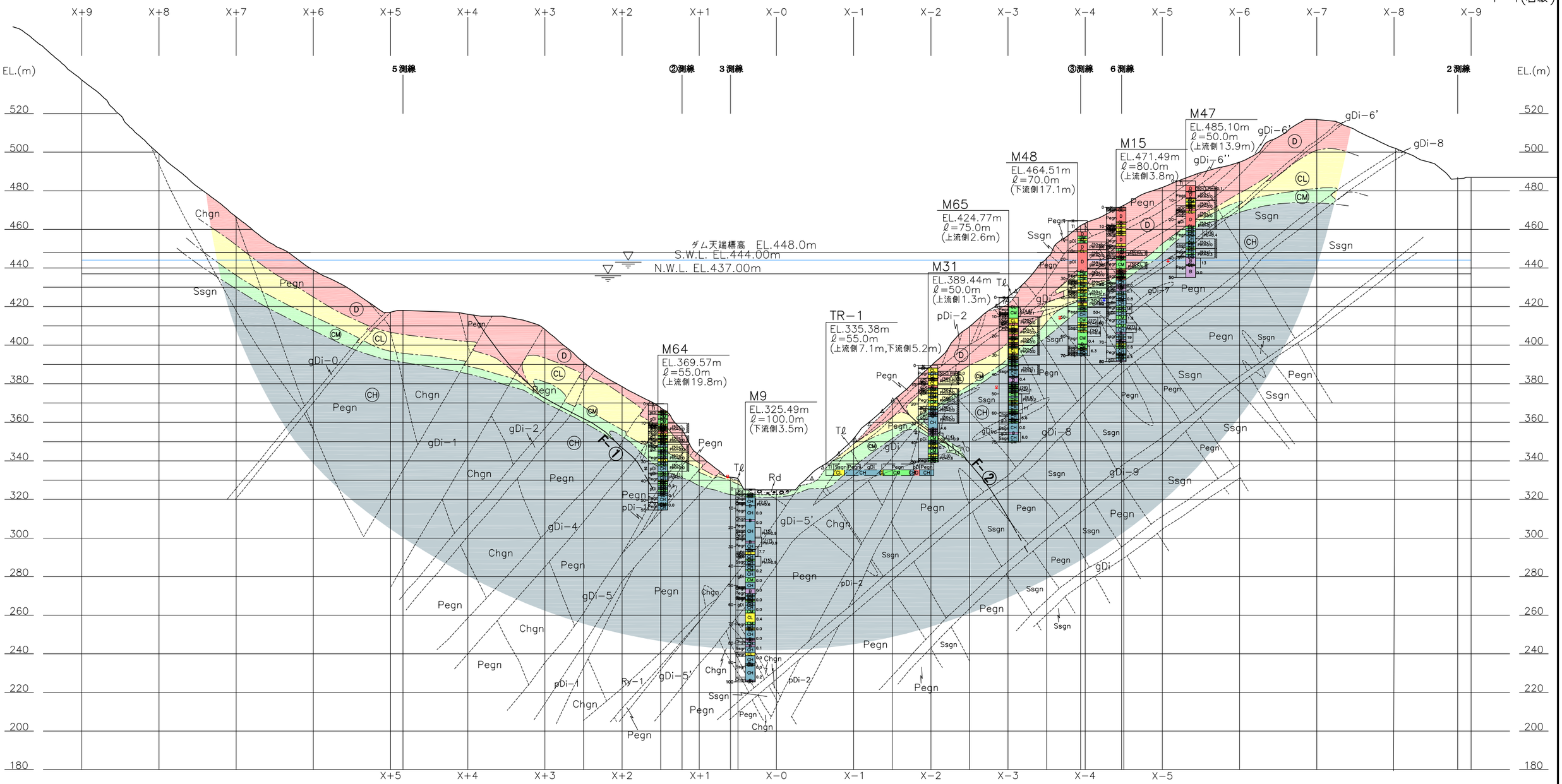
〈岩級区分〉

D	D級	地質境界	
CL	CL級	岩級境界	
CM	CM級	断層（破線部は推定）	
CH	CH級		





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−3　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	42
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

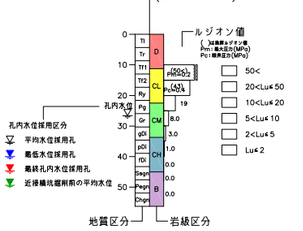
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

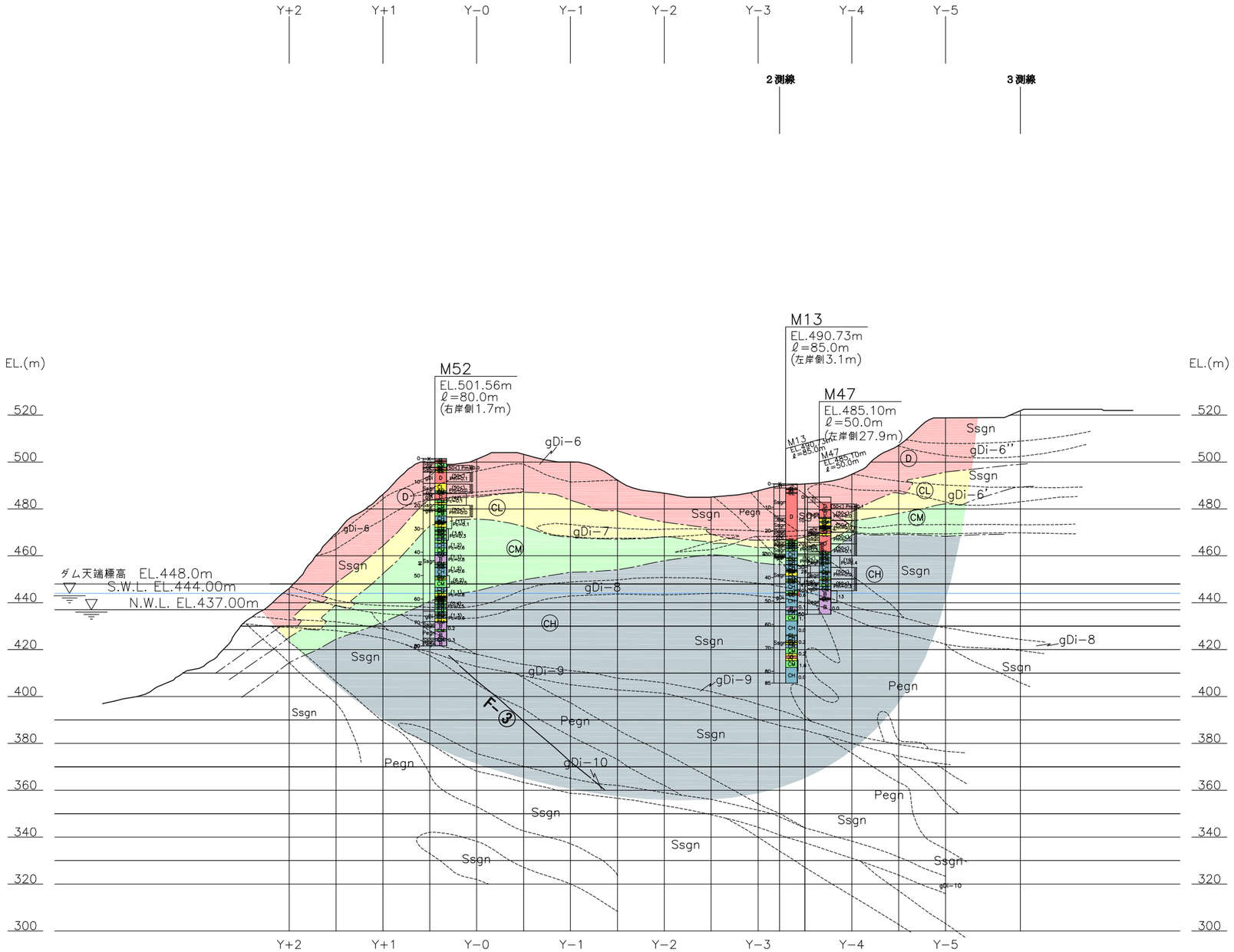
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）

M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影距離



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y−4　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	43
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

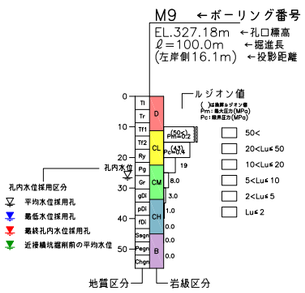
〈岩級区分〉

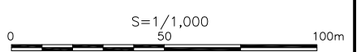
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

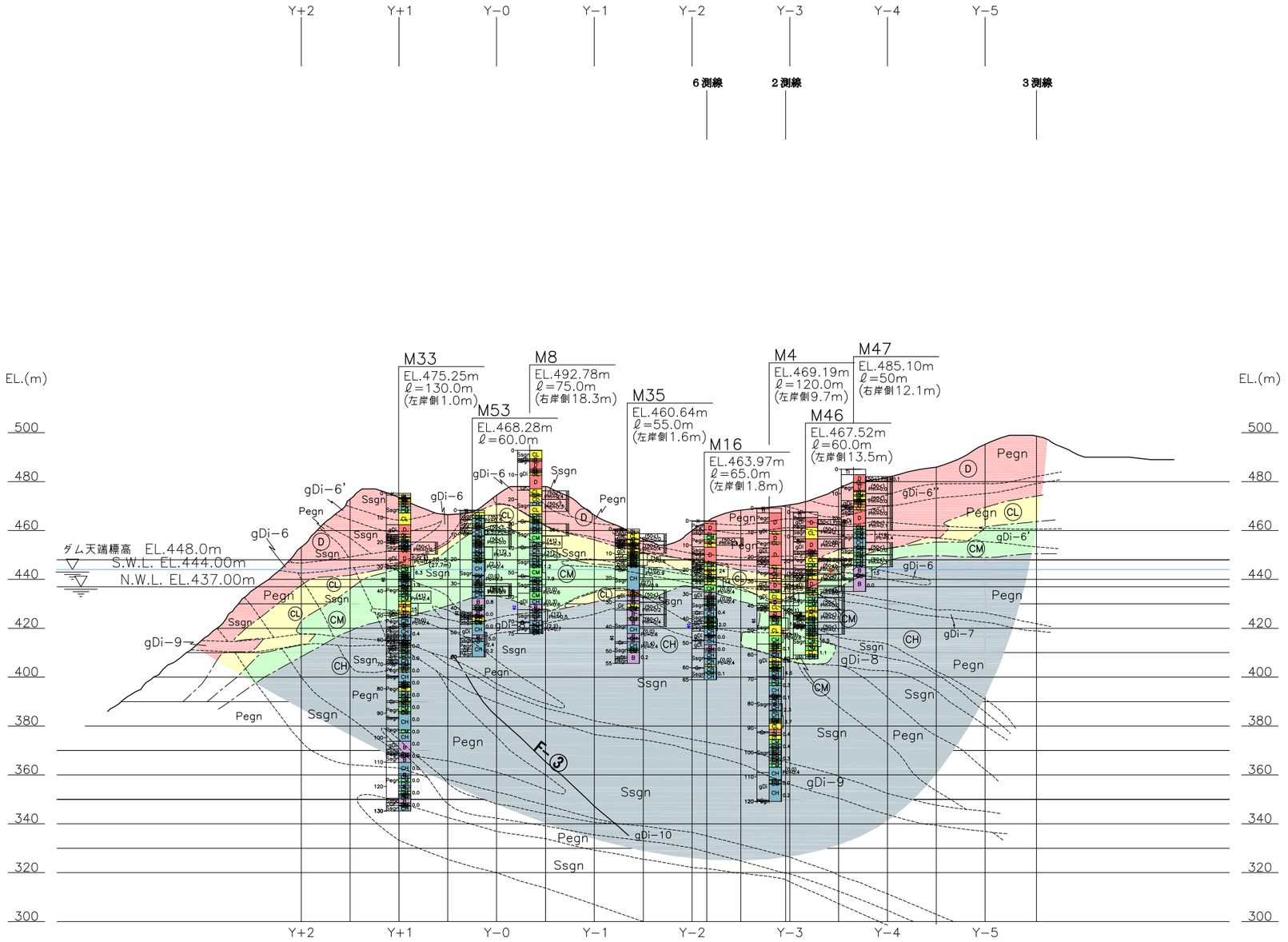
岩級境界

断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－6　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	44
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

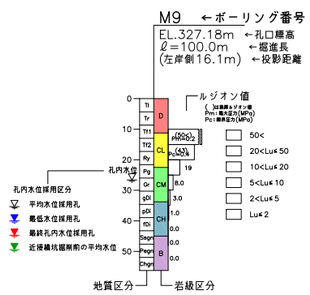
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

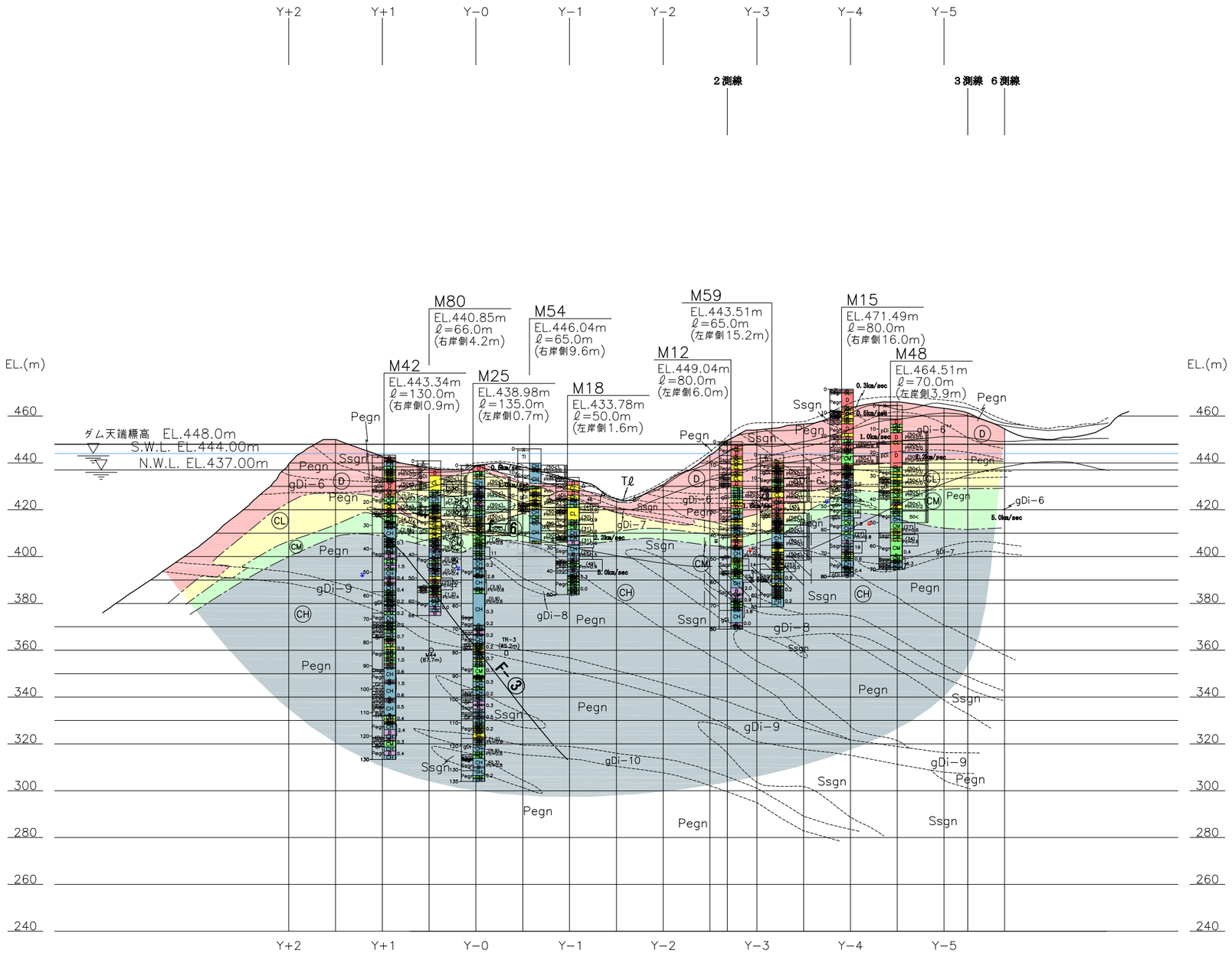
断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－5　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	45
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

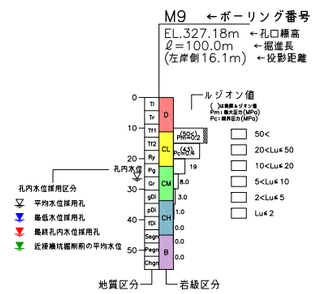
〔白亜紀領家変成岩類〕

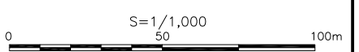
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

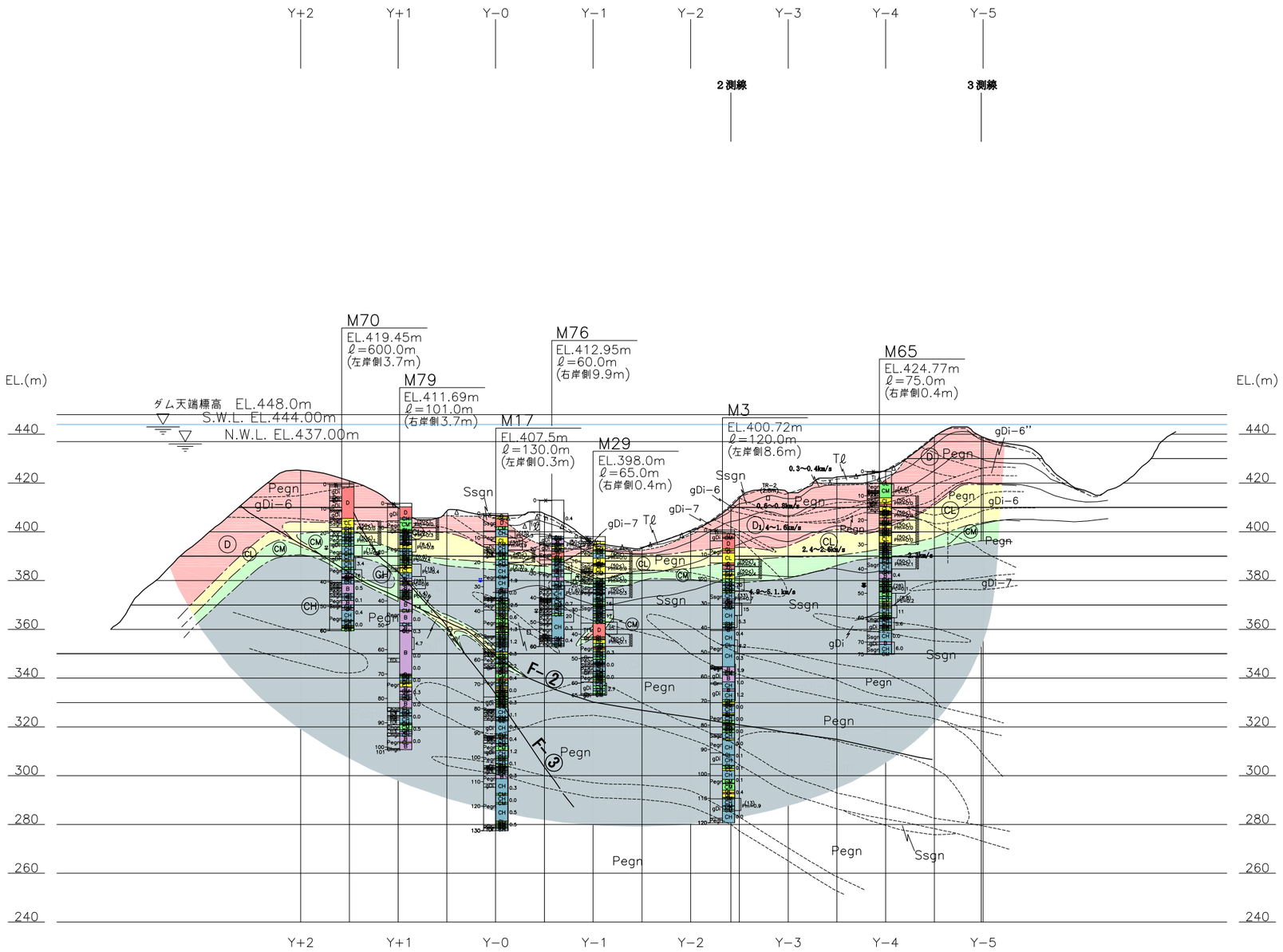
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－4　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	46
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

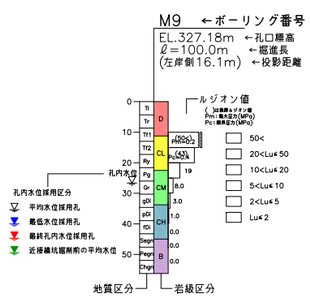
〔白亜紀領家変成岩類〕

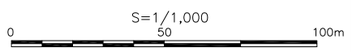
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

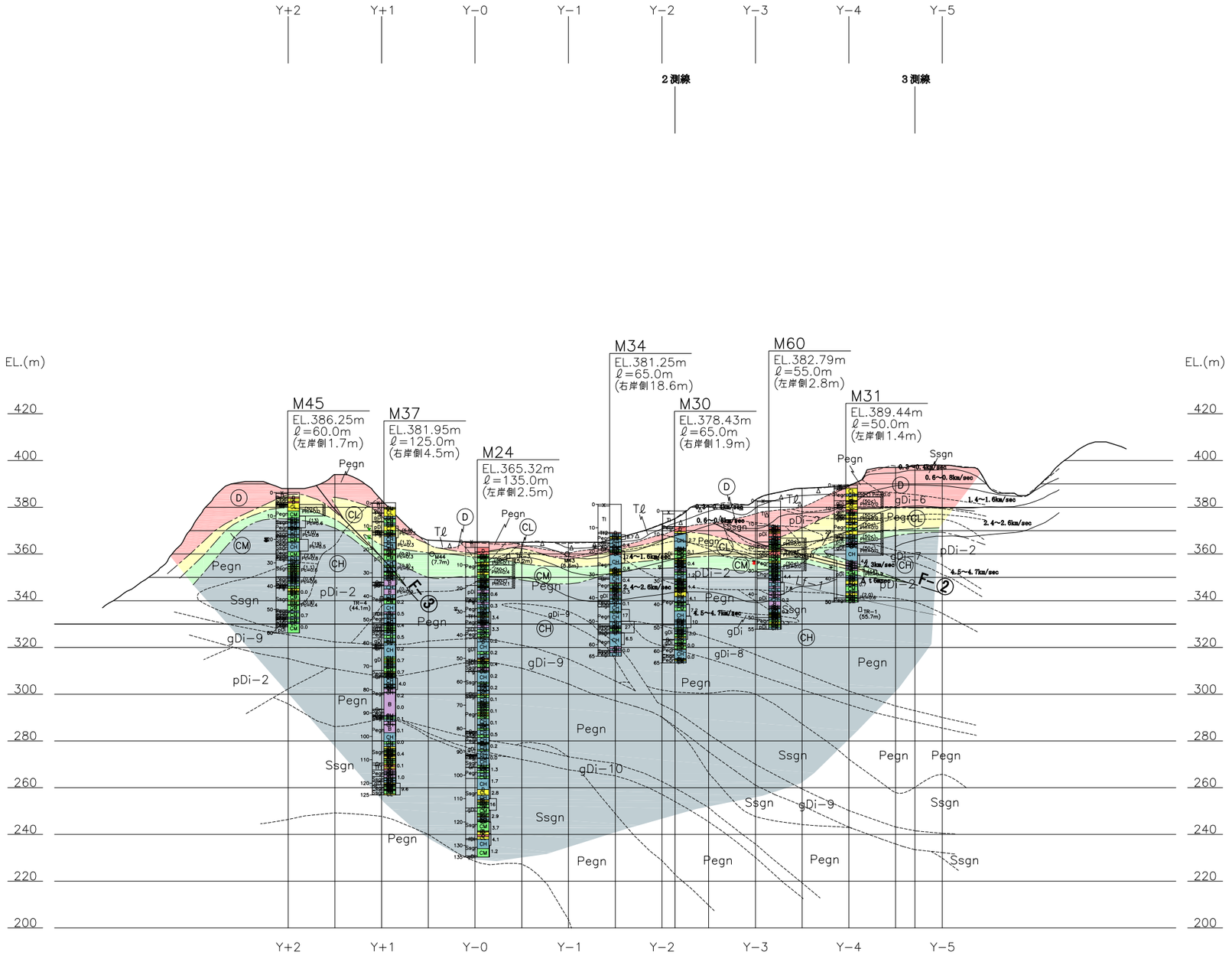
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－3　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	47
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

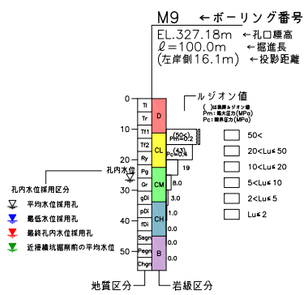
〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

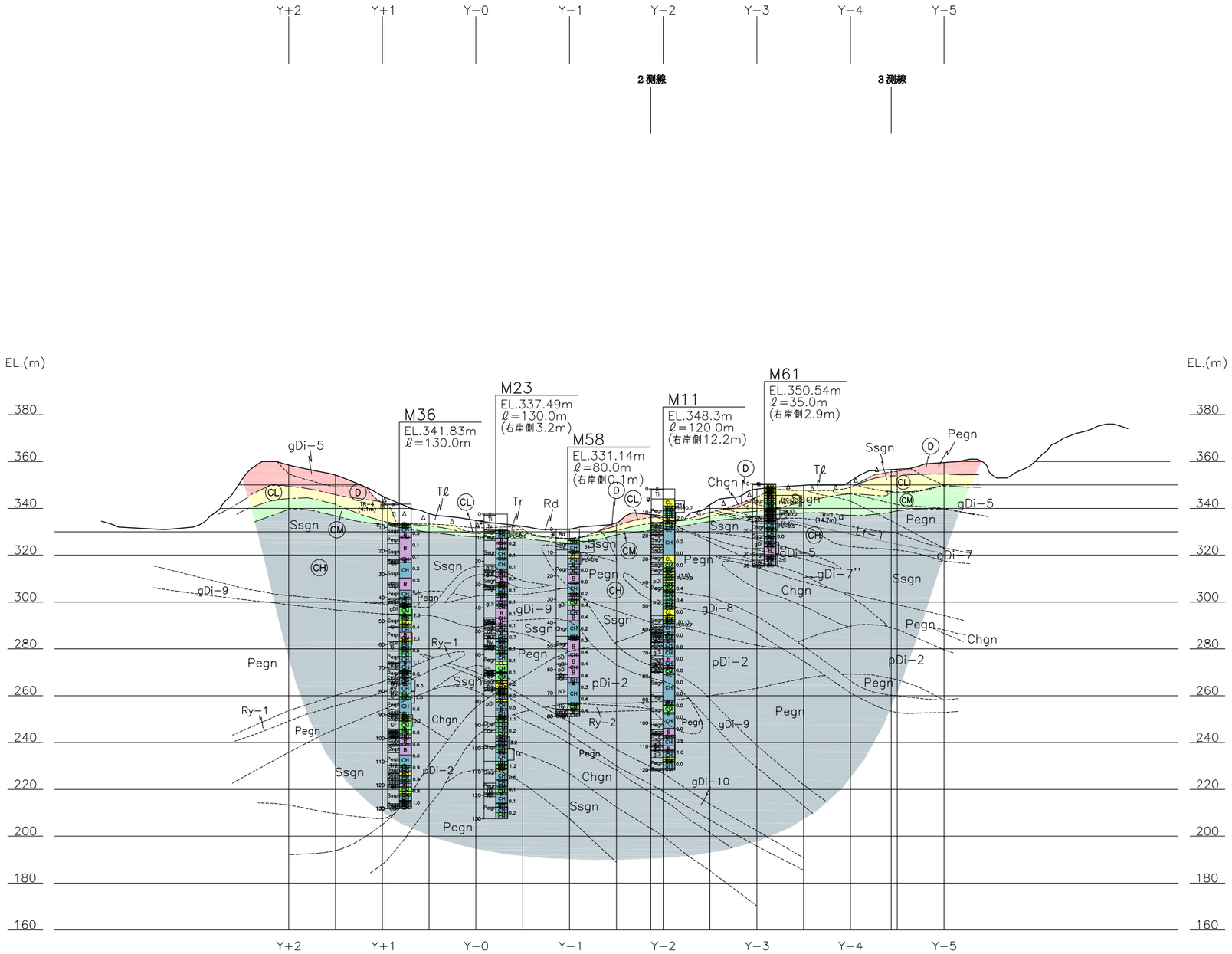
	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－2　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	48
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

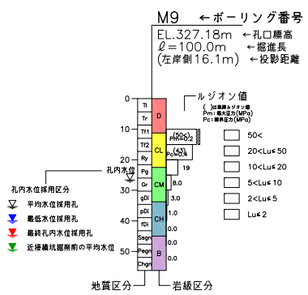
〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

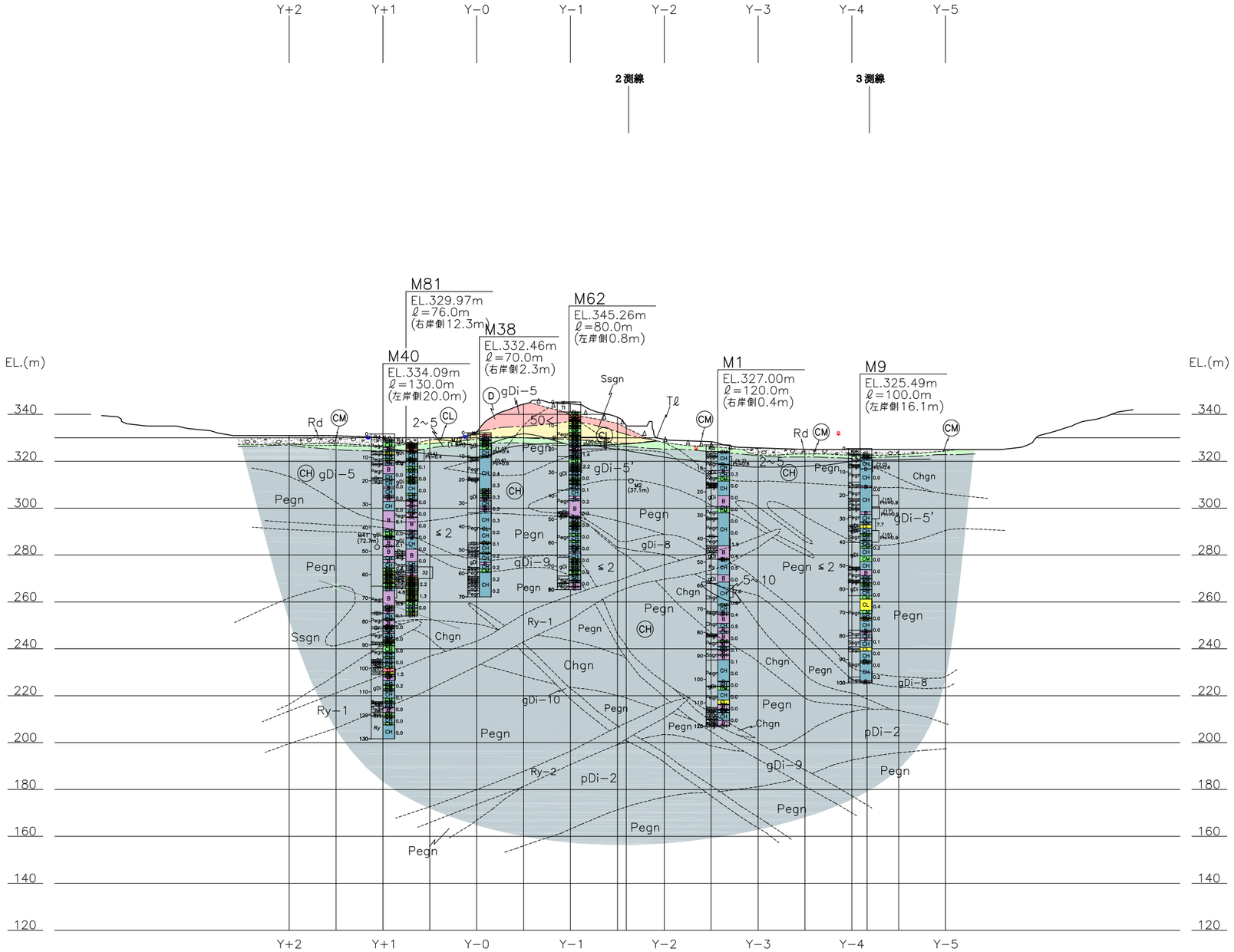
	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－1　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	49
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd　現河床堆積物
- Tl　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg　礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

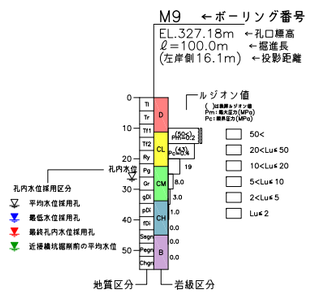
〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

〈岩級区分〉

- (D)　D級
- (CL)　CL級
- (CM)　CM級
- (CH)　CH級

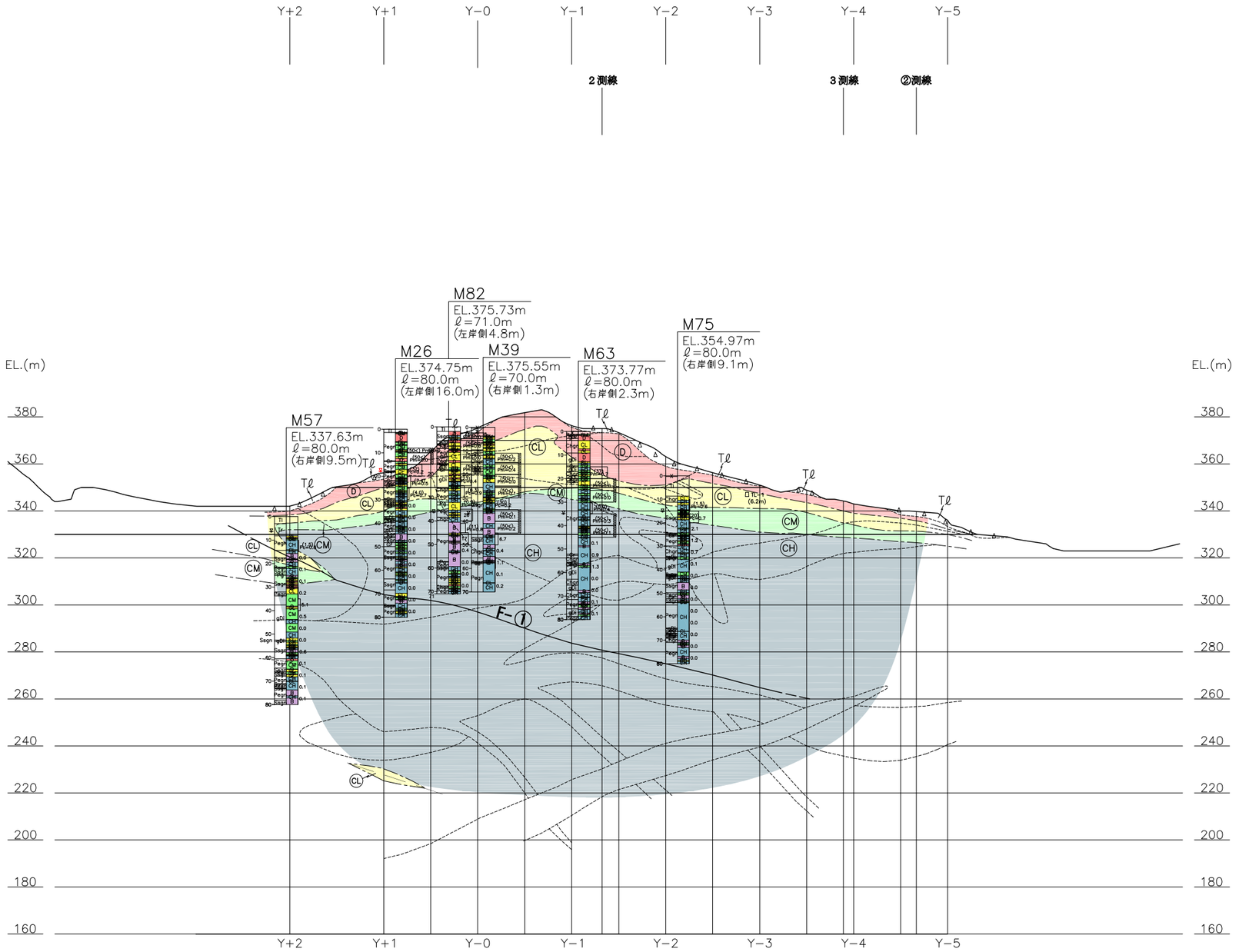
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層　（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－0　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	50
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

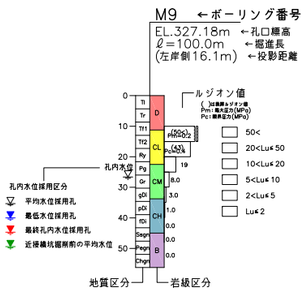
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

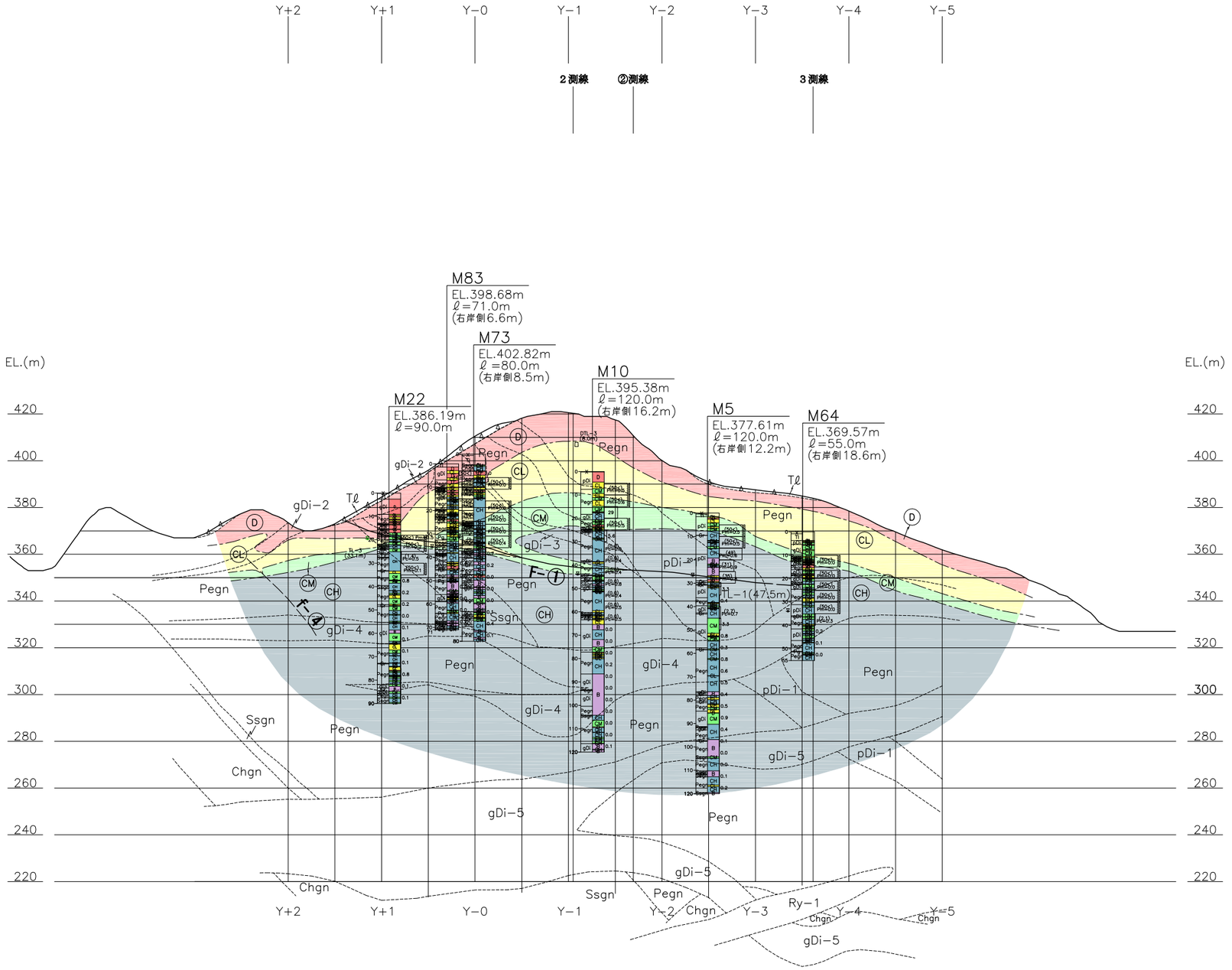
断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋1　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	51
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

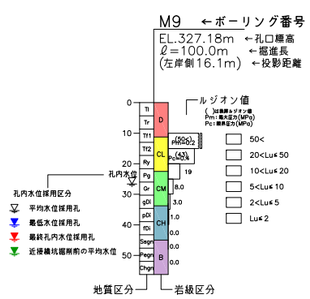
〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

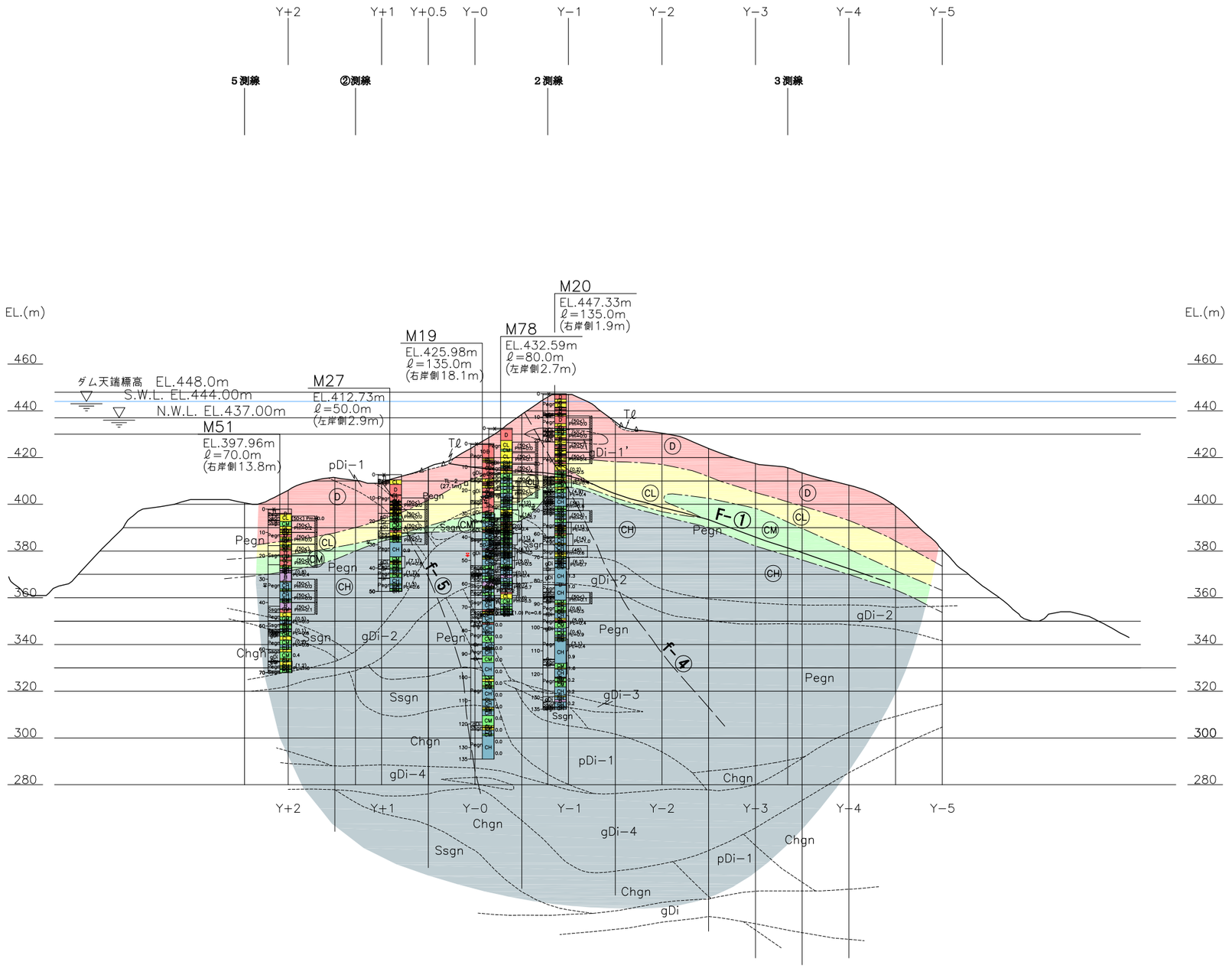
	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋2　岩級断面図		
年月	平成29年　3月		
尺度	1/1,000	図面番号	52
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

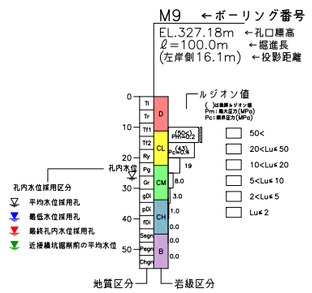
〈岩級区分〉

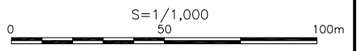
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

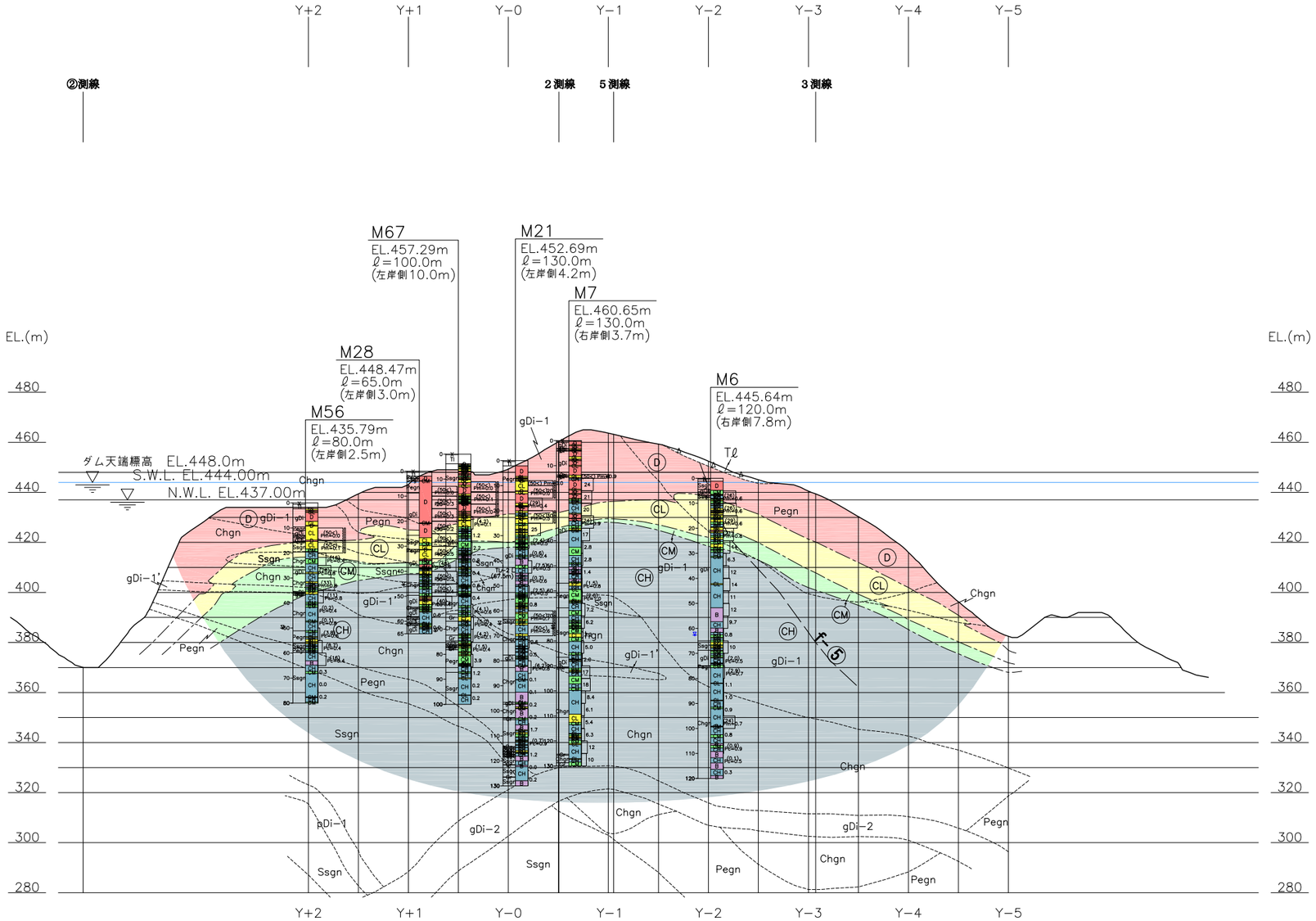
岩級境界

断層（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋3　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	53
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

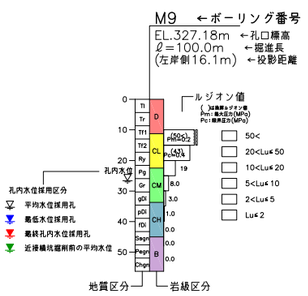
〈岩級区分〉

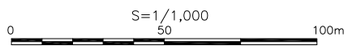
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

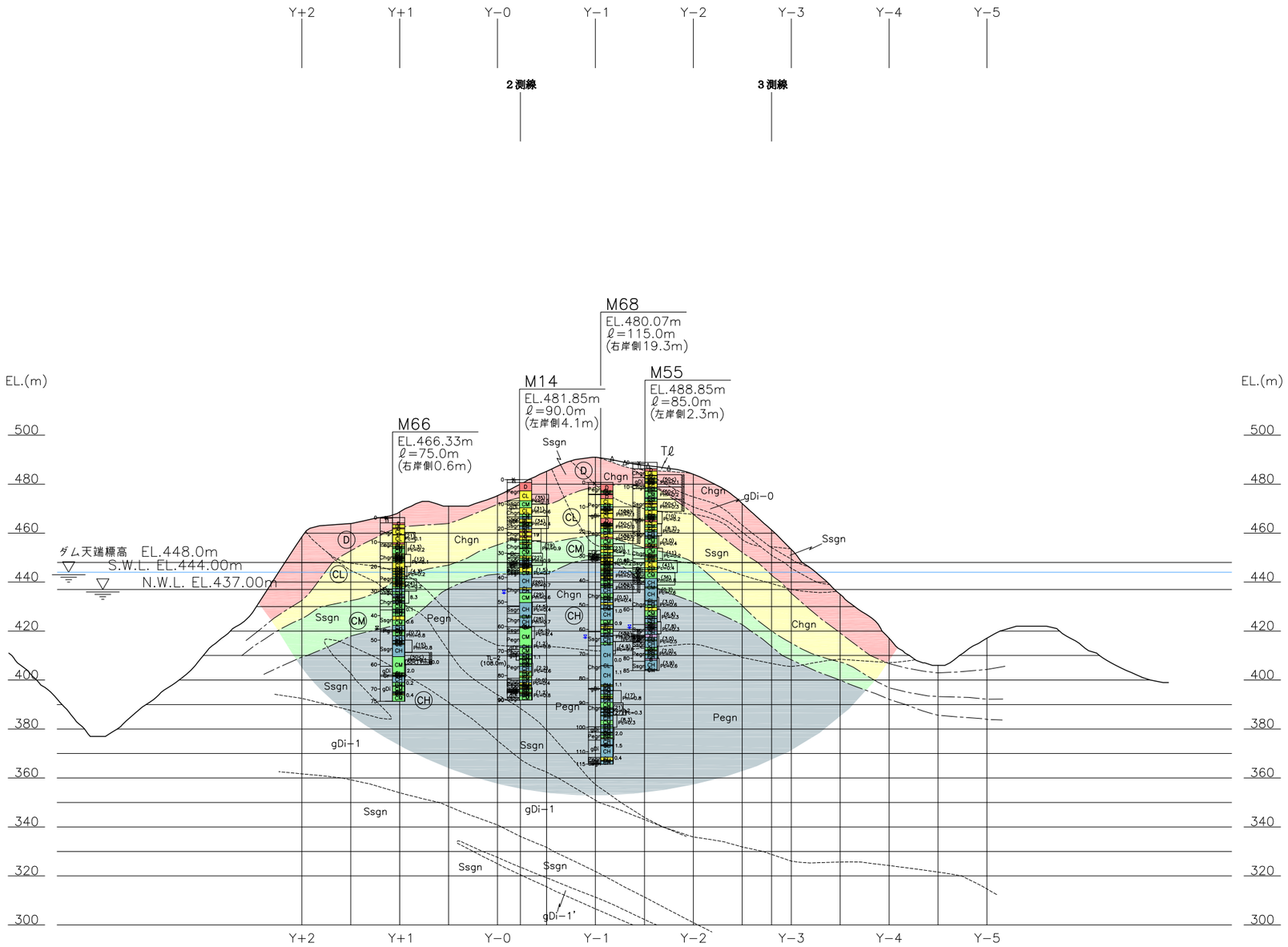
岩級境界

断層　(破線部は推定)





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋4　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	54
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

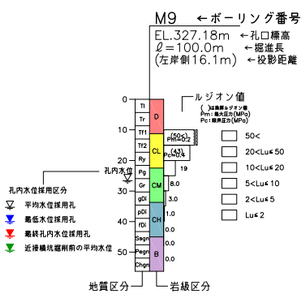
〈岩級区分〉

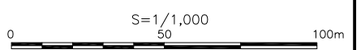
D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

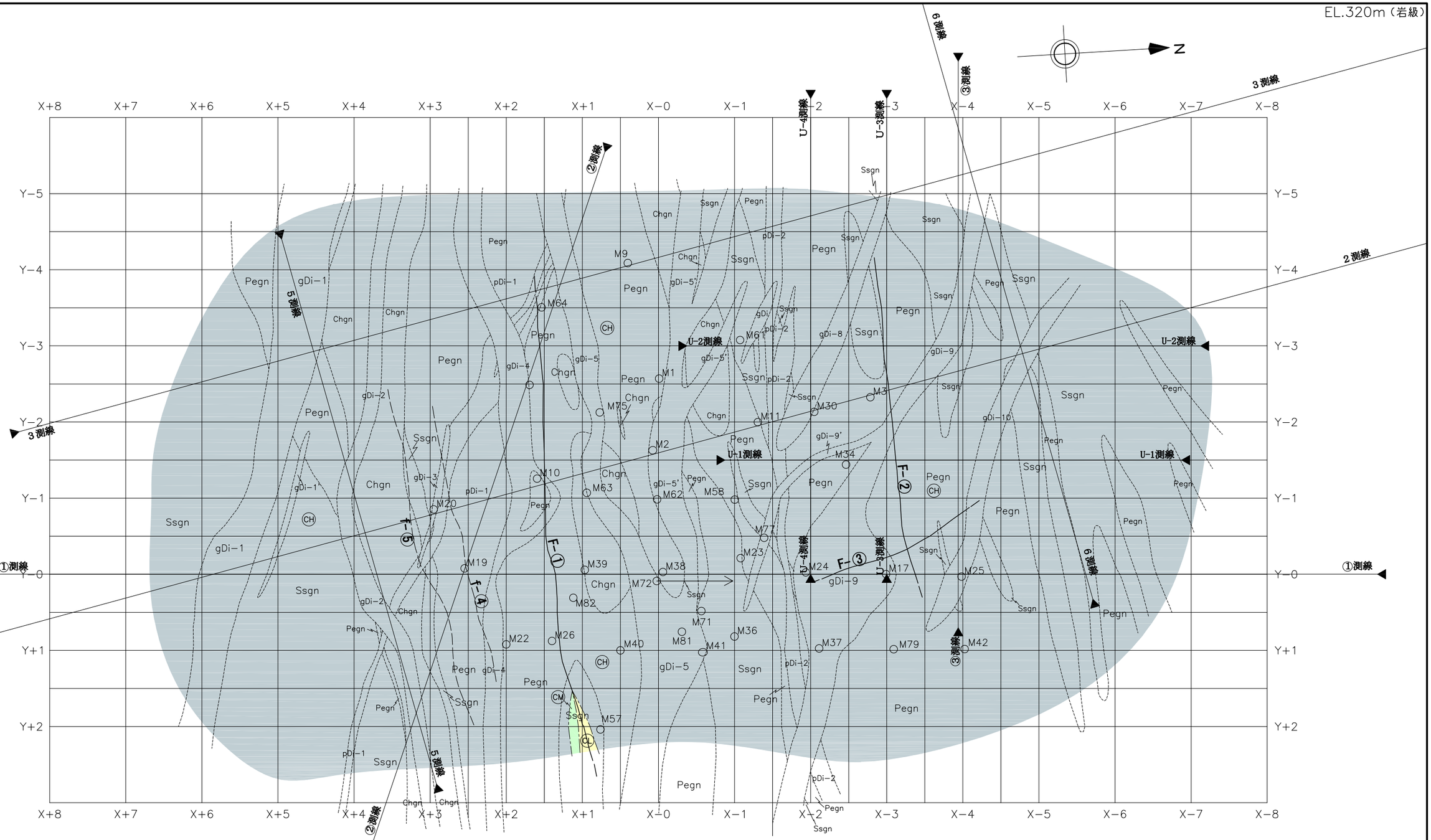
断層　（破線部は推定）





業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋5　岩級区分断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	55
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.320m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tl	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩	

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

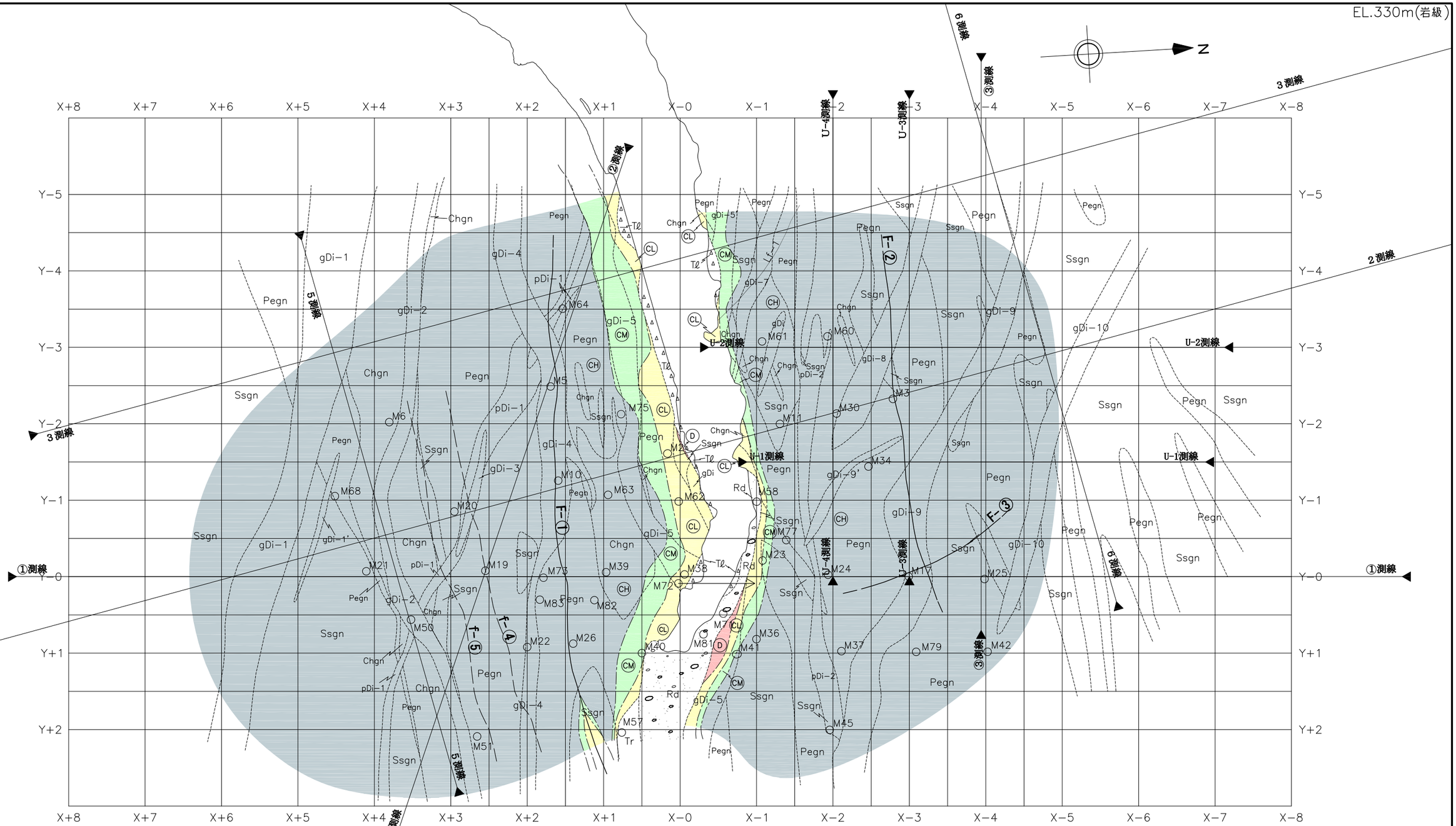
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.320m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	56
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.320m（岩級）

EL.330m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩	

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）
	弾性波探査測線
M7	ボーリング調査位置
	横坑調査位置

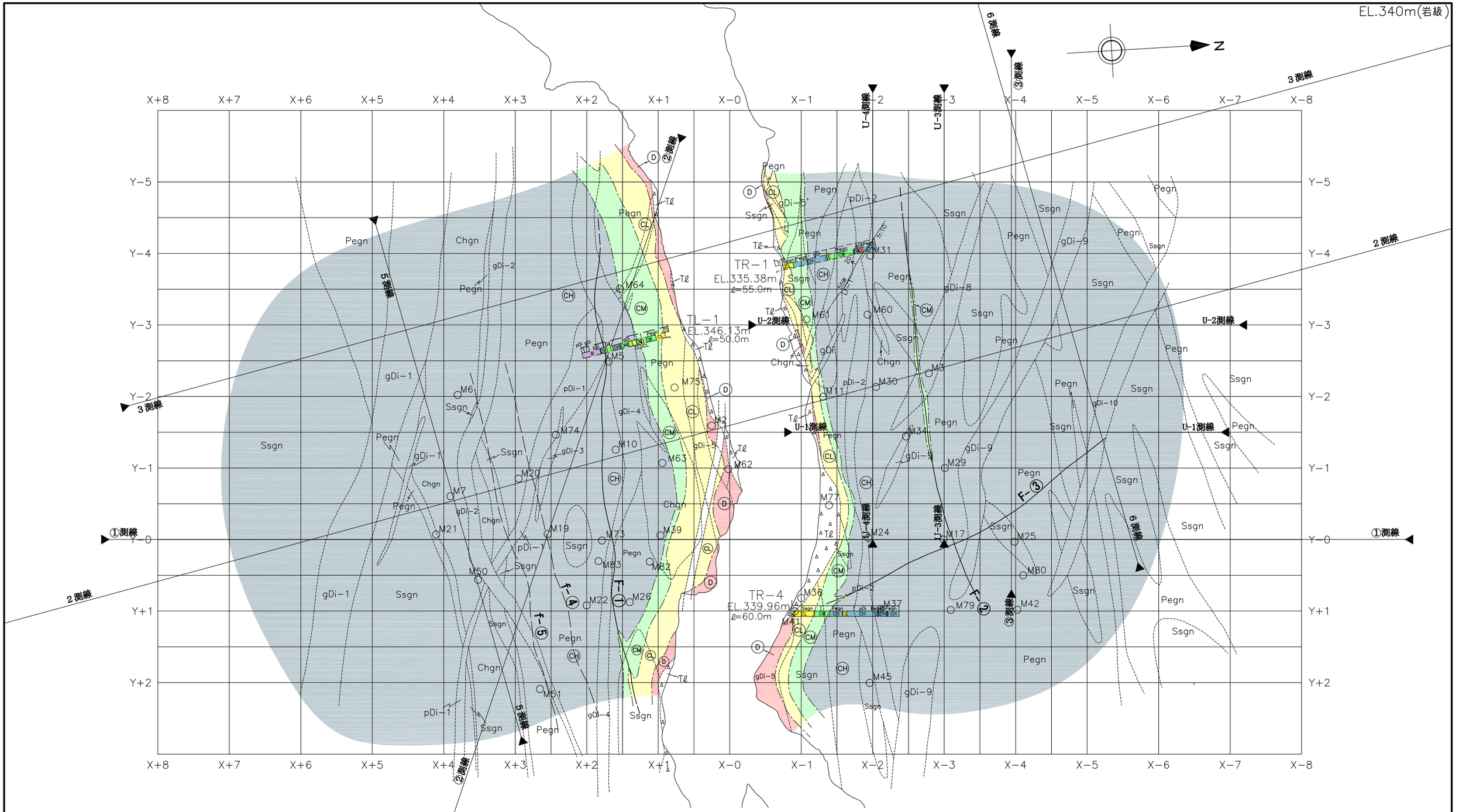
S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL. 330m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	57
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.330m(岩級)

EL.340m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

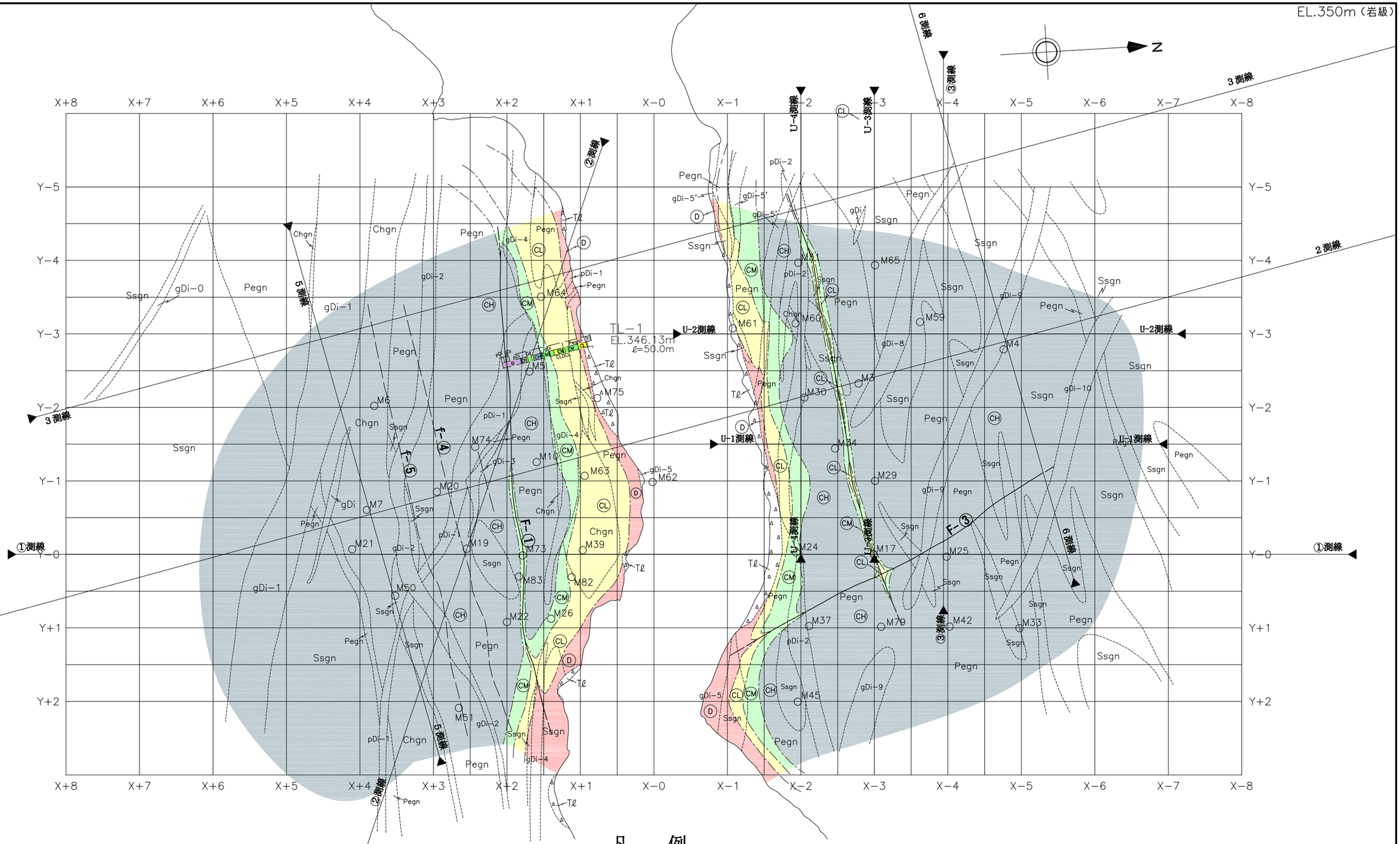
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.340m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	58
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.340m(岩級)

EL.350m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰	岩
Ry	流紋	岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫	岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑	岩
pDi	斑状閃緑	岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻	岩
Pegn	泥質片麻	岩
Chgn	珪質片麻	岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

横坑調査位置

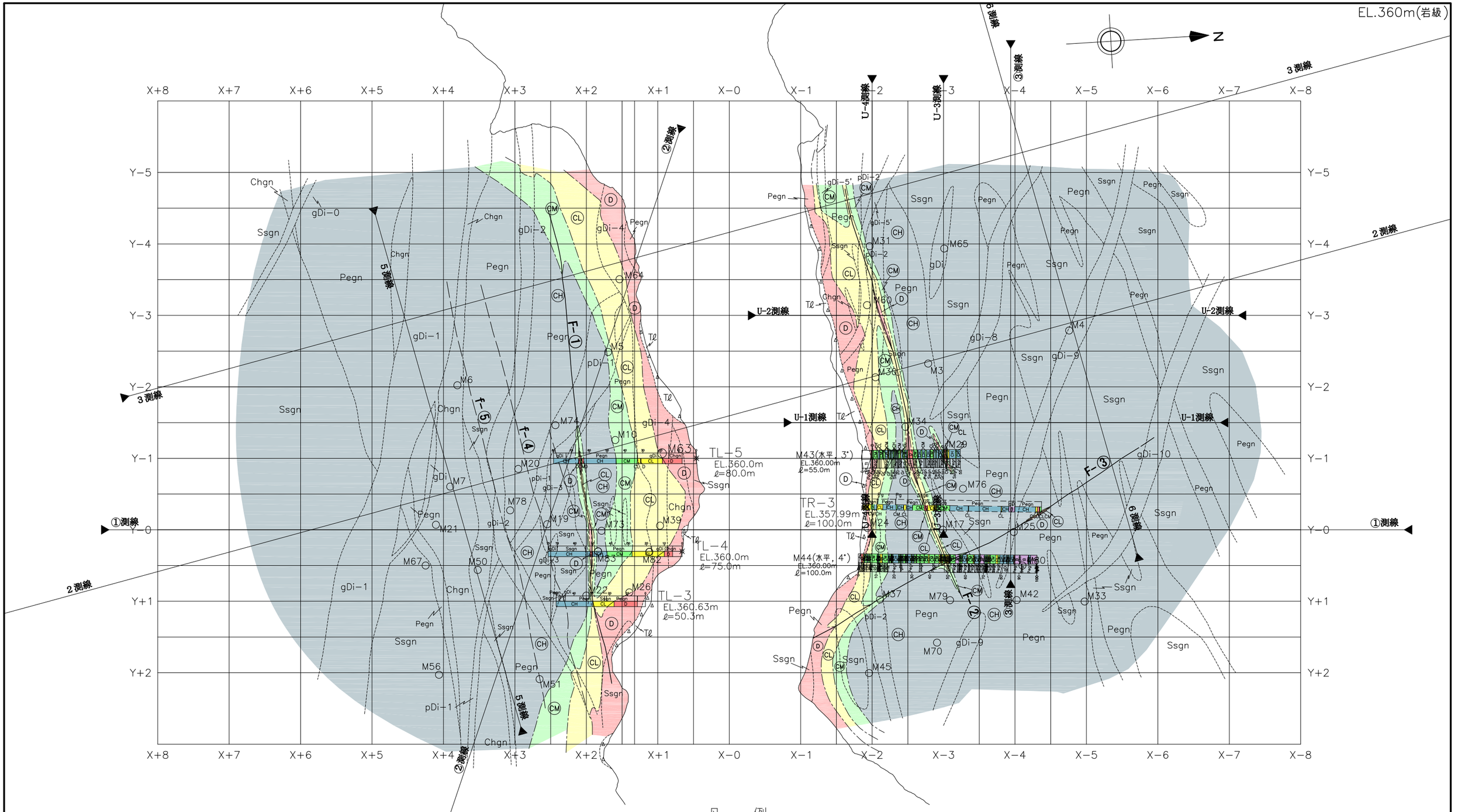
S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL. 350m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	59
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.350m（岩級）

EL.360m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

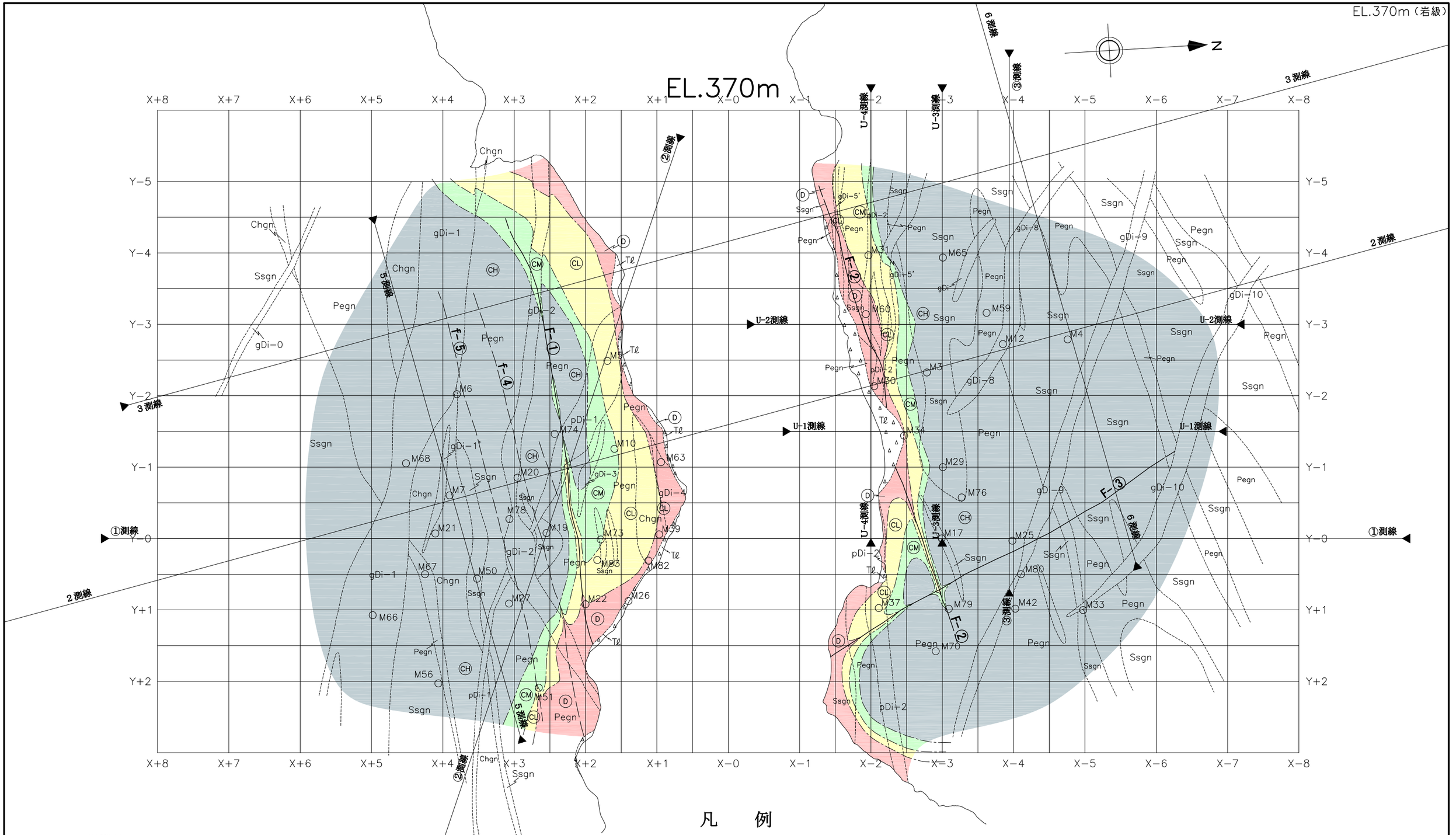
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL. 360m 岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1, 000	図面番号	60
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.360m(岩級)

EL.370m



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
△Tℓ△	崖錐堆積物
°Tr°	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

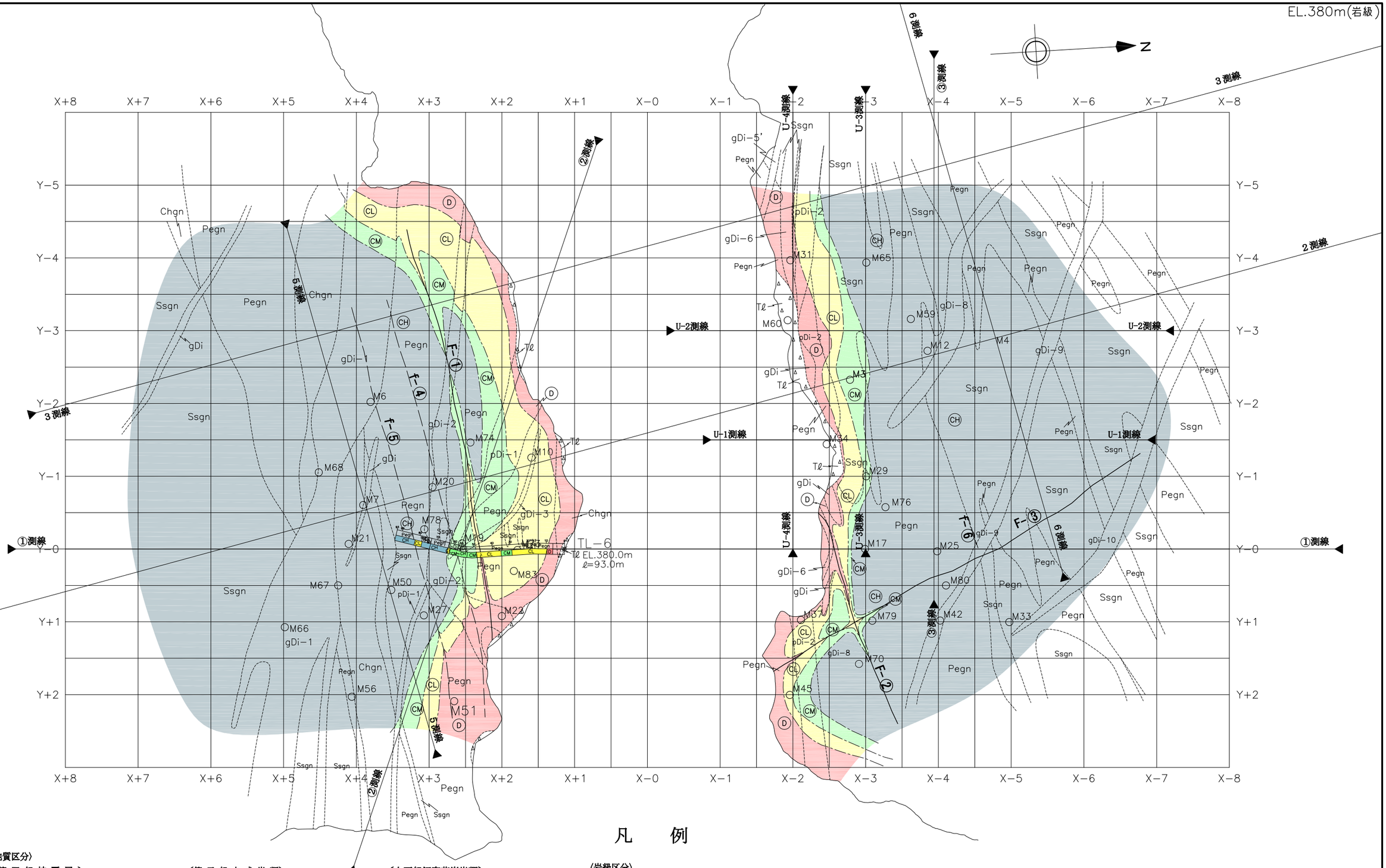
Ⓓ	D級
Ⓒ	CL級
Ⓒ	CM級
Ⓒ	CH級

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.370m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	61
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.380m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

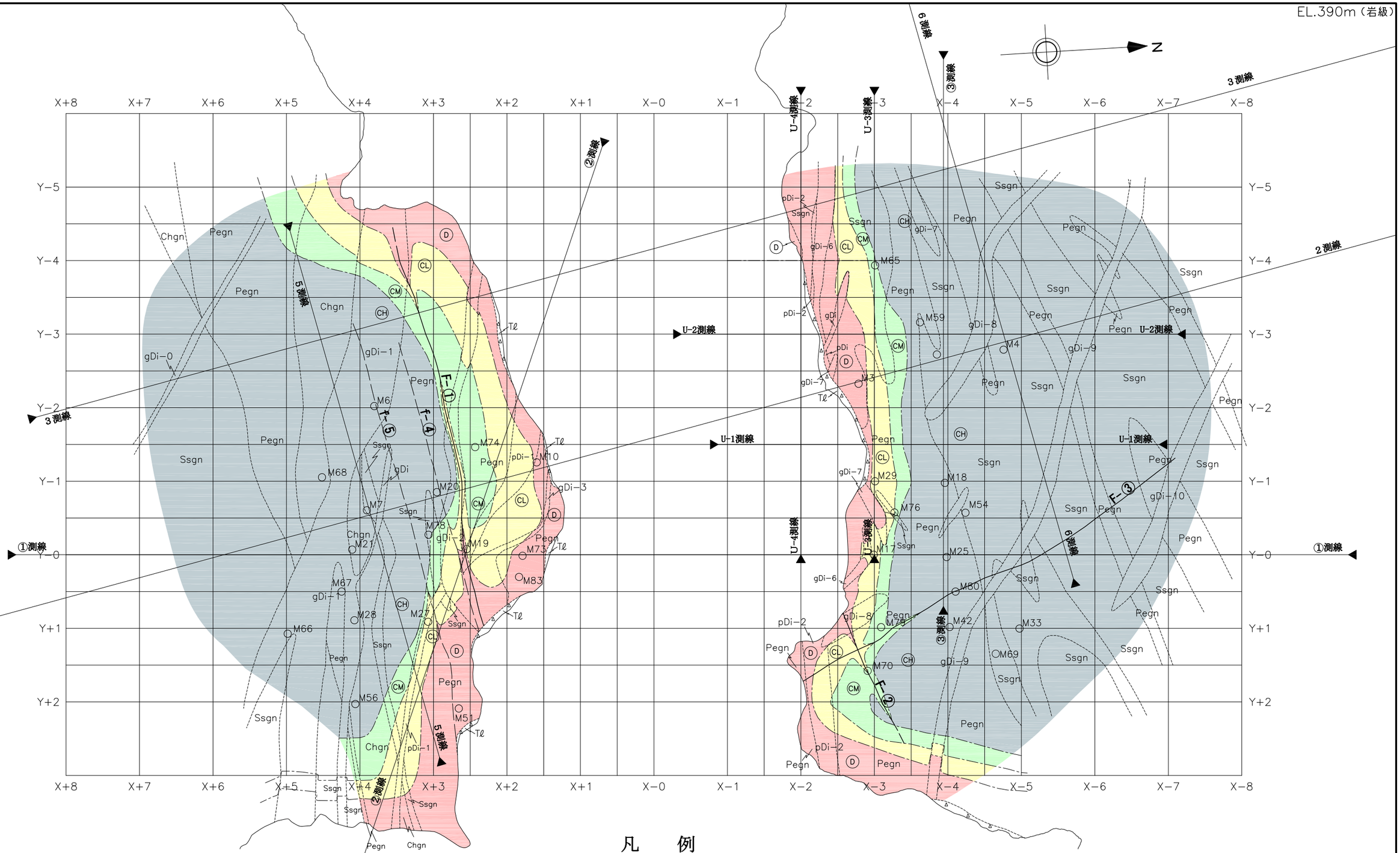
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.380m 岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3 月		
尺度	1/1,000	図面番号	62
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.380m(岩級)

EL.390m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

横坑調査位置

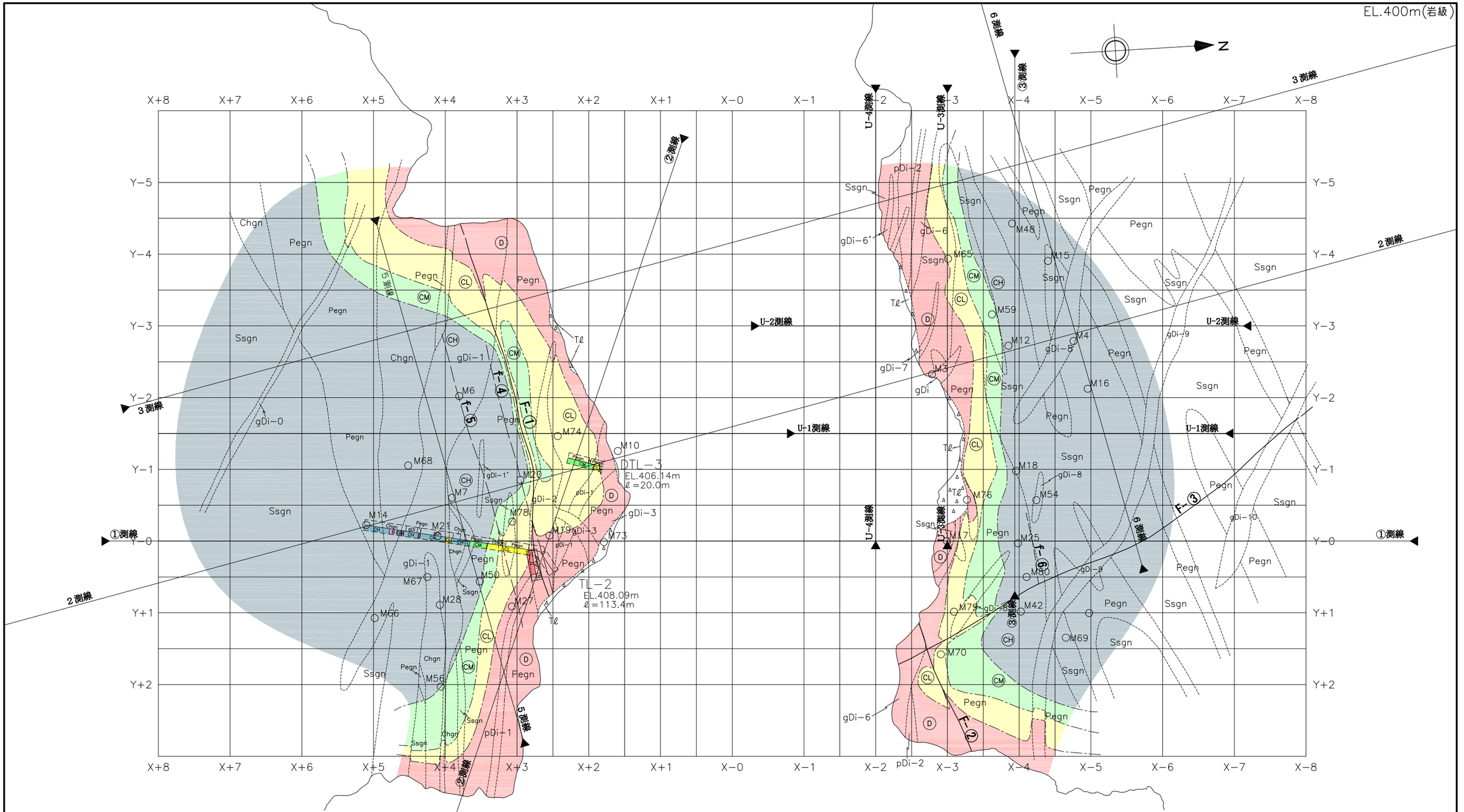
S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務
図面名	EL. 390m　岩級区分水平断面図
年月	平成29年 3月
尺度	1/1,000　図面番号 63
会社名	日本工営株式会社
事務所名	設楽ダム工事事務所

EL.390m（岩級）

EL.400m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩	

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

〈岩級区分〉

D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級

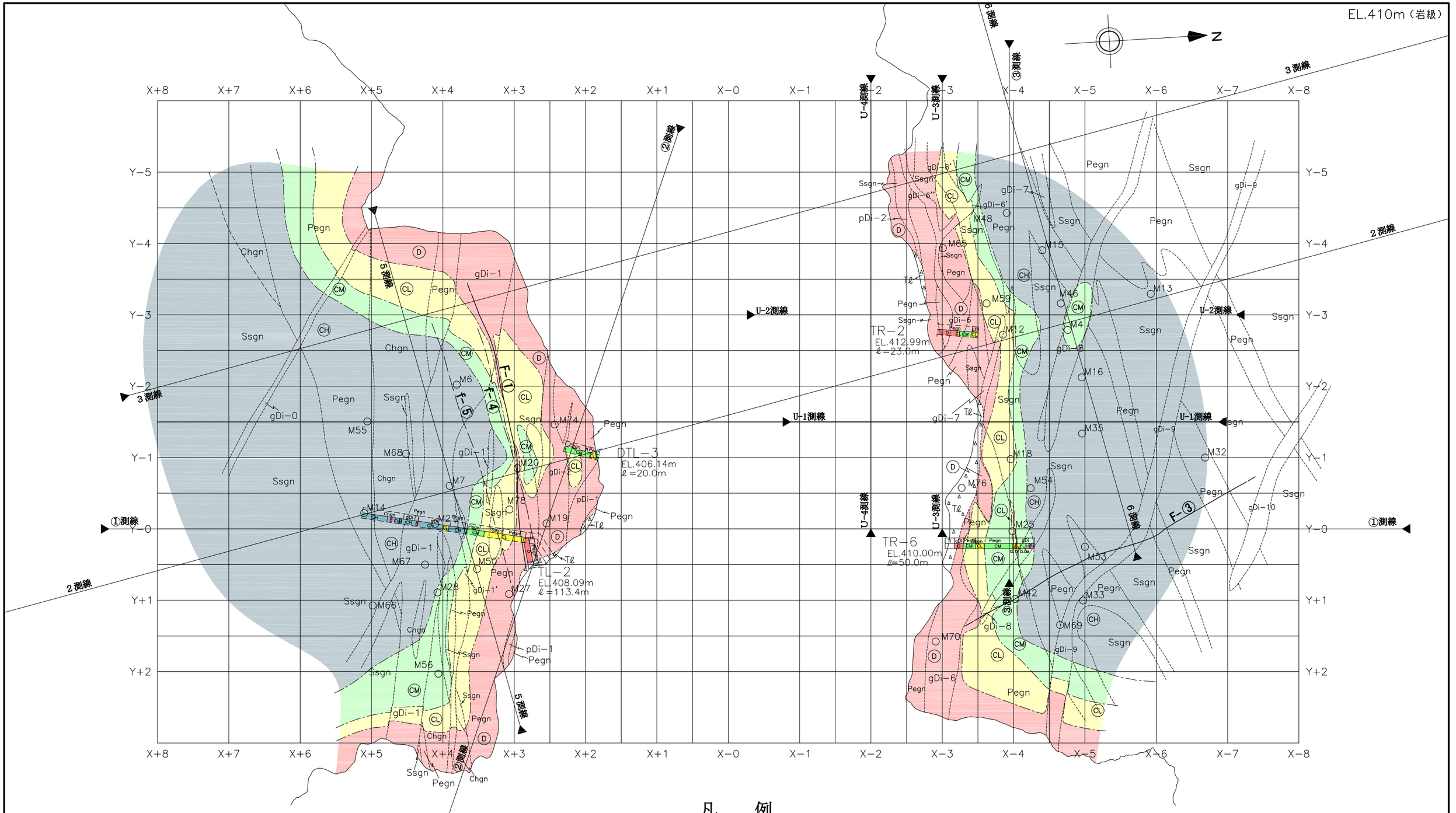
	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）
	弾性波探査測線
M7	ボーリング調査位置
	横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL. 400m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	64
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.400m(岩級)

EL.410m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

g	等粒状閃緑岩
p	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

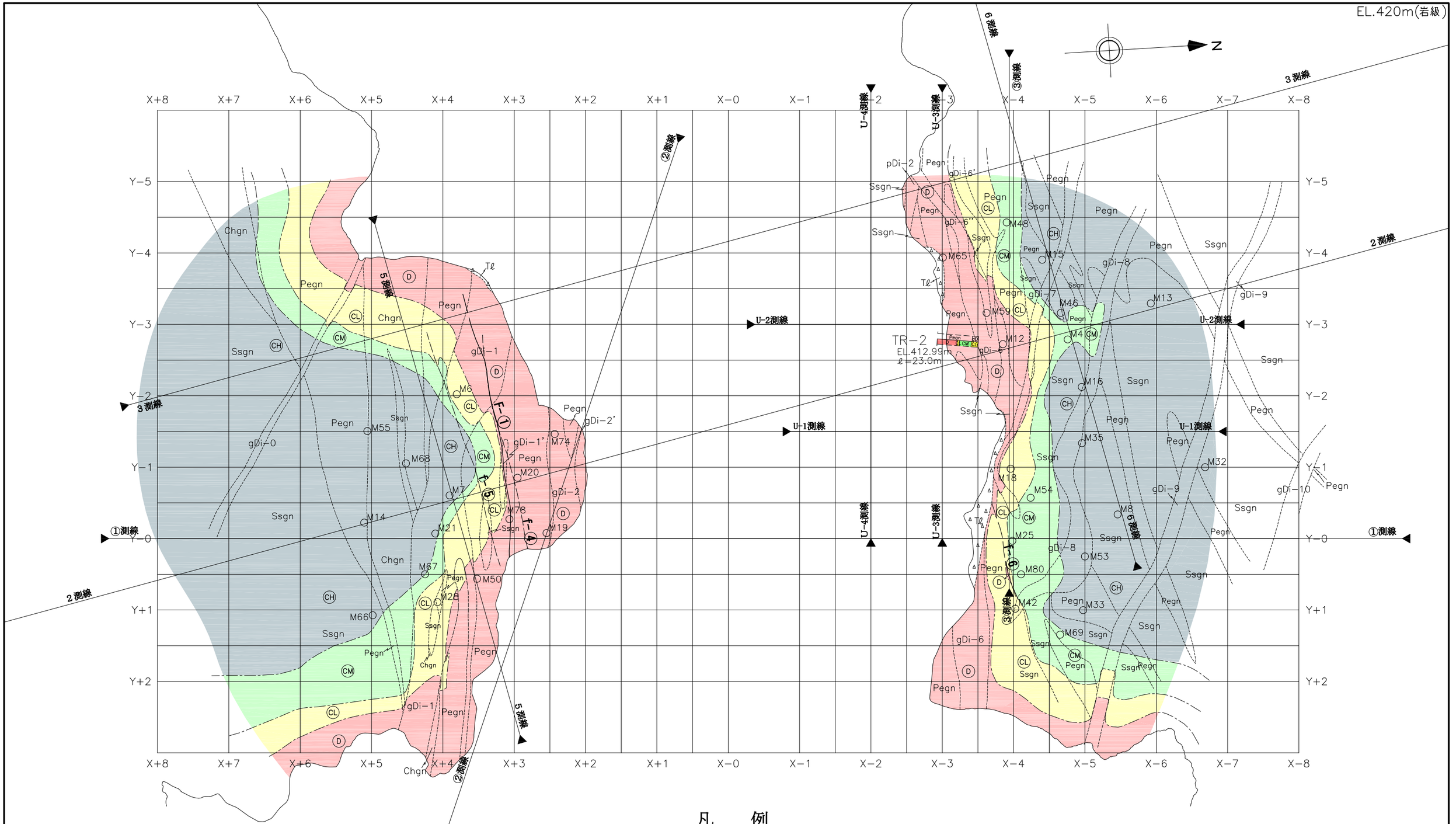
	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）
	弾性波探査測線
M7	ボーリング調査位置
	横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.410m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	65
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.410m（岩級）

EL.420m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

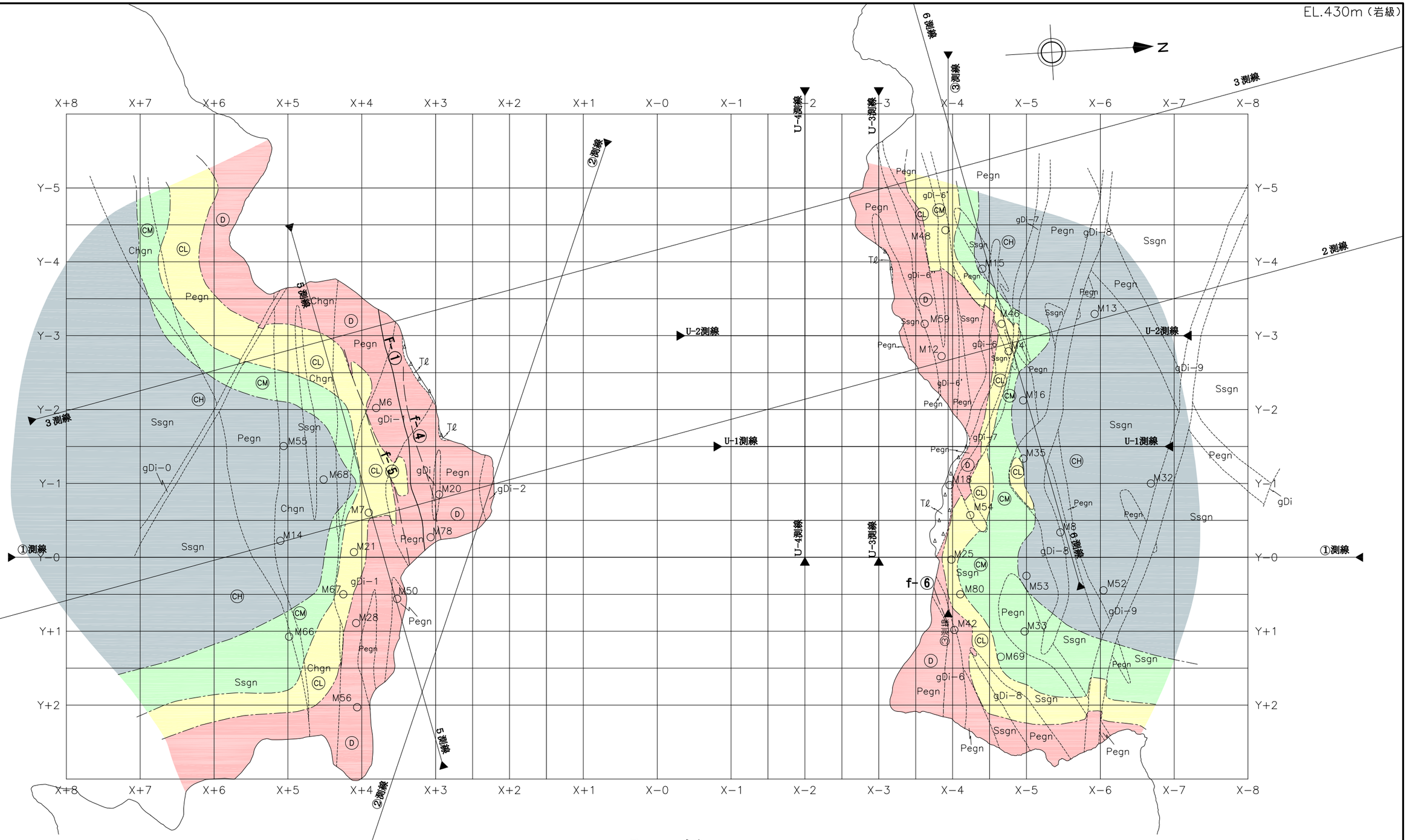
横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.420m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	66
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.420m(岩級)

EL.430m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

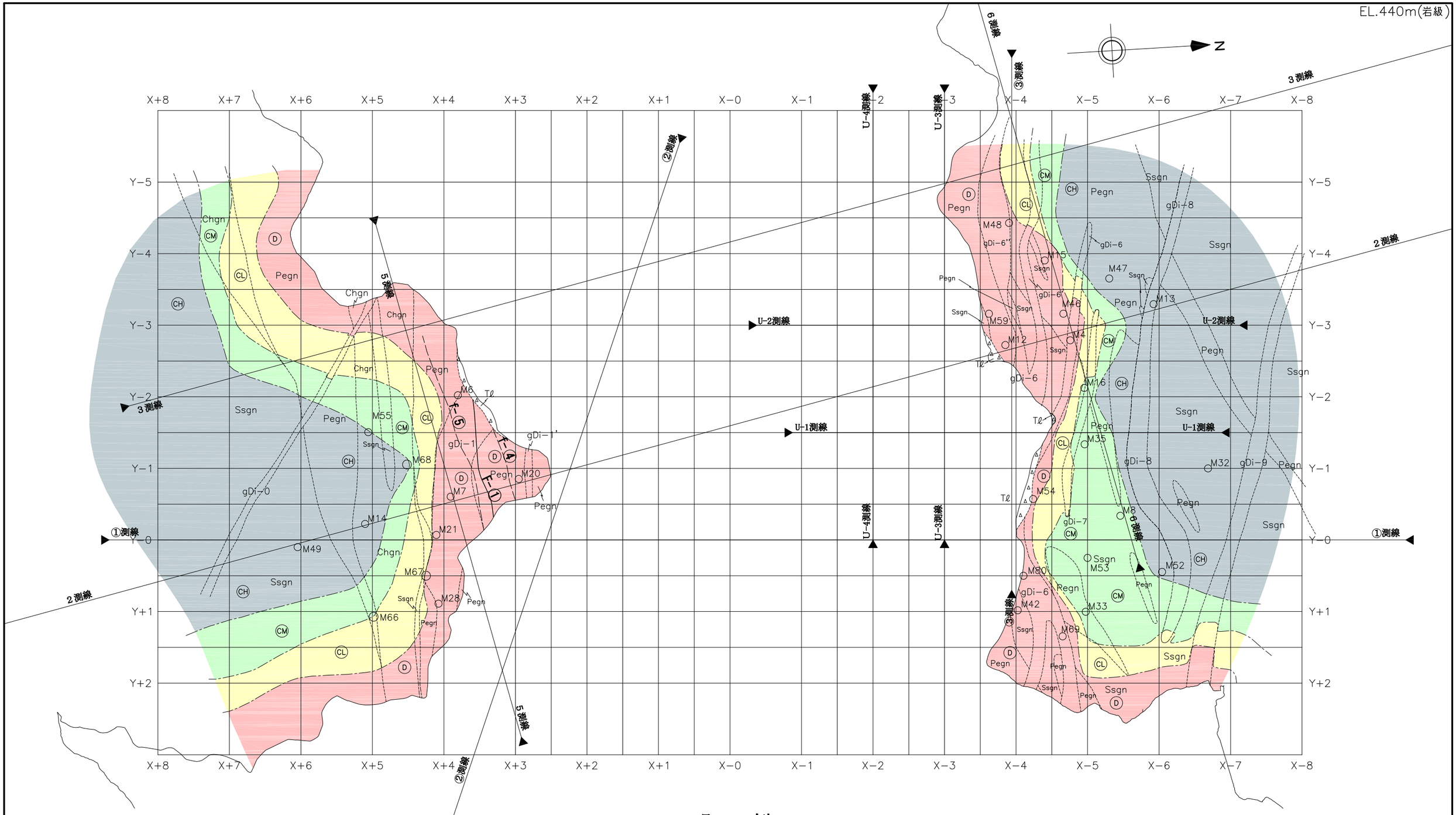
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）
弾性波探査測線
M7 ボーリング調査位置
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.430m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	67
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.430m（岩級）

EL.440m(岩級)



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩	

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

M7 ボーリング調査位置

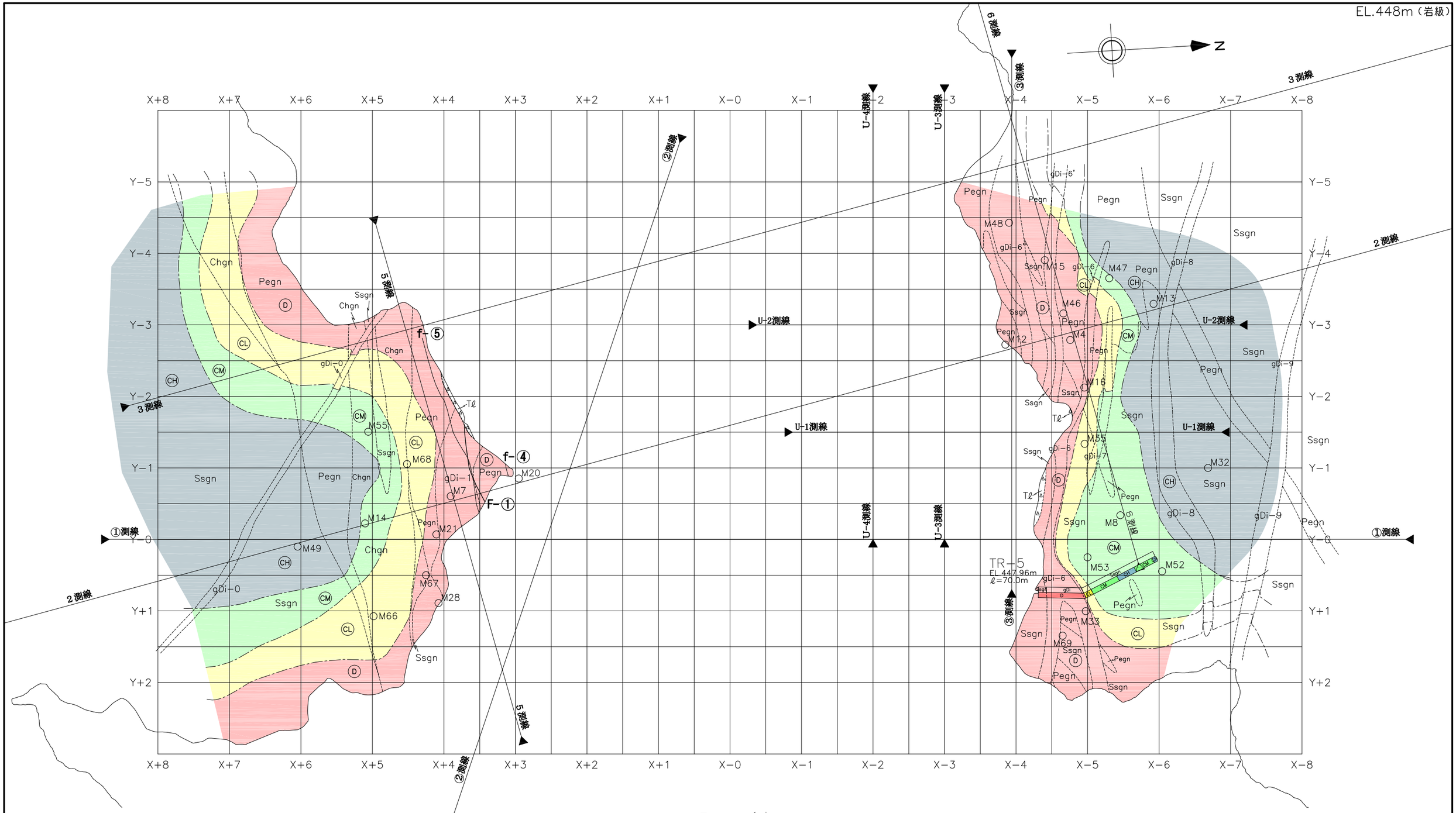
横坑調査位置

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.440m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	68
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.440m(岩級)

EL.448m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

弾性波探査測線

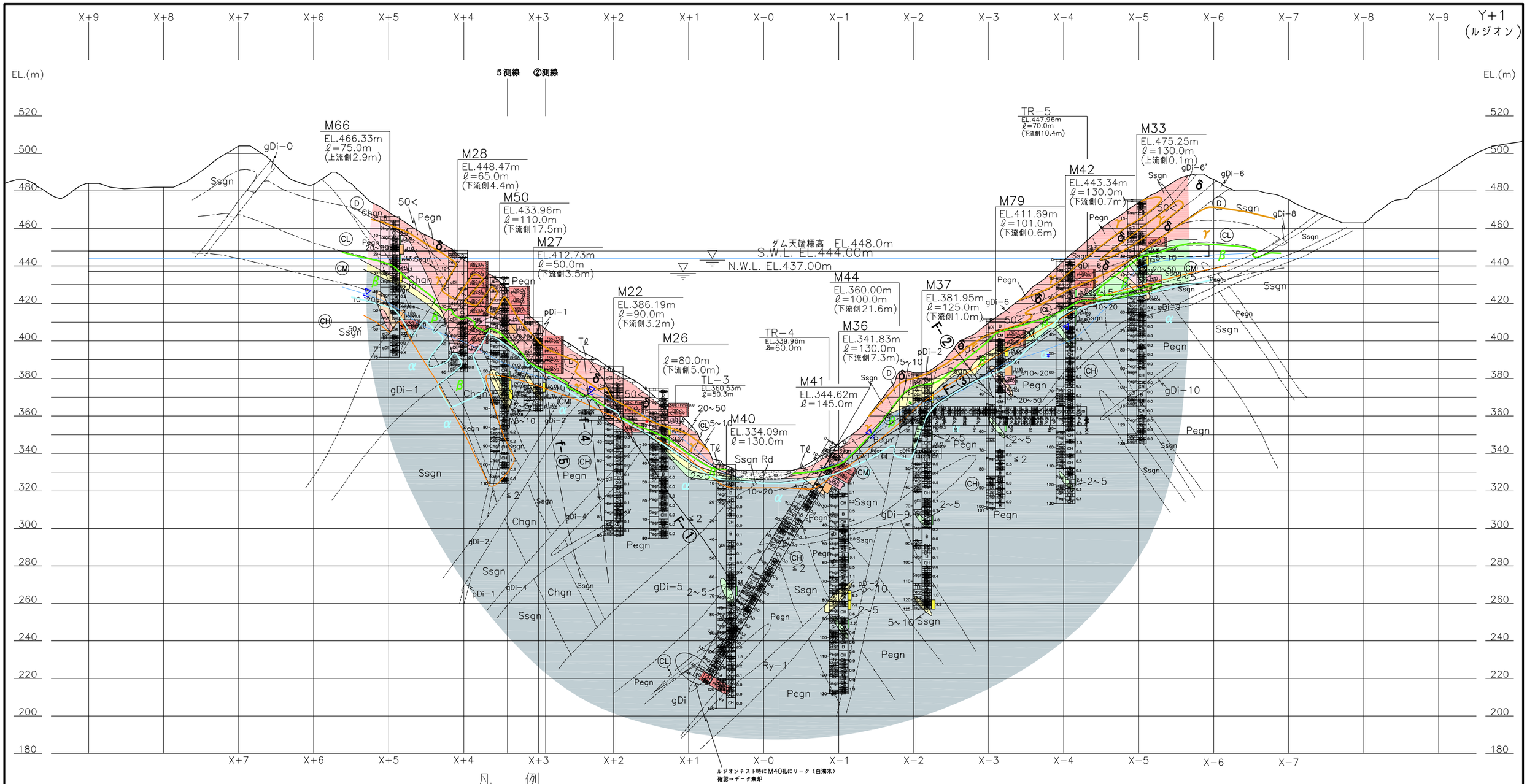
M7 ボーリング調査位置

横坑調査位置

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	EL.448m　岩級区分水平断面図		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	69
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

EL.448m（岩級）



凡　例

〈地質区分〉

（第四紀被覆層）

Rd	現河床堆積物	
Tℓ	崖錐堆積物	
Tr	段丘堆積物	

（第三紀火成岩類）

Tf	凝灰岩	
Ry	流紋岩	

（第三紀堆積岩類）

Cg	礫岩	

（白亜紀領家花崗岩類）

gDi	等粒状閃緑岩	
pDi	斑状閃緑岩	

（白亜紀領家変成岩類）

Ssgn	砂質片麻岩	
Pegn	泥質片麻岩	
Chgn	珪質片麻岩	

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級

ルジオン値

	50<
	20<Lu≦50
	10<Lu≦20
	5<Lu≦10
	2<Lu≦5
	Lu≦2

透水度境界

地下水位線

M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影方向・距離

孔内水位採用区分
平均水位採用孔
簡易水位採用孔
最終孔内水位採用孔
近接機坑掘削前の平均水位

地質区分　岩級区分

ルジオン値
50<
20<Lu≦50
10<Lu≦20
5<Lu≦10
2<Lu≦5
Lu≦2

〈割れ目の性状区分〉

δ 下限線

γ 下限線

β 下限線

S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y+1　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	70
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y+1(ルジオン)

X+9 X+8 X+7 X+6 X+5 X+4 X+3 X+2 X+1 X−0 X−1 X−2 X−3 X−4 X−5 X−6 X−7 X−8 X−9

Y+0.5(ルジオン)

EL.(m) 520 500 480 460 440 420 400 380 360 340 320 300 280 260 240 220 200 180

2測線　6測線　②測線　③測線

M49 EL.510.54m ℓ=80.0m (下流側16.0m)
M67 EL.457.29m ℓ=100.0m
M50 EL.433.96m ℓ=110.0m (上流側2.5m)
M27 EL.412.73m ℓ=50.0m (上流側16.5m)
M22 EL.386.19m ℓ=90.0m (上流側16.8m)
M83 EL.398.68m ℓ=71.0m (下流側7.9m)
M82 EL.375.73m ℓ=71.0m (下流側7.7m)
M81 EL.329.97m ℓ=76.0m (上流側10.2m)
ダム天端標高 EL.448.0m
S.W.L. EL.444.00m
N.W.L. EL.437.00m
TL−4 EL.360.0m ℓ=75.0m (下流側8.0m)
M44 EL.360.00m ℓ=100.0m (下流側1.6m)
M26 EL.374.75m ℓ=80.0m (上流側15.0m)
M72 EL.331.53m ℓ=90.0m (下流側16.5m)
M36 EL.341.83m ℓ=130.0m (上流側12.7m)
M71 EL.330.82m ℓ=55.0m (下流側10.6m)
TR−6 EL.410.00m ℓ=50.0m (下流側8.1m)
M37 EL.381.95m ℓ=125.0m (上流側19.0m)
M80 EL.440.85m ℓ=66.0m
M53 EL.468.28m ℓ=60.0m (下流側10.0m)
M52 EL.501.56m ℓ=80.0m (下流側2.2m)

F−① F−② F−③ F−④ F−⑤

凡　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕
Rd 現河床堆積物
Tℓ 崖錐堆積物
Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
Tf 凝灰岩
Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
Cg 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
gDi 等粒状閃緑岩
pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
Ssgn 砂質片麻岩
Pegn 泥質片麻岩
Chgn 珪質片麻岩

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉
D D級
CL CL級
CM CM級
CH CH級

ルジオン値
50<
20<Lu≦50
10<Lu≦20
5<Lu≦10
2<Lu≦5
Lu≦2

透水度境界
地下水位線
想定地下水位線

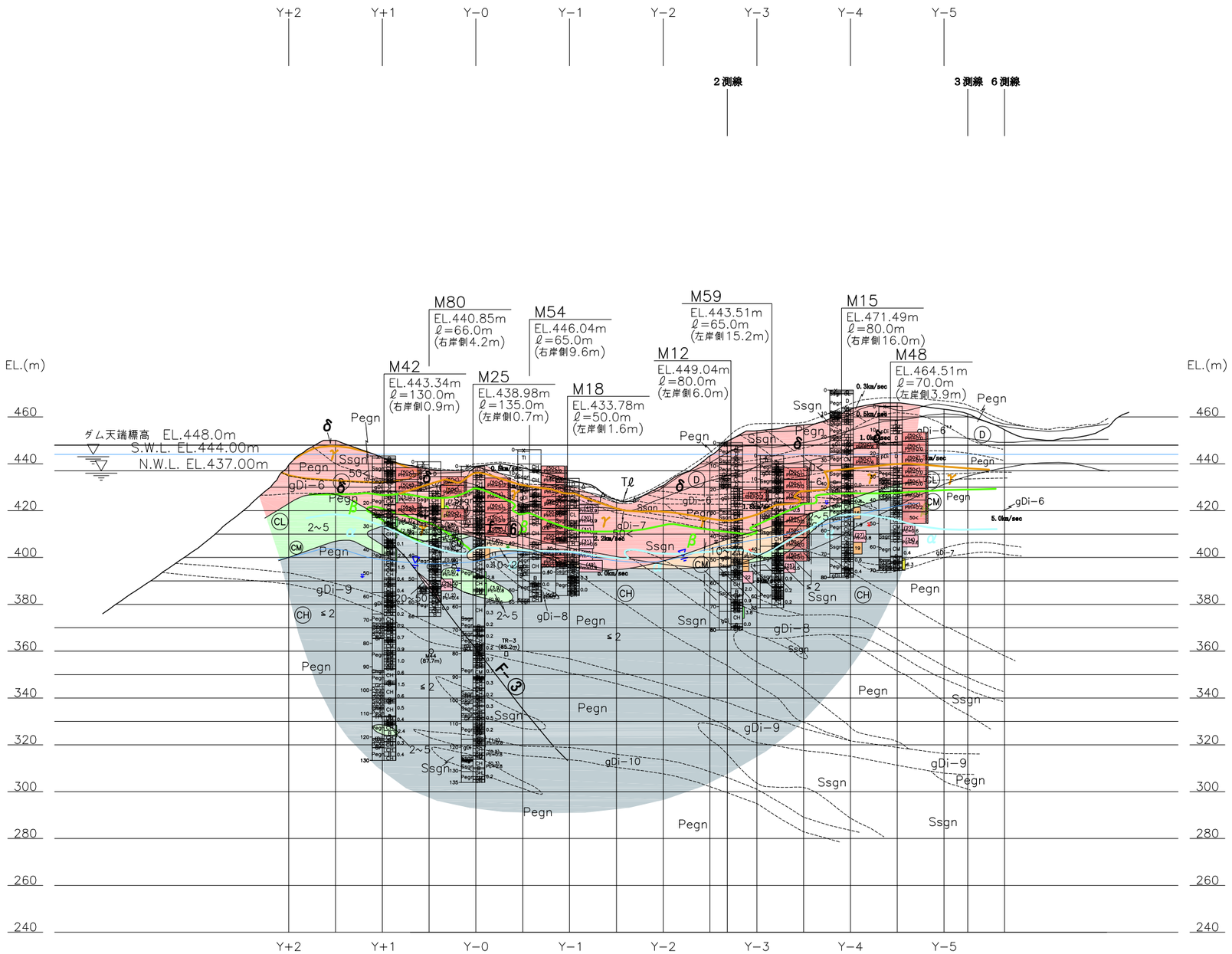
〈割れ目の性状区分〉
δ 下限線
γ 下限線
β 下限線

M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影距離

S=1/1,000
0 50 100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	Y+0.5　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	71
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

Y+0.5(ルジオン)



凡　例

＜透水度区分＞

50<	透水度境界
20<Lu≦50	
10<Lu≦20	地下水位線
5<Lu≦10	
2<Lu≦5	
Lu≦2	

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物
Ld	古期地すべり土塊

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）

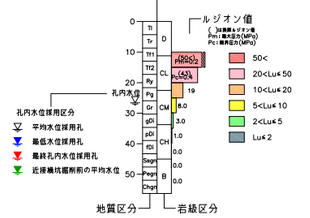
〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

〈割れ目の性状区分〉

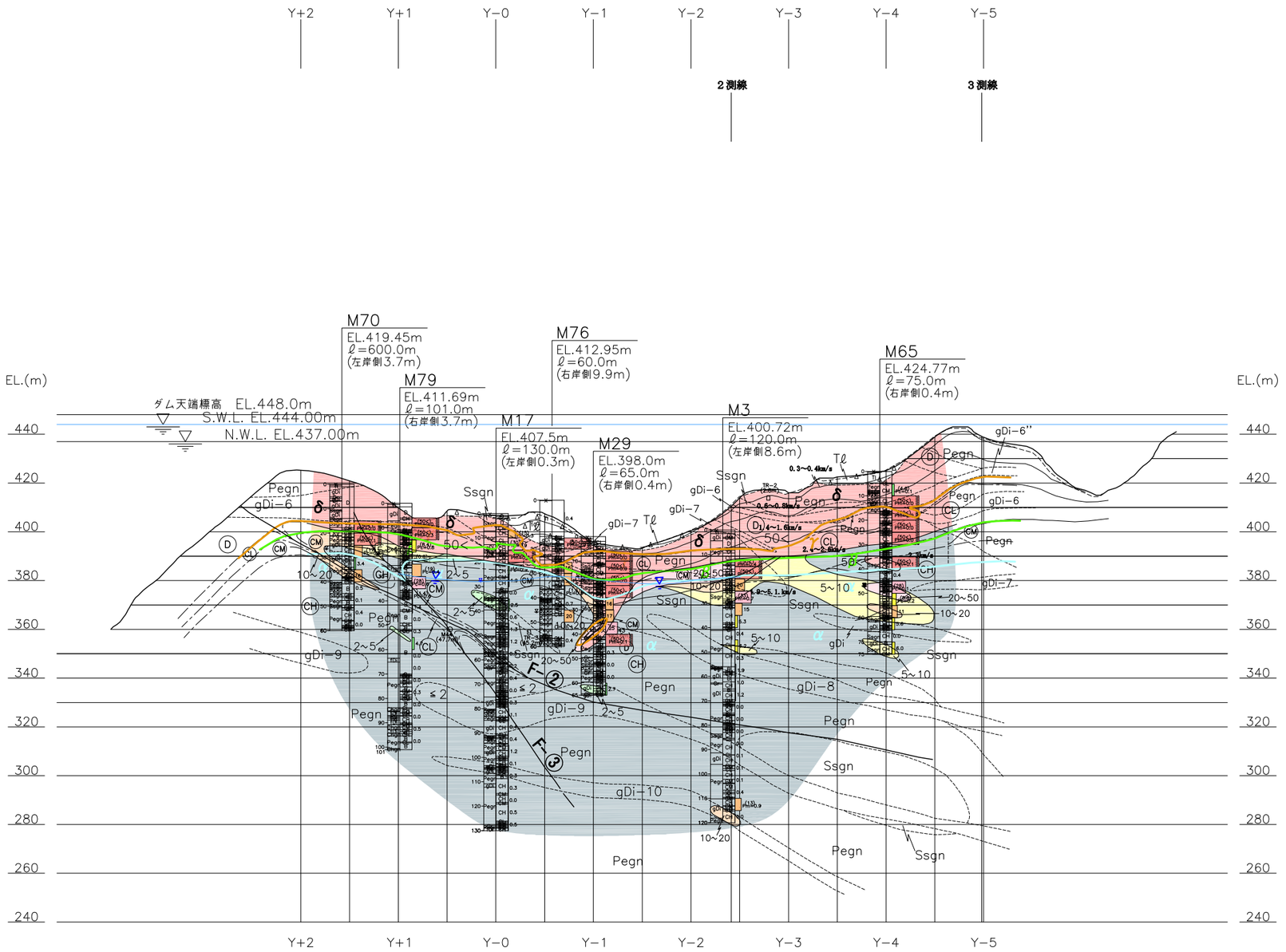
δ 下限線
γ 下限線
β 下限線

M9 ←ボーリング番号
EL.327.18m ←孔口標高
ℓ=100.0m ←掘進長
(左岸側16.1m) ←投影距離



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－4　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	72
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

＜透水度区分＞

50<	透水度境界
20<Lu≦50	地下水位線
10<Lu≦20	
5<Lu≦10	
2<Lu≦5	
Lu≦2	

〈地質区分〉

【第四紀被覆層】

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物
Ld	古期地すべり土塊

【第三紀火成岩類】

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

【第三紀堆積岩類】

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

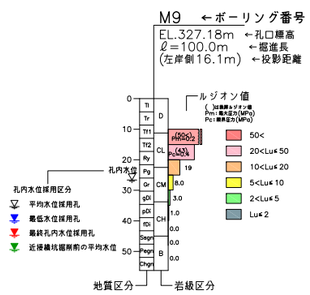
地質境界
岩級境界
断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

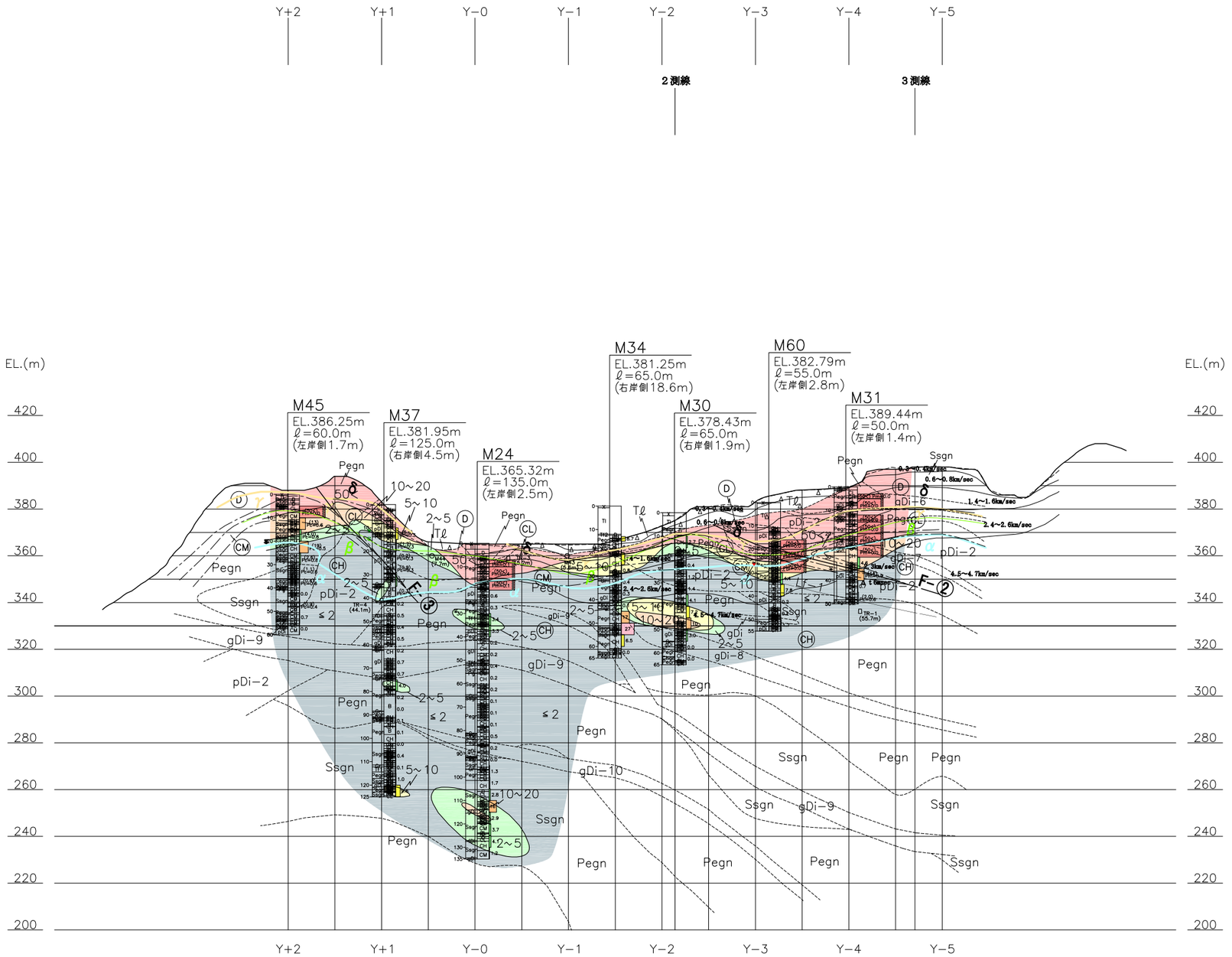
〈割れ目の性状区分〉

δ 下限線
γ 下限線
β 下限線



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－3　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	73
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

＜透水度区分＞

50<	透水度境界
20<Lu≦50	
10<Lu≦20	地下水位線
5<Lu≦10	
2<Lu≦5	
Lu≦2	

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物
Ld	古期地すべり土塊

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

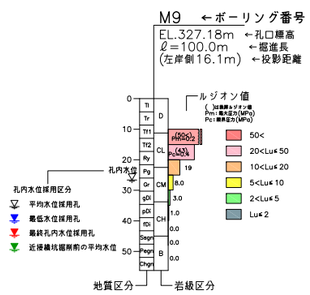
	地質境界
	岩級境界
	断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級

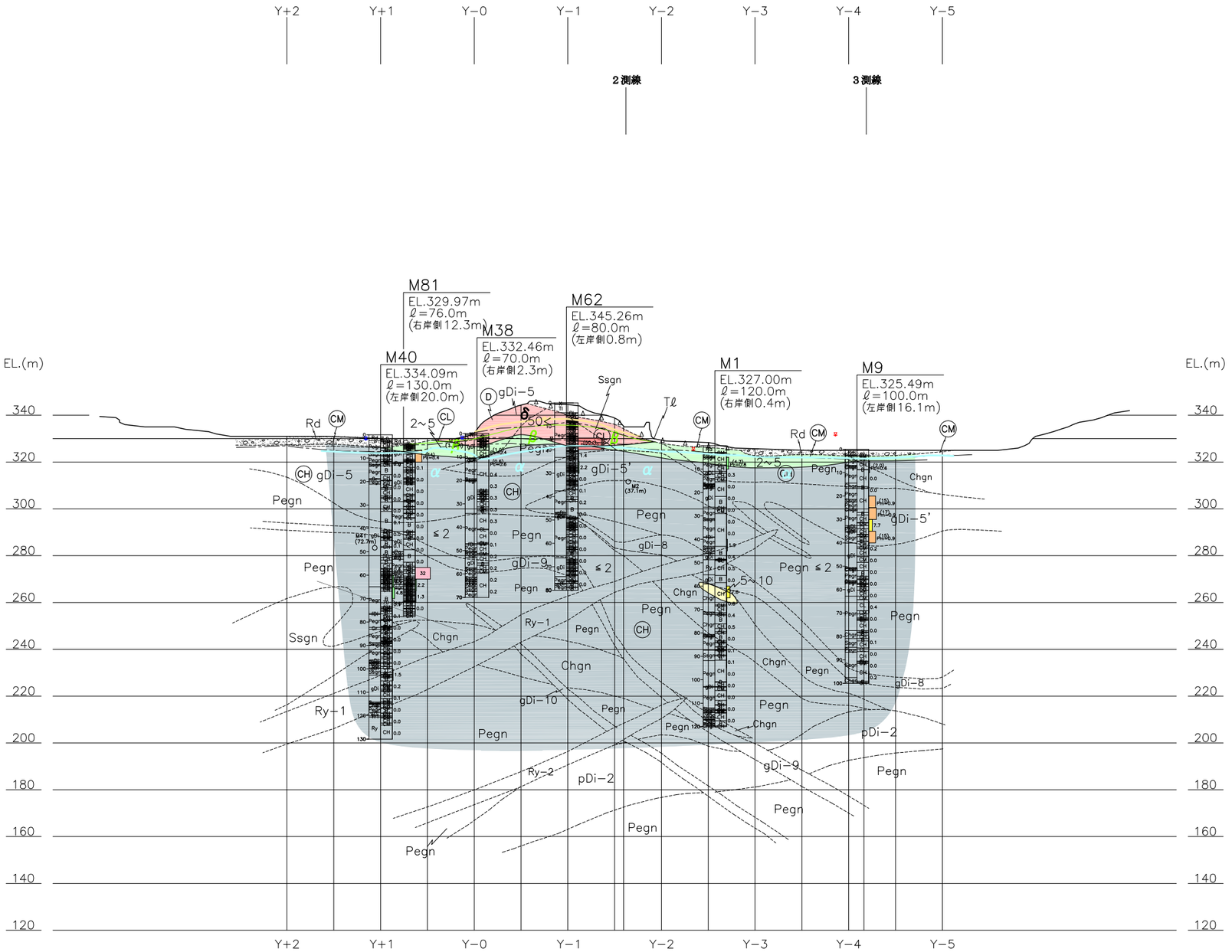
〈割れ目の性状区分〉

δ	δ下限線
γ	γ下限線
β	β下限線



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－2　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	74
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

＜透水度区分＞

- 50<
- 20<Lu≦50
- 10<Lu≦20
- 5<Lu≦10
- 2<Lu≦5
- Lu≦2

透水度境界

地下水位線

〔地質区分〕

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物
- Ld 古期地すべり土塊

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

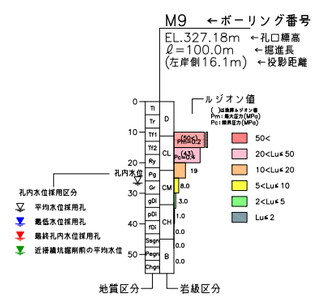
地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

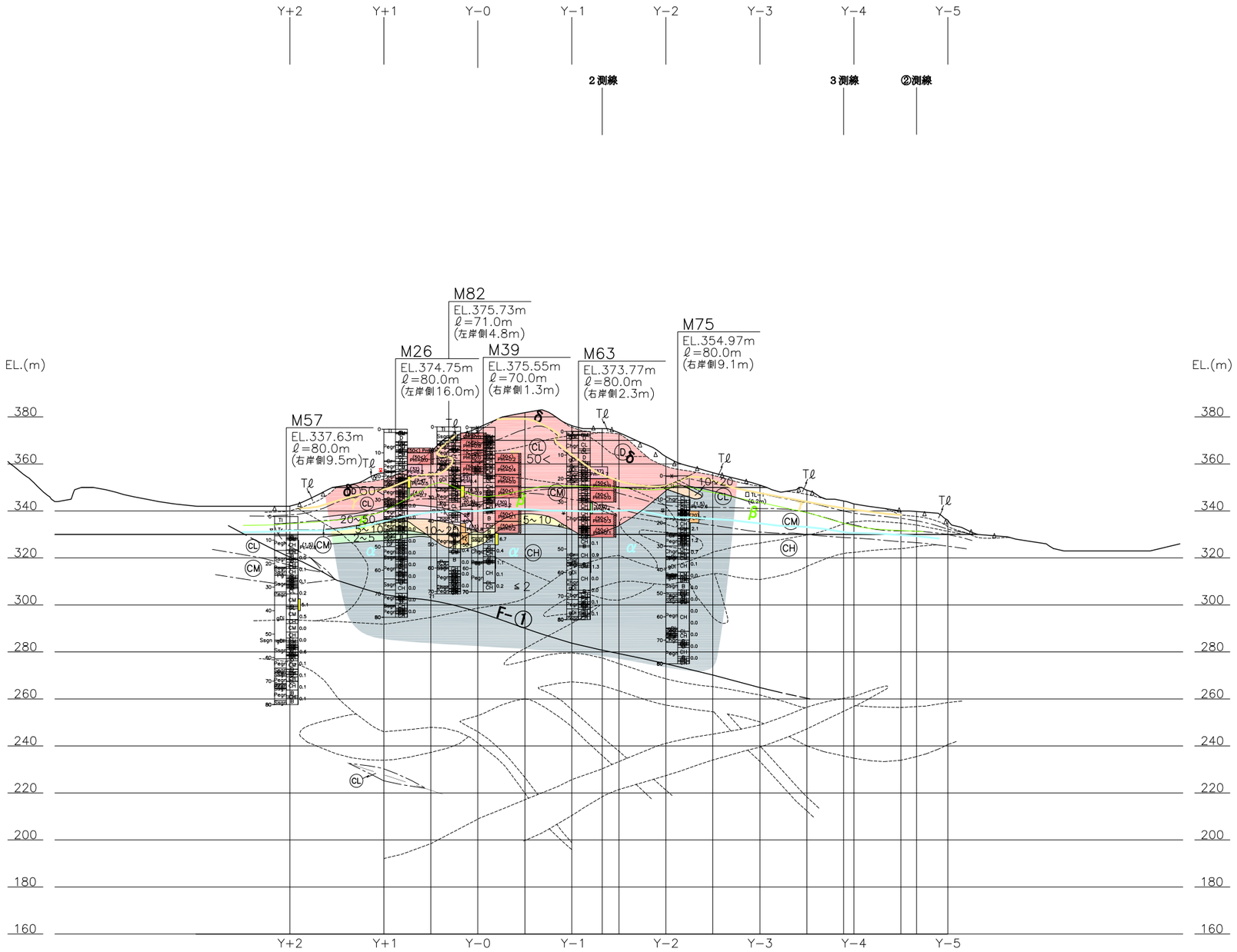
〈岩級区分〉
- D 級
- CL 級
- CM 級
- CH 級

〈割れ目の性状区分〉
- δ 下限線
- γ 下限線
- β 下限線



S=1/1,000
0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X－0　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	75
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

<透水度区分>

- 50<
- 20<Lu≦50
- 10<Lu≦20
- 5<Lu≦10
- 2<Lu≦5
- Lu≦2
- 透水度境界
- 地下水位線

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物
- Ld 古期地すべり土塊

〔第三紀火成岩類〕

- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

- Cg 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

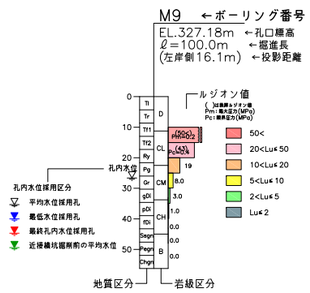
- 地質境界
- 岩級境界
- 断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

- D 級
- CL 級
- CM 級
- CH 級

〈割れ目の性状区分〉

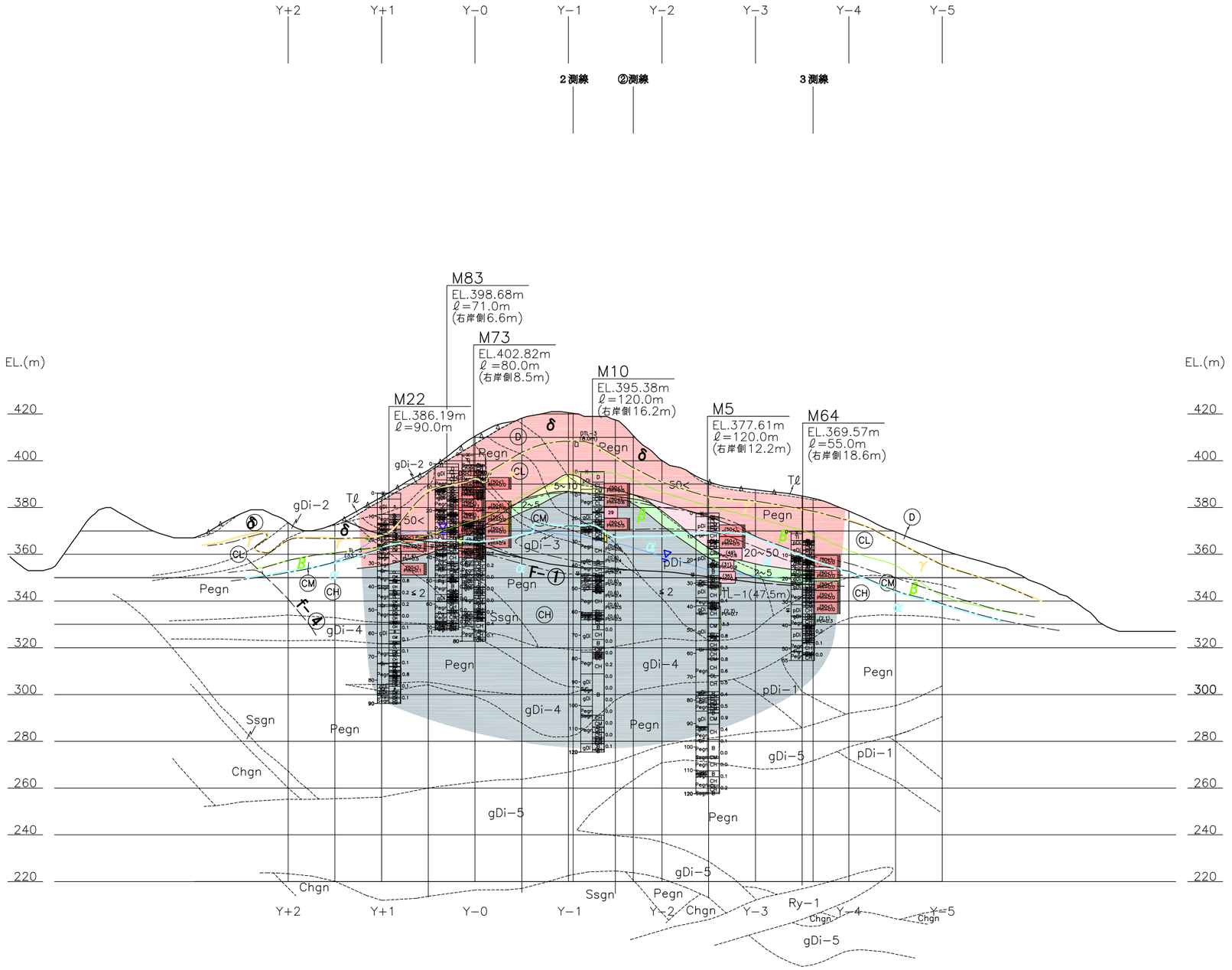
- δ 下限線
- γ 下限線
- β 下限線



S=1/1,000

0　50　100m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋1　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	76
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



凡　例

＜透水度区分＞

50<	
20<Lu≦50	
10<Lu≦20	
5<Lu≦10	
2<Lu≦5	
Lu≦2	

透水度境界

地下水位線

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物
Ld	古期地すべり土塊

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

地質境界

岩級境界

断層（破線部は推定）

〈岩級区分〉

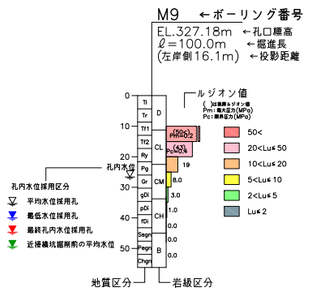
D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級

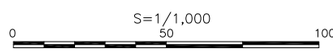
〈割れ目の性状区分〉

δ 下限線

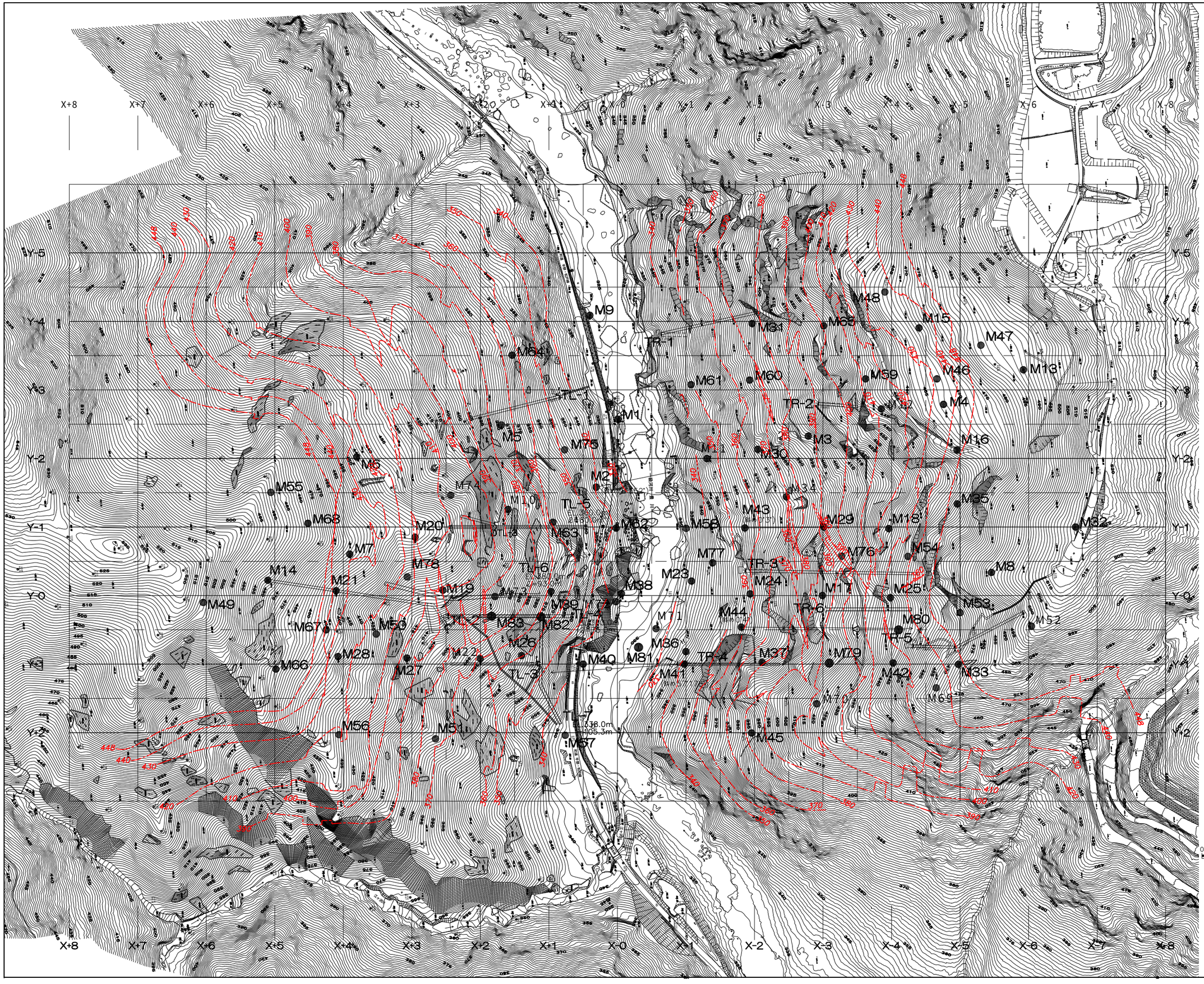
γ 下限線

β 下限線

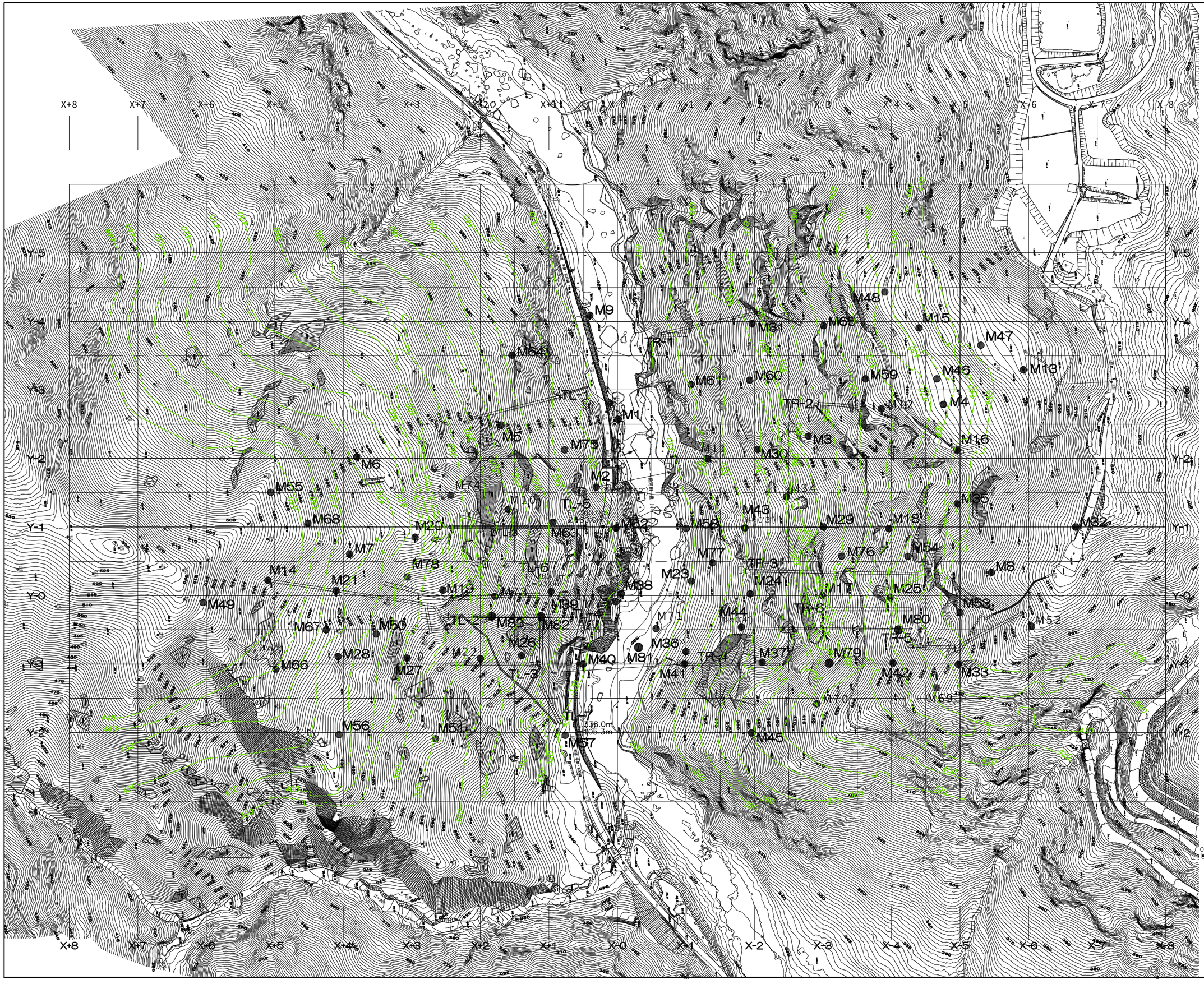




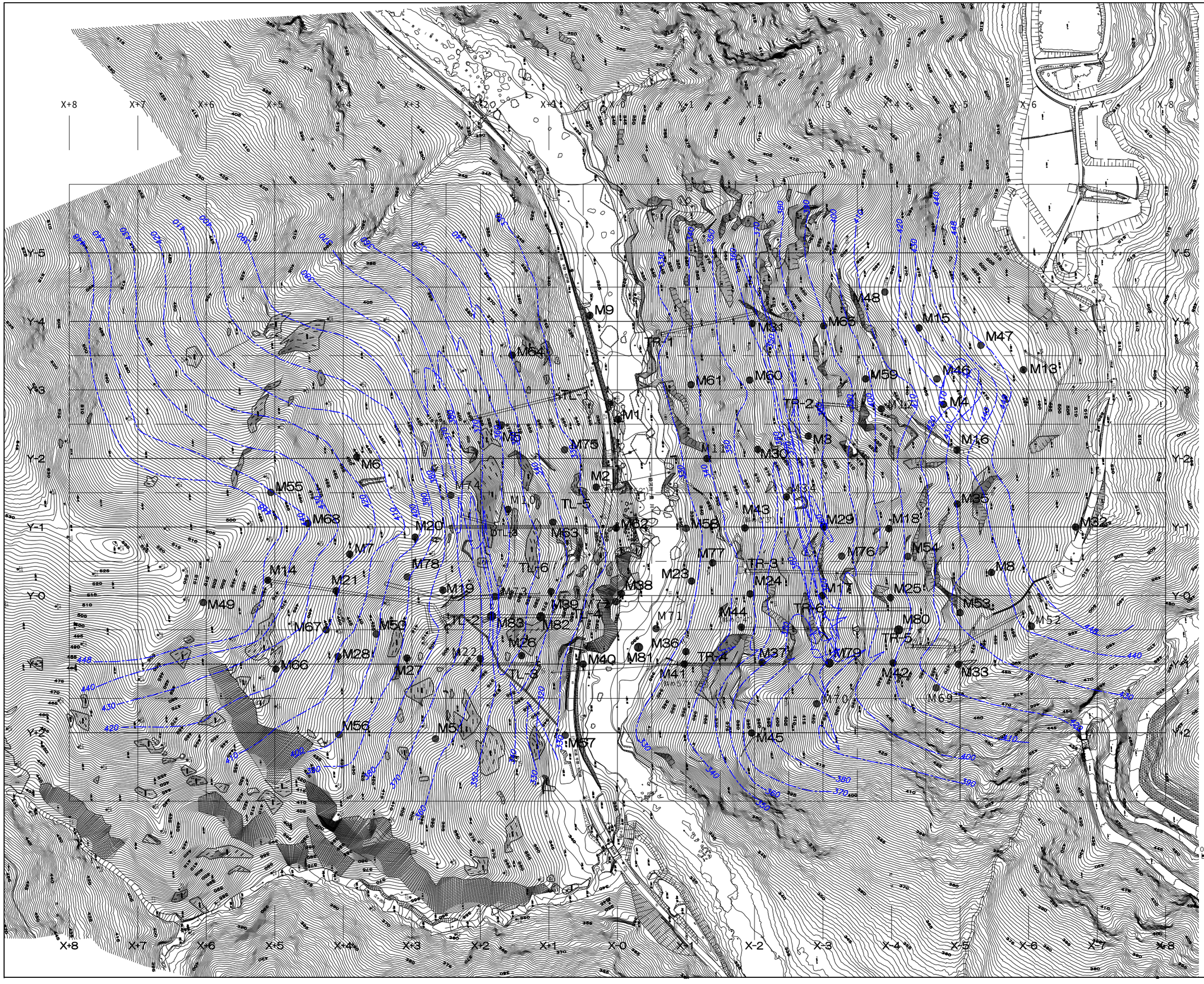
業務名	平成27年度　設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	X＋2　ルジオンマップ		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/1,000	図面番号	77
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



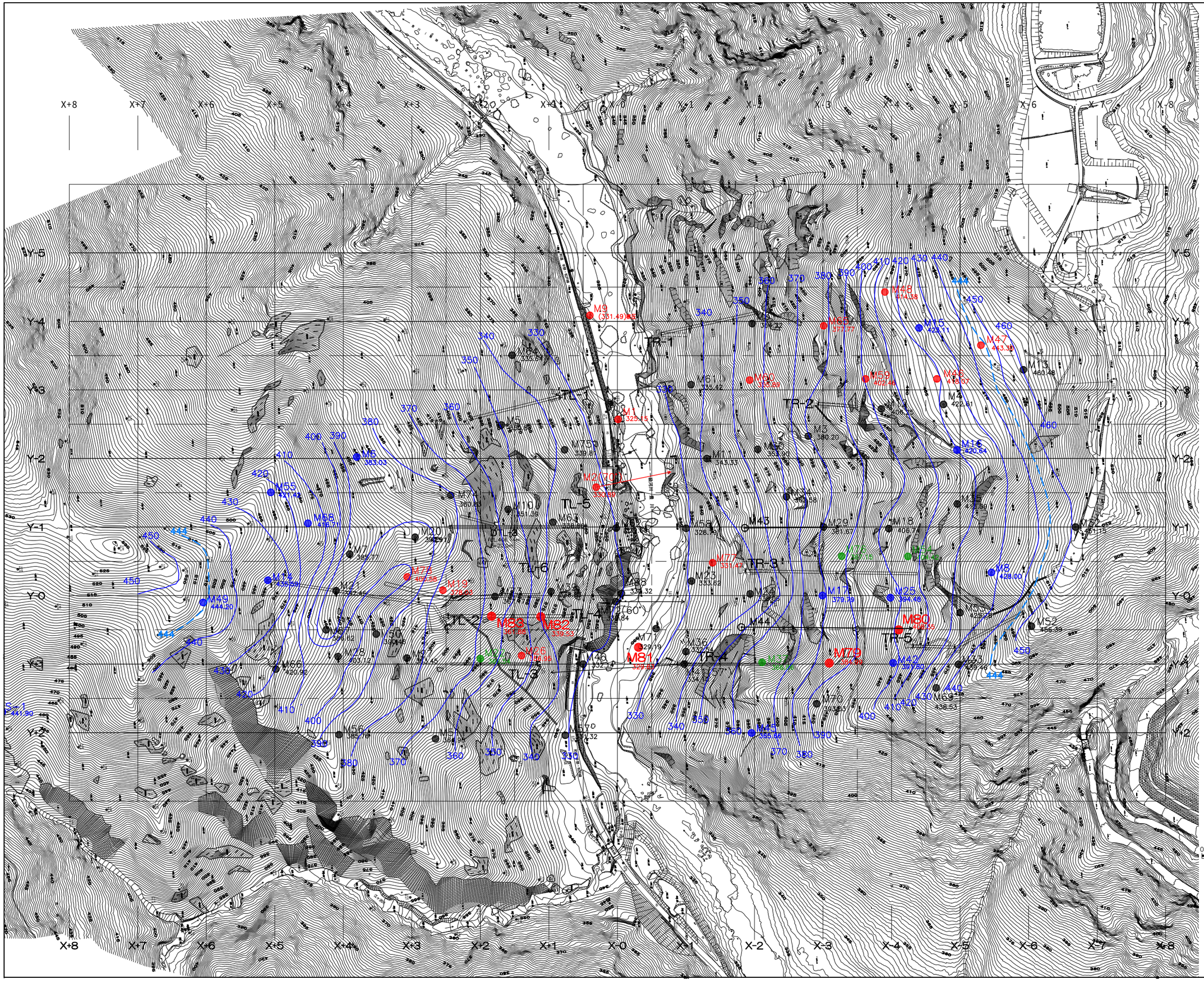
業 務 名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図 面 名	CL級上縁線コンターマップ		
年 月	平成29年3月		
尺 度	1/1,000	図面番号	78
会 社 名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	CM級上縁線コンターマップ		
年月	平成29年3月		
尺度	1/1,000	図面番号	79
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		



業 務 名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図 面 名	CH級上縁線コンターマップ		
年 月	平成29年3月		
尺 度	1/1,000	図面番号	80
会 社 名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		


N
X+8
X+7
X+6
X+5
X+4
X+3
X+2
X+1
X-0
X-1
X-2
X-3
X-4
X-5
X-6
X-7
X-8
Y-5
Y-4
Y-3
Y-2
Y-1
Y-0
Y+1
Y+2
TR-1
TR-2
TR-3
TR-4
TR-5
TL-1
TL-2
TL-3
TL-4
TL-5
TL-6
M9 (381.49)
M1 326.15
M2 (370.00)
M3 (360.00)
M4 (350.00)
M5 (340.00)
M6 (330.00)
M7 (320.00)
M8 (310.00)
M9 (300.00)
M10 (290.00)
M11 (280.00)
M12 (270.00)
M13 (260.00)
M14 (250.00)
M15 (240.00)
M16 (230.00)
M17 (220.00)
M18 (210.00)
M19 (200.00)
M20 (190.00)
M21 (180.00)
M22 (170.00)
M23 (160.00)
M24 (150.00)
M25 (140.00)
M26 (130.00)
M27 (120.00)
M28 (110.00)
M29 (100.00)
M30 (90.00)
M31 (80.00)
M32 (70.00)
M33 (60.00)
M34 (50.00)
M35 (40.00)
M36 (30.00)
M37 (20.00)
M38 (10.00)
M39 (0.00)
M40 (-10.00)
M41 (-20.00)
M42 (-30.00)
M43 (-40.00)
M44 (-50.00)
M45 (-60.00)
M46 (-70.00)
M47 (-80.00)
M48 (-90.00)
M49 (-100.00)
M50 (-110.00)
M51 (-120.00)
M52 (-130.00)
M53 (-140.00)
M54 (-150.00)
M55 (-160.00)
M56 (-170.00)
M57 (-180.00)
M58 (-190.00)
M59 (-200.00)

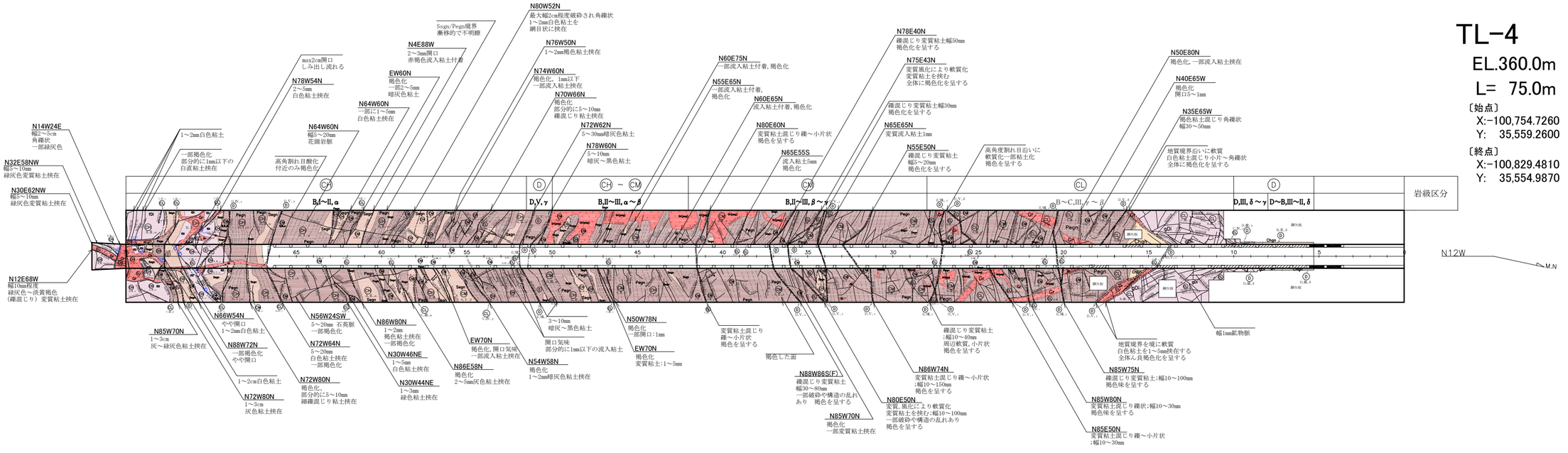
TL-4

EL.360.0m

L= 75.0m

〔始点〕
X:−100,754.7260
Y: 35,559.2600

〔終点〕
X:−100,829.4810
Y: 35,554.9870



75.0m	細粒閃緑岩	70.0m	砂質片麻岩	54.0m	51.5m	泥質片麻岩	42.0m	泥質片麻岩	28.0m	泥質片麻岩	17.0m	等粒状閃緑岩	10.0m	8.0m	珪質片麻岩	5.3m	坑口 3.5m	0.0m
	堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着は ほとんど見れれない。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。 泥質片麻岩、砂質片麻岩、花崗岩、細粒閃緑岩が混在する。 湧水がわずかに認められる。		堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化や割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。 泥質片麻岩が混在する。		堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のＣＨ～ＣＭ級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 硬岩主体のＣＭ級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 ゆるみの影響が残るＣＬ級ゾーン。 一部に花崗岩が分布する。		堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響によるＣＬ級ゾーン。 一部に花崗岩や珪質片麻岩が分布する。		強風化により軟質な岩盤(マサ化)が見られる。強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。		岩片は硬質。強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン（土砂混じり積み石状）。	掘削除去範囲。全面鋼製矢板。	掘削除去範囲。坑口周辺には珪質片麻岩が露岩する。

凡　例

〔地質区分〕

〔第四紀被覆層〕
- Rd　現河床堆積物
- Tl　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg　礫岩

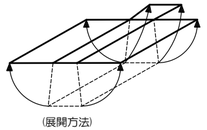
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- (D) D級
- (CL) CL級
- (CM) CM級
- (CH) CH級(硬さB)
- (CH) CH級(硬さA)
- (B) B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr：断裂(幅)
- (F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
- (MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
- (SP) せん断面
- (Tj) 引張性割れ目
- (Op) 開口性割れ目
- (GS) 片麻状構造
- (IP) 貫入面
- (J) 割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-4横坑展開図（地質）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	82
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

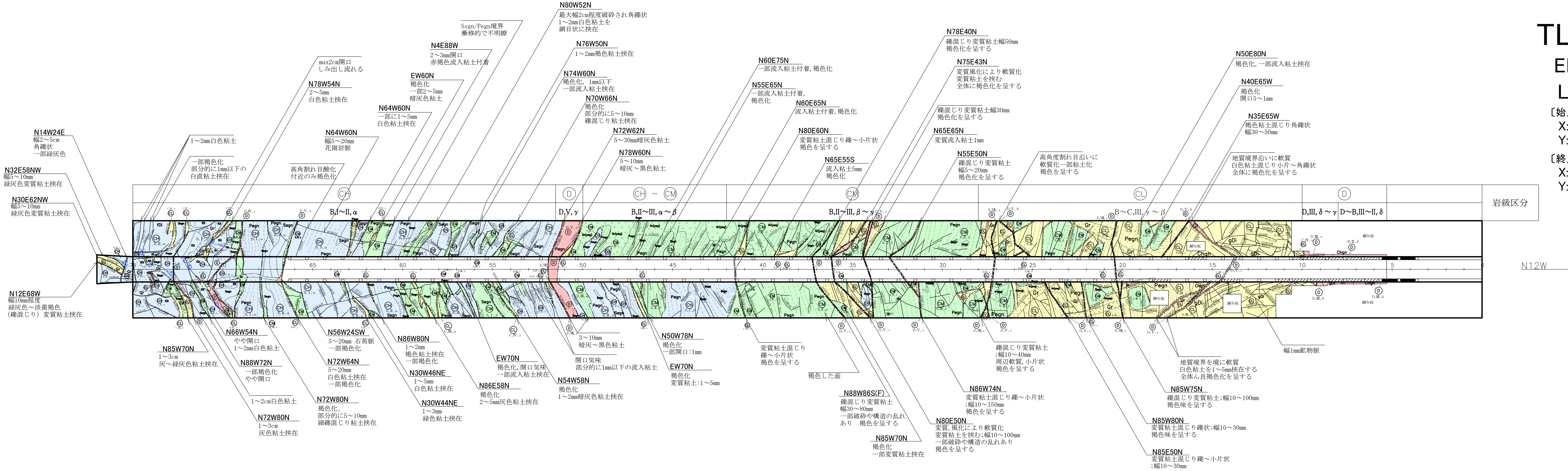
TL-4

EL.360.0m

L= 75.0m

〔始点〕
X:-100,754.7260
Y: 35,559.2600

〔終点〕
X:-100,829.4810
Y: 35,554.9870



75.0m～70.0m 細粒閃緑岩	70.0m～54.0m 砂質片麻岩	54.0m～51.5m	51.5m～42.0m 泥質片麻岩	42.0m～28.0m 泥質片麻岩	28.0m～17.0m 泥質片麻岩	17.0m～10.0m 等粒状閃緑岩	10.0m～8.0m	8.0m～5.3m 珪質片麻岩	5.3m～3.5m(坑口)	3.5m～0.0m
堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着はほとんど見れれない。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。 泥質片麻岩、砂質片麻岩、花崗岩、細粒閃緑岩が混在する。 湧水がわずかに認められる。	堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化や割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。 泥質片麻岩が混在する。	堅硬な岩盤が主体であり、割れ目が少なくなる。稀に割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 硬岩主体のCH～CM級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部に変質による軟質化した箇所が見られる。 硬岩主体のCM級ゾーン。 下流壁側に坑壁に沿って花崗岩が薄く分布する。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 ゆるみの影響が残るCL級ゾーン。 一部に花崗岩が分布する。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響によるCL級ゾーン。 一部に花崗岩や珪質片麻岩が分布する。	強風化により軟質な岩盤(マサ化)が見られる。強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。	岩片は硬質。強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン(土砂混じり積み石状)。	掘削除去範囲。全面鋼製矢板。	掘削除去範囲。坑口周辺には珪質片麻岩が露岩する。

凡　　例

〈地質区分〉

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

× × ×	ペグマタイト
+ + +	優白質花崗岩
gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

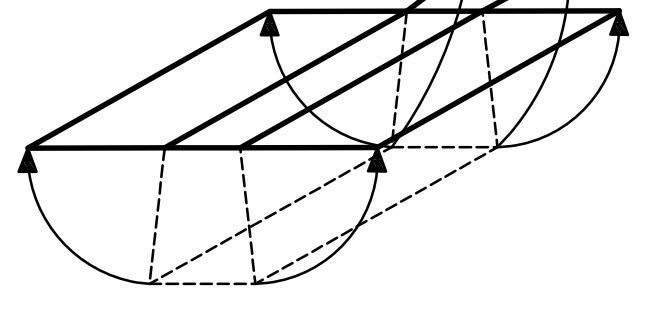
Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

＜岩級区分＞

D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級(硬さB)
CH	CH	級(硬さA)
B	B	級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

fr:	断裂(幅)
(F)	断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
(MF)	小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
(SP)	せん断面
(Tj)	引張性割れ目
(Op)	開口性割れ目
(GS)	片麻状構造
(IP)	貫入面
(J)	割れ目(基本的に表示しない)



(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-4横坑展開図 (岩級)		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	83
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

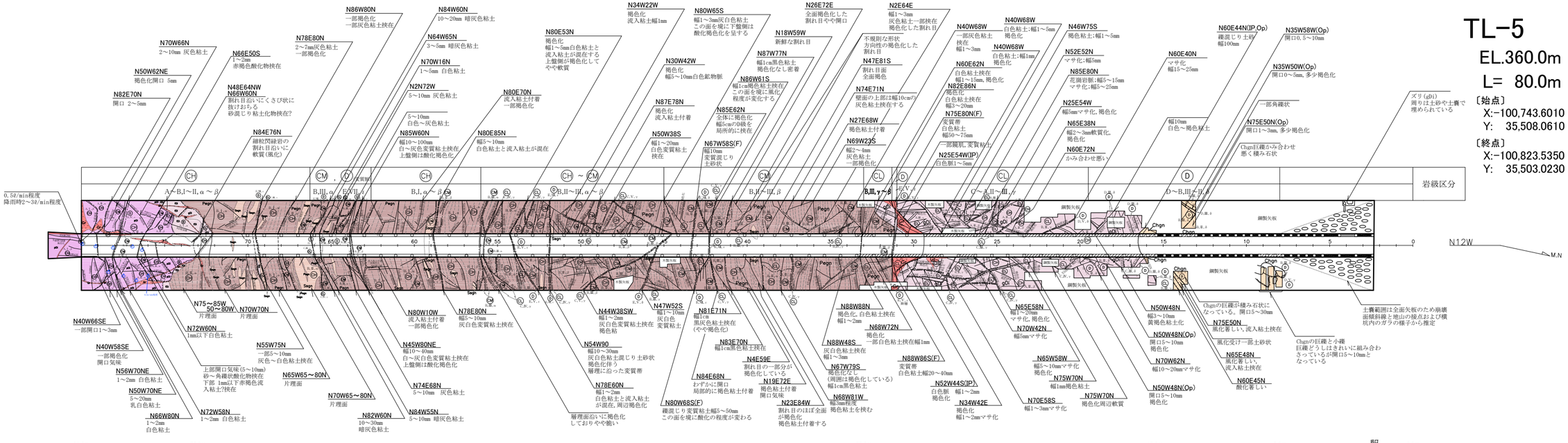
TL-5

EL.360.0m

L= 80.0m

〔始点〕
X:−100,743.6010
Y: 35,508.0610

〔終点〕
X:−100,823.5350
Y: 35,503.0230



等粒状閃緑岩	泥質片麻岩	等粒状閃緑岩	珪質片麻岩
堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。割れ目沿いの酸化による褐色化や硬に割れ目には流入粘土の付着が稀に見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。 一部に細粒閃緑岩、花崗岩が分布する。 湧水が複数箇所で見られ、切羽付近は流れ出る程度。	堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や稀に割れ目には流入粘土の付着が見られる。 一部変質による軟質化した箇所が見られる。 堅岩主体のCH級ゾーン。 所々に砂質片麻岩がアメーバ状に分布する。	堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や稀に割れ目には流入粘土の付着が見られる。 堅岩主体のCH～CM級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。 ゆるみの影響が残るCM級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響によるCL級ゾーン。 一部に花崗岩が分布する。	強風化により軟質な岩盤（マサ化）もしくは割れ目沿いのマサ化が見られる。 強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。	岩片は硬質。 強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン（主砂混じり積み石状）。	掘削除去範囲。 全面鋼製矢板。	掘削除去範囲。 珪質片麻岩が露岩する。

凡　例

〈岩級区分〉

D	D	級
CL	CL	級
CM	CM	級
CH	CH	級(硬さB)
CH	CH	級(硬さA)
B	B	級

〔地質区分〕

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

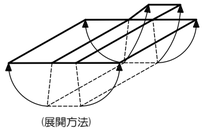
〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

fr: 断裂(幅)
(F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
(MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
(SP) せん断面
(Tj) 引張性割れ目
(Op) 開口性割れ目
(GS) 片麻状構造
(IP) 貫入面
(J) 割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-5横坑展開図（地質）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	84
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

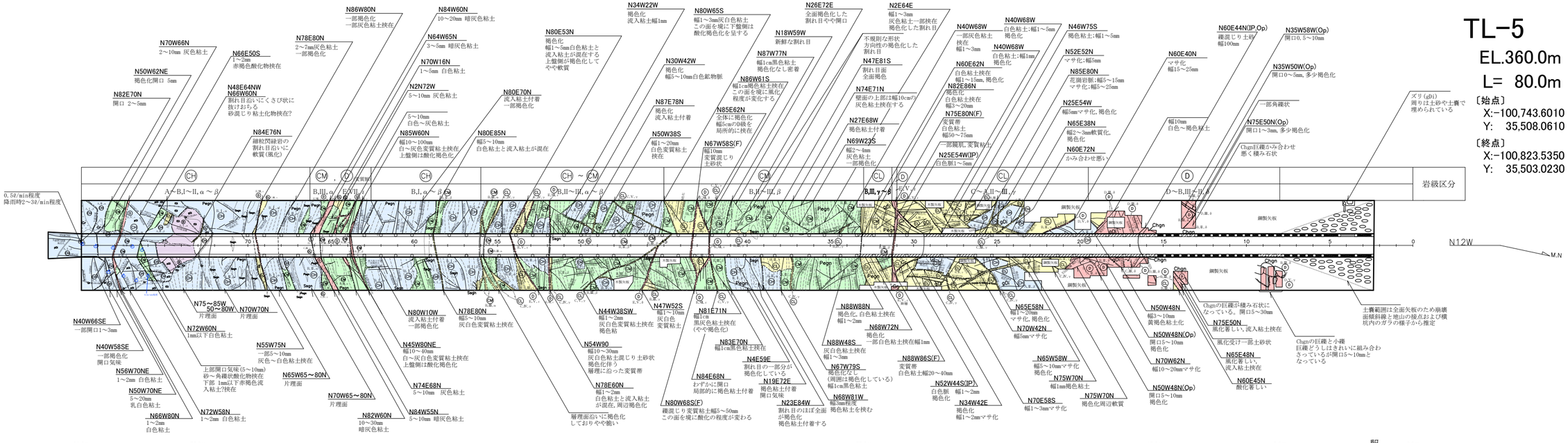
TL-5

EL.360.0m

L= 80.0m

〔始点〕
X:−100,743.6010
Y: 35,508.0610

〔終点〕
X:−100,823.5350
Y: 35,503.0230



堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。割れ目沿いの酸化による褐色化や褐に割れ目には流入粘土の付着が見られる。
堅岩主体のCH級ゾーン。

一部に細粒閃緑岩、花崗岩が分布する。

湧水が複数箇所で見られ、切羽付近は流れ出る程度。

堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなる。割れ目沿いの酸化による褐色化や褐に割れ目には流入粘土の付着が見られる。
一部変質による軟質化した箇所が見られる。
堅岩主体のCH級ゾーン。

所々に砂質片麻岩がアメーバ状に分布する。

堅硬な岩盤が主体でであり、割れ目が少なくなるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や褐に割れ目には流入粘土の付着が見られる。
堅岩主体のCH～CM級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化や一部の開口した割れ目には流入粘土の付着が見られる。
ゆるみの影響が残るCM級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いのマサ化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。
ゆるみの影響によるCL級ゾーン。

一部に花崗岩が分布する。

強風化により軟質な岩盤（マサ化）もしくは割れ目沿いのマサ化が見られる。
強風化とゆるみの影響によるD級ゾーン。

岩片は硬質。
強風化と地表からのゆるみの影響によるD級ゾーン（土砂混じり積み石状）。

掘削除去範囲。
全面鋼製矢板。

掘削除去範囲。
珪質片麻岩が露岩する。

凡　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tℓ 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

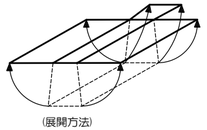
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- D D級
- CL CL級
- CM CM級
- CH CH級(硬さB)
- CH CH級(硬さA)
- B B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr: 断裂(幅)
- (F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
- (MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
- (SP) せん断面
- (Tj) 引張性割れ目
- (Op) 開口性割れ目
- (GS) 片麻状構造
- (IP) 貫入面
- (J) 割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-5横坑展開図（岩級）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	85
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

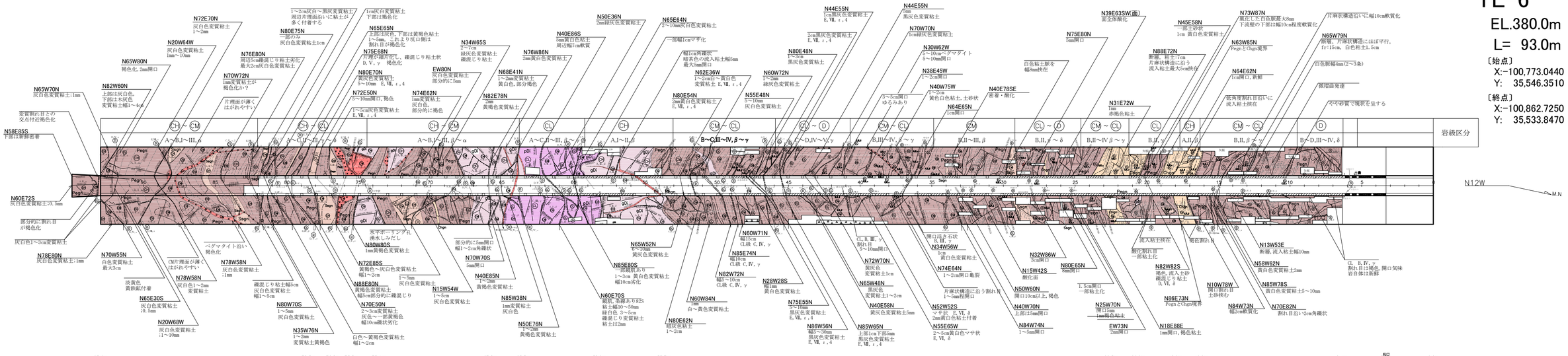
TL-6

EL.380.0m

L= 93.0m

〔始点〕
X:−100,773.0440
Y: 35,546.3510

〔終点〕
X:−100,862.7250
Y: 35,533.8470



泥質片麻岩	泥質片麻岩	泥質片麻岩	等粒状閃緑岩	斑状閃緑岩	泥質片麻岩	泥質片麻岩	泥質片麻岩	泥質片麻岩	泥質片麻岩	泥質片麻岩
堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。部分的に変質により軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。 割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着はほとんど見られない。 堅岩主体のＣＨ～ＣＭ級ゾーン。 一部に砂質片麻岩や花崗岩（ペグマタイト）が分布する。 76～80m付近に浸み出しから水滴程度の湧水が見られる。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が、変質による軟質化した箇所が見られる。 変質による軟質化した箇所はＣＬ級、他はＣＭ～ＣＨ級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。 変質による軟質化した箇所を除き堅岩主体のＣＨ級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。 堅岩主体のＣＨ級ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が見られる。 変質による軟質化した箇所を除き、堅岩主体のＣＭ級ゾーン。	割れ目沿いに流入粘土を挟在し、割れ目の間隔が小さい。 一部Ｄ級岩盤を含むＣＬ級主体ゾーン。	堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの風化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。 ゆるみの影響があるＣＬ級とＣＭ級が混在する。	岩片は硬質。 強風化と地表からのゆるみの影響によるＣＬ級主体ゾーン。 片麻状構造にほぼ平行な断層が分布する。	全面鋼製矢板。

凡　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕
- Rd　現河床堆積物
- Tl　崖錐堆積物
- Tr　段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf　凝灰岩
- Ry　流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg　礫岩

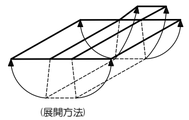
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi　等粒状閃緑岩
- pDi　斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn　砂質片麻岩
- Pegn　泥質片麻岩
- Chgn　珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- D　D級
- CL　CL級
- CM　CM級
- CH　CH級(硬さB)
- CH　CH級(硬さA)
- B　B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr：断裂(幅)
- (F)　断層(破砕幅>10cm，粘土>1mm)
- (MF)　小断層(破砕幅<10cm，粘土<1mm)
- (SP)　せん断面
- (Tj)　引張性割れ目
- (Op)　開口性割れ目
- (GS)　片麻状構造
- (IP)　貫入面
- (J)　割れ目(基本的に表示しない)


(展開方法)

S=1/100

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-6横坑展開図（地質）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	86
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

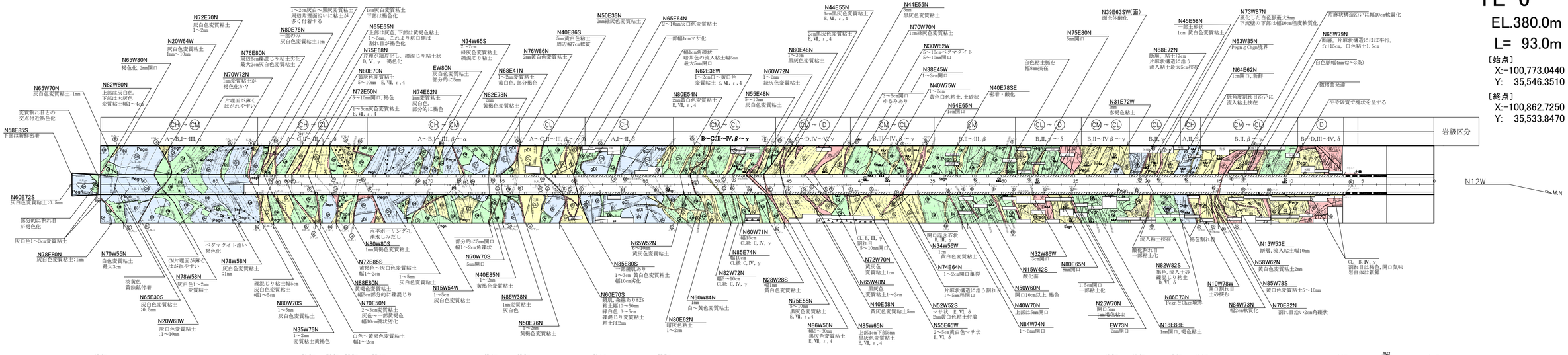
TL-6

EL.380.0m

L= 93.0m

〔始点〕
X:−100,773.0440
Y: 35,546.3510

〔終点〕
X:−100,862.7250
Y: 35,533.8470


岩級区分
N72E70N 灰白色変質粘土 1~2mm
N20W64W 灰白色変質粘土 1mm~10mm
N65W80N 褐色化, 2mm開口
N76E80N 周辺5cm軟質により粘土劣化 最大2cm灰白色変質粘土
N70W72N 1mm変質粘土が褐色化かつ 片理面が薄くはがれやすい
N82W60N 上部は灰白色, 下部は大区色 変質粘土幅1~4cm
N65W70N 灰白色変質粘土:1mm
N58E85S 下部は新鮮密着
N60E72S 灰白色変質粘土:0.5mm
N78E80N 灰白色変質粘土:1mm
N70W55N 白色変質粘土 最大3cm
N65E30S 灰白色変質粘土 :0.5mm
N20W68W 灰白色変質粘土 :1~10mm
N78W58N 灰白色変質粘土 :1mm
N78W58N 灰白色1~2mm 変質粘土
N80W70S 1~5mm 灰白色変質粘土
N35W76N 1~2mm 変質粘土黄褐色
N80E75N 一部のみ 灰白色変質粘土1cm
N65E65N 上部は灰色, 下部は黄褐色粘土 1~5mm, これより坑口側は 割れ目が褐色化
N75E68N 片理が細片化し, 礫混じり粘土状 B, V, γ 褐色化
N80E70N 黄灰色変質粘土 5~10mm E, VII, ε, 4
N72E50N 5~10mm開口, 褐色 1~5cm灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N74E62N 1mm変質粘土 灰白色, 部分的に褐色
N34W65S 2~5cm 緑灰色変質粘土 礫混じり粘土
EW80N 灰白色変質粘土 部分的に5mm
N68E41N 1~2mm変質粘土 黄白色, 部分褐色
N82E78N 2mm 黄褐色変質粘土
N76W86N 2mm黄白色変質粘土
N40E86S 5mm黄白色粘土 周辺幅7cm軟質
N50E36N 2mm緑灰色変質粘土
N65E64N 2~10mm灰白色変質粘土
N62E36W 1~2cm白~黄白色 変質粘土 E, VII, ε, 4
N80E54N 2mm黄白色変質粘土 E, VII, ε, 4
N44E55N 1cm黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N80E48N 1~3cm 黒灰色変質粘土
N60W72N 1~2mm 緑灰色変質粘土
N55E48N 5~10mm 灰白色変質粘土
N44E55N 5mm 黒灰色変質粘土
N70W70N 1cm緑灰色変質粘土
N30W62W 5~10cm~ダマタイト 5~10mm開口
N38E45W 1~2cm開口
N40W75W 1~2cm 黄白色粘土, 土砂状
N64E65N 1cm開口
N40E78SE 密着・酸化
N75E80N 5mm開口
N39E63SW(面) 面全体酸化
N45E58N 一部土砂状 1cm 黄白色変質粘土
N88E72N 断層, 粘土:7cm 片麻状構造に沿う 流入粘土最大5cm挟在
N31E72W 1mm 赤褐色粘土
N73W87N 風化した白色脈最大5mm 下流壁の下部は幅10cm程度軟質化
N63W85N Pegnとの境界
N64E62N 1cm開口, 新鮮
N65W79N 断層, 片麻状構造にほぼ平行。 fr:15cm, 白色粘土1.5cm
白色脈幅4mm(2~3本)
節理面発達
低角度割れ目沿いに 流入粘土挟在
やや砂質で礫状を呈する
N12W
M,N
N70W55N 白色変質粘土 最大3cm
淡黄色 黄鉄鉱付着
N78W58N ペグマタイト沿い 褐色化
CM片理面が薄くはがれやすい
N78W58N 灰白色1~2mm 変質粘土
礫混じり粘土幅5cm 灰白色変質粘土 幅1~5cm
白色~黄褐色変質粘土 幅1~2cm
太平ボーリング孔 湧水しみだし
N80W80S 1mm黄褐色変質粘土
N72E85S 黄褐色~灰白色変質粘土 幅1~2cm
N88E80N 黄褐色変質粘土 幅5cm部分的に礫混じり
N70E50N 2~5cm変質粘土 灰色~一部黄褐色 幅10cm礫状劣化
N15W54W 1~5cm 灰白色変質粘土
部分的に5mm開口 幅1~2cm角礫状
N70W70S 5mm開口
N40E85N 1~2mm 黄褐色変質粘土
N85W38N 1mm変質粘土 灰白色
N50E76N 1~2mm 黄褐色変質粘土
N65W52N 0~1mm 黄灰色変質粘土
N85E80S 一部脱気あり 1~3cm 黄白色変質粘土 幅10cm劣化
N60E70S 脱気, 気泡あり82s 粘土幅10~50mm 緑白色 2~5cm 礫混じり変質粘土 粘土は2mm
N60W84N 1mm 白~黄色変質粘土
N80E62N 暗灰色粘土 1~2cm
N60W71N 幅15cm CL級 C, IV, γ
N85E74N 幅10cm CL級 C, IV, γ
N82W72N 幅5~10cm CL級 C, IV, γ
N28W28S 幅1mm 黄白色変質粘土
N75E55N 5~10mm 黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N40E58N 黄灰色変質粘土5mm
N86W56N 幅5~30mm 黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
N85W65N 上部1cm下部5mm 黒灰色変質粘土 E, VII, ε, 4
CL, B, III, γ 割れ目 5~10mm開口
N34W56W 1cm 黄白色変質粘土
N74E64N 1~2cm開口亀裂
N7W70N 黄灰色 変質粘土1cm
N65W48N 黒灰色 変質粘土1~2cm
N52W52S 1~2cm 黄白色粘土付着
N55E65W 2~5cm黄白色マサ状 E, VI, δ
開口浮き石状 K-III,
N7W70N 黄灰色 変質粘土1cm
片麻状構造に沿う割れ目 1~5mm程開口
N32W86W 3cm開口
N15W42S 酸化面
N50W60N 開口10cm以上, 褐色
N40W70N 上部は5mm開口
N84W74N 1~5mm開口
N80E65N 5mm開口
1.5cm開口 一部粘土化
N25W70N 開口5mm 1mm褐色粘土
EW73N 2mm開口
流入粘土挟在
風化割れ目 一部粘土化
N82W82S 褐色, 流入土砂 礫混じり粘土 D, VI, δ
N86E73N Pegnとの境界
N18E88E 1mm開口, 褐色粘土
N10W78W 開口割れ目 土砂状γ
N84W73N 幅2cm軟質化
N13W53E 断層, 流入粘土幅10mm
N58W62N 黄白色変質粘土 1~2mm
N85W78S 黄白色変質粘土5~10mm
N70E82N 割れ目沿い2cm角礫状
CL, B, IV, γ 割れ目は褐色, 開口気味 岩目体は新鮮

93.0m	82.0m	78.5m	76.8m	75.3m	73.4m	67.8m	63.5m	58.2m	53.7m	46.1m	40.7m	22.5m	20.6m	18.0m	16.2m	6.4m	3.2m	0.0m
泥質片麻岩		断層片麻岩	変質片麻岩	等粒状閃緑岩		泥質片麻岩		斑状閃緑岩	等粒状閃緑岩	泥質片麻岩		泥質片麻岩		泥質片麻岩		泥質片麻岩		

堅硬な岩盤が主体であり、割れ目は少ない。部分的に変質により軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。
割れ目沿いの酸化による褐色化や流入粘土の付着はほとんど見られない。
堅岩主体のＣＨ~ＣＭ級ゾーン。

一部に砂質片麻岩や花崗岩（ペグマタイト）が分布する。

76～80m付近に浸み出しから水滴程度の湧水が見られる。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所はＣＬ級、他はＣＭ~ＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所（ＣＬ級相当）が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き、堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの酸化による褐色化が見られる。
堅岩主体のＣＨ級ゾーン。

堅硬な岩盤が主体でもあり、割れ目が少なくなるが、変質による軟質化した箇所が見られる。
変質による軟質化した箇所を除き、堅岩主体のＣＭ級ゾーン。

割れ目沿いに流入粘土を挟在し、割れ目の間隔が小さい。
一部Ｄ級岩盤を含むＣＬ級主体ゾーン。

堅硬な岩盤が主体ではあるが、割れ目沿いの風化や開口した割れ目には流入粘土の狭在が見られる。
ゆるみの影響があるＣＬ級とＣＭ級が混在する。

岩片は硬質。
強風化と地表からのゆるみの影響によるＣＬ級主体ゾーン。
片麻状構造にほぼ平行な断層が分布する。

全面鋼製矢板。

凡　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕
- Rd 現河床堆積物
- Tl 崖錐堆積物
- Tr 段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕
- Tf 凝灰岩
- Ry 流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕
- Cg 礫岩

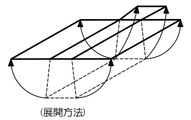
〔白亜紀領家花崗岩類〕
- ペグマタイト
- 優白質花崗岩
- gDi 等粒状閃緑岩
- pDi 斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕
- Ssgn 砂質片麻岩
- Pegn 泥質片麻岩
- Chgn 珪質片麻岩

＜岩級区分＞
- D D級
- CL CL級
- CM CM級
- CH CH級(硬さB)
- CH CH級(硬さA)
- B B級

- 地質境界
- 岩級境界
- 断層
- 節理
- 片麻状構造
- マサ状部
- 矢板(黒塗り部は全面矢板)
- 湧水箇所
- 片理面の走向・傾斜
- 割れ目の走向・傾斜

- fr: 断裂(幅)
- (F) 断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
- (MF) 小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
- (SP) せん断面
- (Tj) 引張性割れ目
- (Op) 開口性割れ目
- (GS) 片麻状構造
- (IP) 貫入面
- (J) 割れ目(基本的に表示しない)

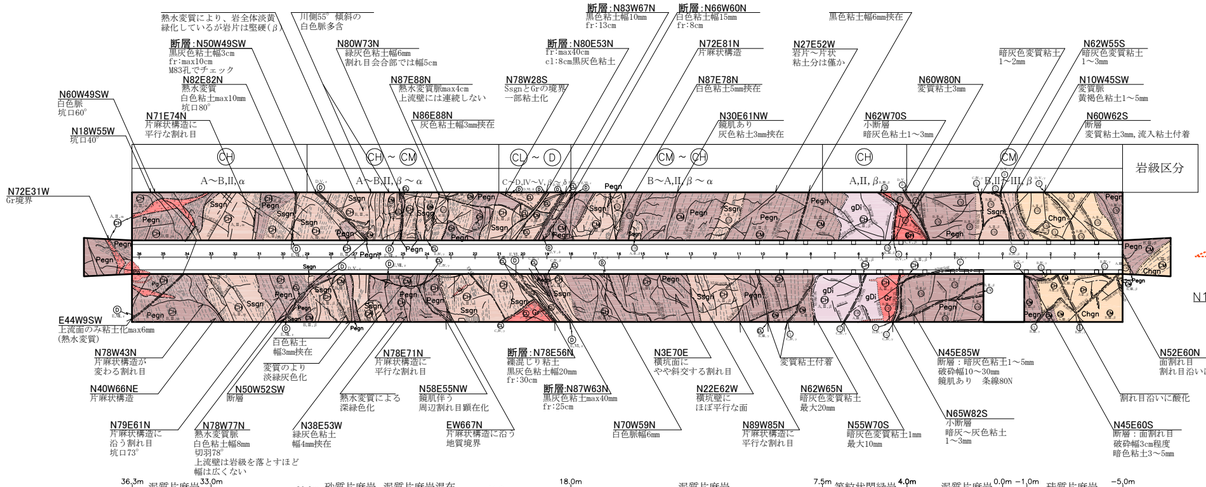

(展開方法)

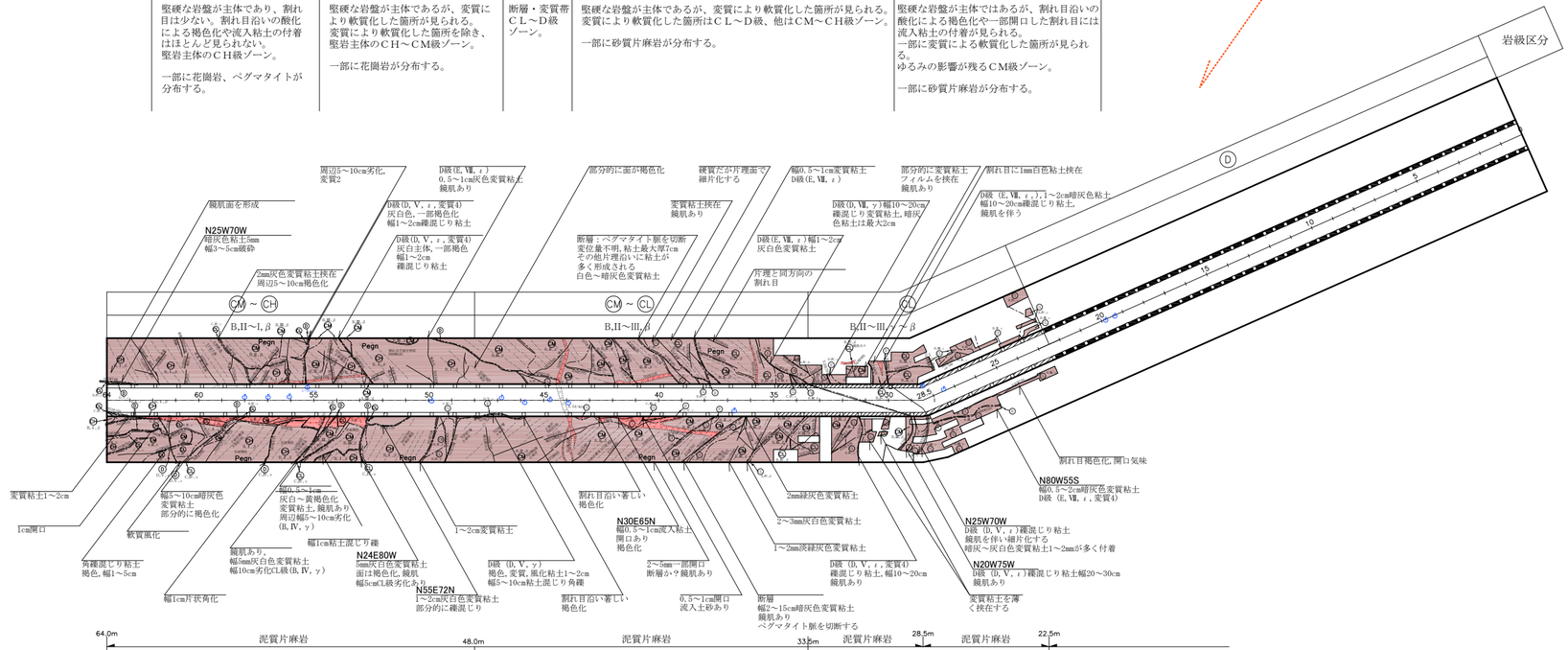
S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-6横坑展開図（岩級）		
年月	平成29年3月		
尺度	1/100	図面番号	87
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		

TL-7

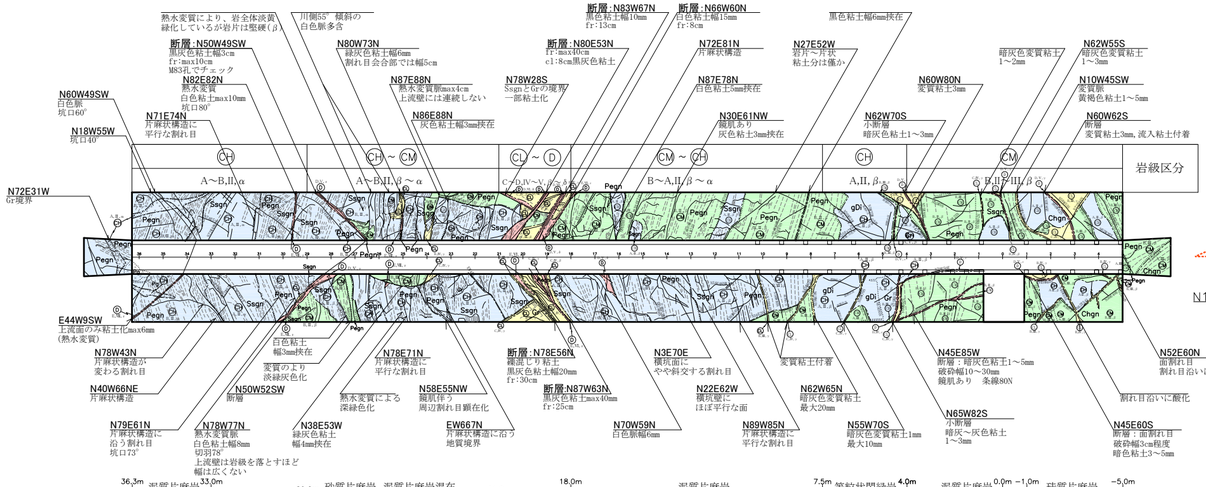
EL.338.0m
L= 105.3m
本坑 41.3m
進入坑 64.0m

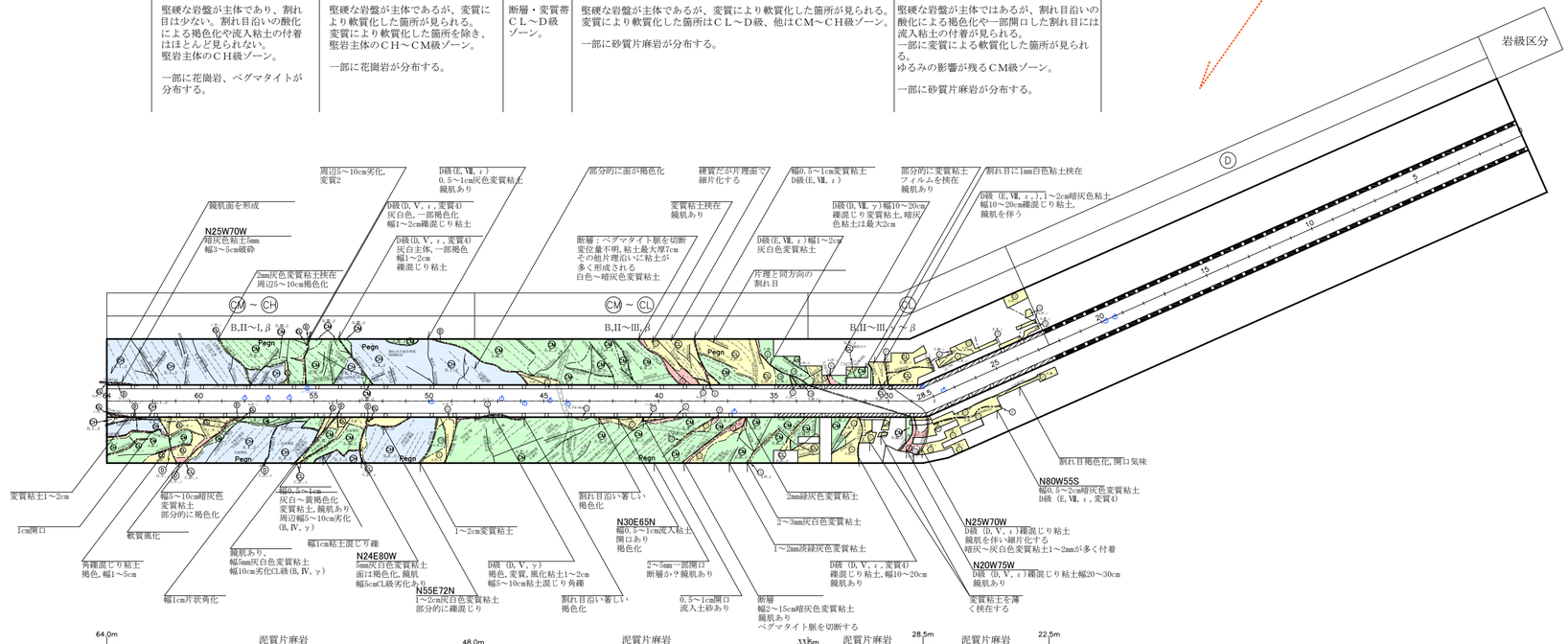


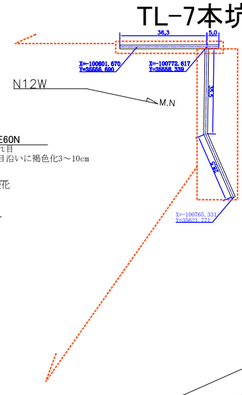

岩級区分
D
CL
CM
CH
B
N25W70W
N80W55S
N30E65N
N24E80W
N55E72N
N20W75W
縞肌面を形成
2mm灰色変質粘土挟在
周辺5～10cm褐色化
変質粘土1～2cm
1cm開口
軟質風化
角礫混じり粘土
褐色, 幅1～5cm
幅1cm片状角化
幅5～10cm暗灰色
変質粘土
部分的に褐色化
幅1cm粘土混じり礫
縞肌あり,
幅5mm灰白色変質粘土
幅10cm劣化CL級(B, Ⅳ, γ)
幅5mmCL級劣化あり
1～2cm変質粘土
割れ目沿い著しい
褐色化
褐色化
2mm緑灰色変質粘土
2～3mm灰白色変質粘土
1～2mm淡緑灰色変質粘土
割れ目褐色化, 開口気味
幅0.5～2cm暗灰色変質粘土
D級 (E, Ⅶ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε, 変質4)
D級 (D, Ⅴ, ε)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε)
D級 (D, Ⅴ, γ)
D級 (E, Ⅶ, ε)
D級 (D, Ⅴ, ε)
D級 (D, Ⅴ, γ

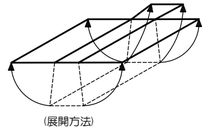
TL-7

EL.338.0m
L= 105.3m
本坑 41.3m
進入坑 64.0m








(展開方法)

凡　　例

(地質区分)

〔第四紀被覆層〕

Rd	現河床堆積物
Tℓ	崖錐堆積物
Tr	段丘堆積物

〔第三紀火成岩類〕

Tf	凝灰岩
Ry	流紋岩

〔第三紀堆積岩類〕

Cg	礫岩

〔白亜紀領家花崗岩類〕

	ペグマタイト
	優白質花崗岩
gDi	等粒状閃緑岩
pDi	斑状閃緑岩

〔白亜紀領家変成岩類〕

Ssgn	砂質片麻岩
Pegn	泥質片麻岩
Chgn	珪質片麻岩

＜岩級区分＞

D	D級
CL	CL級
CM	CM級
CH	CH級(硬さB)
CH	CH級(硬さA)
B	B級

	地質境界	fr:	断裂(幅)
	岩級境界	(F)	断層(破砕幅>10cm, 粘土>1mm)
	断層	(MF)	小断層(破砕幅<10cm, 粘土<1mm)
	節理	(SP)	せん断面
	片麻状構造	(Tj)	引張性割れ目
	マサ状部	(Op)	開口性割れ目
	矢板(黒塗り部は全面矢板) ☐は鋼製支保,○は木製支保	(GS)	片麻状構造
	湧水箇所	(IP)	貫入面
	片理面の走向・傾斜	(J)	割れ目(基本的に表示しない)
	割れ目の走向・傾斜		

S=1/100
0 1 5 10m

業務名	平成27年度 設楽ダム周辺地質解析業務		
図面名	TL-7横坑展開図（岩級）		
年月	平成29年 3月		
尺度	1/100	図面番号	89
会社名	日本工営株式会社		
事務所名	設楽ダム工事事務所		